オンラインユーザーズガイド

DCP-J4140N
MFC-J4440N
MFC-J4540N
MFC-J4940DN

© 2021 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

目次

本ガイドの使い方 1
注意事項の定義 2
商標 3
オープンソースライセンスについて 4
著作権とライセンスについて 5
重要事項 6
本製品のご案内 7
本製品をご使用になる前に 8
操作パネルの概要 9
タッチパネル画面の概要 12
設定画面の概要 17
タッチパネルの操作 20
待ち受け画面を設定する 21
機能の初期画面を設定する 22
子機の操作パネル概要 23
子機の画面概要 26
本製品にテキストを入力する 28
子機にテキストを入力する 29
Brother Utilities へのアクセス（Windows） 31
ブラザーのソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows） 32
本製品の USB ケーブル / ネットワークケーブル の差し込み口の場所 33
紙の取り扱い 34
用紙のセット 35
用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に用紙をセットする 36
手差しトレイに用紙をセットする 46
印刷できない範囲 49
用紙設定 50
使用可能な印刷用紙について 53
原稿のセット 59
自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットする 60
原稿台ガラスに原稿をセットする 62
読み取りできない範囲 63
印刷 64
パソコンから印刷する（Windows） 65
写真を印刷する（Windows） 66
文書を印刷する（Windows） 67
印刷ジョブをキャンセルする（Windows） 68
1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows） 69
ポスターとして印刷する（Windows） 70
自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows） 71
自動で小冊子として印刷する（Windows） 74
カラー文書をモノクロで印刷する（Windows） 76
にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows） 77
おまかせ印刷設定を使用する（Windows） 78
初期値の印刷設定を変更する（Windows） 81

印刷設定（Windows） ... 82
パソコンから印刷する（Mac） ... 86
Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac） ... 87
Brother iPrint&Scan を使用して写真または文書を印刷する（Windows/Mac） ... 88
Brother iPrint&Scan を使用して自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows/Mac） ... 90
Brother iPrint&Scan を使用して 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows） ... 92
Brother iPrint&Scan を使用してカラー文書をモノクロで印刷する（Windows/Mac） ... 93
USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする ... 94
互換性のある USB フラッシュメモリー ... 95
写真プリントに関する注意 ... 96
USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする ... 97
E メールの添付ファイルを印刷する ... 105
スキャン ... 106
本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする ... 107
写真やグラフィックをスキャンする ... 108
スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する ... 110
スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する ... 112
複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン） ... 114
原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする（OCR） ... 115
スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する ... 117
スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する ... 119
スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する ... 123
スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows） ... 130
スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する ... 134
Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10） ... 138
Brother iPrint&Scan を使用してスキャン設定を変更する ... 142
Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac） ... 143
お使いのパソコンからスキャンする (Windows) ... 144
Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする ... 145
Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする ... 150
お使いのパソコンからスキャンする (Mac) ... 154
Web Based Management を使用してスキャン設定を行う ... 155
Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する ... 156
コピー ... 157
コピーする ... 158
コピー画像を拡大または縮小する ... 160
ソートコピー ... 161
レイアウトコピーをする（N in 1 コピーまたはポスターコピー） ... 162
両面コピーする ... 164
ID カードをコピーする ... 166
コピー設定 ... 168
ファクス／電話 ... 170
ファクスを送信する ... 171
お使いのブラザー製品からファクスを送る ... 172
手動でファクスを送信する ... 174
子機で話をしてから送る ... 175

複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信） ... 176
リアルタイム送信する ... 179
時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信） ... 180
IP ファクスを送信する（データコネクト設定） ... 181
ファクス自動再ダイヤル設定を変更する ... 182
ファクス送信をキャンセルする ... 183
送信待ちファクスを確認、キャンセルする ... 184
ファクスオプション ... 185
ファクスを受信する ... 186
受信モードの設定 ... 187
親切受信を設定する ... 192
みるだけ受信 ... 193
サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する ... 197
ファクス受信スタンプの設定 ... 198
電話に出てから受ける（手動受信） ... 199
メモリー受信オプション ... 200
リモコン機能 ... 207
リモートコードを使う ... 214
電話帳 ... 216
ファクス/電話番号を登録する ... 217
同報送信のグループダイヤルを設定する ... 228
電話 ... 232
通話の前に ... 233
電話をかける ... 240
電話を受ける ... 241
通話を保留にする ... 242
通話を録音する ... 243
いろいろな電話のかけ方 ... 245
電話を取り次ぐ ... 251
内線通話をする ... 253
かかってきた電話を拒否する ... 255
ナンバーディスプレイサービスを利用する ... 258
キャッチホンを利用する ... 261
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する ... 262
留守番機能 ... 263
留守番機能の設定 ... 264
留守番機能をセット/解除する ... 270
留守録転送をする ... 275
電話サービスと色々な接続方法 ... 276
ナンバーディスプレイを利用する ... 277
電話/ファクス回線の色々な接続 ... 279
送受信テストとファクスレポート ... 285
ファクス送受信テストをする ... 286
送信結果レポートの形式を設定する ... 287
通信管理レポートの間隔を設定する ... 288
PC-FAX ... 289
Windows 用 PC-FAX （MFC モデル） ... 290

Mac 用 PC-FAX （MFC モデル） 310
ネットワーク 311
対応している基本ネットワーク機能について 312
ネットワークを設定する 313
操作パネルを使用してネットワークを設定する 314
無線ネットワーク設定 315
無線ネットワークを使用する 316
Wi-Fi Direct®を使用する 329
無線 LAN を有効/無効にする 333
無線 LAN レポートを印刷する 334
ネットワーク機能 338
ネットワーク設定リストを印刷する 339
Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する 340
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする 343
ブラザー管理ツール 344
セキュリティ 345
ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に 346
デバイスセキュリティーの証明書を設定する 347
サポートされているセキュリティ証明書機能 348
証明書の作成とインストールの手順 349
自己署名証明書を作成する 350
CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする 351
証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて 355
CA 証明書のインポートとエクスポートについて 358
複数の証明書を管理する 361
SSL/TLS を使用する 362
SSL/TLS について 363
SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理 366
SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する 371
SNMPv3 を使用する 373
SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理 374
IPsec を使用する 376
IPsec について 377
Web Based Management を使用して IPsec を設定する 378
Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する 380
Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する 382
IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する 390
IEEE 802.1x 認証について 391
Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する 392
IEEE 802.1x 認証方式 394
Active Directory 認証を使用する 395
Active Directory 認証について 396
Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する 397
本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（Active Directory 認証） 398
LDAP 認証を使用する 399
LDAP 認証について 400
Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する 401

本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（LDAP 認証） 402
セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する 403
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に 404
Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する 405
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする 406
セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する 407
セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について 408
外付け IC カードリーダーに登録する 409
E メールを安全に送信する 410
Web Based Management を使用して E メール送信の設定を行う 411
ユーザー認証を使用して E メールを送信する 412
SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う 413
モバイル/クラウド接続 414
クラウド接続機能 415
クラウド接続機能の概要 416
クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス 419
クラウド接続機能の設定 421
写真や原稿をスキャンしてアップロードする 427
外部メモリーに保存されている写真や文書をアップロードする 428
写真や文書をダウンロードして印刷する 429
クラウド接続機能を使用して文書をダウンロードし、外部メモリーに保存する 432
ファクスクラウド／E メール転送 433
AirPrint 436
AirPrint の概要 437
AirPrint を使用する前に（macOS） 438
AirPrint を使用して印刷する 439
AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS） 442
AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS） 443
AirPrint の問題 444
Mopria®プリントサービス 445
Brother Mobile Connect 446
近距離無線通信（NFC）による印刷 447
Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan 448
Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan の概要 449
トラブルシューティング 450
エラーメッセージとメンテナンスメッセージ 451
ファクスや通信管理レポートの転送 459
クラウド接続機能のエラーメッセージ 463
子機のエラーメッセージとメンテナンスメッセージ 465
原稿が詰まったときは 466
ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり 467
ADF(自動原稿送り装置)の内部の原稿詰まり 468
ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く 469
用紙が詰まったときは 470
製品の内部と前面の用紙詰まり（用紙詰まり［内部/前］） 471
製品の前面の用紙詰まり（用紙詰まり［前］） 477
製品の背面の用紙詰まり（用紙詰まり［後ろ］［トレイ 2］） 481

本製品に問題がある場合は ... 484
用紙の取り扱いと印刷の問題 ... 485
電話とファクスの問題 ... 492
その他の問題 ... 503
ネットワークの問題 ... 505
AirPrint の問題 ... 514
本製品の情報を確認する ... 515
本製品を初期状態に戻す ... 516
リセット機能の概要 ... 517
本製品を廃却するときは ... 518
子機のバッテリーを交換する ... 519
日常のお手入れ ... 521
インクカートリッジを交換する ... 522
お使いのブラザー製品を清掃する ... 525
スキャナーを清掃する ... 526
本製品からプリントヘッドのクリーニングをする ... 528
Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする ... 529
パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows） ... 530
本製品のタッチパネルを清掃する ... 532
本製品の外側を清掃する ... 533
本製品のプラテンを清掃する ... 535
排紙ローラーを清掃する ... 536
ベースパッドを清掃する ... 538
用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する ... 540
用紙トレイ#2 の給紙ローラーを清掃する ... 542
子機／子機充電器を清掃する ... 543
お使いのブラザー製品を確認する ... 544
印刷品質をチェックする ... 545
罫線ずれ、文字ぶれを改善する ... 547
インク残量を確認する ... 548
本製品の状態をパソコンで確認する（Windows） ... 549
Brother iPrint＆Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac） ... 554
用紙送りを調整して縦線をなくす ... 556
印刷オプションを変更して印刷結果を改善する ... 557
製品を梱包して輸送する ... 558
製品の設定 ... 560
操作パネルから製品の設定を変更する ... 561
停電になったときは（メモリー保存） ... 562
基本設定 ... 563
お好みの設定をショートカットとして登録する ... 587
レポートを印刷する ... 593
設定と機能一覧 ... 596
Web Based Management を使用して製品の設定を変更する ... 617
Web Based Management とは ... 618
Web Based Management にアクセスする ... 620
Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する ... 622
Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する ... 623

付録 624
仕様 625
アフターサービスのご案内 633

本ガイドの使い方

- 注意事項の定義
- 商標
- オープンソースライセンスについて
- 著作権とライセンスについて
- 重要事項

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

⚠警告	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	有益なヒントや補足情報を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
太字	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[XXXXX]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

関連情報

- 本ガイドの使い方

商標

Apple、App Store、AirPrint、Mac、iPad、iPhone、iPod touch、macOS、iPadOS および Safari は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Nuance および PaperPort は、米国および／またはその他の国における Nuance Communications, Inc. およびその子会社の商標または登録商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®および Wi-Fi Direct®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

WPA™、WPA2™、および Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Alliance®の商標です。

Android、Google Drive、Google Play および Google Chrome は、Google LLC の商標です。

EVERNOTE は、Evernote Corporation の登録商標であり、使用許諾を得て使用しています。

Bluetooth® ワードマークは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ブラザー工業株式会社は使用許諾の下でこれらのマークを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Mopria®および Mopria®のロゴは、米国およびその他の国における Mopria Alliance の登録商標および/または未登録商標およびサービスマークです。不正使用は固く禁じられています。

本ガイドに記載されているソフトウェアの各社は、各プログラム特有のソフトウェアライセンス契約を有しています。

ソフトウェアの商標

FlashFX® is a registered trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Pro™ is a trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Tera™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance Nitro™ is a trademark of Datalight, Inc.

Datalight® is a registered trademark of Datalight, Inc.

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

関連情報

- 本ガイドの使い方

オープンソースライセンスについて

オープンソースライセンスに関する記述は、弊社サポートサイト（support.brother.co.jp）の製品マニュアルをご覧ください。

関連情報

- 本ガイドの使い方

著作権とライセンスについて

©2021 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

This product includes software developed by the following vendors:

This product includes the “KASAGO TCP/IP” software developed by ZUKEN ELMIC, Inc.

Copyright 1989-2020 Datalight, Inc., All Rights Reserved.

FlashFX® Copyright 1998-2020 Datalight, Inc.

関連情報

- 本ガイドの使い方

重要事項

- ブラザードライバーとソフトウェアの更新情報については、support.brother.co.jp を確認してください。
- 製品の性能を最新の状態に保つため、最新のファームウェア更新がないか、support.brother.co.jp をご確認ください。ファームウェアが最新でないと、製品の機能の一部がご利用になれない場合があります。
- 購入された国以外で本製品を使用しないでください。海外各国における通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品で適切に使用できない恐れがあります。
- 本製品を交換または廃棄するときは、お買い上げ時の設定にリセットして個人情報をすべて削除することを強くお勧めします。
- 本文中の Windows 10 は、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Education、および Windows 10 Enterprise を指します。
- 本文中の Windows Server 2008 は、Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2 を指します。
- 本ガイドでは、主に MFC-J4540N の画面メッセージが使用されています。
- 本ガイドでは、主に MFC-J4540N のイラストが使用されています。
- 本ガイド内の画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 特に指定のない限り、本書は Windows 10 および macOS v10.15.x.の画面を使用していますが、実際のパソコンの画面はお使いの OS によって異なる可能性があります。
- 本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
- 本書では、XXX-XXXX は製品のモデル名を表します。

関連情報

- 本ガイドの使い方

関連トピック：

- 本製品を初期状態に戻す

本製品のご案内

- 本製品をご使用になる前に
- 操作パネルの概要
- タッチパネル画面の概要
- 設定画面の概要
- タッチパネルの操作
- 待ち受け画面を設定する
- 機能の初期画面を設定する
- 子機の操作パネル概要
- 子機の画面概要
- 本製品にテキストを入力する
- 子機にテキストを入力する
- Brother Utilities へのアクセス（Windows）
- 本製品の USB ケーブル / ネットワークケーブル の差し込み口の場所

本製品をご使用になる前に

印刷操作を行う前に以下の内容を確認してください。

- 本製品に適切なソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- USB ユーザーまたはネットワークケーブルユーザーの場合：インターフェイスケーブルが安全に接続されていることを確認します。

正しい用紙の選択

高印字品質を確保するには、正しい用紙を選択することが重要です。用紙を購入する前に、使用可能な用紙に関する情報をお読みになり、プリンタードライバーまたは印刷に使用するアプリケーションの設定に応じて印刷範囲を決定してください。

印刷およびファクス受信を同時に行う

ファクスをメモリーに受信しながら、パソコンから印刷することができます。しかし、コピーや受信したファクスを紙に印刷している場合は、印刷操作は中止され、コピーやファクス受信が完了すると再開されます。

DCP モデルはファクス機能を搭載していません。

ファイアウォール（Windows）

お使いのパソコンがファイアウォールによって保護されており、ネットワーク印刷やネットワークスキャン、PC-FAX が使えない場合はファイアウォールの設定を変更する必要があります。Windows ファイアウォールを使用し、インストーラーからドライバーをインストールした場合、必要なファイアウォールはすでに設定されています。別のファイアウォールを使用している場合は、お使いのファイアウォールのユーザーズガイドを参照するかメーカーに問い合わせてください。

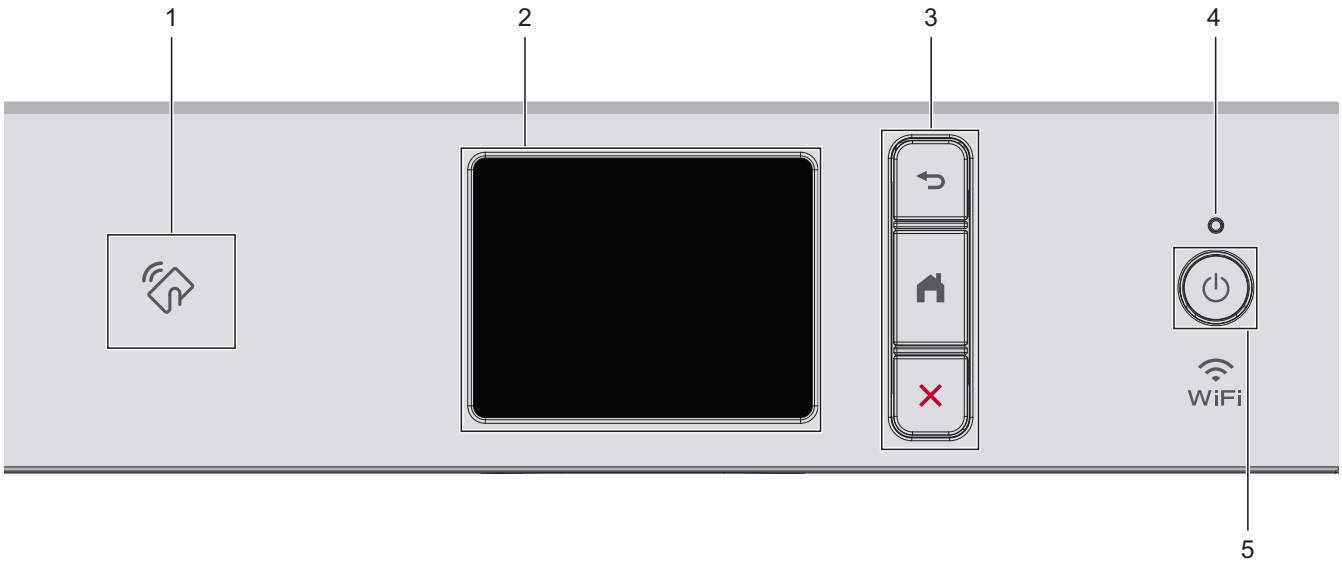
関連情報

- 本製品のご案内

操作パネルの概要

>> DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4540N
>> MFC-J4940DN

DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4540N



1. **NFC（近距離無線通信）タッチ部分**

   ご使用の Android™端末が NFC 機能に対応している場合、端末を NFC タッチ部分にタッチすることで、端末から印刷できます。

2. **タッチパネル液晶ディスプレー（LCD）**

   画面に直接タッチして各設定を行います。

3. **メニューボタン**

   （戻る）

   前のメニューに戻るときに押します。

   （ホーム）

   ホーム画面に戻るときに押します。

   （キャンセル）

   処理中の動作を中止するときに押します。

4. **LED 電源ランプ**

   製品の状態に応じて LED が点灯します。

   スリープモードになっている場合は、LED が点滅します。

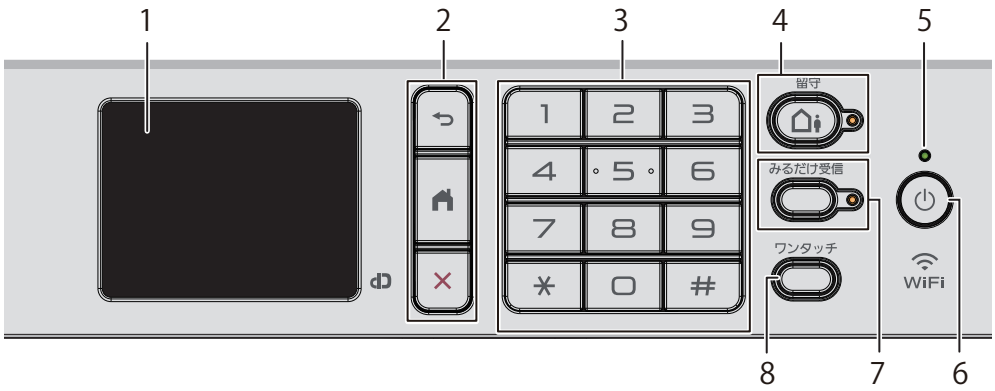
5. **電源ボタン**

   を押して本製品の電源を入れます。

   を長押しして本製品の電源を切ります。画面上に［電源をオフにします］と表示され、数秒間経ってから製品の電源が切れます。外付け電話や留守番電話機を接続している場合、それらの機器の電源は切れず、そのままご使用いただけます（MFC モデル）。

   を使って電源をオフにした場合、印刷品質を維持するために定期的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。プリントヘッドを長持ちさせ、インク効率を良くし、印刷品質を維持するため、本製品は常時電源に接続しておいてください。

MFC-J4940DN



1. **タッチパネル液晶ディスプレー（LCD）**
   画面に直接タッチして各設定を行います。
2. **メニューボタン**

   （戻る）

   前のメニューに戻るときに押します。

   （ホーム）

   ホーム画面に戻るときに押します。

   （キャンセル）

   処理中の動作を中止するときに押します。
3. **ダイヤルパッド**
   ダイヤルするときや各種設定の数値入力時に使用します。
4. **留守ボタン／LED ランプ**
   留守モードにするときにボタンを押します。留守モードにすると、LED が点灯します。留守モード中に新しく録音された音声メッセージがあるときは、LED が点滅します。
5. **LED 電源ランプ**
   製品の状態に応じて LED が点灯します。
   スリープモードになっている場合は、LED が点滅します。
6. **電源ボタン**

   を押して本製品の電源を入れます。

   を長押しして、 本製品の電源を切ります。画面上に［電源をオフにします］と表示され、数秒間経ってから製品の電源が切れます。

   を使って電源をオフにした場合、印刷品質を維持するために定期的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。プリントヘッドを長持ちさせ、インク効率を良くし、印刷品質を維持するため、本製品は常時電源に接続しておいてください。
7. **みるだけ受信ボタン／LED ランプ**
   「みるだけ受信」が設定されている場合、ファクスを受信すると LED が点滅して知らせます。ボタンを押すと、ファクスを見ることができます。
8. **ワンタッチボタン**
   よく使う機能の設定条件を登録し、ワンタッチで呼び出せるようにします。
   詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

関連情報

- 本製品のご案内

関連トピック：

- 近距離無線通信（NFC）による印刷
- ショートカットを登録する

タッチパネル画面の概要

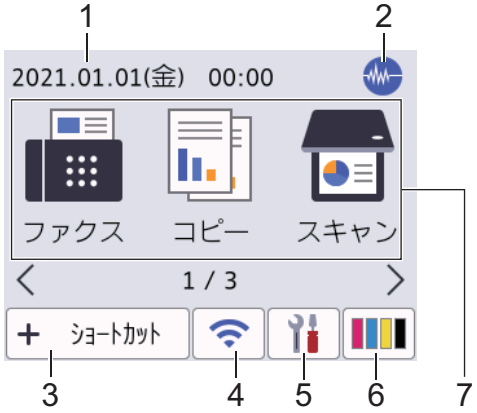
>> MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN
>> DCP-J4140N

MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

◀または▶を押すと、ホーム画面を切り替えることができます。

ホーム画面から、さまざまな設定にアクセスできます。

ホーム画面



製品が待機状態のとき、この画面に製品の状態が表示されます。この画面が表示されているとき、製品は次の操作の準備ができている状態です。

1. **日付と時刻**

   本製品に設定された日付と時刻が表示されます。

2. **静音モード**

   このアイコンは、[静音モード]が[オン]に設定されているときに表示されます。

   静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードがオンのときは、印刷速度が遅くなります。

3. **[ショートカット]**

   ファクス送信、コピー、スキャン、クラウド接続、お役立ちツールなど、よく使用する機能のショートカットを作成します。

- 3 つのショートカットタブを使うことができ、それぞれのタブに 6 つのショートカットを登録することができます。

- 画面下部に表示される を押すと、ホーム画面にアクセスできます。

4. **無線 LAN 状態**

   下記の表中の各アイコンは、無線ネットワークの状態を示しています。

	• お使いの製品は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに接続されていません。 このボタンを押して、無線設定を変更します。詳しい説明は「かんたん設置ガイド」をご覧ください。 • 無線設定が無効になっています。
	無線ネットワークに接続しています。 各ホーム画面に、3 段階表示で現在の無線信号の強さをあらわします。
	無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。

   無線 LAN 状態ボタンを押すと、無線設定をすることができます。

5. **[メニュー]**

   押すと[メニュー]にアクセスすることができます。

6. **[インク]**

   使用可能なインクの残量を表示します。押すと[インク]メニューにアクセスすることができます。

   インクカートリッジの寿命が近づくか、または問題が起きると、インクの各色にエラーアイコンが表示されます。

7. **モード：**

   各モードに切り替えるときに押します。

   [ファクス] / [コピー] / [スキャン] / [クラウド] / [お役立ちツール] / [メディア] / [年賀状アプリ] / [ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ] / [ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]

8. **お知らせアイコン**

   [ブラザーからのお知らせ]や[ファームウェア更新通知]を[オン]に設定すると、ブラザーからの新着情報が表示されます。

   (インターネット接続が必要となり、通信料がかかります。)

   を押すと詳細が表示されます。

9. **警告アイコン**

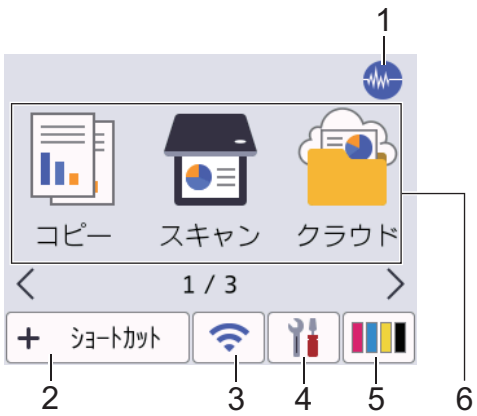
警告アイコン は、エラーまたはメンテナンスメッセージがあるときに表示されます。詳細を見るには を押し、 を押すとホーム画面に戻ります。

DCP-J4140N

◀または▶を押すと、ホーム画面を切り替えることができます。

ホーム画面から、さまざまな設定にアクセスできます。

ホーム画面



製品が待機状態のとき、この画面に製品の状態が表示されます。この画面が表示されているとき、製品は次の操作の準備ができている状態です。

1. **静音モード**

   このアイコンは、［静音モード］が［オン］に設定されているときに表示されます。

   静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードがオンのときは、印刷速度が遅くなります。

2. **［ショートカット］**

   コピー、スキャン、クラウド接続、お役立ちツールなど、よく使用する機能のショートカットを作成します。

- 3 つのショートカットタブを使うことができ、それぞれのタブに 6 つのショートカットを登録することができます。

- 画面下部に表示される ... を押すと、ホーム画面にアクセスできます。

3. **無線 LAN 状態**

   下記の表中の各アイコンは、無線ネットワークの状態を示しています。

	• お使いの製品は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに接続されていません。 このボタンを押して、無線設定を変更します。詳しい説明は「かんたん設置ガイド」をご覧ください。 • 無線設定が無効になっています。
	無線ネットワークに接続しています。 各ホーム画面に、3 段階表示で現在の無線信号の強さをあらわします。
	無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。

無線 LAN 状態ボタンを押すと、無線設定をすることができます。

4. **[メニュー]**

   [メニュー]メニューにアクセスすることができます。

5. **[インク]**

   使用可能なインクの残量を表示します。押すと[インク]メニューにアクセスすることができます。

   インクカートリッジの寿命が近づくか、または問題が起きると、インクの各色にエラーアイコンが表示されます。

6. **モード：**

   各モードに切り替えるときに押します。

   [コピー] / [スキャン] / [クラウド] / [お役立ちツール] / [メディア] / [年賀状アプリ] / [ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ] / [ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]

7. **お知らせアイコン**

[ブラザーからのお知らせ]や[ファームウェア更新通知]を[オン]に設定すると、ブラザーからの新着情報が表示されます。

(インターネット接続が必要となり、通信料がかかります。)

を押すと詳細が表示されます。

8. **警告アイコン**

警告アイコンは、エラーまたはメンテナンスメッセージがあるときに表示されます。詳細を見るにはを押し、を押すとホーム画面に戻ります。

関連情報

- 本製品のご案内

関連トピック：

- 待ち受け画面を設定する
- 印刷音を軽減する
- インク残量を確認する
- 設定画面の概要
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

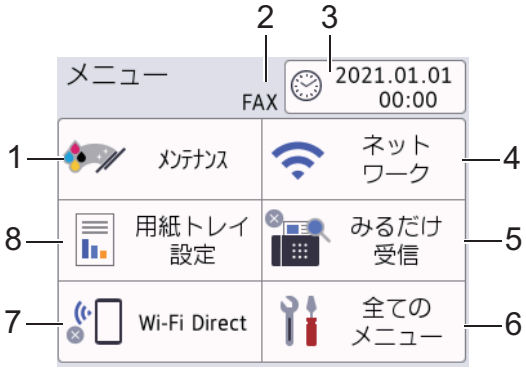
設定画面の概要

>> MFC-J4440N/MFC-J4540N
>> MFC-J4940DN
>> DCP-J4140N

MFC-J4440N/MFC-J4540N

[メニュー]を押すと、画面に本製品の状態が表示されます。

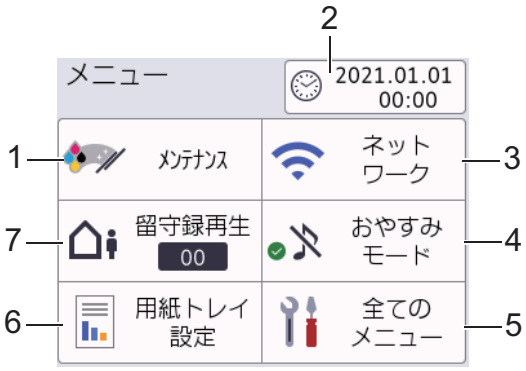
設定メニューでは、本製品のすべての設定ができます。



1. **[メンテナンス]**
   押して以下のメニューにアクセスします。
   - [印刷品質のチェックと改善]
   - [ヘッドクリーニング]
   - [給紙ローラーのクリーニング]
   - [インク残量]
   - [インクカートリッジ型番]
   - [印刷設定オプション]
   - [インクカートリッジ純正情報]
2. **受信モード**
   現在の受信モードを表示します。
3. **[時計セット]**
   日付と時刻を表示します。
   [時計セット]メニューにアクセスすることができます。
4. **[ネットワーク]**
   ネットワークを設定するときに押します。
   無線接続を使用している場合、3 段階表示が画面に表示され、現在の無線信号の強さをあらわします。
5. **[みるだけ受信]**
   みるだけ受信の設定を表示します。
   [みるだけ受信]メニューにアクセスすることができます。
6. **[全てのメニュー]**
   本製品のすべての設定のメニューにアクセスできます。
7. **[Wi-Fi Direct]**
   Wi-Fi Direct ネットワーク接続を設定するときに押します。
8. **[用紙トレイ設定]**
   [用紙トレイ設定]メニューにアクセスすることができます。
   これらのオプションを使用して、用紙のサイズとタイプを変更します。

MFC-J4940DN

[メニュー]を押すと、画面に本製品の状態が表示されます。

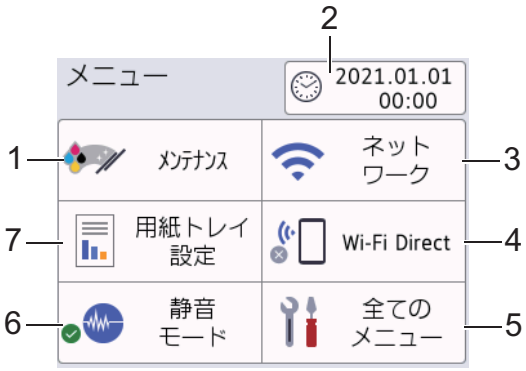


1. **[メンテナンス]**
   押して以下のメニューにアクセスします。
   - [印刷品質のチェックと改善]
   - [ヘッドクリーニング]
   - [給紙ローラーのクリーニング]
   - [インク残量]
   - [インクカートリッジ型番]
   - [印刷設定オプション]
   - [インクカートリッジ純正情報]
2. **[時計セット]**
   日付と時刻を表示します。
   [時計セット]メニューにアクセスすることができます。
3. **[ネットワーク]**
   ネットワークを設定するときに押します。
   無線接続を使用している場合、3 段階表示が画面に表示され、現在の無線信号の強さをあらわします。
4. **[おやすみモード]**
   おやすみモードを設定／解除するときに押します。
5. **[全てのメニュー]**
   本製品のすべての設定のメニューにアクセスできます。
6. **[用紙トレイ設定]**
   [用紙トレイ設定]メニューにアクセスすることができます。
   これらのオプションを使用して、用紙のサイズとタイプを変更します。
7. **[留守録再生]**
   録音された音声メッセージを確認することができます。

DCP-J4140N

[メニュー]を押すと、画面に本製品の状態が表示されます。

設定メニューでは、本製品のすべての設定ができます。



1. **[メンテナンス]**
   押して以下のメニューにアクセスします。
   - [印刷品質のチェックと改善]
   - [ヘッドクリーニング]
   - [給紙ローラーのクリーニング]
   - [インク残量]
   - [インクカートリッジ型番]
   - [印刷設定オプション]
   - [インクカートリッジ純正情報]
2. **[時計セット]**
   日付と時刻を表示します。
   [時計セット]メニューにアクセスすることができます。
3. **[ネットワーク]**
   ネットワークを設定するときに押します。
   無線接続を使用している場合、3 段階表示が画面に表示され、現在の無線信号の強さをあらわします。
4. **[Wi-Fi Direct]**
   Wi-Fi Direct ネットワーク接続を設定するときに押します。
5. **[全てのメニュー]**
   本製品のすべての設定のメニューにアクセスできます。
6. **[静音モード]**
   静音モードの設定を表示します。
   [静音モード]メニューにアクセスすることができます。
   メニューが[オン]に設定されている場合、ホーム画面にが表示されます。
7. **[用紙トレイ設定]**
   [用紙トレイ設定]メニューにアクセスすることができます。
   これらのオプションを使用して、用紙のサイズとタイプを変更します。

関連情報

- 本製品のご案内

関連トピック：

- タッチパネル画面の概要
- インク残量を確認する

タッチパネルの操作

指で画面上の ◀▶ または ▲▼ を押して、製品オプションを表示させてアクセスします。

重要

ペンや針等のとがったもので画面を押さないでください。製品が損傷するおそれがあります。

お願い

電源コードを差し込んだ直後、または電源を入れた直後は、すぐには画面に触らないでください。エラーを起こすおそれがあります。

本製品は ARPHIC TECHNOLOGY CO., LTD.のフォントを採用しています。

関連情報

- 本製品のご案内

待ち受け画面を設定する

待ち受け画面を[画面 1]、[画面 2]、[画面 3]、[ショートカット 1]、[ショートカット 2]または[ショートカット 3]画面に変更できます。

本製品が無操作で一定の時間が経過したり、 を押すと製品は設定した画面に戻ります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面設定] > [待機画面]を押します。
2. ▲または▼を押して、[画面 1]、[画面 2]、[画面 3]、[ショートカット 1]、[ショートカット 2]または[ショートカット 3]を表示し、使用したいオプションを選択します。
3. を押します。

   新しいホーム画面に切り替わります。

関連情報

- 本製品のご案内

関連トピック：

- タッチパネル画面の概要

機能の初期画面を設定する

画面設定を使用して、スキャンの初期画面を設定できます。

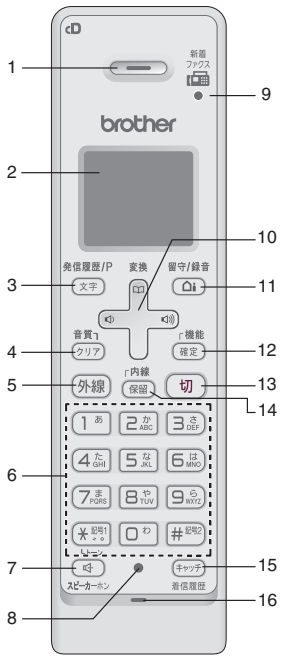
1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［画面設定］>［スキャン画面］を押します。
2. ▲または▼を押してスキャンオプションを表示し、初期画面として設定するオプションを選択します。
3. を押します。

関連情報

- 本製品のご案内

子機の操作パネル概要

関連モデル: MFC-J4940DN



1. **受話口**

   通話中に耳にあて、ここから声を聞きます。

2. **画面**

   子機の状態やメニュー項目、メッセージなどを表示します。

3. **再ダイヤル/ 発信履歴/ 文字切替/ポーズ入力ボタン**

   待機中

   最近かけた相手（最大 10 件）を検索し、ダイヤルします。

   文字入力中

   入力文字の種類（英・カナ・かな）を切り替えます。

   ダイヤル中/ 電話帳登録中

   ポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入力します。

   通話中

   「ツー音」が鳴っているときに押して、最後にかけた相手に発信します。（リダイヤル）

4. **クリア/ 音質ボタン**

   文字入力中

   文字を消去します。

   通話中

   相手の声の聞こえかたを調整することができます。長押しすると内緒話モードになり、小さい声での会話が可能になります。

   メニュー操作中

   [再生/消去]メニューおよび[留守番設定]メニューの操作中に押すと、1 つ前の画面に戻ることができます。

5. **外線ボタン**

   電話をかけるときや受けるときに押します。電話がかかってくると点滅します。

6. **ダイヤルパッド**

   ダイヤルするときや文字や記号を入力するときに押します。

   一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）に切り替えることができます。

7. **スピーカーホンボタン**

   子機を持たずに通話したいときに押します。通話中に押すと通常の通話に切り替わります。

8. **充電ランプ**

   充電中は点灯します。

9. **ファクス受信ランプ**

   ファクスを受信すると点滅して知らせます。

10. **マルチセレクトボタン**

    機能設定中

    「上下」を押して項目を選択します。

    電話帳ボタン

    待機中

    「上下」を押して電話帳を開きます。

    文字入力中

    「上下」を押すと漢字変換ができます。

    音量ボタン

    「左右」を押して着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整します。

    文字入力中

    カーソルを移動します。

11. **留守/ 録音ボタン**

    待機中（電話がかかってきたときに子機を取る前を含む）

    留守モードのオン/ オフを切り替えます。留守モードの解除時、留守中に入ったメッセージが自動的に再生されます。留守モード中は点灯、留守中に録音されたメッセージがあるときは点滅して知らせます。

    外線通話中

    会話の録音を開始します。

12. **機能/ 確定ボタン**

    待機中

    子機のメニュー操作（機能設定）を開始するときと、設定内容を確定するときに押します。

    着信中

    電話を取る前に押すと、相手と話さずに通話拒否（おことわり）ができます。

    通話中

    通話拒否（おことわり）またはファクス受信をするときに押します。

13. **切ボタン**

    電話を切るとき、メニュー操作を中止するときに押します。

14. **内線/ 保留ボタン**

    内線通話、外線保留にするときに押します。

15. **キャッチ/ 着信履歴ボタン**

    キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。

※これらの機能を利用するためには、電話会社とのキャッチホン機能およびナンバーディスプレイ機能の契約が必要となります。

16. マイク（送話口）

子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

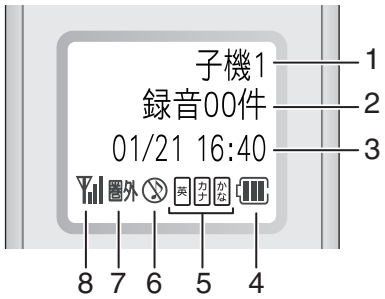
関連情報

- 本製品のご案内

子機の画面概要

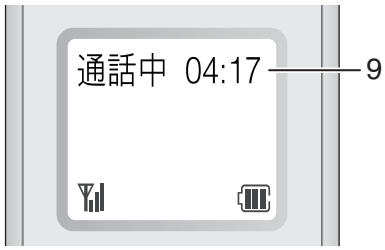
関連モデル: MFC-J4940DN

ー非接続中/各種設定中ー



※上図の表示は、すべてが同時に出るわけではありません。

ー外線接続中ー



1. **内線番号（子機名）**
2. **メモリー内の留守録メッセージおよび録音した会話の保存件数**
3. **日時表示**
4. **バッテリーの残量の目安**

   〈バッテリー残量の目安〉

   ：20%以上　　：20%未満
   ：10%未満　　：要充電
5. **現在入力できる文字の種類**

   文字種は 発信履歴/P 文字 を押して切り替えます。

   かな：**ひらがな（全角）**と、変換キーを使用することにより**漢字**および**記号**が入力できます。

   カナ：**カタカナ（半／全角）**および**記号**が入力できます。

   英：**アルファベット（大／小文字）**、**記号**および**数字**が入力できます。
6. **着信音量 OFF**

   着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
7. **圏外**

   電波の届かない場所にいるときに表示されます。
8. **電波状態**

   通話中の電波の状態を表示します。
9. **外線接続時間**

   外線接続時間の目安（相手につながってからの時間ではなく子機の 外線 を押してからの経過時間）を表示します。

関連情報

- 本製品のご案内

本製品にテキストを入力する

- 設定している機能によりキー配列が異なる場合があります。

本製品にテキストを入力する必要がある場合、画面にキーボードが表示されます。

- あアA1@を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。
- ⇧aAを押して小文字と大文字を選択します。
- カーソルを左右に動かすには、◀または▶を押します。

スペースを挿入する

- スペースを入力するには、[スペース]を押します。または、▶を押してカーソルを移動することもできます。

訂正する

- 誤った文字を修正する場合は、◀または▶を押して、誤った文字を反転表示します。⌫を押し、正しい文字を入力します。
- 文字を挿入するには、◀または▶を押し、カーソルを正しい場所まで移動してから文字を入力します。
- 1文字削除する場合は⌫を押します。すべての文字を削除する場合は⌫を長押しします。

関連情報

- 本製品のご案内

関連トピック：

- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）
- 発信履歴から電話帳に番号を登録する
- ナンバーディスプレイの着信履歴から電話帳に番号を登録する
- 同報送信のグループダイヤルの名前を変更する
- 発信元を登録する
- ショートカットを変更、または削除する

子機にテキストを入力する

関連モデル: MFC-J4940DN

ダイヤルパットを使って文字や数字を入力します。子機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

キー	ひらがな	カタカナ	英・数字
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	1 1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ ｶｷｸｹｺ	ａｂｃＡＢＣ２ abcABC2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ ｻｼｽｾｿ	ｄｅｆＤＥＦ３ defDEF3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ｇｈｉＧＨＩ４ ghiGHI4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ ﾅﾆﾇﾈﾉ	ｊｋｌＪＫＬ５ jklJKL5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ ﾊﾋﾌﾍﾎ	ｍｎｏＭＮＯ６ mnoMNO6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ ﾏﾐﾑﾒﾓ	ｐｑｒｓＰＱＲＳ７ pqrsPQRS7
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	ｔｕｖＴＵＶ８ tuvTUV8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ ﾗﾘﾙﾚﾛ	ｗｘｙｚＷＸＹＺ９ wxyzWXYZ9
0 わ	わをんー	ワヲンー ﾜｦﾝｰ	0 0
＊ 記号1 ゛゜ トーン	゛゜	゛゜ ﾞﾟ- ( ) / &	ー（）／& - ( ) / &
# 記号2	（空白）！？＠＃＊＋＄％., '" : ; ＿＝＜＞［］＾、。	（空白）！？＠＃＊＋＄％., '" : ; ＿＝＜＞［］＾、。 （空白）!?@#＊ +$%.,'":;_=<>[]^、。	（空白）！？＠＃＊＋＄％., '" : ; ＿＝＜＞［］＾、。 （空白）!?@#＊ +$%.,'":;_=<>[]^、。

- 入力した内容を確定させるには、機能 確定 を押します。
- 発信履歴/P 文字 を押して英数字、ひらがな、カタカナを切り替えます。
- 電話番号に「ポーズ」（約 3 秒の待ち時間）を入れる場合も、発信履歴/P 文字 を押します。
- 未確定のひらがなを漢字に変換するには、変換 を押します。

文字を変更する

- を押して、変更したい文字までカーソルを移動し、音質 クリア を押して文字を削除して、入力し直します。

スペースを入力する

- スペースを入力したい箇所にカーソルを合わせ、#を 1 回押します。文字確定後、次の文字の前にスペースをいれる場合は、を押します。

入力できる文字の種類や文字数

- 電話番号
  数字のみ入力可能（20 文字まで）
  電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
  入力したポーズは画面に「P」で表示されます。
- 読み仮名
  カタカナ、英・数字のみ入力可能（16 文字まで）
- 名前
  ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字、記号が入力可能（10 文字まで）

関連情報

- 本製品のご案内

Brother Utilities へのアクセス（Windows）

Brother Utilities は、お使いのパソコンにインストールされたブラザーアプリケーションに簡単にアクセスできるアプリケーションランチャーです。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
   - Windows 8.1

     スタート画面の左下にマウスを移動し、をクリックします（タッチ操作の端末の場合は、**スタート**画面を下から上にフリックし、**アプリ**画面を表示します）。

     アプリ が表示されたら、（**Brother Utilities**）をタップまたはクリックします。
   - Windows 7

     (スタート) > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
2. 本製品を選択します。

3. 利用する操作を選択します。

関連情報

- 本製品のご案内
  - ブラザーのソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows）

ブラザーのソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows）

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
   - Windows 8.1

     スタート画面の左下にマウスを移動し、をクリックします（タッチ操作の端末の場合は、**スタート**画面を下から上にフリックし、**アプリ**画面を表示します）。

     アプリ が表示されたら、（**Brother Utilities**）をタップまたはクリックします。
   - Windows 7

     (スタート) > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
2. ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**アンインストール**をクリックします。

   ダイアログボックスの指示に従い、ソフトウェアやドライバーをアンインストールします。

関連情報

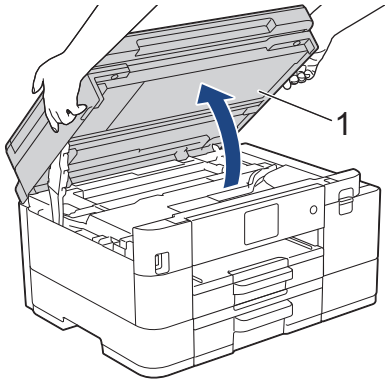
- Brother Utilities へのアクセス（Windows）

本製品の USB ケーブル / ネットワークケーブル の差し込み口の場所

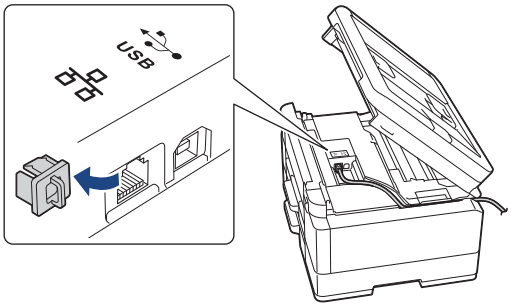
USB ケーブルとネットワークケーブルの差し込み口は、本製品の内部に配置されています。（ネットワークケーブルの差し込み口は特定のモデルでのみ使用できます）

本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

1. 本製品の両側にあるプラスチックの指掛け部に指をかけ、両手で本体カバー（1）を保持される位置まで持ち上げます。

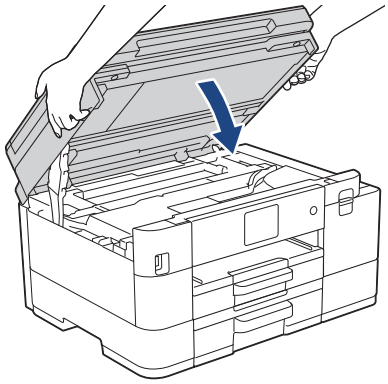


2. 図のように、本製品内部の（ご使用のケーブルに合った）正しい差し込み口を探します。



ケーブルを注意して溝におさめ、本製品の背面に引き出してください。

3. 両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じます。



関連情報

- 本製品のご案内

紙の取り扱い

- 用紙のセット
- 原稿のセット

用紙のセット

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に用紙をセットする
- 手差しトレイに用紙をセットする
- 印刷できない範囲
- 用紙設定
- 使用可能な印刷用紙について
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に用紙をセットする

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に A4 用紙や写真紙、はがきをセットする
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 にリーガルサイズの用紙をセットする
- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする

用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に A4 用紙や写真紙、はがきをセットする

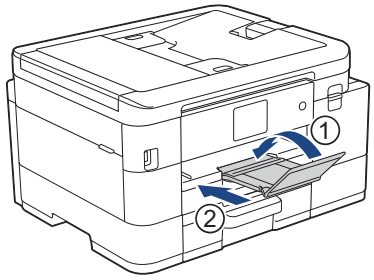
- ［トレイ確認］設定が［オン］に設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出すと、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- 種類の異なる用紙を一度に同じ用紙トレイにセットしないでください。
- 異なるサイズの用紙をセットした場合、本製品かお持ちのパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。

  （MFC-J4540N）トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適なトレイから給紙されます。
- 用紙トレイ#2 では普通紙のみ使用できます。（MFC-J4540N）

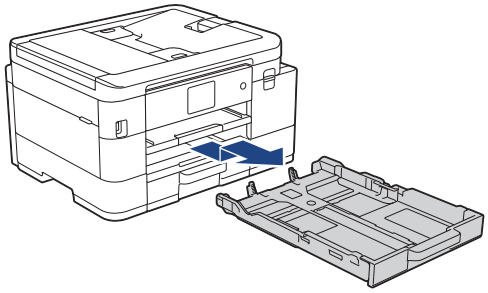
ここでは、用紙トレイ#1 への用紙のセット方法を説明します。

- （MFC-J4540N）用紙トレイ#2 へのセットも同様に行えます。

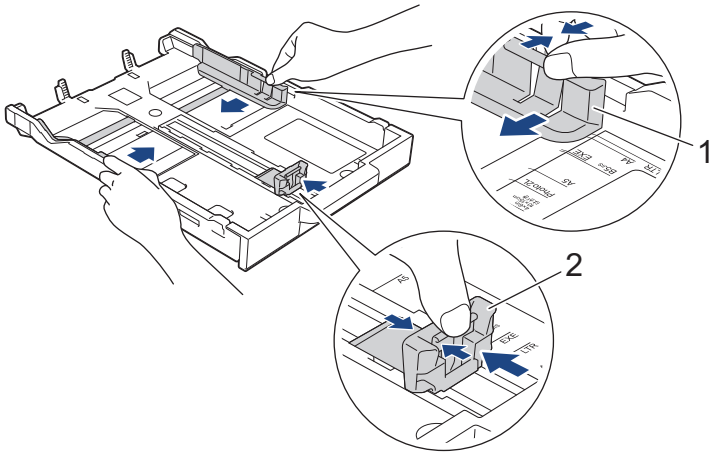
1. 排紙ストッパー（1）が開いている場合は、ストッパーを閉じてから、排紙トレイ（2）を閉じます。



2. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



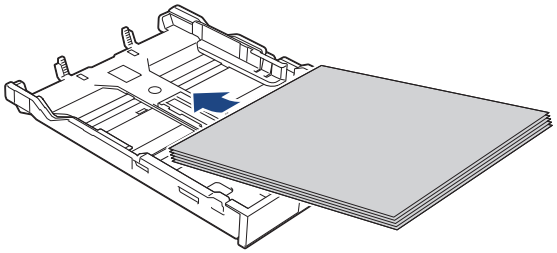
3. 用紙サイズに合わせて、用紙幅ガイド（1）と用紙長さガイド（2）を軽く押してスライドさせます。



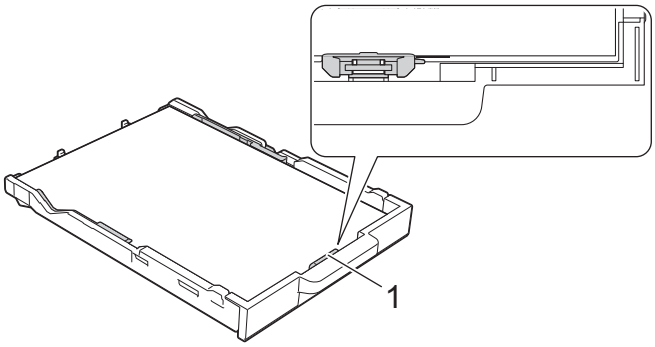
4. 紙詰まりや給紙不良を防ぐために、用紙をよくさばきます。

用紙がカールしていないこと、しわがないことを常に確認してください。

5. 印刷したい面を**下**にして、用紙を丁寧に用紙トレイにセットします。



用紙がトレイに平らにセットされており、用紙長さガイド（1）が用紙の端に当たっていることを確認します。

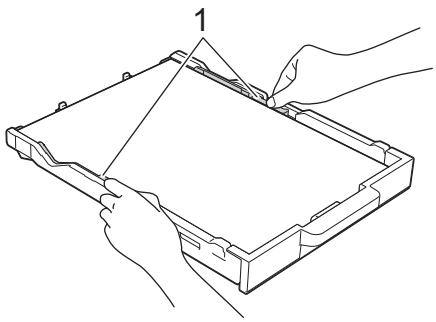


重要

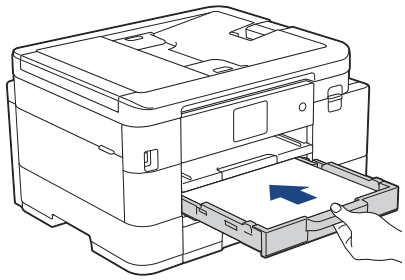
- 用紙を奥まで押し込まないように注意してください。用紙がトレイの奥で持ち上がり、給紙の問題が発生する場合があります。
- 20 枚を超える写真用紙をセットすると、紙詰まりを起こすおそれがあります。

トレイが空になる前に用紙を追加するときは、トレイから用紙を取り出し、追加する用紙を重ねます。重送を防ぐために、常に用紙をよくさばいてください。

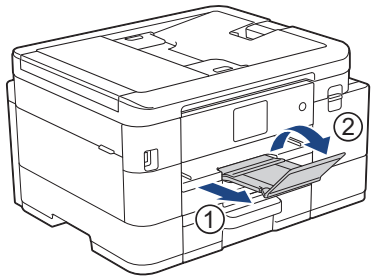
6. 用紙に合わせて用紙幅ガイド（1）を丁寧に調整します。
   用紙幅ガイドが用紙の端に当たっていることを確認します。



7. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。



8. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。



関連情報

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に用紙をセットする

関連トピック：

- トレイ確認の設定を変更する
- 正しい印刷用紙を選択する
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する

用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 にリーガルサイズの用紙をセットする

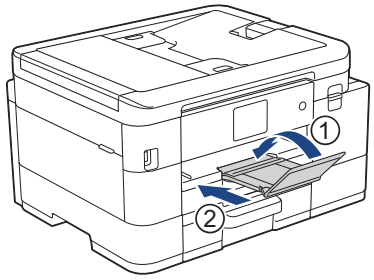
- ［トレイ確認］設定が［オン］に設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出すと、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- 種類の異なる用紙を一度に同じ用紙トレイにセットしないでください。
- 異なるサイズの用紙をセットした場合、本製品かお持ちのパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。

  トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適なトレイから給紙されます。
- 用紙トレイ#2 では普通紙のみ使用できます。（MFC-J4540N）

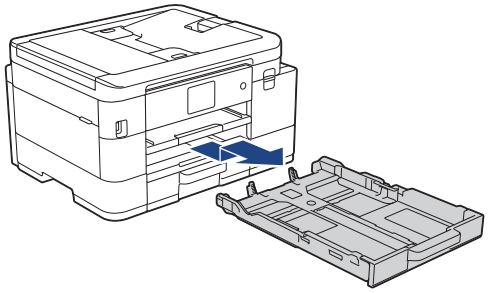
ここでは、用紙トレイ#1 への用紙のセット方法を説明します。

- （MFC-J4540N）用紙トレイ#2 へのセットも同様に行えます。

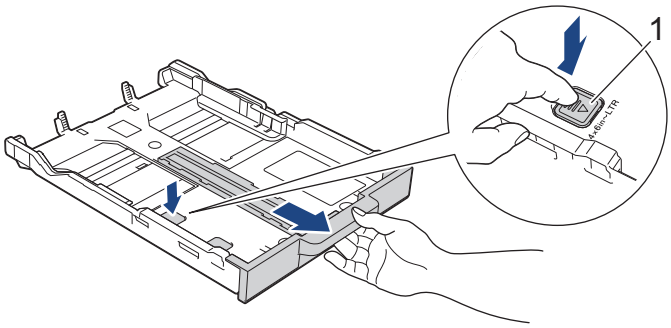
1. 排紙ストッパー（1）が開いている場合は、ストッパーを閉じてから排紙トレイ（2）を閉じます。

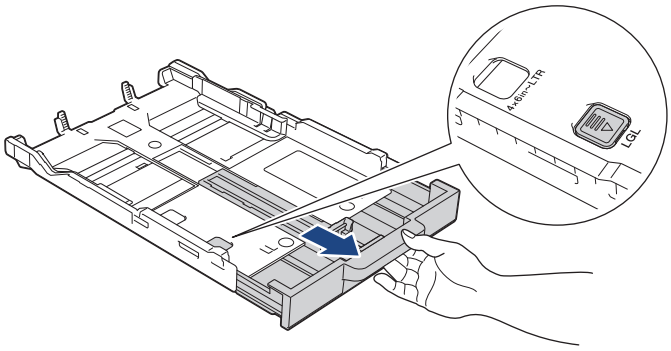


2. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。

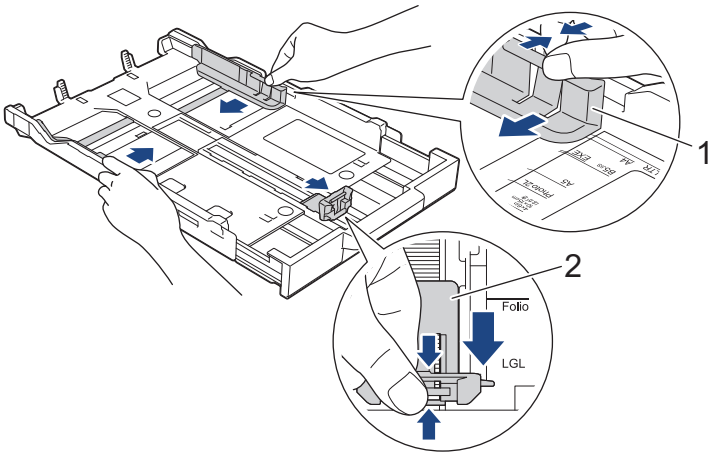


3. 用紙トレイ拡張ボタン（1）を押し、用紙トレイ拡張ボタンが LGL と表示されている穴にロックされるまで用紙トレイを引き出します。





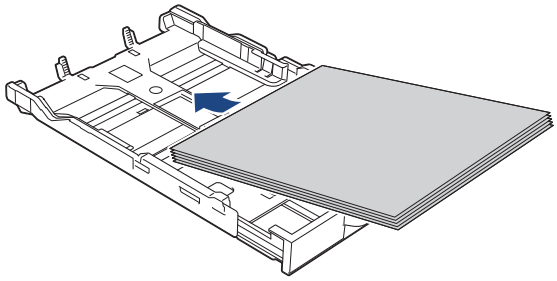
4. 用紙サイズに合わせて、用紙幅ガイド（1）と用紙長さガイド（2）を軽く押してスライドさせます。



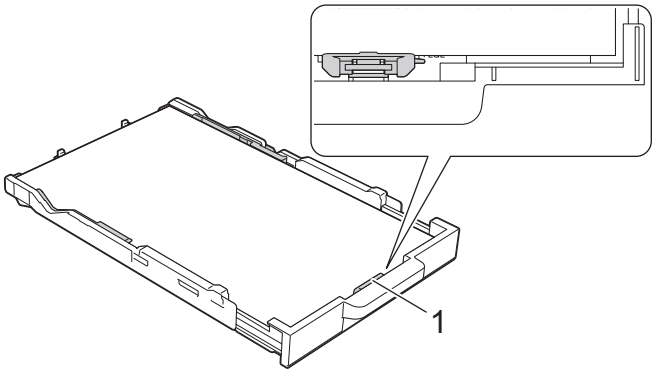
5. 紙詰まりや給紙不良を防ぐために、用紙をよくさばきます。

用紙がカールしていないこと、しわがないことを常に確認してください。

6. 印刷したい面を**下にして**、用紙を丁寧に用紙トレイにセットします。



用紙がトレイに平らにセットされており、用紙長さガイド（1）が用紙の端に当たっていることを確認します。

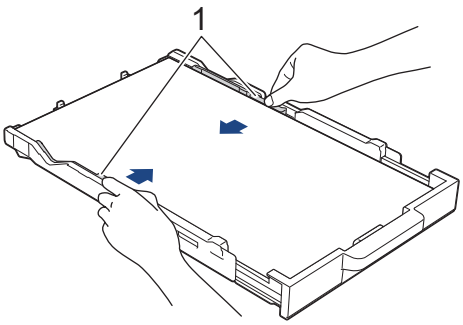


重要

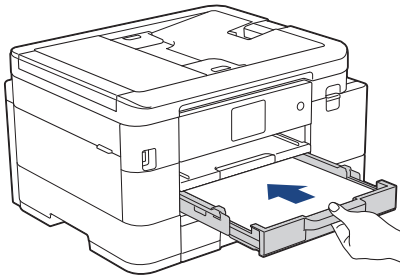
用紙を奥まで押し込まないように注意してください。用紙がトレイの奥で持ち上がり、給紙の問題が発生する場合があります。

トレイが空になる前に用紙を追加するときは、トレイから用紙を取り出し、追加する用紙を重ねます。重送を防ぐために、常に用紙をよくさばいてください。

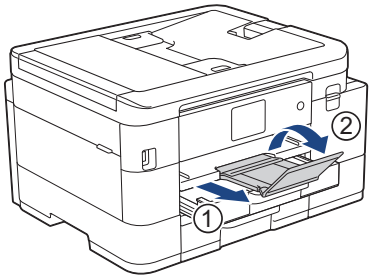
7. 用紙に合わせて用紙幅ガイド（1）を丁寧に調整します。
   用紙ガイドが用紙の端に当たっていることを確認します。



8. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。



9. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。

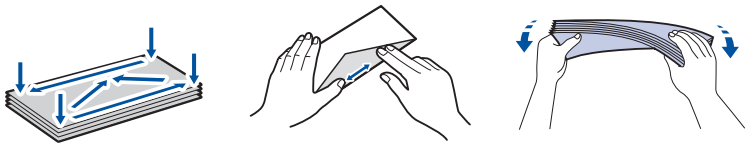


関連情報

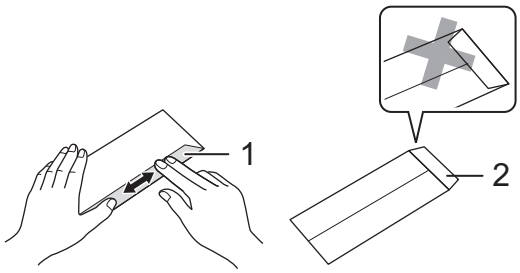
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に用紙をセットする

用紙トレイ#1 に封筒をセットする

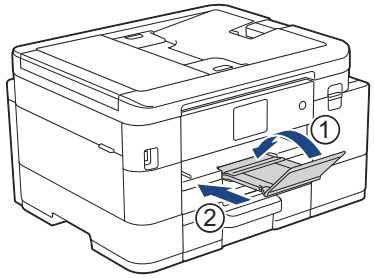
- [トレイ確認]設定が[オン]に設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出すと、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- さまざまなサイズの封筒をセットできます。「関連情報」をご覧ください： 使用できる用紙
- トレイに封筒をセットする場合、本製品またはパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。
  トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適な用紙トレイから給紙されます。（MFC-J4540N）
- 封筒の角や側面を押して平らにしてからトレイにセットします。



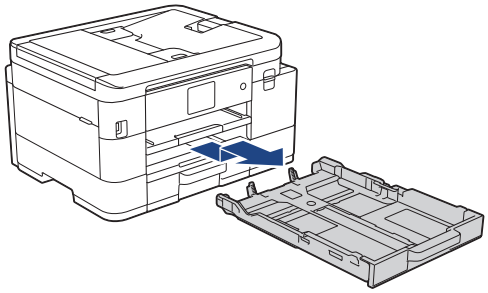
- 長辺に付いたふた（1）はしっかり折りたたんでください。短辺に付いたふた（2）は折りたたまないでください。



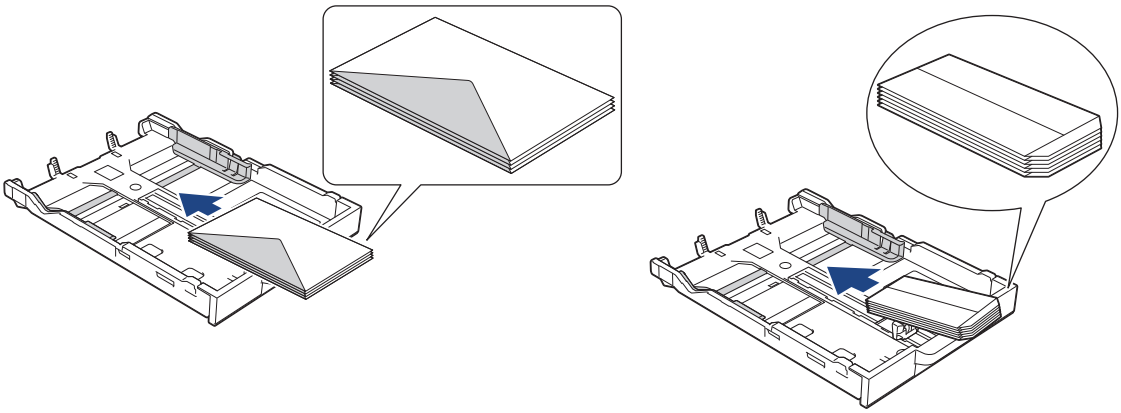
1. 排紙ストッパー（1）が開いている場合は、ストッパーを閉じてから、排紙トレイ（2）を閉じます。



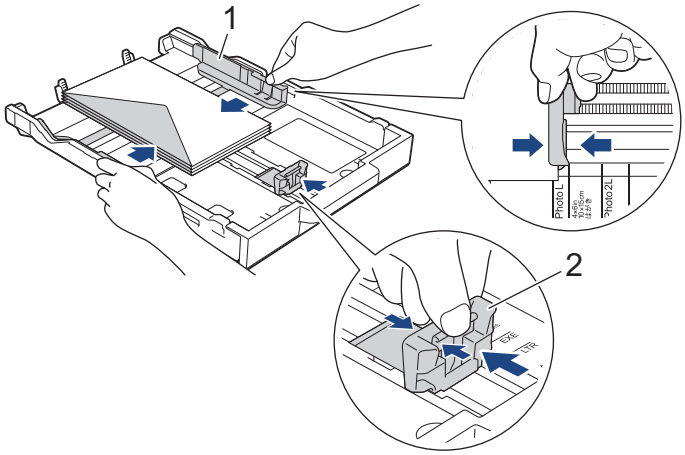
2. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



3. 印刷したい面を**下**にして、最大 10 枚の封筒を用紙トレイにセットします。 10 枚を超える封筒をセットすると、紙詰まりを起こすおそれがあります。



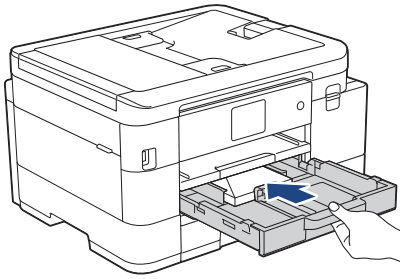
4. 封筒のサイズに合わせて、用紙幅ガイド（1）と用紙長さガイド（2）を軽く押してスライドさせます。
   封筒がトレイに平らにセットされていることを確認します。



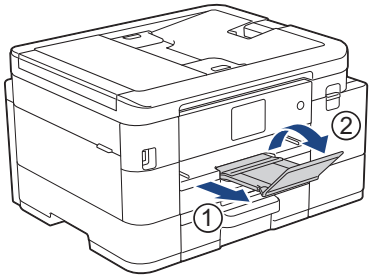
重要

封筒が重なって給紙される場合は、用紙トレイに封筒を 1 枚ずつセットしてください。

5. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。



6. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。



関連情報

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に用紙をセットする

関連トピック：

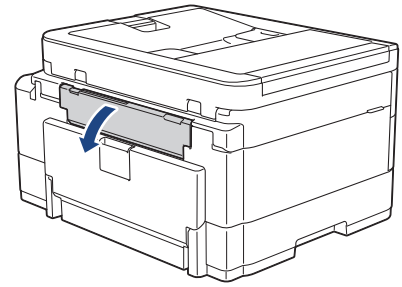
- トレイ確認の設定を変更する
- 正しい印刷用紙を選択する
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- 使用できる用紙

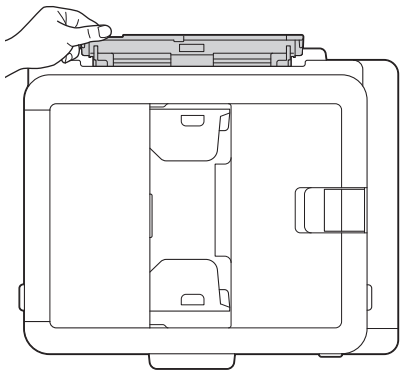
手差しトレイに用紙をセットする

このトレイにセットできる用紙は一度に **1 枚**のみです。

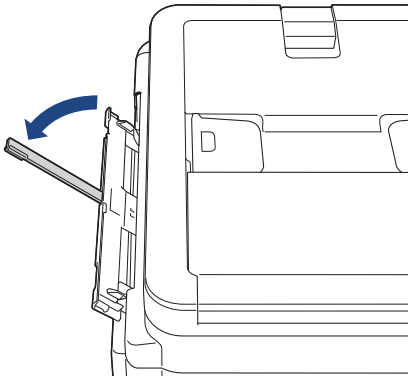
手差しトレイに用紙をセットすると、本製品は自動で手差しモードに切り替わります。

1. 手差しトレイのカバーを開けます。

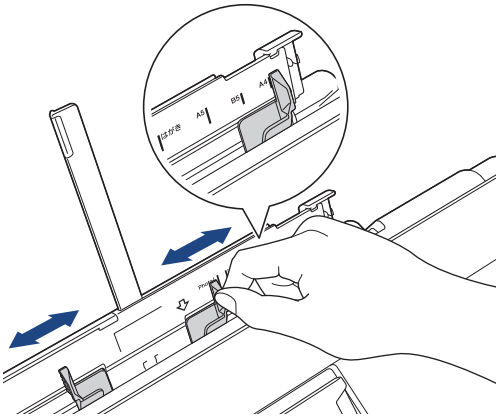




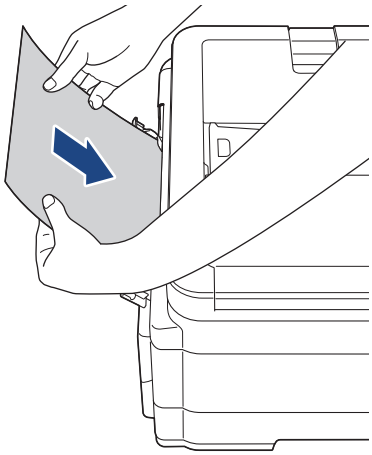
2. 用紙サポーターを持ち上げます。

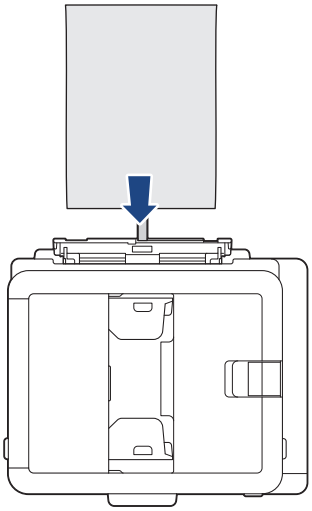


3. 使用する用紙サイズの幅に合わせて、手差しトレイの用紙ガイドを調整します。

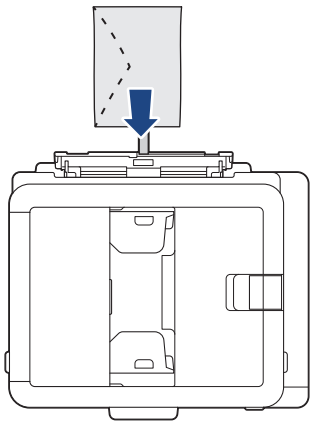


4. 印刷したい面を**上**にして、**用紙を 1 枚**だけ手差しトレイにセットします。





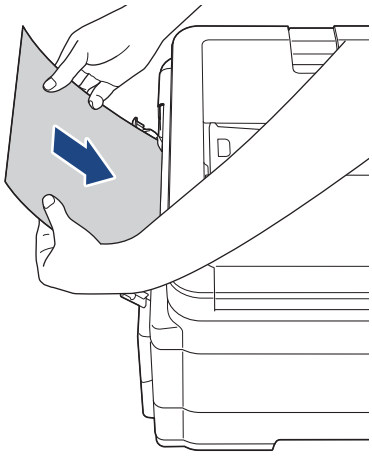
封筒を使用する場合は、印刷したい面を**上に**し、イラストのようにふたが左側にくるようにセットします。



重要

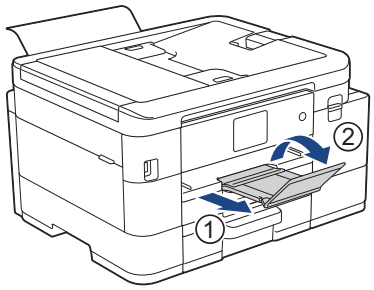
- 手差しトレイには、一度に **2 枚以上**の用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になる場合があります。複数ページを印刷するときは、次の用紙をセットするよう促すメッセージが画面に表示されるまで、次の用紙をセットしないでください。
- 用紙トレイから印刷するときは、手差しトレイに用紙をセットしないでください。 紙詰まりの原因になる場合があります。

5. **1 枚の用紙を**両手で手差しトレイに挿入し、用紙の先端が給紙ローラーに当たるまで差し込みます。本製品が用紙を引き込むのを感じたら、用紙から手を放してください。画面に［手差しトレイ 用紙セット］と表示されます。画面のメッセージに従います。



封筒、または厚みのある用紙を給紙するときは、給紙ローラーが用紙を引き込むのを感じるまで、手差しトレイに差し込んでください。

6. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。



- 原稿が 1 枚の用紙に収まりきらないときは、画面にもう 1 枚用紙をセットするように表示されます。手差しトレイにもう 1 枚用紙をセットし、画面に表示される指示に従います。
- 手差しトレイのカバーを閉じる前に、印刷が終わっていることを確認してください。
- 手差しトレイに用紙をセットすると、常に手差しトレイから印刷されます。
- テストページやレポートなどの印刷中は、手差しトレイにセットされた用紙は排出されます。
- クリーニング中は、手差しトレイにセットされた用紙は排出されます。クリーニングが完了するのを待ってから、手差しトレイに用紙をセットします。

関連情報

- 用紙のセット

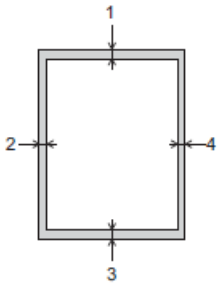
関連トピック：

- 正しい印刷用紙を選択する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

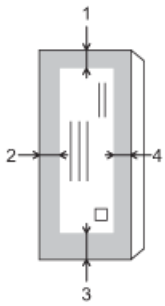
印刷できない範囲

印刷できない範囲は、お使いのアプリケーションの設定によって異なります。下図ではカット紙と封筒の印刷できない範囲をあらわしています。ふちなし印刷機能が有効になっている場合、本製品はカット紙の網掛け部分に印刷ができます。

カット紙



封筒



	上部（1）	左（2）	下部（3）	右（4）
カット紙	3mm	3mm	3mm	3mm
封筒	12mm	3mm	12 mm	3mm

ふちなし印刷機能は封筒と両面印刷では利用できません。

関連情報

- 用紙のセット

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

用紙設定

- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- トレイ確認の設定を変更する
- サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する

用紙サイズと用紙タイプを変更する

用紙サイズと用紙タイプを用紙トレイに設定します。

- 使用している用紙タイプを本製品に設定することで、高い印刷品質を得ることができます。
- トレイにセットする用紙のサイズを変更した場合、同時に画面で用紙サイズ設定を変更する必要があります。

1. （MFC-J4540N） [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] を押します。
2. （DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4940DN） [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] を押します。
3. （MFC-J4540N）▲または▼を押してトレイオプションを表示させ、使用したいオプションを押します。
4. [用紙タイプ] を押します。
5. ▲または▼を押して用紙タイプオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。

- トレイ#2 では普通紙のみをご使用ください。（MFC-J4540N）

6. [用紙サイズ] を押します。
7. ▲または▼を押して用紙サイズオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。
8. を押します。

用紙は、印刷面を上にして、本製品の前面の用紙トレイの上に排出されます。光沢紙を使用する場合は、汚れや紙詰まりを防ぐために、用紙が排紙されたらすぐに取り除いてください。

関連情報

- 用紙設定

関連トピック：

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に A4 用紙や写真紙、はがきをセットする
- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする
- 使用可能な印刷用紙について
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

トレイ確認の設定を変更する

この設定が［オン］に設定されているときに、用紙トレイを取り出すと、用紙サイズと用紙タイプの設定を変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。

お買い上げ時の設定は［オン］です。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］を押します。
2. ［用紙トレイ設定］を押します。（MFC-J4540N）
3. ▲または▼を押して［トレイ確認］オプションを表示させ、それを押します。
4. ［オン］または［オフ］を押します。
5. を押します。

関連情報

- 用紙設定

関連トピック：

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に A4 用紙や写真紙、はがきをセットする
- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

使用可能な印刷用紙について

印刷品質は使用する用紙の種類に影響を受けます。

印刷品質保持のため、ご使用の用紙タイプを毎回正しく設定してください。

普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙、再生紙、封筒を使用できます。

用紙を大量に購入する前に、様々な種類の用紙を試してみることをお勧めします。

印刷品質保持のため、ブラザー専用紙をご利用ください。

- インクジェット紙（コート紙）や光沢紙に印刷するときは、プリンタードライバー、印刷に使用するアプリケーションまたは本製品の用紙タイプ設定で正しい印刷用紙が選択されていることを確認してください。
- 写真用紙に印刷するときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多く用紙トレイにセットしてください。
- 写真用紙を使用する場合は、汚れや紙詰まりを避けるため、用紙が排紙されたらすぐに取り出してください。
- 印刷直後は印刷面が完全に乾ききっておらず、インクで汚れる可能性があるため、印刷面に触れないようにしてください。

関連情報

- 用紙のセット
  - 推奨紙
  - 印刷用紙の取り扱い
  - 正しい印刷用紙を選択する

関連トピック：

- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

推奨紙

最高の印字品質のため、表に記載されている用紙を使用することを推奨しています。

ブラザー専用紙

用紙タイプ（サイズ）	型番	枚数
上質普通紙（A4）	BP60PA	250 枚入り
写真光沢紙（A4）	BP71GA4	20 枚入り
写真光沢紙（L 判）	BP71GLJ50	50 枚入り
	BP71GLJ100	100 枚入り
	BP71GLJ300	300 枚入り
	BP71GLJ500	500 枚入り
インクジェット紙（マット仕上げ）（A4）	BP60MA	25 枚入り

関連情報

- 使用可能な印刷用紙について

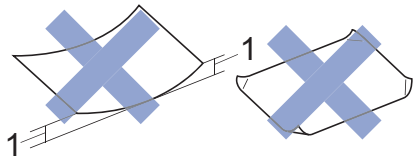
印刷用紙の取り扱い

- 印刷用紙は購入時のパッケージに封をして保管してください。平らな場所に置いて、多湿、直射日光、高温を避けてください。
- 写真用紙の光沢のある面には触れないでください。
- 封筒によってアプリケーション上で余白の設定が必要な場合があります。大量の封筒に印刷する前に、試し印刷を行ってください。

重要

以下のような印刷用紙は使わないでください：

- 破損している、カールしている、しわがある、特殊な形状をしている



1. **2mm 以上カールしていると、紙詰まりを起こす可能性があります。**

- 過度に光沢がある、表面のざらつきが強い
- 束ねた時にきれいにまとまらない
- 横目紙

以下のような封筒は使わないでください。

- 作りがしっかりしていない封筒
- 窓付き封筒
- エンボス加工がされたもの
- 留め金やホチキスで閉じてある封筒
- 内側に印刷がほどこされているもの
- ふたにのりが付いているもの
- 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

ふたにのりが付いている封筒　二重封筒

使用する封筒の厚さ、サイズ、ふたの形状が原因で給紙の問題が発生する場合があります。

関連情報

- 使用可能な印刷用紙について

関連トピック：

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に用紙をセットする

正しい印刷用紙を選択する

- 使用できる用紙
- 用紙トレイにセットできる用紙の容量
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2 に A4 用紙や写真紙、はがきをセットする
- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする
- 手差しトレイに用紙をセットする

使用できる用紙

用紙タイプ	用紙サイズ		用途			
			ファクス [1]	コピー	ダイレクト印刷	プリンター
カット紙	A4	210 x 297mm	○	○	○	○
	レター	215.9 x 279.4mm	-	-	-	○
	リーガル	215.9 x 355.6mm	-	-	-	○
	B5（JIS）	182 x 257mm	-	○	-	○
	B6（JIS）	128 x 182mm	-	-	-	○
	A5	148 x 210mm	-	○	-	○
	A6	105 x 148mm	-	-	-	○
はがき	はがき（普通紙、インクジェット紙、光沢紙） [2]	100 x 148mm	-	○	○	○
	往復はがき（折っていないもの） [3]	148 x 200mm	-	-	-	○
カード	ポストカード	101.6 x 152.4mm	-	-	-	○
	L 判	89 x 127mm	-	○	○	○
	2L 判	127 x 178 mm	-	○	○	○
	インデックスカード	127 x 203.2mm	-	-	-	○
封筒	長形 3 号封筒	120 x 235mm	-	-	-	○
	長形 4 号封筒	90 x 205mm	-	-	-	○
	洋形 2 号封筒	114 x 162mm	-	-	-	○
	洋形 4 号封筒	105 x 235mm	-	-	-	○
	Com-10 封筒	104.7 x 241.3mm	-	-	-	○
	DL 封筒	110 x 220mm	-	-	-	○

1 MFC モデルのみ。

2 インクジェット紙はがきと写真用光沢はがきは自動両面印刷できません。各種年賀状ソフトをお使いの時のみ、はがき自動両面印刷ができます。詳しくは support.brother.co.jp をご確認ください。
普通紙はがきは自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。

3 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがあります。

関連情報

- 正しい印刷用紙を選択する

関連トピック：

- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする

用紙トレイにセットできる用紙の容量

	用紙サイズ	用紙の種類	枚数	重さ	厚み
用紙トレイ 1	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、B6（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、Com-10、DL 封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒	普通紙、再生紙	150 [1]	64～120g/m²	0.08～0.15mm
		インクジェット紙	20	64～200g/m²	0.08～0.25mm
		光沢紙 [2]	20	最大 220g/m²	最大 0.25mm
		写真用光沢はがき	20	最大 220g/m²	最大 0.25mm
		普通はがき、インクジェットはがき、往復はがき（折っていないもの）	50 [3]	最大 220g/m²	最大 0.25mm
		インデックスカード	30	最大 120g/m²	最大 0.15mm
		封筒	10	80～95g/m²	最大 0.52mm
用紙トレイ 2 (MFC-J4540N)	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5	普通紙、再生紙	250 [1]	64～120g/m²	0.08～0.15mm
手差しトレイ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、B6（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、Com-10、DL 封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒	普通紙、再生紙	1	64～120g/m²	0.08～0.15mm
		インクジェット紙	1	64～200g/m²	0.08～0.25mm
		光沢紙	1	最大 300g/m²	最大 0.30mm
		写真用光沢はがき	1	最大 220g/m²	最大 0.25mm
		普通はがき、インクジェットはがき、往復はがき（折っていないもの）	1	最大 220g/m²	最大 0.25mm
		インデックスカード	1	最大 120g/m²	最大 0.15mm
		封筒	1	80～95g/m²	最大 0.52mm

1 80g/m² の用紙の目安です。

2 ブラザー BP71 写真光沢紙の坪量は 260g/m2 ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

3 厚さ 0.23mm の用紙の目安です。

関連情報

- 正しい印刷用紙を選択する

原稿のセット

- 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- 読み取りできない範囲

自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）は、複数枚の原稿をセットして 1 枚ずつ送ることができます。

表内に記載されているサイズや坪量の範囲内の用紙をご使用ください。ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットする前に、原稿をよくさばきます。

原稿のサイズと坪量

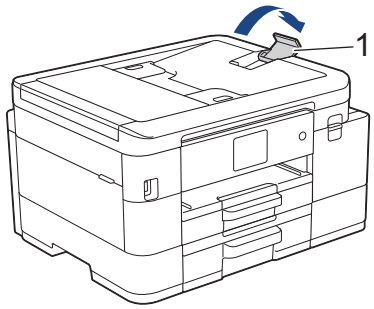
長さ[1]：	148～355.6mm
幅：	148～215.9mm
坪量：	64～90g/m²

[1] 297 mm より長い原稿は、1 枚ずつ送る必要があります。

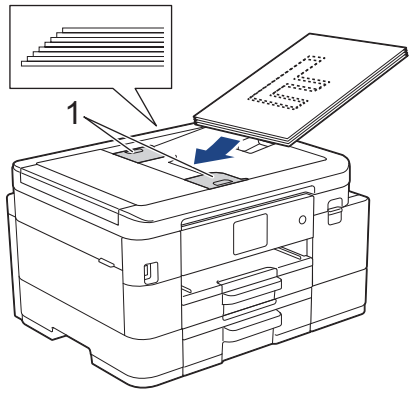
重要

- 原稿が送られている間は引っぱらないでください。
- カールした用紙、しわのある用紙、折ってある用紙、破れた用紙、ホチキスで閉じてある用紙、クリップの付いた用紙、のりが付いた用紙、またはテープが付いた用紙は使わないでください。
- ボール紙、新聞紙、または布は使わないでください。
- 原稿の修正液またはインクが完全に乾いたことを確認してください。

1. ADF(自動原稿送り装置)原稿トレイ（1）を持ち上げて開きます。



2. 紙詰まりや給紙不良を防ぐために、用紙をよくさばきます。
3. 用紙ガイド（1）を原稿のサイズに合うように調整します。



4. ADF（自動原稿送り装置）の用紙ガイドの下に、原稿の**読み取りたい面を下**にして、**用紙の先端**がローラーに当たり、画面に [原稿セット OK] と表示される位置まで原稿を差し込みます。

重要

原稿台ガラスに原稿を置いたままにしないでください。ADF(自動原稿送り装置)に紙が詰まる場合があります。

関連情報

- 原稿のセット

関連トピック：

- コピーする
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 電話とファクスの問題
- その他の問題

原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスを使用して、1 ページずつファクス、コピー、またはスキャンします。

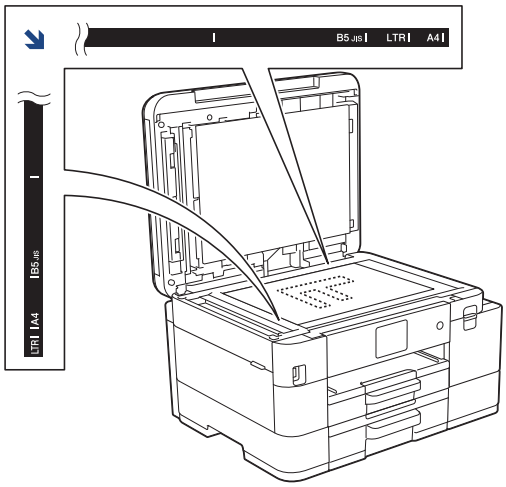
対応用紙サイズ

長さ：	最大 297mm
幅：	最大 215.9mm
重さ：	最大 2kg

（ADF（自動原稿送り装置）対応モデル）

原稿台ガラスを使用するには、ADF（自動原稿送り装置）から原稿を取り除き、ADF 原稿トレイを閉じてください。

1. 原稿台カバーを持ち上げます。
2. イラストのように、原稿の読み取りたい面を**下**にして、原稿台ガラスの左奥に合わせてセットします。



3. 原稿台カバーを閉じます。

重要

本や厚みのある原稿をスキャンする場合は、原稿台カバーを無理に閉じたり、強く押さえたりしないでください。

関連情報

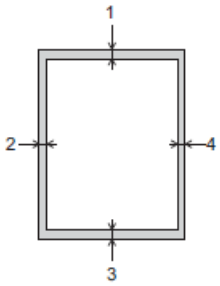
- 原稿のセット

関連トピック：

- コピーする
- 電話とファクスの問題
- その他の問題

読み取りできない範囲

読み取りできない範囲は、お使いのアプリケーションの設定によって異なります。下記の数字は、代表的な読み取りできない範囲です。



使用状況	原稿サイズ	上部（1） 下部（3）	左（2） 右（4）
ファクス	A4	3mm	3mm [1]
	US レター		4mm
	リーガル		
コピー	全用紙サイズ	3mm	3mm
スキャン		1mm	1mm

1 ADF(自動原稿送り装置)をお使いの場合、読み取りできない範囲は 1mm です。

関連情報

- 原稿のセット

印刷

- パソコンから印刷する（Windows）
- パソコンから印刷する（Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）
- USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする
- E メールの添付ファイルを印刷する

パソコンから印刷する（Windows）

- 写真を印刷する（Windows）
- 文書を印刷する（Windows）
- 印刷ジョブをキャンセルする（Windows）
- 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows）
- ポスターとして印刷する（Windows）
- 自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows）
- 自動で小冊子として印刷する（Windows）
- カラー文書をモノクロで印刷する（Windows）
- にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows）
- おまかせ印刷設定を使用する（Windows）
- 初期値の印刷設定を変更する（Windows）
- 印刷設定（Windows）

写真を印刷する（Windows）

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. 用紙トレイに正しい用紙をセットしているか確認します。

   重要

   - 印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。
   - 写真用紙に印刷するときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多く用紙トレイにセットしてください。
4. **基本設定**タブをクリックします。
5. **用紙種類** のリストからお使いになる用紙の種類を選択します。

   重要

   印刷品質保持のため、ご使用の**用紙種類**を毎回正しく設定してください。
6. **用紙サイズ**のリストから用紙サイズを選択します。
7. 必要に応じて、**ふちなし印刷** のチェックボックスを選択します。
8. **カラー/モノクロ**設定で、**カラー**を選択します。
9. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

10. **部数**欄に、印刷したい部数（1～999 部）を入力します。
11. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
12. **OK** をクリックします。
13. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

文書を印刷する（Windows）

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
4. **基本設定**タブをクリックします。
5. **用紙種類** のリストからお使いになる用紙の種類を選択します。

   重要

   印刷品質保持のため、ご使用の**用紙種類**を毎回正しく設定してください。
6. **用紙サイズ**のリストから用紙サイズを選択します。
7. **カラー/モノクロ**で、**カラー**または**モノクロ**オプションを選択します。
8. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。
9. **部数**欄に、印刷したい部数（1～999 部）を入力します。
10. 複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときは、**レイアウト** のリストからお好みの設定を選択します。
11. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
12. **OK** をクリックします。
13. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- インク残量を確認する
- 印刷設定（Windows）

印刷ジョブをキャンセルする（Windows）

印刷キュー（印刷待ちジョブリスト）に送られた印刷ジョブを印刷しなかったり、印刷キューへの送信時にエラーが発生した場合、他の印刷ジョブを印刷するために、印刷されていないジョブを削除する必要があります。

1. タスクトレイのプリンターアイコン をダブルクリックします。
2. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
3. **ドキュメント**メニューをクリックします。
4. **キャンセル**を選択します。
5. **はい**をクリックします。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows）

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

5. **レイアウト**のリストから **2 ページ**、**4 ページ**、**9 ページ**、または **16 ページ**を選択します。
6. **ページの順序**のリストからページの順序を選択します。
7. **仕切り線**のリストから仕切り線のタイプを選択します。
8. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
9. **OK** をクリックし、印刷操作を完了します。

関連情報

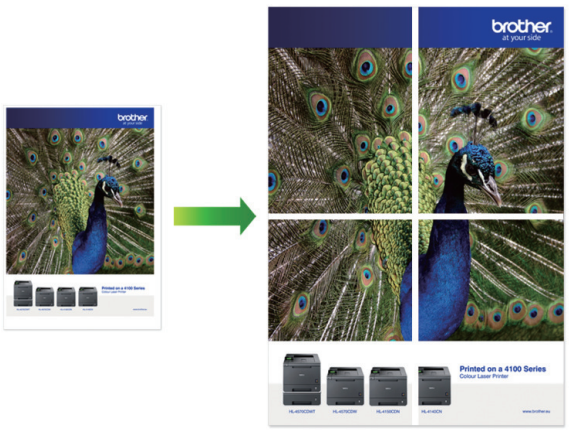
- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

ポスターとして印刷する（Windows）

印刷サイズを拡大してポスターモードで文書や画像を印刷します。



1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **レイアウト**のリストから**縦 2 x 横 2 倍**または**縦 3 x 横 3 倍**を選択します。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。

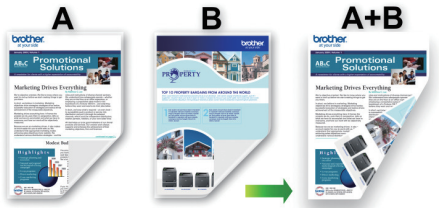
関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows）

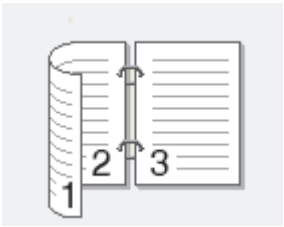


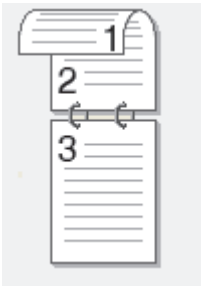
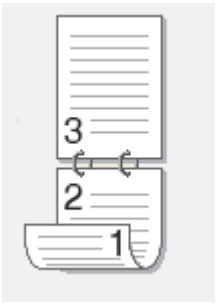
- 紙詰まり解除カバーが閉まっていることを確認します。
- 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。
- 普通紙を使用します。ボンド紙は使用しないでください。
- 用紙が薄いと、しわになることがあります。

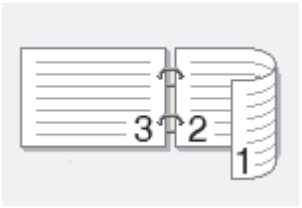
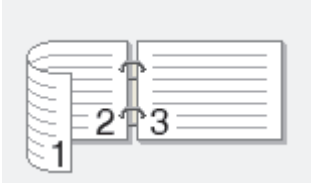
1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

5. **両面印刷/小冊子印刷**ドロップダウンリストをクリックし、**両面印刷**を選択します。
6. **両面印刷設定**ボタンをクリックします。
7. **とじ方**メニューからオプションのいずれかを選択します。
   両面が選択された場合、それぞれの向きで、4 種類の両面印刷の綴じ方から選択できます。

縦向き	詳細
長辺とじ (左)	
長辺とじ (右)	

縦向き	詳細
短辺とじ (上)	
短辺とじ (下)	

横向き	詳細
長辺とじ (上)	
長辺とじ (下)	
短辺とじ (右)	
短辺とじ (左)	

8. 綴じるための余白をインチまたはミリメートルで指定したいときは、**とじしろ**チェックボックスを選択します。
9. **OK** をクリックして、プリンタードライバー画面に戻ります。
10. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。

この機能を使用する場合、ふちなし印刷は利用できません。

11. **OK** を再度クリックしてから、印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）
- 自動で小冊子として印刷する（Windows）

自動で小冊子として印刷する（Windows）

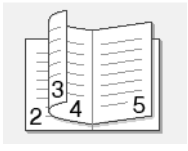
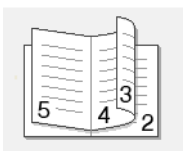
印刷された用紙を中央で折り曲げると、ページ番号順に正しく並ぶように印刷されます。印刷した後にページ順を入れ替える手間がかかりません。

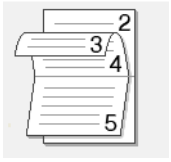
- 紙詰まり解除カバーが閉まっていることを確認します。
- 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。
- 普通紙を使用します。ボンド紙は使用しないでください。
- 用紙が薄いと、しわになることがあります。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

5. **両面印刷/小冊子印刷**ドロップダウンリストをクリックして、**小冊子印刷**を選択します。
6. **両面印刷設定**ボタンをクリックします。
7. **とじ方**メニューからオプションのいずれかを選択します。
   各方向に対して、両面印刷用に 2 種類の綴じ方向があります。

縦向き	詳細
左とじ	
右とじ	

横向き	詳細
上とじ	
下とじ	

8. **小冊子印刷方法**メニューからオプションのいずれかを選択します。

オプション	詳細
全ページをまとめて印刷	各ページが小冊子形式（1 枚に 4 ページ、片面に 2 ページ）で印刷されます。印刷物を中央で折って小冊子を作ります。
複数ページに分けて印刷	このオプションを使用すると、小冊子全体を少数ページの複数の冊子に分けて印刷し、印刷されたページの順序を変えずに各小冊子の中央で折ることができます。各小冊子の枚数を指定できます（1～15 枚）。このオプションは、印刷ページ数が多い小冊子を折る場合に便利です。

9. 綴じるための余白をインチまたはミリメートルで指定したいときは、**とじしろ**チェックボックスを選択します。
10. **OK** をクリックして、プリンタードライバー画面に戻ります。
11. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。

この機能を使用する場合、ふちなし印刷は利用できません。

12. **OK** をクリックします。
13. 印刷操作を完了します。

関連情報

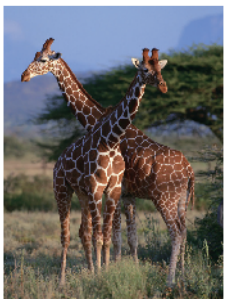
- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）
- 自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows）

カラー文書をモノクロで印刷する（Windows）

モノクロモードは、カラーモードより、印刷速度が速くなります。文書にカラーが含まれている場合にモノクロモードを選択すると、256 階調のグレースケールで印刷します。



1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **カラー/モノクロ**設定で、**モノクロ**を選択します。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows）

印刷する用紙の種類によっては、乾燥時間を長めにとる必要があります。にじみや紙詰まり等の問題が起きる場合は、**用紙汚れの低減**オプションを変更します。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **その他特殊機能**ボタンをクリックします。
5. 画面左側の**用紙汚れの低減**オプションを選択します。
6. 以下のオプションからいずれかを選択します。

用紙種類	オプション		詳細
普通紙	**自動両面印刷**または**片面印刷**	**オフ/ オン**	通常の速度、通常のインク量で印刷するには、**オフ**を選択します。 遅めの速度、少なめのインク量で印刷するには、**オン**を選択します。印刷物は、印刷プレビューに表示されるよりも薄い場合があります。
光沢紙	**オフ/ オン**		通常の速度、通常のインク量で印刷するには、**オフ**を選択します。 遅めの速度、少なめのインク量で印刷するには、**オン**を選択します。印刷物は、印刷プレビューに表示されるよりも薄い場合があります。

7. **OK** をクリックして、プリンタードライバー画面に戻ります。
8. **OK** をクリックします。
9. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 印刷オプションを変更して印刷結果を改善する

おまかせ印刷設定を使用する（Windows）

あらかじめよく使用する印刷設定が**おまかせ設定**として登録されています。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **おまかせ設定**タブをクリックします。

4. 印刷設定一覧から項目を選択します。
   設定内容は、プリンタードライバー画面の左側に表示されます。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 選択した設定が印刷したい設定になっていれば、**OK** をクリックします。
   - 設定を変更するには、**基本設定**または**拡張機能**タブまで戻り、設定を変更して **OK** をクリックします。

次回印刷するときに**おまかせ設定**タブをウィンドウの前面に表示させるには、**おまかせ設定タブを常に最初に表示する**のチェックボックスにチェックを入れます。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

- おまかせ印刷設定を作成または削除する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

おまかせ印刷設定を作成または削除する（Windows）

カスタマイズした新しいおまかせ印刷の設定を最大 20 個まで追加できます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. 以下のいずれかを行ってください：

   新しくおまかせ印刷の設定を追加する：

   a. **基本設定**タブおよび**拡張機能**タブをクリックし、新しいおまかせ設定として登録したい内容にカスタマイズします。

   b. **おまかせ設定**タブをクリックします。

   c. **おまかせ設定を登録** をクリックします。

      おまかせ設定を登録ダイアログボックスが表示されます。

   d. **名称**に新しいおまかせ印刷設定の名称を入力します。

   e. このおまかせ印刷設定に使うアイコンを、アイコン一覧から選んでクリックします。

   f. **OK** をクリックします。

      新しいおまかせ印刷設定の名称が**おまかせ設定**タブの一覧に追加されます。

   作成したおまかせ印刷設定を削除する：

   a. **おまかせ設定**タブをクリックします。

   b. **おまかせ設定を削除** をクリックします。

      おまかせ設定を削除ダイアログボックスが表示されます。

   c. 削除したい設定を選択します。

   d. **削除** をクリックします。

   e. **はい** をクリックします。

   f. **閉じる** をクリックします。

関連情報

- おまかせ印刷設定を使用する（Windows）

初期値の印刷設定を変更する（Windows）

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。すべての Windows アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows Server 2008 の場合：

     (スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタをクリックします。
   - Windows 7 および Windows Server 2008 R2 の場合：

     (スタート) > デバイスとプリンターをクリックします。
   - Windows 8.1 の場合

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 の場合

     > Windows システム ツール > コントロール パネルをクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows Server 2012 の場合：

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows Server 2012 R2 の場合

     スタート画面で**コントロールパネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を右クリックして、**プリンターのプロパティ**を選択します。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。

   プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。
3. **全般**タブをクリックし、**印刷の基本設定**または**基本設定**ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーのダイアログボックスが表示されます。
4. すべての Windows プログラムでデフォルトとして使いたい印刷設定を選択します。
5. **OK** をクリックします。
6. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

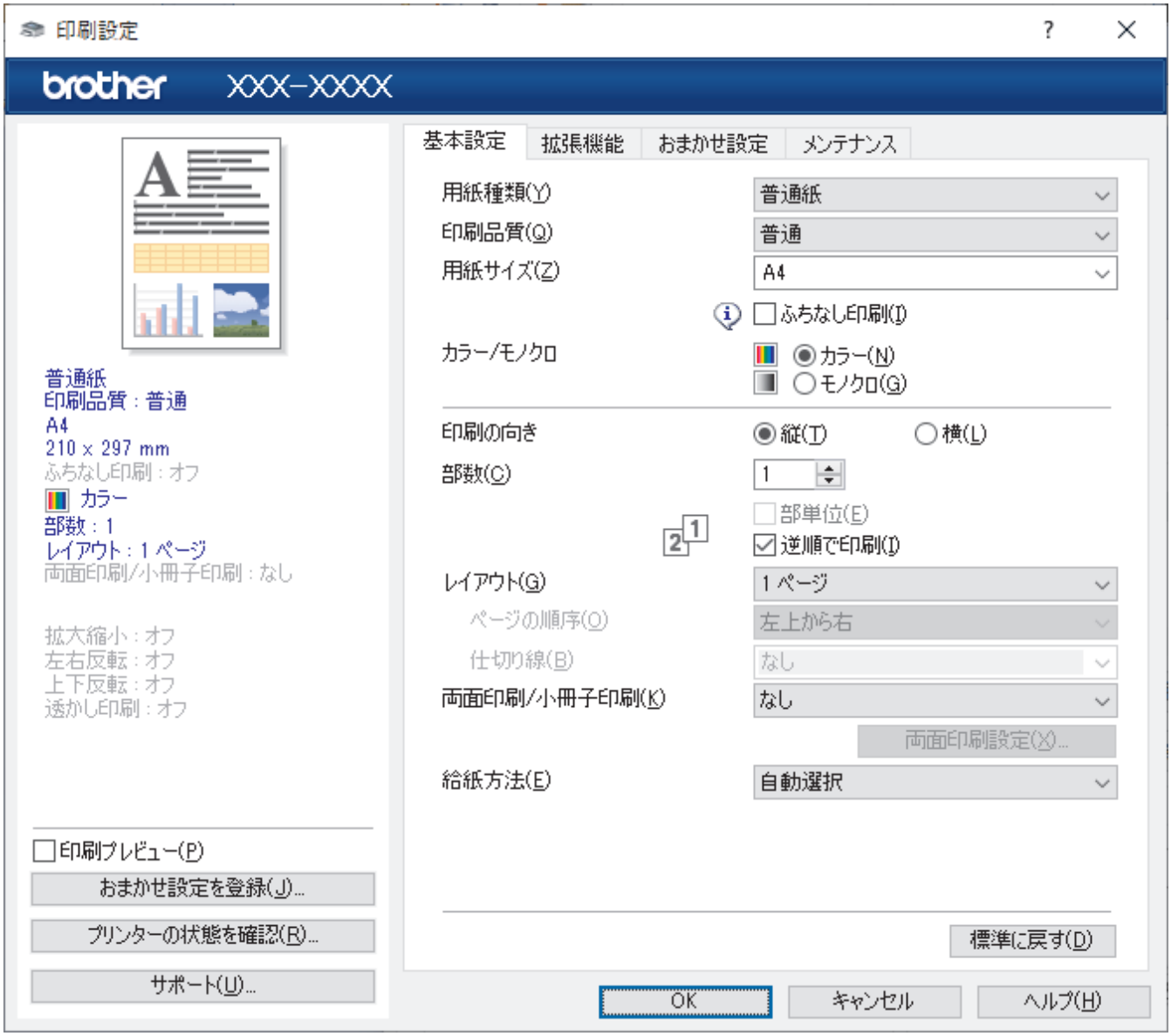
関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

印刷設定（Windows）

>> 基本設定タブ
>> 拡張機能タブ

基本設定タブ



1. **用紙種類**

   使用する用紙の種類を選択します。印刷品質保持のため、選択された用紙の種類に合った印刷設定を本製品が自動的に設定します。

2. **印刷品質**

   印刷の品質を選択します。印刷品質と印刷速度には相互関係があるため、品質が高いほど印刷速度は遅くなります。

3. **用紙サイズ**

   使用する用紙サイズを選択します。標準の用紙サイズから選択するか、カスタム用紙サイズを作成するか選択します。

   ふちなし印刷

   写真をふちなし印刷する場合に選択します。使用している用紙サイズよりも若干大きいサイズで画像データが作成されているため、写真の端は少し切り取られます。

用紙種類と印刷品質との組み合わせやアプリケーションによっては、ふちなし印刷を選択できない場合があります。

4. **カラー/モノクロ**

   カラーまたはモノクロ印刷を選択します。カラーモードよりもモノクロモードの方が印刷速度が速くなります。原稿にカラーが含まれる場合にモノクロモードを選択すると、256 階調のグレースケールで印刷されます。

5. **印刷の向き**

   印刷の向き（縦または横）を選択します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定がある場合、アプリケーションを使用して印刷の向きを設定することをお勧めします。

6. **部数**

   印刷する部数（1～999）を入力します。

   部単位

   複数ページの文書を元のページの順序に合わせて印刷する場合に、選択します。選択した場合は、文書一式を一部印刷し、設定した部数に応じて残りの部数分だけ同様に印刷が繰り返されます。選択しない場合は、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

   逆順で印刷

   原稿を逆の順序で印刷する場合に選択します。原稿の最後のページが最初に印刷されます。

7. **レイアウト**

   複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときに選択します。

   ページの順序

   複数ページの内容を 1 枚に印刷するときのページの順序を選択します。

   仕切り線

   複数ページの内容を 1 枚に印刷するときの仕切り線の種類を選択します。

8. **両面印刷/小冊子印刷**

   両面印刷または小冊子印刷をする場合に選択します。

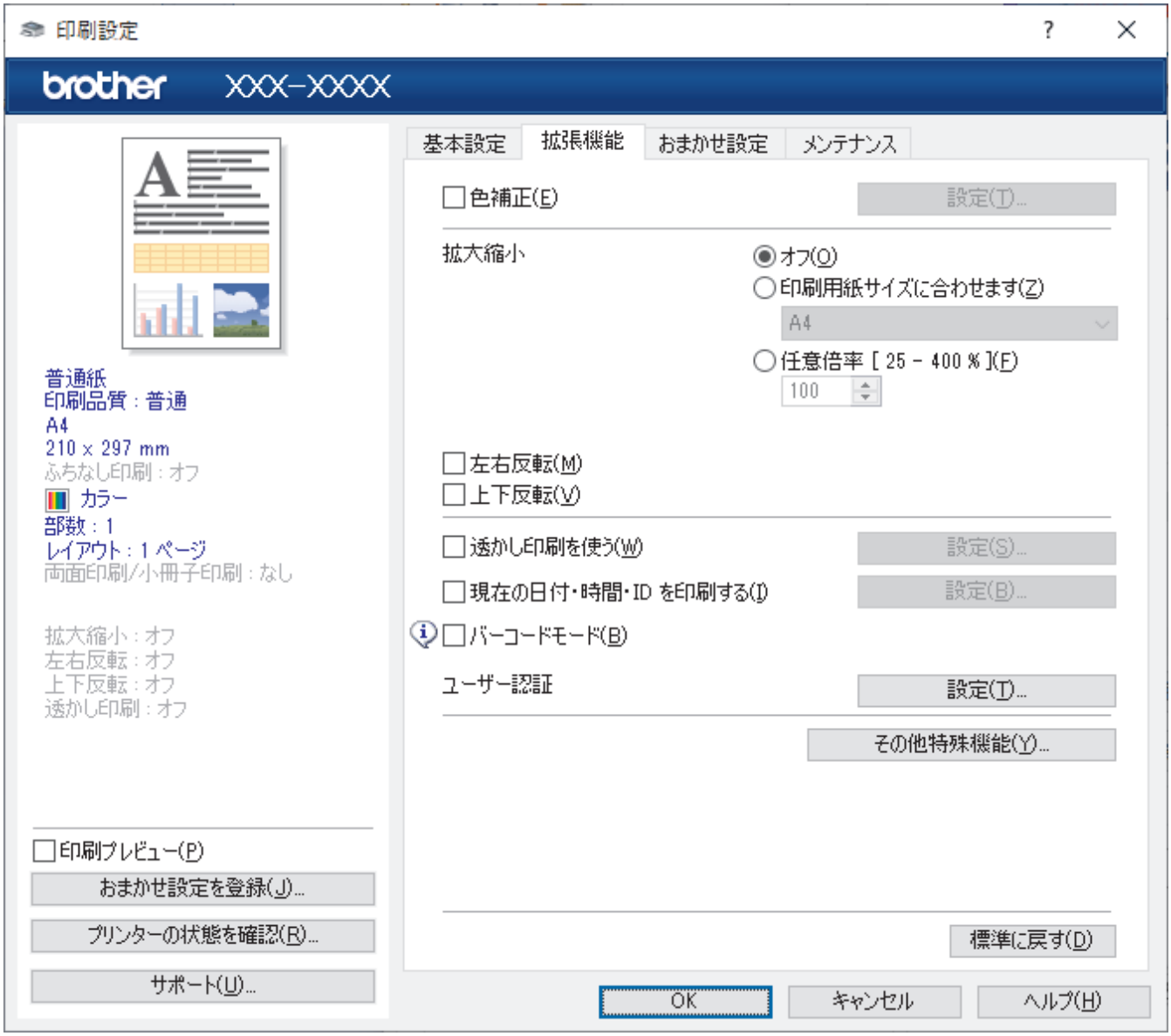
   両面印刷設定ボタン

   綴じ方を選択するときにこのボタンを押します。それぞれの向きごとに 4 タイプの綴じ方があります。

9. **（MFC-J4540N）給紙方法**

   印刷条件や目的に合った給紙方法を選択します。

拡張機能タブ



1. **色補正**

   色補正機能を使用する場合は、この設定を選択します。この機能は、画像を分析し、鮮明さ、ホワイトバランス、および色の濃さを改善します。画像サイズとお使いのパソコンの仕様によっては、この処理には数分かかる場合があります。

2. **拡大縮小**

   印刷したい文書の内容を拡大、または縮小するときに選択します。

   印刷用紙サイズに合わせます

   印刷に使用する用紙サイズに合わせて文書のサイズを拡大、縮小するときに選択します。選択した場合は、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。

   任意倍率 [25 - 400 %]

   文書のページを手動で拡大または縮小する場合は、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合は、入力欄に値を入力します。

3. **左右反転**

   左右を水平方向に反転して印刷できます。

4. **上下反転**

   上下を 180 度回転して印刷できます。

5. **透かし印刷を使う**

   ロゴや文字を透かしとして文書に印刷するときに選択します。あらかじめ設定されている透かしから 1 つを選択するか、新しい透かしを追加するか、または自分で作成した画像ファイルを使用します。

6. **現在の日付・時間・ID を印刷する**

   日時およびログインユーザー名を文書に印刷する場合に選択します。

7. **バーコードモード**

   バーコードを最適な品質と解像度で印刷するには、このオプションを選択します。

8. **ユーザー認証**

   この機能を使用すると、各ユーザーに対する制限を確認できます。

9. **その他特殊機能ボタン**

   カラー詳細設定

   ハーフトーンを表現する点を配列するための方法を選択します。

   印刷物の色を調整して、パソコン画面に表示されるものに近づけることができます。

   用紙汚れの低減

   印刷する用紙の種類によっては、乾燥時間を長めにとる必要があります。印刷物に汚れがある場合や紙詰まりが発生する場合は、このオプションを変更します。

   本体情報の取得

   本製品用に設定されたお買い上げ時の設定を使用して印刷品質を最適化する場合は、このオプションを選択します。本製品を交換したり、本製品のネットワークアドレスを変更した場合は、このオプションを使用します。

   プリント アーカイブ

   印刷データを PDF 形式でパソコンに保存するときに選択します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 写真を印刷する（Windows）
- 文書を印刷する（Windows）
- 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows）
- ポスターとして印刷する（Windows）
- 自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows）
- 自動で小冊子として印刷する（Windows）
- おまかせ印刷設定を使用する（Windows）
- 初期値の印刷設定を変更する（Windows）
- 印刷オプションを変更して印刷結果を改善する

パソコンから印刷する（Mac）

- AirPrint を使用して印刷する

Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

- Brother iPrint&Scan を使用して写真または文書を印刷する（Windows/Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用して自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows/Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用して 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows）
- Brother iPrint&Scan を使用してカラー文書をモノクロで印刷する（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用して写真または文書を印刷する（Windows/Mac）

1. 用紙トレイに正しい用紙をセットしているか確認します。

   重要

   写真印刷の場合：
   - 印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。
   - 写真用紙に印刷するときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多く用紙トレイにセットしてください。

2. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

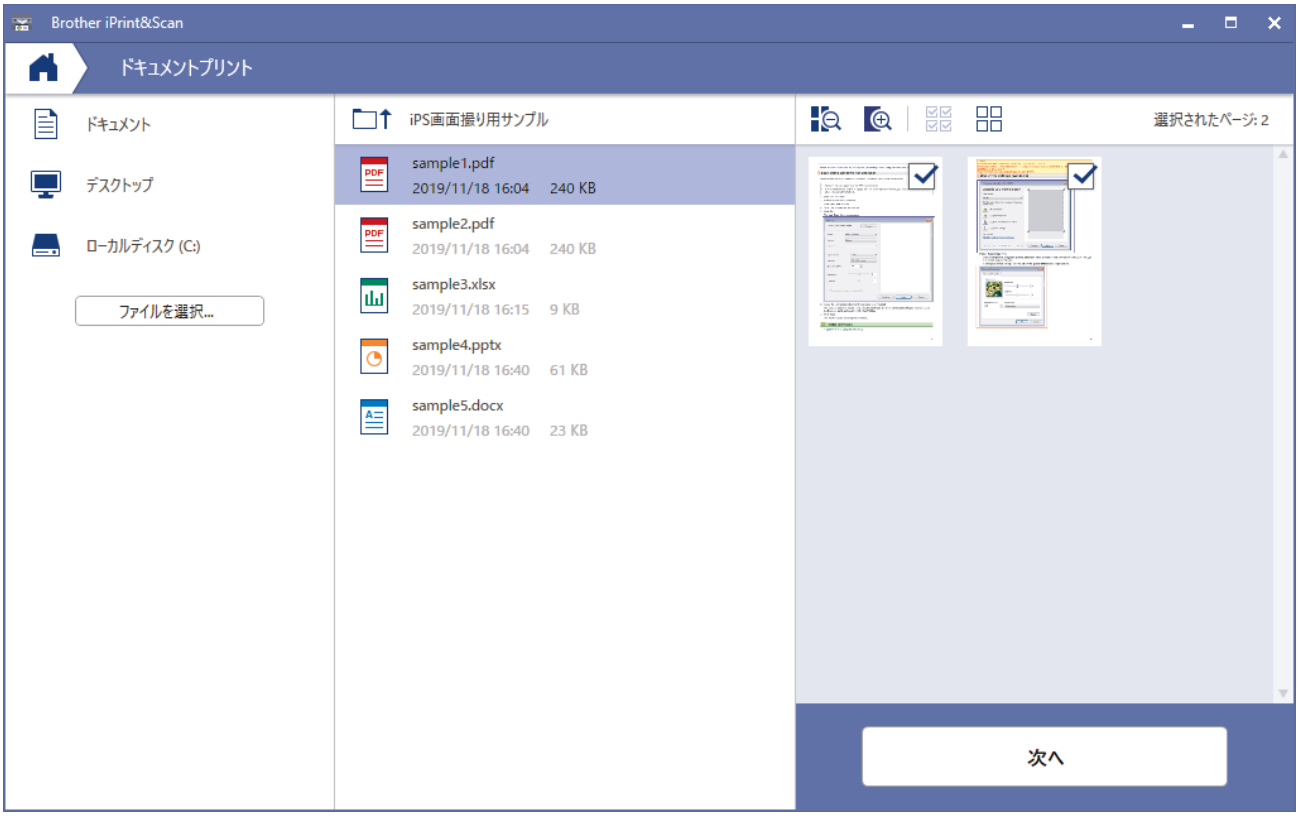
   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
3. お使いの製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧からお使いのモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
4. **プリント**をクリックします。
5. 次のいずれかを行ってください。
   - Windows

     写真または**ドキュメント**をクリックします。
   - Mac

     写真または **PDF** をクリックします。
6. 印刷するファイルを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
   - Windows

     次へ をクリックします。
   - Mac

     開く をクリックします。



- アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なることがあります。
- 最新のアプリケーションを使用してください。「関連情報」をご覧ください。
- ページ数が多い文書を印刷する場合、印刷するページを選択することもできます。

7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

重要

写真印刷の場合：
印刷品質保持のため、ご使用の**用紙種類**を毎回正しく設定してください。

関連情報

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用して自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows/Mac）

- 紙詰まり解除カバーが閉まっていることを確認します。
- 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。
- 普通紙を使用します。ボンド紙は使用しないでください。
- 用紙が薄いと、しわになることがあります。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. お使いの製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧からお使いのモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **プリント**をクリックします。
4. 次のいずれかを行ってください。
   - Windows

     ドキュメント をクリックします。
   - Mac

     PDF をクリックします。
5. 印刷するファイルを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
   - Windows

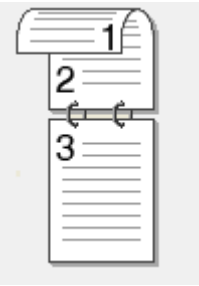
     次へ をクリックします。
   - Mac

     開く をクリックします。

ページ数が多い文書を印刷する場合、印刷するページを選択することもできます。

6. **両面印刷**ドロップダウンリストから、いずれかのオプションを選択します。

   両面印刷の綴じ方は 2 種類あります。

オプション	詳細
オン (長辺とじ)	
オン (短辺とじ)	

7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

関連情報

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用して 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows）

この機能は Mac では使用できません。

1. （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. お使いの製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧からお使いのモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **プリント**をクリックします。
4. **ドキュメント** をクリックします。
5. 印刷するファイルを選択し、**次へ**をクリックします。

   ページ数が多い文書を印刷する場合、印刷するページを選択することもできます。
6. **レイアウト**ドロップダウンリストをクリックして、各シートに印刷するページ数を選択します。
7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

関連情報

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用してカラー文書をモノクロで印刷する（Windows/Mac）

モノクロモードは、カラーモードより、印刷速度が速くなります。文書にカラーが含まれている場合にモノクロモードを選択すると、256 階調のグレースケールで印刷します。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. お使いの製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧からお使いのモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **プリント**をクリックします。
4. 次のいずれかを行ってください。
   - Windows

     写真または**ドキュメント**をクリックします。
   - Mac

     写真または **PDF** をクリックします。
5. 印刷するファイルを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
   - Windows

     次へ をクリックします。
   - Mac

     開く をクリックします。

ページ数が多い文書を印刷する場合、印刷するページを選択することもできます。

6. **カラー/モノクロ**ドロップダウンリストをクリックして、**モノクロ**を選択します。
7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

関連情報

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする

本製品がお使いのパソコンに接続していない場合でも、USB フラッシュメモリーから直接写真をプリントできます。

- 互換性のある USB フラッシュメモリー
- 写真プリントに関する注意
- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

互換性のある USB フラッシュメモリー

本ブラザー製品は、一般的なデータ記憶装置用のメディアドライブ（スロット）を備えています。

重要

USB ダイレクトインターフェイスは、USB フラッシュメモリーおよび USB マスストレージ規格に準拠したデジタルカメラにのみ対応しています。他の USB 機器には対応していません。

互換性のあるメディア	
USB フラッシュメモリー	

関連情報

- USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする

写真プリントに関する注意

お使いの製品は、一般的なデジタルカメラ画像や USB フラッシュメモリーに対応しています。写真印刷の問題を回避するために、以下の注意点をよくお読みください：

- .JPG 以外の拡張子の画像はご使用いただけません（.JPEG、.TIF、.GIF など他の拡張子の画像は認識されません）。
- ダイレクトプリントとパソコンを使用した写真プリント操作は別々に行ってください。（同時に操作することはできません。）
- USB フラッシュメモリー内にある最大 999 ファイル[1] まで読み込み可能です。

下記の点にご注意ください：

- インデックスシートや画像の印刷時に、破損している画像があると、有効な画像のみが印刷されます。破損している画像は印刷されません。
- 本製品では、Windows によってフォーマットされた USB フラッシュメモリーをお使いいただけます。

関連情報

- USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする

1 USB フラッシュメモリー内のフォルダも 1 ファイルとして数えられます。

USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

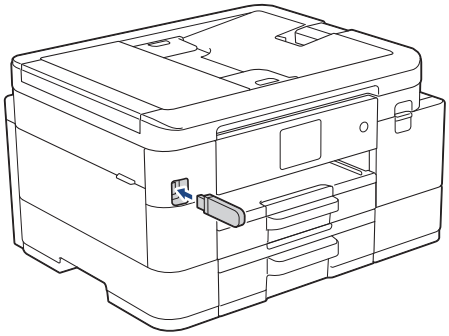
- USB フラッシュメモリー内の写真を見る／プリントする
- USB フラッシュメモリーから写真のインデックスシート（サムネイル）を印刷する
- 写真の番号を指定してプリントする
- 画像トリミングして印刷する
- USB フラッシュメモリーからふちなし印刷を行う
- 写真データの日付を印刷する
- 写真プリント設定

USB フラッシュメモリー内の写真を見る／プリントする

印刷する前に画面で写真を閲覧したり、USB フラッシュメモリーに保存されている画像を印刷したりできます。

- 写真のサイズが大きいときは、各写真が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。



2. [JPEG プリント] > [画像選択] を押します。
3. ◀ または ▶ を押して印刷したい写真を表示し、選択します。

全ての写真を印刷するには、[全選択] を押し、[はい] を押して確定します。

4. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - タッチパネルの [-] または [+] を押します。
   - ×01 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
5. [OK] を押します。
6. 印刷したいすべての写真を選択するまで直前の 3 手順を繰り返します。
7. [OK] を押します。
8. オプションの一覧が表示されるので確認します。
9. 印刷設定を変更するには、[印刷設定] を押します。

   完了したら、[OK] を押します。
10. [スタート] を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- 写真プリント設定

USB フラッシュメモリーから写真のインデックスシート（サムネイル）を印刷する

インデックスシートをプリントして USB フラッシュメモリーにある全ての写真の縮小プレビューを確認します。

- 画像に番号が割り振られます（No.1、No.2、No.3、など）。
  お使いのデジカメやパソコンが写真を識別するために付与した番号やファイル名は、本製品は認識しません。
- 20 文字以下のファイル名のみ正しくインデックスシートに印刷されます。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [インデックス] > [インデックスシート] を押します。
3. 印刷設定を変更するには、[印刷設定] を押します。
   完了したら、[OK] を押します。

オプション	詳細
[用紙タイプ]	用紙の種類を選択します。

4. [スタート] を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- 写真の番号を指定してプリントする

写真の番号を指定してプリントする

画像自体をプリントする前に、インデックスシート（サムネイル）を印刷して写真の番号を確認してください。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [インデックス] > [番号指定プリント] を押します。
3. インデックスシートを参照して、印刷する写真の番号を入力します。写真の番号を選択したら、[OK] を押します。

   - 一度に複数の番号を入力する場合はカンマまたはハイフンを使用します。例えば、No.1、No.3 と No.6 をプリントするには **1, 3, 6** と入力します。番号の範囲を指定してプリントする場合はハイフンを使います。例えば、No.1 から No.5 までの写真をプリントする場合は **1-5** と入力します。
   - プリントしたい写真の番号を指定するのに、最大 12 文字（カンマやハイフンを含む）まで入力できます。

4. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - タッチパネルの [-] または [+] を押します。
   - ×01 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
5. 印刷設定を変更するには、[印刷設定] を押します。

   完了したら、[OK] を押します。
6. [スタート] を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

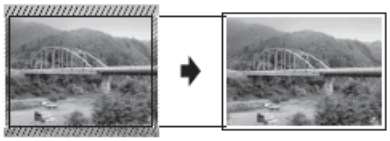
- USB フラッシュメモリーから写真のインデックスシート（サムネイル）を印刷する
- 写真プリント設定

画像トリミングして印刷する

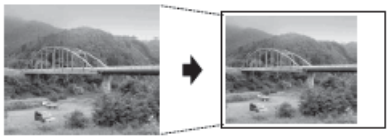
写真の縦幅や横幅が印刷範囲に収まらない場合、画像の一部を切り取ります。

- お買い上げ時の設定はオンです。画像全体を印刷するには、この設定をオフに変更します。
- [画像トリミング]の設定をオフにした場合、[ふちなし印刷]の設定もオフにしてください。

画像トリミング：する



画像トリミング：しない



1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [画像選択]を押します。
3. ◀または▶を押して、各写真を表示させます。写真が表示されたら、選択してから[OK]を押します。
4. [OK]を押します。
5. [印刷設定] > [画像トリミング]を押します。
6. [する]（または[しない]）を押します。
7. 完了したら、または[OK]を押します。
8. [スタート]を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- その他の問題

USB フラッシュメモリーからふちなし印刷を行う

印刷領域いっぱいに印刷します。通常より印刷に時間がかかります。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [画像選択]を押します。
3. ◀または▶を押して、各写真を表示させます。写真が表示されたら、選択してから[OK]を押します。
4. [OK]を押します。
5. [印刷設定] > [ふちなし印刷]を押します。
6. [する]（または[しない]）を押します。
7. 完了したら、または[OK]を押します。
8. [スタート]を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- その他の問題

写真データの日付を印刷する

写真データに含まれている日付を印刷します。右下の角に日付が印刷されます。この設定を使用するには、写真データに日付の情報が含まれている必要があります。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [画像選択]を押します。
3. ◀または▶を押して、各写真を表示させます。写真が表示されたら、選択してから[OK]を押します。
4. [OK]を押します。
5. [印刷設定] > [日付印刷]を押します。
6. [する]（または[しない]）を押します。
7. 完了したら、または[OK]を押します。
8. [スタート]を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

写真プリント設定

［印刷設定］を押すと、表内の設定が表示されます。

オプション	詳細
［プリント画質］	原稿の種類に応じて、プリント画質を選択します。 ［用紙タイプ］設定で［インクジェット紙］のオプションを選択すると、［きれい］のみ選択できます。
［用紙タイプ］	用紙の種類を選択します。
［用紙サイズ］	用紙サイズを選択します。
（MFC-J4540N）［用紙トレイ選択］	用紙トレイを選択します。
［プリントレイアウト］	印刷の配置を選択します。
［明るさ］	明るさを調整します。
［コントラスト］	コントラストを調整します。 コントラストレベルを上げると、画像がよりくっきりし、鮮やかになります。
［画像トリミング］	用紙サイズやプリントサイズに合うように収まらない部分の画像をトリミングします。画像全体を印刷したい場合や、トリミングが不要な場合は、この機能をオフにしてください。
［ふちなし印刷］	印刷領域を印刷用紙いっぱいに広げます。
［日付印刷］	写真に日付を入れて印刷します。
［設定を保持する］	頻繁に使用する印刷設定を、初期値として保存します。
［設定をリセットする］	設定をお買い上げ時の状態に戻します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- USB フラッシュメモリー内の写真を見る／プリントする
- 写真の番号を指定してプリントする

E メールの添付ファイルを印刷する

E メールで本製品にファイルを送信して印刷できます。

- 最大 10 個、計 20MB の文書をメールに添付できます。
- この機能は、次の形式に対応しています。
  - 文書ファイル：PDF、TXT、Microsoft Office ファイル
  - 画像ファイル：JPEG、BMP、GIF、PNG、TIFF
- 本製品は E メールの文章と添付ファイルの両方を印刷します。E メールの添付ファイルのみ印刷するには、必要に応じて設定を変更します。

1. ◀または▶を押して [お役立ちツール] を表示します。
   [お役立ちツール] を押します。

   - インターネット接続に関する情報が表示された場合は、内容を確認してから、[OK] を押します。
   - アップデートまたは機能に関するお知らせが画面に表示されることがあります。情報を読んで [OK] を押します。

2. ▲または▼を押して [オンライン機能] オプションを表示させて押します。

   - この機能がロックされている場合は、ネットワーク管理者に連絡してアクセスできるように依頼してください。
   - [オンライン機能] に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK] を押します。

3. ▲または▼を押して [機能をオンにする] オプションを表示させて押します。
   画面の指示に従います。オンライン機能が有効になります。
4. ▲または▼を押して [E メールプリント] オプションを表示させて押します。

   [E メールプリント] に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK] を押します。

5. ▲または▼を押して [機能をオンにする] オプションを表示させて押します。
   画面の指示に従います。説明シートが印刷されます。
6. シートに記載されているメールアドレスに E メールを送信します。メールの添付ファイルが印刷されます。

E メールアドレスやプリンター設定などの設定を変更するには、Web Based Management にアクセスし、左側のナビゲーションバーの**オンライン機能** > **オンライン機能設定**をクリックしてから、**オンライン機能の設定**リンクをクリックします。

関連情報

- 印刷

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャン

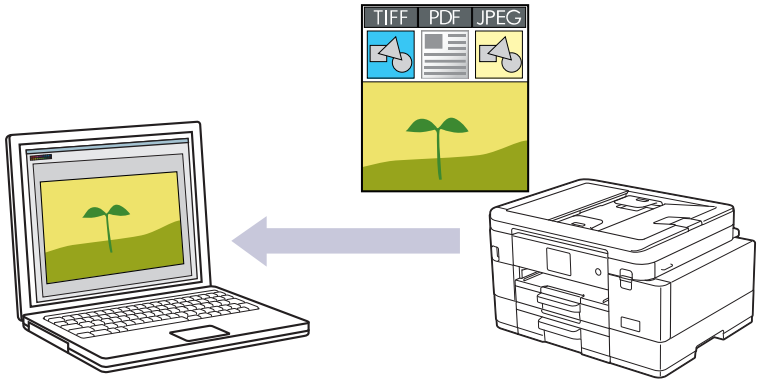
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）
- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)
- お使いのパソコンからスキャンする (Mac)
- Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

- 写真やグラフィックをスキャンする
- スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する
- スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する
- 複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン）
- 原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする（OCR）
- スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する
- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する
- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）
- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する
- Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャン設定を変更する

写真やグラフィックをスキャンする

スキャンした写真やグラフィックを、お使いのパソコンに直接送信します。



本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [イメージ] を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を選択します。

画面上で PIN の入力を求められた場合、パソコンで設定している 4 桁の PIN を入力し、[OK] を押します。

4. 以下のいずれかを行ってください：
   - 設定を変更するには、[設定変更] を押します。
   - 設定を変更せずにスキャンを開始するには、[スタート] を押します。
     本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

[設定変更] を使用するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. [スキャン設定] > [本体側の設定に従う] を押します。
6. 変更したいスキャン設定を選択して、[OK] を押します。

オプション	詳細
[カラー設定]	原稿のカラー設定を選択します。
[解像度]	原稿のスキャン解像度を選択します。
[ファイル形式]	原稿のファイル形式を選択します。
[原稿サイズ]	原稿サイズを選択します。
[明るさ]	明るさのレベルを選択します。
[コントラスト]	コントラストのレベルを選択します。
[傾き補正]	原稿を読み取る時に原稿の傾きを補正します。
[白紙除去]	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある白紙ページを除いてデータを保存します。

オプション	詳細
[地色除去]	除去する地色の濃度を変更します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを確認されます。画面の指示に従います。

7. [スタート]を押します。

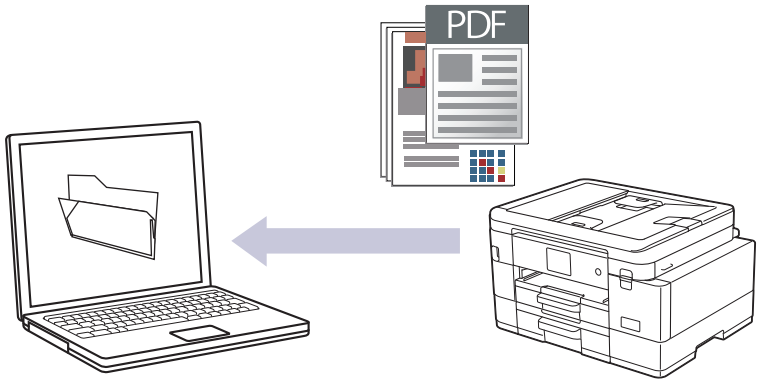
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する

原稿をスキャンし、お使いのパソコン上に PDF ファイルとして保存します。



本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [ファイル] を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を選択します。

画面上で PIN の入力を求められた場合、パソコンで設定している 4 桁の PIN を入力し、[OK] を押します。

4. 以下のいずれかを行ってください：
   - 設定を変更するには、[設定変更] を押します。
   - 設定を変更せずにスキャンを開始するには、[スタート] を押します。
     本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

[設定変更] を使用するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. [スキャン設定] > [本体側の設定に従う] を押します。
6. 変更したいスキャン設定を選択して、[OK] を押します。

オプション	詳細
[カラー設定]	原稿のカラー設定を選択します。
[解像度]	原稿のスキャン解像度を選択します。
[ファイル形式]	原稿のファイル形式を選択します。
[原稿サイズ]	原稿サイズを選択します。
[明るさ]	明るさのレベルを選択します。
[コントラスト]	コントラストのレベルを選択します。
[傾き補正]	原稿を読み取る時に原稿の傾きを補正します。
[白紙除去]	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある白紙ページを除いてデータを保存します。

オプション	詳細
[地色除去]	除去する地色の濃度を変更します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを確認されます。画面の指示に従います。

7. [スタート]を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

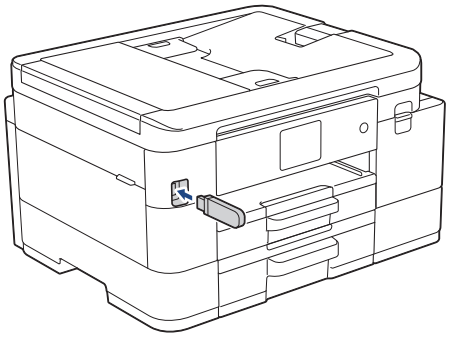
関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する

パソコンを使わずに、原稿をスキャンして USB フラッシュメモリーに直接保存します。

1. 原稿をセットします。
2. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。



3. [スキャン: メディア]を押します。
4. 以下のいずれかを行ってください：
   - 設定値を変更するには、[設定変更]を押して、次の手順に進みます。

   - 変更した設定を初期値とするには、設定値を変更して[設定を保持する]を押し、[はい]を押します。
   - お買い上げ時の設定に戻すには、[設定をリセットする]を押し、[はい]を押します。

   - 設定を変更せずにスキャンを開始するには、[スタート]を押します。
     本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。
5. 変更したいスキャン設定を選択して、[OK]を押します。

オプション	詳細
[カラー設定]	原稿のカラー設定を選択します。
[解像度]	原稿のスキャン解像度を選択します。
[ファイル形式]	原稿のファイル形式を選択します。
[原稿サイズ]	原稿サイズを選択します。
[明るさ]	明るさのレベルを選択します。
[コントラスト]	コントラストのレベルを選択します。
[ファイル名]	ファイル名を変更します。
[ファイル名項目順序]	日付、カウンター番号、その他の項目がファイル名に表示される順序を選択します。
[おまかせ一括スキャン]	原稿台ガラスにセットした複数の原稿をスキャンして、USB フラッシュメモリーに保存します。本製品は、それぞれの原稿をスキャンして、複数のファイルまたは 1 つの複数ページのファイルを作成します。
[傾き補正]	原稿を読み取る時に原稿の傾きを補正します。
[白紙除去]	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある白紙ページを除いてデータを保存します。

オプション	詳細
[白紙除去レベル調整]	スキャンしたデータの白紙ページを検出する感度を選択します。感度レベルが高いほど、白紙ページが検出されやすくなります。
[地色除去]	除去する地色の濃度を変更します。
[エッジ調整]	原稿の余白を調整します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを確認されます。画面の指示に従います。

6. [スタート]を押します。
7. 原稿台ガラスを使用している場合は、次のページをセットし、[読み取り開始]を押します。スキャンするページがもうない場合は、[読み取り完了]を押します。スキャンが終了したら、本製品から USB フラッシュメモリーを取り外す前に、必ず[読み取り完了]を選択してください。

重要

データの読み込み中は、画面にメッセージが表示されます。データの読み込み中は、電源コードを抜いたり、本製品から USB フラッシュメモリーを取り外したりしないでください。データが失われたり、USB フラッシュメモリーが損傷する恐れがあります。

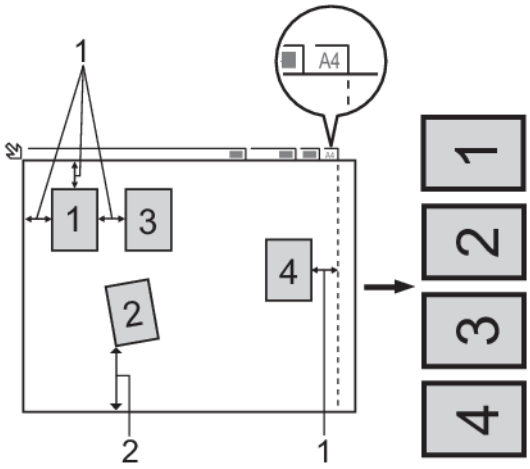
関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン）

原稿台ガラスにセットされた複数の原稿をスキャンすることができます。本製品は各原稿をスキャンし、おまかせ一括スキャン機能を使って複数のファイルまたは 1 つの複数ページファイルを作成できます。

おまかせ一括スキャンについて



1. 10mm 以上
2. 20mm 以上（下部）

- この設定は、長方形または正方形の原稿にのみ使用可能です。
- 原稿の長さが長すぎたり幅が広すぎたりすると、スキャンできないことがあります。
- 原稿は図のように、原稿台ガラスの端にかからないようセットする必要があります。
- 各原稿の間隔を最低 10mm 以上離してセットする必要があります。
- おまかせ一括スキャンは、原稿台ガラス上の原稿の傾きを調整します。ただし、300 x 300 dpi 以下で原稿が 45 度以上傾いている、または 600 x 600dpi で原稿が 10 度以上傾いている場合は、スキャンできないことがあります。
- おまかせ一括スキャンを使うときには、ADF（自動原稿送り装置）に原稿を置かないでください。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数は、原稿のサイズに応じて、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。

おまかせ一括スキャン機能を使って原稿をスキャンするには、原稿台ガラスに原稿をセットする必要があります。

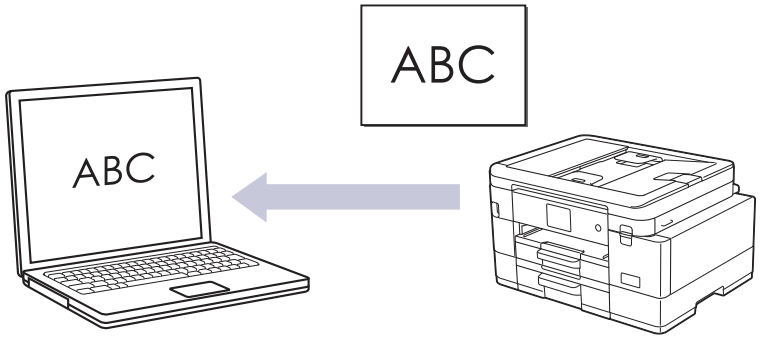
1. 原稿台ガラスに原稿をセットする
2. USB フラッシュメモリーを本製品に差し込みます。
   液晶ディスプレーの表示が自動的に変わります。
3. [スキャン：メディア] > [設定変更] > [おまかせ一括スキャン] を押します。
4. [オン] を押します。
5. [OK] を押します。
6. [スタート] を押します。
   本製品はスキャンを開始します。画面に表示される指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする（OCR）

本製品は、OCR（光学式文字認識）の技術を使って、スキャンした文書の文字をテキストに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集できます。



- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［PC］> ［OCR］を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を選択します。

画面上で PIN の入力を求められた場合、パソコンで設定している 4 桁の PIN を入力し、［OK］を押します。

4. 以下のいずれかを行ってください：
   - 設定を変更するには、［設定変更］を押します。
   - 設定を変更せずにスキャンを開始するには、［スタート］を押します。
     本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

［設定変更］を使用するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. ［スキャン設定］> ［本体側の設定に従う］を押します。
6. 変更したいスキャン設定を選択して、［OK］を押します。

オプション	詳細
［カラー設定］	原稿のカラー設定を選択します。
［解像度］	原稿のスキャン解像度を選択します。
［ファイル形式］	原稿のファイル形式を選択します。
［原稿サイズ］	原稿サイズを選択します。
［明るさ］	明るさのレベルを選択します。
［コントラスト］	コントラストのレベルを選択します。
［傾き補正］	原稿を読み取る時に原稿の傾きを補正します。

オプション	詳細
[白紙除去]	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある白紙ページを除いてデータを保存します。
[地色除去]	除去する地色の濃度を変更します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを確認されます。画面の指示に従います。

7. [スタート]を押します。

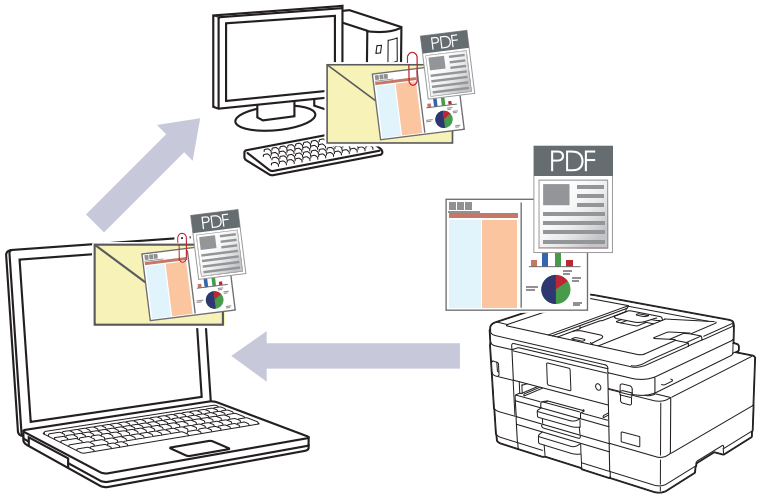
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する

スキャンしたデータを本製品からお使いの電子メールアプリケーションに添付ファイルとして送信します。



- 本製品のスキャンボタンを使用して、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。
- 本製品のスキャンボタンを使用して、スキャンしたデータを電子メールで送信するには、Brother iPrint&Scan で次のアプリケーションのいずれかを選択していることを確認してください。
  - Windows：Microsoft Outlook
  - Mac：Apple Mail

  その他のアプリケーションやウェブメールサービスの場合は、スキャン to イメージまたはスキャン to ファイル機能を使って原稿をスキャンして、スキャンしたデータを電子メールに添付してください。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [E メール添付] を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を選択します。

画面上で PIN の入力を求められた場合、パソコンで設定している 4 桁の PIN を入力し、[OK] を押します。

4. 以下のいずれかを行ってください：
   - 設定を変更するには、[設定変更] を押します。
   - 設定を変更せずにスキャンを開始するには、[スタート] を押します。

     本製品はスキャン動作を開始します。スキャンされたデータを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

[設定変更] を使用するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. [スキャン設定] > [本体側の設定に従う] を押します。
6. 変更したいスキャン設定を選択して、[OK] を押します。

オプション	詳細
[カラー設定]	原稿のカラー設定を選択します。
[解像度]	原稿のスキャン解像度を選択します。

オプション	詳細
[ファイル形式]	原稿のファイル形式を選択します。
[原稿サイズ]	原稿サイズを選択します。
[明るさ]	明るさのレベルを選択します。
[コントラスト]	コントラストのレベルを選択します。
[傾き補正]	原稿を読み取る時に原稿の傾きを補正します。
[白紙除去]	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある白紙ページを除いてデータを保存します。
[地色除去]	除去する地色の濃度を変更します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを確認されます。画面の指示に従います。

7. [スタート]を押します。

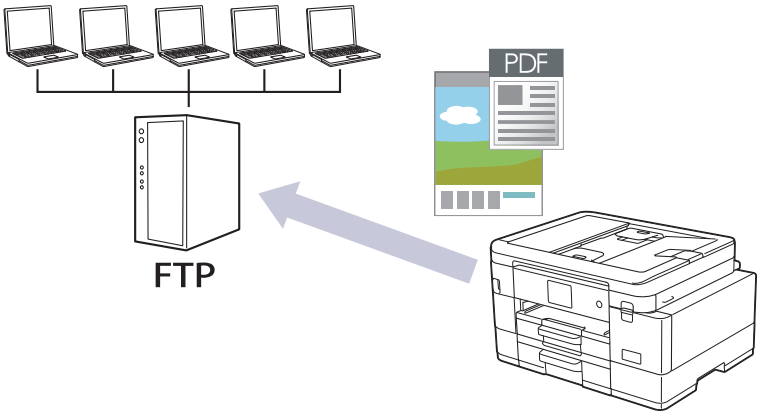
本製品はスキャン動作を開始します。スキャンされたデータを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを共有する必要がある場合、原稿をスキャンして FTP サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to FTP の送信先を保存することもできます。



- スキャン to FTP プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

スキャン to FTP プロファイルを設定する

スキャン to FTP プロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の FTP サーバーに直接送ることができます。

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 10/11、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。いずれのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **FTP** を選択し、**OK** をクリックします。
6. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
7. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス（例：ftp.example.com、最大 64 文字）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
ポート番号	FTP サーバーへアクセスするための**ポート番号**を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 21 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
ユーザー名	FTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザー名（32 文字以下）を入力します。
パスワード	**ユーザー名**欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
SSL/TLS	**SSL/TLS** オプションを設定して、SSL/TLS 通信を使用して安全にスキャンします。必要に応じて **CA 証明書** 設定を変更します。
転送先フォルダー	スキャンしたデータの送信先となる FTP サーバーのフォルダーへのパス（60 文字以下）を入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください（例：brother/abc）。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名を選択します。ナビゲーションバーの**スキャン ファイル名称**メニューで、ユーザー定義の名前とファイル名のスタイルを設定できます。
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。

オプション	詳細
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
傾き補正	**オン**を選択すると、原稿を読み取る時に原稿の歪みが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	**オン**オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの白紙ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、白紙ページが検出されやすくなります。
地色除去	除去する地色の濃度を変更します。
明るさ	明るさのレベルを選択します。
コントラスト	コントラストのレベルを選択します。
パッシブモード	FTP サーバーおよびネットワークファイアウォール設定に応じて、**パッシブモード**のオフ／オン設定を切り替えます。お買い上げ時の設定はオンです。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

8. **OK** をクリックします。

関連情報

- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [(S)FTP サーバー]を押します。
3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、画質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート]を押します。

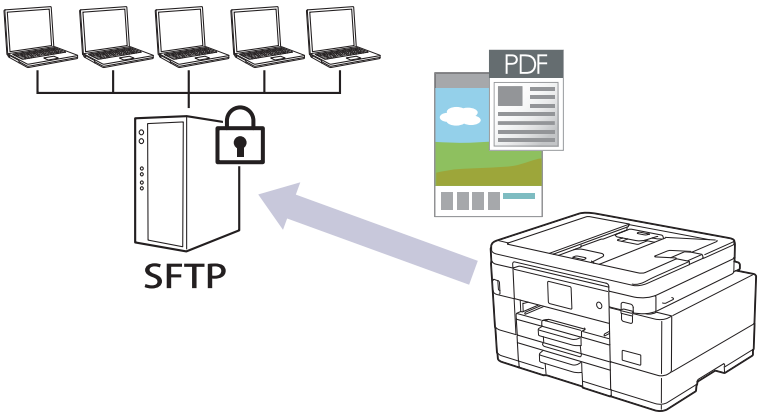
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

原稿をスキャンし、SFTP サーバーに直接送信します。SFTP サーバーは、FTP サーバーよりもセキュリティが強化されたサーバーです。さらに便利にするために、異なるプロファイルを設定して、任意のスキャン to SFTP の送信先を保存します。



- スキャン to SFTP プロファイルを設定する
- Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアを作成する
- Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする
- Web Based Management を使用してサーバーの公開鍵をインポートする
- スキャンしたデータを SFTP サーバーにアップロードする

スキャン to SFTP プロファイルを設定する

スキャン to SFTP プロファイルを設定して、スキャンしたデータを SFTP の場所に直接アップロードします。

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 10/11、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。いずれのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **SFTP** を選択し、**OK** をクリックします。
6. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
7. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス（例：ftp.example.com、最大 64 文字）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
ユーザー名	FTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザー名（32 文字以下）を入力します。
認証方法	**パスワード**または**公開鍵**を選択します。 以下のいずれかを行ってください： • **パスワード**を選択した場合、**ユーザー名**欄に入力したユーザー名に対するパスワード（最大 32 文字）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。 • **公開鍵**を選択した場合、**クライアント鍵ペア**ドロップダウンリストから、認証の種類を選択します。
サーバー公開鍵	認証の種類を選択します。
転送先フォルダー	スキャンしたデータの送信先となる FTP サーバーのフォルダーへのパス（60 文字以下）を入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください（例：brother/abc）。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名を選択します。ナビゲーションバーの**スキャン ファイル名称**メニューで、ユーザー定義の名前とファイル名のスタイルを設定できます。

オプション	詳細
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
傾き補正	**オン**を選択すると、原稿を読み取る時に原稿の歪みが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	**オン**オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの白紙ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、白紙ページが検出されやすくなります。
地色除去	除去する地色の濃度を変更します。
明るさ	明るさのレベルを選択します。
コントラスト	コントラストのレベルを選択します。
ポート番号	FTP サーバーへアクセスするための**ポート番号**を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 22 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

8. **OK** をクリックします。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアを作成する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **クライアント鍵ペア**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **クライアント鍵ペアの作成** をクリックします。
6. **クライアント鍵ペア名**欄に、任意の名前を入力します（最大 20 文字）。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストをクリックし、使用するアルゴリズムを選択します。
8. **OK** をクリックします。

   クライアント鍵ペアが作成され、本製品のメモリーに保存されます。**クライアント鍵ペア一覧**に、クライアント鍵ペア名と公開鍵アルゴリズムが表示されます。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **クライアント鍵ペア**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **クライアント鍵ペア一覧**と共に表示される**公開鍵のエクスポート**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。
7. ファイルの保存先とする場所を指定します。

クライアント鍵ペアがパソコンにエクスポートされます。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用してサーバーの公開鍵をインポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **サーバー公開鍵**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **サーバー公開鍵のインポート**をクリックします。
6. インポートするファイルを指定します。
7. **OK** をクリックします。

サーバー公開鍵が本製品にインポートされます。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを SFTP サーバーにアップロードする

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [(S)FTP サーバー]を押します。
3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、画質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート]を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）

スキャンしたデータを、ネットワーク上の CIFS サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to ネットワークの送信先を保存することもできます。

- スキャン to ネットワークプロファイルを設定する
- スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

スキャン to ネットワークプロファイルを設定する

スキャン to ネットワークのプロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の CIFS サーバーに直接送ることができます。

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 10/11、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。いずれのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **ネットワーク**を選択し、**OK** をクリックします。
6. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
7. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
ネットワークフォルダパス	スキャンしたデータの送信先である CIFS サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名を選択します。ナビゲーションバーの**スキャン ファイル名称**メニューで、ユーザー定義の名前とファイル名のスタイルを設定できます。
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
傾き補正	**オン**を選択すると、原稿を読み取る時に原稿の歪みが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	**オン**オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。

オプション	詳細
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの白紙ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、白紙ページが検出されやすくなります。
地色除去	除去する地色の濃度を変更します。
明るさ	明るさのレベルを選択します。
コントラスト	コントラストのレベルを選択します。
接続時にパスワード認証を行う	このプロファイルを PIN で保護するには、**オン**を選択し、**接続パスワード**欄に 4 桁の PIN を入力します。
認証方法	認証方式を選択します。
ユーザー名	**ネットワークフォルダパス**欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザー名（最大 96 文字）を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 **ユーザー名@ドメイン名** **ドメイン名\ユーザー名**
パスワード	**ユーザー名**欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	Kerberos サーバーアドレスを入力します（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）。

8. **OK** をクリックします。
9. SNTP（ネットワークタイムサーバー）を設定するか、操作パネルで日付、時刻、およびタイムゾーンを正しく設定する必要があります。時刻は、Kerberos サーバーおよび CIFS サーバーで使用されるものと一致しなければなりません。

関連情報

- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］>［ネットワーク］を押します。

- ユーザー ID を登録している場合、Active Directory または LDAP 認証を使用して本製品にログインすると、［自分のﾌｫﾙﾀﾞ］が表示されます。
- CIFS サーバー上の指定したフォルダーにスキャンしたデータを送信するには、［自分のﾌｫﾙﾀﾞ］を押します。
- この機能を Web Based Management で有効にするには、ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。**自分のフォルダに送信** 欄で、 **オン**を選択します。

3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、画質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. ［スタート］を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

スキャンした情報を共有する必要がある場合、原稿をスキャンして、SharePoint サーバーに直接送信します。さらに便利な使用法として、異なるプロファイルを設定して、任意のスキャン to SharePoint の送信先を保存します。

- スキャン to SharePoint プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを SharePoint サーバーにアップロードする

スキャン to SharePoint プロファイルを設定する

スキャン to SharePoint プロファイルを設定してスキャンし、スキャンしたデータを SharePoint の指定先に直接アップロードします。

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 10/11、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。いずれのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **SharePoint** を選択し、**OK** をクリックします。
6. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
7. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
SharePoint サイトのアドレス	ブラウザーのアドレスバーに表示されたフルパスのアドレス（例：http://SharePointSiteAddress/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx）、または IP アドレス（例：http://192.168.0.1/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx）をコピーアンドペーストします。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名を選択します。ナビゲーションバーの**スキャン ファイル名称**メニューで、ユーザー定義の名前とファイル名のスタイルを設定できます。
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
傾き補正	**オン**を選択すると、原稿を読み取る時に原稿の歪みが自動的に補正されるように本製品を設定します。

オプション	詳細
白紙除去	**オン**オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの白紙ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、白紙ページが検出されやすくなります。
地色除去	除去する地色の濃度を変更します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
明るさ	明るさのレベルを選択します。
コントラスト	コントラストのレベルを選択します。
接続時にパスワード認証を行う	このプロファイルを PIN で保護するには、**オン**を選択し、**接続パスワード**欄に 4 桁の PIN を入力します。
認証方法	認証方式を選択します。**オン**を選択した場合、認証方式は自動的に検出されます。
ユーザー名	**SharePoint サイトのアドレス**欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザー名（最大 96 文字）を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 **ユーザー名@ドメイン名** **ドメイン名\ユーザー名**
パスワード	**ユーザー名**欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	Kerberos サーバーアドレスを入力します（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）。

8. **OK** をクリックします。

関連情報

- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを SharePoint サーバーにアップロードする

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [SharePoint]を押します。
3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、画質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート]を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 をお使いの場合、Web サービスプロトコルを使用して、ネットワーク上のブラザー製品を使ってスキャンすることができます。Web サービス経由でドライバーをインストールする必要があります。

- Web サービスを使用してスキャンに使用するドライバーをインストールする（Windows 7、Windows 8.1、および Windows 10）
- 本製品から Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）
- Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

Web サービスを使用してスキャンに使用するドライバーをインストールする（Windows 7、Windows 8.1、および Windows 10）

- 本製品に適切なソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- ホストコンピューターと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら 2 つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
- この設定を行う前に、本製品で IP アドレスを設定する必要があります。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスの追加**をクリックします。
   - Windows 8.1

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、 **設定** > **PC 設定の変更** > **PC とデバイス** > **デバイス** > **デバイスを追加する**をクリックします。

     本製品の Web サービス名が表示されます。
   - Windows 7

     (スタート) > **コントロール パネル** > **ネットワークとインターネット** > **ネットワークのコンピューターとデバイスの表示**をクリックします。

     本製品の Web サービス名がプリンターのアイコンと一緒に表示されます。

     インストールする製品を右クリックします。

   - 本製品の Web サービス名は、本製品のモデル名と MAC アドレス（イーサネットアドレス）です（例：Brother XXX-XXXX（XXX-XXXX はモデル名）[XXXXXXXXXXXX]（MAC アドレス/イーサネットアドレス））。

2. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 8.1/Windows 10

     インストール先の製品を選択し、画面の指示に従います。
   - Windows 7

     表示されたメニューで**インストール**をクリックします。

ドライバーをアンインストールするには、**アンインストール**または（**デバイスの削除**）をクリックします。

関連情報

- Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

本製品から Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

Web サービスでドライバーをインストールしていると、本製品の操作パネルに Web サービスの設定項目が表示されます。

- メモリー不足のエラーメッセージが表示された場合は、**用紙サイズ**設定で小さいサイズを選択するか、**解像度 (DPI)**設定で低い解像度を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［Web サービス］を押します。
3. ▲または▼を押して、使用するスキャンの種類を選択し、押します。
4. ▲または▼を押して、データ送信先のパソコンを表示し、パソコン名を選択します。
5. ［スタート］を押します。
   本製品はスキャンを開始します。

関連情報

- Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 8.1

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックし、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 7

     (スタート) > **デバイスとプリンター**をクリックします。
2. 本製品のアイコンを右クリックし、**スキャン プロファイル...**を選択します。**スキャン プロファイル**ダイアログボックスが表示されます。
3. 目的のスキャンプロファイルを選択します。
4. **スキャナー**一覧で選択されたモデル名が、Web サービスのスキャンに対応している製品であることを確認し、**既定に設定**ボタンをクリックします。
5. **編集** をクリックします。

   既定のプロファイルの編集ダイアログボックスが表示されます。
6. **スキャナーの種類**、**用紙サイズ**、**色の形式**、**ファイルの種類**、**解像度 (DPI)**、**明るさ**および**コントラスト**設定を選択します。
7. **プロファイルの保存**ボタンをクリックします。

   Web サービスを使ってスキャンする場合のプロトコルとして適用されます。

スキャンアプリケーションを選択するよう表示された場合は、一覧から WindowsFAX とスキャンを選択します。

関連情報

- Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

Brother iPrint&Scan を使用してスキャン設定を変更する

Brother iPrint＆Scan を使用すると、本製品のスキャンボタンの設定を変更できます。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. お使いの製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧からお使いのモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **本体からのスキャン設定**ボタンをクリックし、画面の指示に従って、原稿のサイズ、カラー、解像度などのスキャン設定を変更します。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. お使いの製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧からお使いのモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **スキャン**アイコンをクリックし、画面の指示に従って原稿をスキャンします。

関連情報

- スキャン

お使いのパソコンからスキャンする (Windows)

お使いのパソコンを使用して、写真や文章を本製品でスキャンします。弊社から提供されているソフトウェアやお使いのスキャンアプリケーションを使用します。

- Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする
- Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする

Nuance™ PaperPort™ 14SE アプリケーションをスキャンに使用することができます。

- Nuance™ PaperPort™ 14SE アプリケーションをダウンロードするには、 （**Brother Utilities**）をクリックし、左ナビゲーションバーで**もっと活用する**を選択して、**PaperPort** をクリックします。
- Nuance™ PaperPort™ 14SE は、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Education および Windows 10 Enterprise をサポートしています。
- アプリケーションの使い方については、各アプリケーションの**ヘルプ**メニューをクリックして、**ヘルプ**リボンで**使い方ガイド**をクリックして確認してください。

これらの手順は、PaperPort™ 14SE を使用してスキャンする場合の指示です。その他の Windows アプリケーションの場合も、手順は同様です。PaperPort™ 14SE は、TWAIN ドライバーと WIA ドライバーをサポートしています。TWAIN ドライバー（推奨）は、本手順で使用されています。

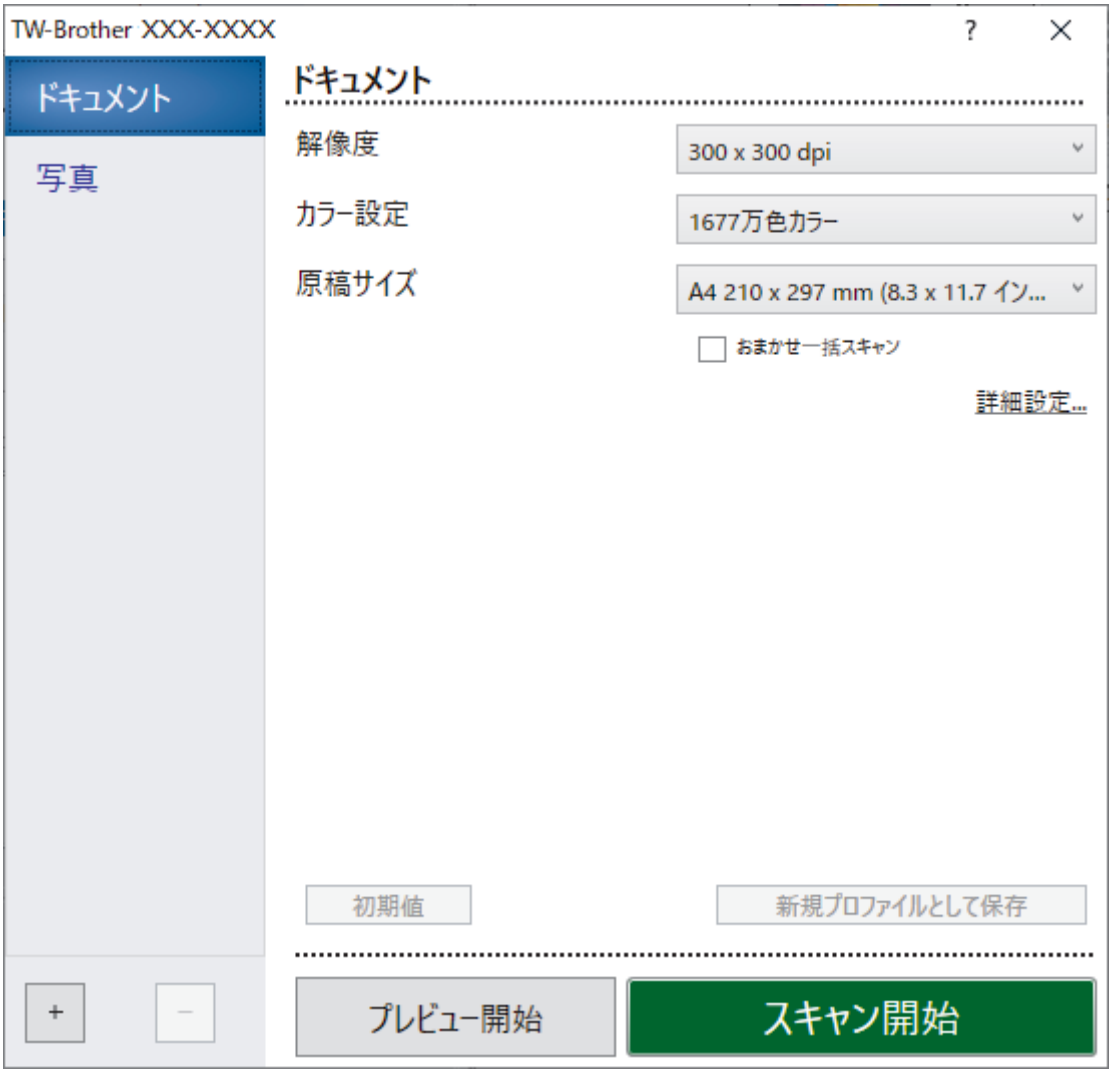
- お使いのモデルによっては、Nuance™ PaperPort™ 14SE が含まれていない場合があります。含まれていない場合、スキャンに対応している他のアプリケーションソフトウェアを使用できます。

1. 原稿をセットします。
2. PaperPort™ 14SE を起動します。
   以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Nuance PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
   - Windows 8.1

     （**PaperPort**）をクリックします。
   - Windows 7

     お使いのパソコンで、**(スタート)** > **すべてのプログラム** > **Nuance PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
3. **デスクトップ**メニューをクリックして、**デスクトップ**リボンで**スキャン設定**をクリックします。
   画面の左側に、**スキャンまたは写真の取り込み**パネルが表示されます。
4. **選択**をクリックします。
5. 利用可能なスキャナー一覧から、**TWAIN: TW-Brother XXX-XXXX** または **TWAIN: TW-Brother XXX-XXXX LAN** を選択します（XXX-XXXX は本製品のモデル名）。
6. **スキャンまたは写真の取り込み**パネルで**スキャナ ダイアログ ボックスの表示**チェックボックスを選択します。
7. **スキャン**をクリックします。
   スキャナーセットアップダイアログボックスが表示されます。

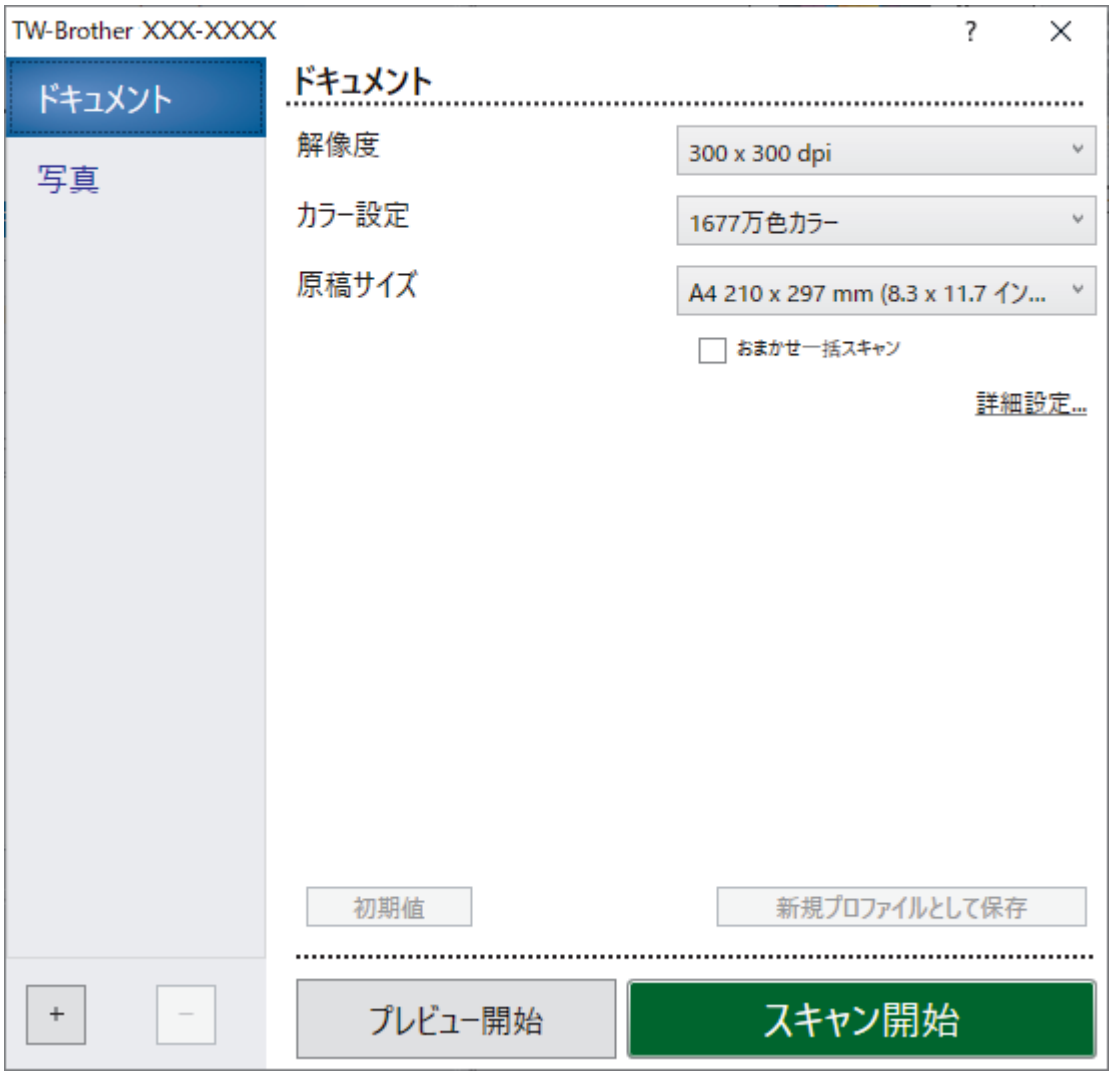


8. 必要に応じて、スキャナーセットアップダイアログボックスで設定値を調整します。
9. **原稿サイズ**ドロップダウンリストから原稿サイズを選択します。
10. 画像をプレビューして、スキャンする前に不要な部分を切り取りたい場合は、**プレビュー開始**をクリックします。
11. **スキャン開始**をクリックします。
    本製品はスキャンを開始します。

関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)
  - TWAIN ドライバーの設定 (Windows)

TWAIN ドライバーの設定 (Windows)



設定項目名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。

1. **簡単設定**

   スキャンする原稿の種類にあわせて**写真**または**ドキュメント**を選択します。

スキャン（画像種類）		**解像度**	**カラー設定**
写真	写真のスキャンに使用します。	300 x 300 dpi	**1677 万色カラー**
ドキュメント	テキスト原稿をスキャンする時に使用します。	300 x 300 dpi	**1677 万色カラー**

2. **解像度**

   解像度ドロップダウンリストからスキャン解像度を選択します。解像度を上げると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

3. **カラー設定**

   さまざまな色濃度の中から選択します。

   - **モノクロ**

     文字原稿または線画に使用します。

- **グレー（誤差拡散）**

  写真やグラフィックに使用します。（誤差拡散は、グレーの点を使用せずに、疑似的にグレー画像を作成する手法です。見た目を自然なグレーに見せるために、黒い点を一定の規則で配置しています。）
- **256 階調グレー**

  写真やグラフィックに使用します。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。
- **1677 万色カラー**

  最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くかかります。

4. **原稿サイズ**

   あらかじめ設定されたスキャンサイズから、使用する原稿と同じサイズを選択します。

   ユーザー定義サイズを選択すると、**ユーザー定義サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、原稿サイズを指定できます。
5. **おまかせ一括スキャン**

   原稿台ガラスにセットされた複数の原稿を一括でスキャンします。複数の原稿を一度にスキャンし、複数のファイルまたは複数ページを含んだ 1 つのファイルが作成されます。
6. **詳細設定**

   スキャナーセットアップダイアログボックスの**詳細設定**リンクをクリックして、詳細設定を行います。
   - **原稿補正**
     - **傾き補正**

       原稿台ガラスからページがスキャンされた時に、原稿の歪みが自動的に修正されるよう本製品を設定します。
     - **原稿ふち調整**

       原稿の余白を調整します。
     - **画像回転**

       スキャンした画像を回転します。
     - **原稿ふち塗りつぶし**

       スキャンした画像の四辺の縁を、選択した色と範囲で塗りつぶします。
     - **白紙除去**

       スキャン結果から原稿の空白ページを取り除きます。
   - **画質調整**
     - **誤差拡散グレー濃淡調整**

       カラー設定ドロップダウンリストから**グレー（誤差拡散）**オプションを選択する場合は、拡散を調整します。
     - **カラートーン調整**

       カラーの明暗を調整します。
     - **背景スムージング**
       - **裏写り・地紋除去**

         裏写りや地紋を防止します。
       - **地色除去**

         原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。
     - **ドロップアウトカラー**

       スキャンした画像から取り除きたい色を選択します。
     - **エッジ強調**

       文字を鮮明にします。
     - **ノイズ軽減**

       スキャン画像の品質を改善および向上させます。**ノイズ軽減**は、**1677 万色カラー**および **300 x 300 dpi**、**400 x 400 dpi**、または **600 x 600 dpi** スキャン解像度を選択した場合に利用可能です。
   - **モノクロ画質調整**

- **モノクロ化レベル調整**
  しきい値を調整してモノクロ画像を生成します。
- **文字補正**
  とぎれた文字や不完全な文字を調整して読みやすくします。
- **白黒反転**
  モノクロ画像の白黒を反転します。

- **搬送制御**
  - **レイアウト**
    レイアウトを選択します。
  - **継続スキャン**
    複数のページをスキャンするには、このオプションを選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを続けるか終了するかを選択します。

関連情報

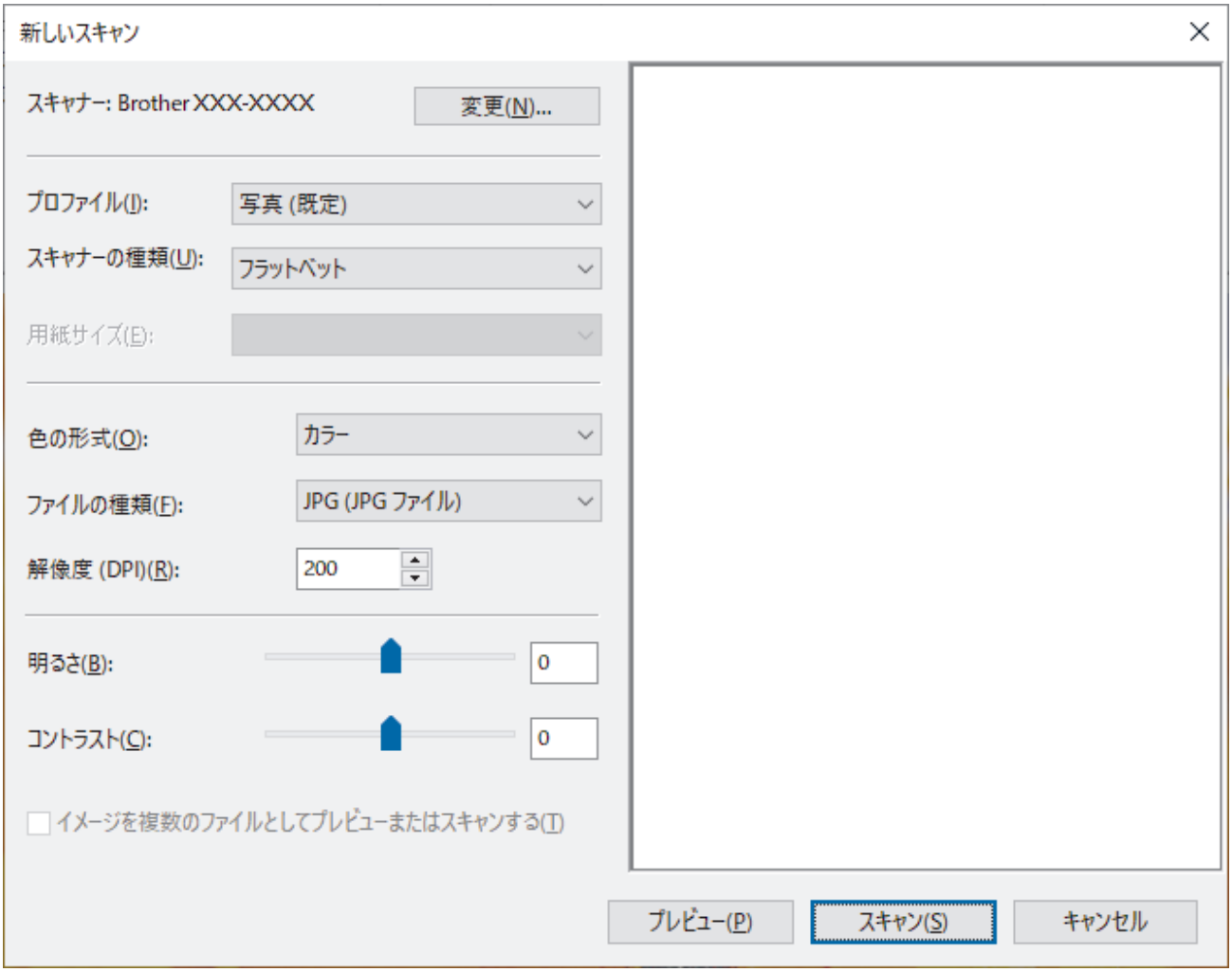
- Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする

Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

Windows FAX とスキャンのアプリケーションは、スキャン時に使用できるもう 1 つのオプションです。

- Windows FAX とスキャンは、WIA スキャナードライバーを使用します。
- 原稿をスキャンした後にページの一部を切り取る場合は、原稿台ガラス（フラットベットとも呼ばれます）を使用してスキャンする必要があります。

1. 原稿をセットします。
2. Windows FAX とスキャンを起動します。
3. **ファイル** > **新規作成** > **スキャン**をクリックします。
4. 利用するスキャナーを選択します。
5. **OK** をクリックします。
   新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。



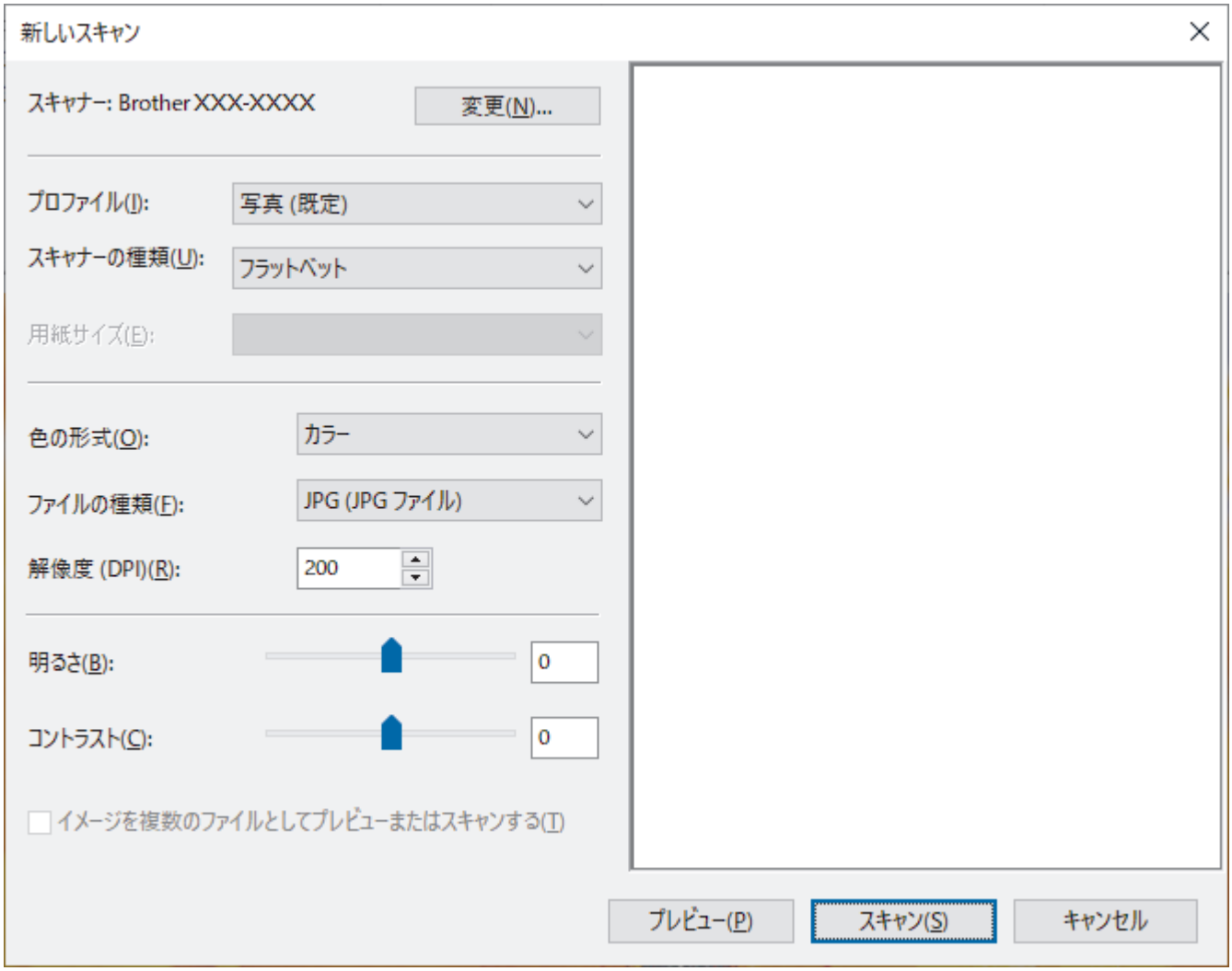
6. 必要に応じて、ダイアログボックスで設定値を調整します。
   スキャナーの解像度は、最大 1200dpi に設定可能です。さらに高解像度でスキャンしたい場合は、**Brother Utilities** の **Scanner Utility** ソフトウェアを使用してください。
7. **スキャン** をクリックします。
   原稿のスキャンが開始されます。

関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)

- WIA ドライバー設定 (Windows)

WIA ドライバー設定 (Windows)



プロファイル

プロファイルの追加、**ドキュメント**、**最後に使用された設定**、**写真（既定）**から選択します。

スキャナーの種類

（ADF(自動原稿送り装置）搭載モデルのみ）

原稿のセット方法を**フラットベット**、**フィーダー（片面スキャン）**から選択します。

フィーダー（片面スキャン）を選んだ場合は、ページサイズを指定します。また、画像のプレビューやスキャンする範囲の調整はできなくなります。

用紙サイズ

（ADF(自動原稿送り装置）搭載モデルのみ）

スキャナーの種類で**フィーダー（片面スキャン）**を選択した場合にページサイズを指定します。

色の形式

カラー、**グレースケール**、または**白黒**の中からスキャンしたい原稿のタイプを選択します。

ファイルの種類

BMP（BMP ファイル）、**JPG（JPEG ファイル）**、**PNG（PNG ファイル）**、**TIF（TIFF ファイル）**から選択します。

解像度（DPI)

解像度（DPI)のドロップダウンリストからスキャンの解像度を選択します。解像度が高くなればなるほど必要なメモリーと転送時間も増えますが、スキャン画像の品質は上がります。

明るさ

つまみを右または左にドラッグして**明るさ**レベルを設定し、画像を明るめ、または暗めに調整します。スキャンした画像が明るすぎる場合は、明るさレベルを下げてから再度原稿をスキャンしてください。画像が暗すぎる場合は、明るさレベルを上げてから再度原稿をスキャンしてください。

コントラスト

つまみを右または左にドラッグして**コントラスト**レベルの上げ下げをします。レベルを上げると画像中の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力することでコントラストレベルを設定することも可能です。

関連情報

- Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

お使いのパソコンからスキャンする (Mac)

- AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）

Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

- Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する

Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する

原稿をスキャンすると、本製品はスキャンジョブの E メールレポートを、登録されている E メールアドレスに自動的に送信します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン通知レポート**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **管理者メールアドレス**欄で、E-mail アドレスを入力します。
6. 利用するスキャン機能に対して**オン**を選択し、スキャンジョブの E メールレポートが送信されるようにします。
7. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

コピー

- コピーする
- コピー画像を拡大または縮小する
- ソートコピー
- レイアウトコピーをする（N in 1 コピーまたはポスターコピー）
- 両面コピーする
- ID カードをコピーする
- コピー設定

コピーする

1. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
2. 原稿をセットします。
3. [コピー]を押します。

   以下の画面が表示されます：

4. 必要に応じてコピー設定を変更します。

A4 サイズの普通紙以外をセットしている場合は、[設定変更]を押して、[用紙サイズ]および[用紙タイプ]設定を変更する必要があります。

オプション	詳細
×01（コピーの部数）	以下のいずれかの方法で部数を入力します： • 画面の[-]または[+]を押します。 • ×01を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。
（[設定変更]）	[[設定変更]]を押すと、次のコピーのみ設定が変更されます。 設定の変更が終了したら、[OK]を押します。
[ID]	[[2in1 ID(縦並び)]]レイアウトで ID カードのコピーを作成するには、[[ID]]チェックボックスを選択します。
現在の設定表示	以下のいずれかのアイコンを押すと、次のコピーに対してのみそれらの設定が変更されます。 • [用紙サイズ]（DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4940DN） • [用紙タイプ]（DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4940DN） • [用紙トレイ選択]（MFC-J4540N） • [コピー画質] • [拡大/縮小]（MFC-J4540N）

新しいオプションの選択を完了したあと、[ショートカットとして登録]を押して設定を保存できます。

5. ［ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ］または［ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ］を押します。

コピーを停止するには、 を押します。

関連情報

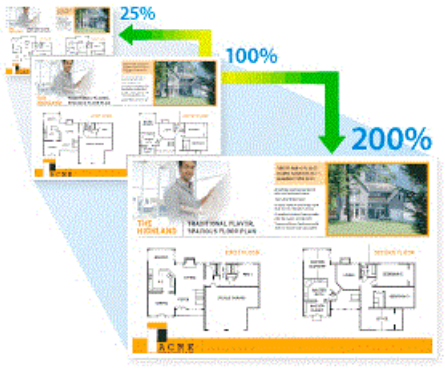
- コピー

関連トピック：

- 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- コピー設定

コピー画像を拡大または縮小する

拡大率または縮小率を選択して、コピーデータの大きさを変更します。



1. 原稿をセットします。
2. [コピー]を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - タッチパネルの[-]または[+]を押します。
   - ×01を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。
4. [設定変更] > [拡大/縮小]を押します。
5. ▲または▼を押して利用可能なオプションを表示し、変更したいオプションを押します。
6. 次のいずれかを行ってください。
   - [拡大]または[縮小]を選択した場合、設定したい拡大率または縮小率を押します。
   - [カスタム(25-400%)]を選択した場合、（バックスペースキー）を押して、表示されている倍率を消すか、◀を押してカーソルを移動し、[25%]から[400%]の間で拡大率または縮小率を入力します。[OK]を押します。
   - [等倍 100%]または[用紙に合わせる]を選んだ場合は、次の手順に進みます。
7. 選択したオプションの一覧が表示されるので確認し、[OK]を押します。
8. 設定の変更が終了したら、[ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ]または[ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ]を押します。

[用紙に合わせる]オプションを選択した場合、セットした用紙のサイズに合わせて自動的にコピーサイズが設定されます。

- 原稿を読み取るときに3°以上傾いている場合、[用紙に合わせる]オプションが適切に動作しません。原稿の読取面を下にして、原稿ガイドに合わせて原稿台ガラスの左上角に原稿を置きます。

関連情報

- コピー

ソートコピー

複数ページのコピーを部単位でまとめます。コピーされたページは、原稿の順番通りに排出されます：1、2、3など。

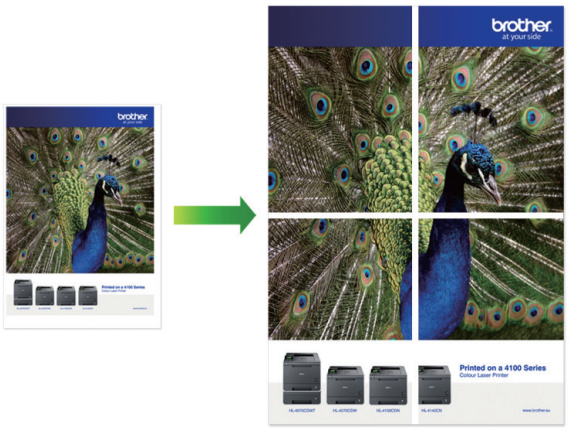
1. 原稿をセットします。
2. ［コピー］を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - タッチパネルの［-］または［+］を押します。
   - を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。［OK］を押します。
4. ［設定変更］>［スタック/ソート］>［ソートコピー］を押します。
5. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、［OK］を押します。
6. 設定の変更が終了したら、［ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ］または［ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ］を押します。ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンして、印刷を開始します。
7. 原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します。
   - 次のページを原稿台ガラスに置き、［次のページ開始］を押してページを読み取ります。
   - すべてのページの読み取りが終わったら、［全てのページ完了］を押します。

関連情報

- コピー

レイアウトコピーをする（N in 1 コピーまたはポスターコピー）

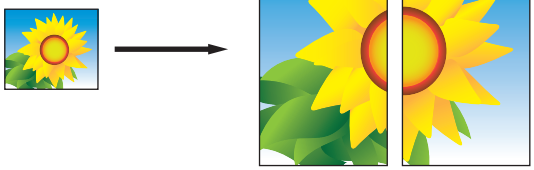
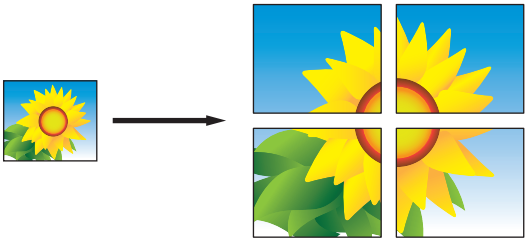
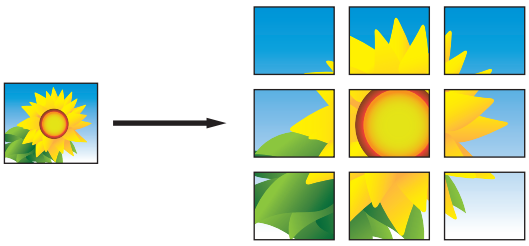
N in 1 コピー機能は、2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーすることで、用紙を節約します。ポスターコピー機能は、原稿をいくつかに分割し、各部分を拡大して 1 枚のポスターに組み立てられるようにコピーします。ポスターコピーをする場合は、原稿台ガラスを使用してください。



- 用紙サイズが A4 サイズに設定されているか確認してください。
- ポスターコピーは一度に複数部の指定ができません。

1. 原稿をセットします。
2. [コピー] を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - タッチパネルの [-] または [+] を押します。
   - ×01 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
4. [設定変更] > [レイアウト コピー] を押します。
5. ▲ または ▼ を押してオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。

オプション	詳細
[オフ (1in1)]	-
[2in1 (縦長)]	
[2in1 (横長)]	

オプション	詳細
[2in1 ID(縦並び)] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[2in1 ID(横並び)] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[4in1(縦長)]	
[4in1(横長)]	
[ポスター(2x1)] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[ポスター(2x2)] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[ポスター(3x3)] (原稿台ガラスを使用する場合)	

6. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK]を押します。
7. 設定の変更が終了したら、[ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ]または[ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ]を押します。ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、もしくはポスターコピーをする場合、原稿がスキャンされ、コピーが開始されます。
8. 原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します。
   - 次のページを原稿台ガラスに置き、[次のページ開始]を押してページを読み取ります。
   - すべてのページの読み取りが終わったら、[全てのページ完了]を押します。

関連情報

- コピー

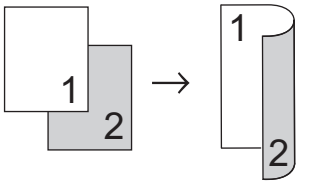
両面コピーする

両面にコピーをすることで、用紙の使用量を減らします。

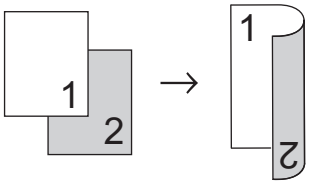
- 両面コピーをする前に、以下の設定から両面コピーのレイアウトを選択する必要があります。
- 元の原稿のレイアウトに合わせて、どの両面コピー設定を選択すべきか決定します。
- 手動で両面原稿から両面コピーする場合は、原稿台ガラスを使用してください。
- A4、B5（JIS）、A5 サイズの普通紙のみ使用できます。

縦向き

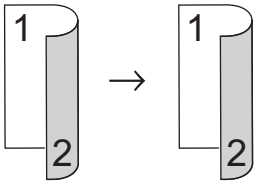
片面から両面（長辺とじ）



片面から両面（短辺とじ）

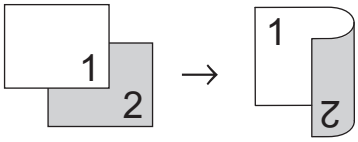


両面から両面

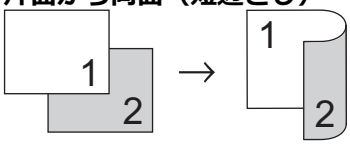


横向き

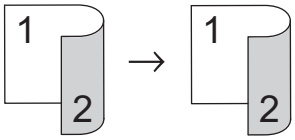
片面から両面（長辺とじ）



片面から両面（短辺とじ）



両面から両面



1. 原稿をセットします。
2. [コピー]を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - タッチパネルの[-]または[+]を押します。
   - ×01を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。

4. 複数部にコピーをまとめるには、[設定変更] > [スタック/ソート] > [ソートコピー]を押します。
5. ▲または▼を押して[両面コピー]オプションを表示させ、それを押します。
6. 次のいずれかを行ってください。
   - 片面原稿から両面コピーをする場合は、以下の操作を行います：
     a. レイアウトを変更する場合には、[とじ方向]を押してから、[長辺とじ]または[短辺とじ]を押します。
     b. [片面⇒両面]を押します。
   - 両面原稿から両面コピーをする場合は、[両面⇒両面]を押します。

手動で両面原稿から両面コピーをする場合は、原稿台ガラスを使用します。

7. 画面で設定を確認してから、[OK]を押します。
8. [ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ]または[ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ]を押します。ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンして、印刷を開始します。
9. 原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します。
   - 次のページを原稿台ガラスに置き、[次のページ開始]を押してページを読み取ります。
   - すべてのページの読み取りが終わったら、[全てのページ完了]を押します。

二度目に排紙されるまで、出力紙に触らないでください。本製品は片面を印刷した後、一度排紙してから、もう一方の片面を印刷するために出力紙を引き込みます。

印刷した用紙が汚れたり、用紙詰まりが起きる場合は、[インク] > [印刷設定オプション] > [用紙汚れの低減]を押して、設定を変更してください。

関連情報

- コピー

関連トピック：

- 印刷オプションを変更して印刷結果を改善する

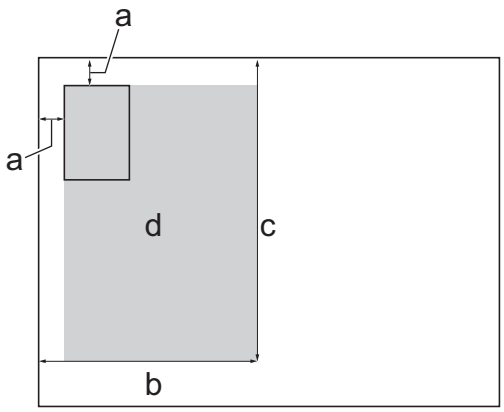
ID カードをコピーする

[2in1(ID カード)]機能を使うと、身分証明書のようなカードの両面を、原寸のまま 1 ページにコピーすることができます。

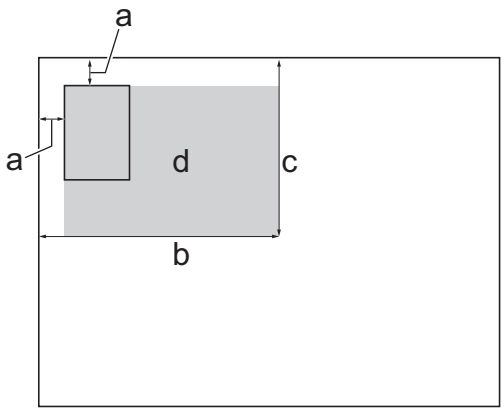
- 用紙サイズが A4 サイズに設定されているか確認してください。
- 法律で認められる範囲内で ID カードコピーを行ってください。詳しい説明は「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

1. ID カードを、読み取る面を下にして、原稿台ガラスの左上角の近くに置きます。

2 in 1 ID（縦並び）



2 in 1 ID（横並び）



a. 3mm 以上（上、左）
b. 145mm
c. 2 in 1 ID（縦並び）：207mm
   2 in 1 ID（横並び）：102mm
d. 読み取り可能範囲

2. [コピー]を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - タッチパネルの[-]または[+]を押します。
   - ×01を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。
4. [設定変更] > [レイアウト コピー] > [2in1 ID(縦並び)]または[2in1 ID(横並び)]を押します。

[ID]を押して[2in1 ID(縦並び)]設定を行うこともできます。

5. 選択した設定の一覧が表示されるので確認します。設定の変更が終了したら、[OK]を押します。
6. [ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ]または[ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ]を押します。
   本製品で ID カードの片面のスキャンを開始します。

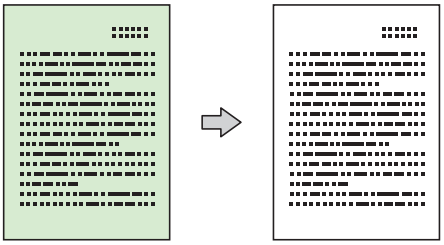
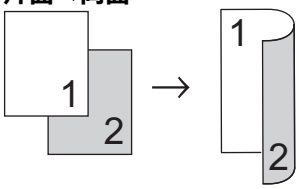
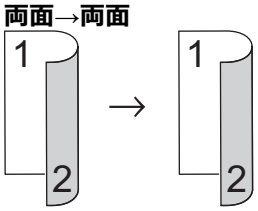
7. 片面のスキャンが終わったら、ID カードを裏返し、[次のページ開始]を押してもう一方の片面もスキャンします。

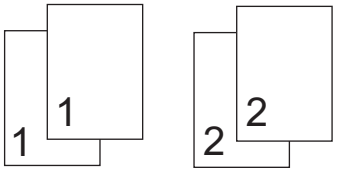
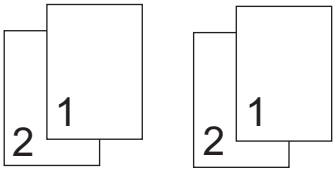
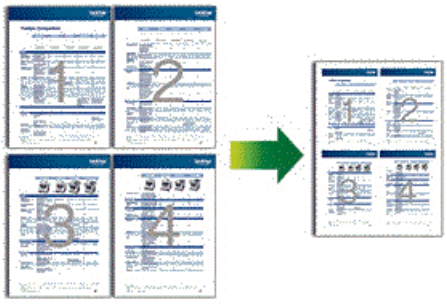
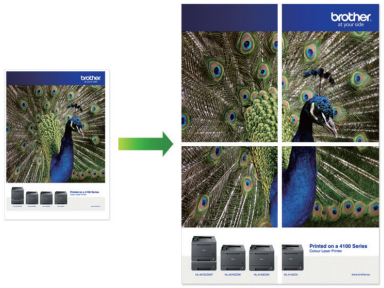
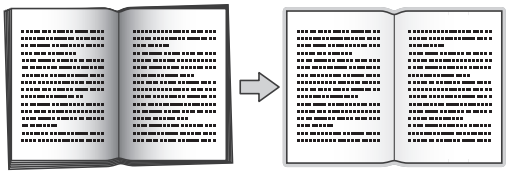
関連情報

- コピー

コピー設定

コピー設定を変更するには、[設定変更]を押します。

オプション	詳細	
[コピー画質]	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。	
[用紙トレイ選択] (MFC-J4540N)	原稿に最適な用紙タイプと用紙サイズがセットされたトレイを選択します。	
[用紙タイプ]	用紙の種類を選択します。 特別な用紙にコピーする場合は、最良の印刷品質を得るため、使用している用紙タイプを設定します。	
[用紙サイズ]	用紙サイズを選択します。 A4 サイズ以外の用紙にコピーする場合は、用紙サイズ設定を変更する必要があります。	
[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
	[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
	[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
	[用紙に合わせる]	セットした用紙サイズに合うように、コピーサイズを調整します。
	[カスタム(25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
[コピー濃度]	濃度を高くして、文字を濃くします。 濃度を低くして、文字を薄くします。	
[地色除去コピー]	原稿の地色を除去してコピーします。白色がよりはっきりします。インクを節約し、コピーを読みやすくします。 	
[両面コピー]	両面コピーを選択します。 **片面→両面**  **両面→両面** 	

<table>
<tr><th>オプション</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>[スタック/ソート]</td><td>スタックまたはソートコピーを選択します。
スタック
 
ソート
  </td></tr>
<tr><td>[レイアウト コピー]</td><td>N in 1、2 in 1 ID、またはポスターコピーをします。
4 in 1
 
ポスター
  </td></tr>
<tr><td>[傾き補正]</td><td>コピーの傾きを修正する場合に選択します。
原稿の傾きが 3°以内の場合に限って有効です。</td></tr>
<tr><td>[便利なコピー設定]</td><td>[ブックコピー]
原稿台ガラスを使ってコピーするときにできる、陰や傾きを補正します。
 
[透かしコピー]
文字を透かして文書に追加します。
 </td></tr>
<tr><td>[設定を保持する]</td><td>頻繁に使用するコピー設定を初期値設定として保存します。</td></tr>
<tr><td>[設定をリセットする]</td><td>変更したコピー設定をお買い上げ時の設定にリセットします。</td></tr>
</table>

[ショートカットとして登録]を押して、現在の設定を保存できます。

関連情報

- コピー

関連トピック：

- コピーする

ファクス／電話

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- ファクスを送信する
- ファクスを受信する
- 電話帳
- 電話
- 留守番機能
- 電話サービスと色々な接続方法
- 送受信テストとファクスレポート
- PC-FAX

ファクスを送信する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- お使いのブラザー製品からファクスを送る
- 手動でファクスを送信する
- 子機で話をしてから送る
- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）
- リアルタイム送信する
- 時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信）
- IP ファクスを送信する（データコネクト設定）
- ファクス自動再ダイヤル設定を変更する
- ファクス送信をキャンセルする
- 送信待ちファクスを確認、キャンセルする
- ファクスオプション

お使いのブラザー製品からファクスを送る

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。
2. [ファクス]を押します。

[みるだけ受信]が[オン(画面で確認)]に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信]を押します。

以下の画面が表示されます：

3. 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します：
   - ダイヤルパッド（手動でファクス番号を入力します。）
     画面を使って、番号のすべての数字を押します。
   - 履歴
     [履歴]を押します。
     [再ダイヤル]、[発信履歴]、または[着信履歴]を押します。
     [発信履歴]または[着信履歴]を選択した場合は、番号を選択し、[送信先に設定]を押します。
   - 電話帳
     [電話帳]を押します。
     番号を選択して、[送信先に設定]を押します。
4. ファクス設定を変更するには、[設定変更]を押します。

   完了したら、[OK]を押します。
5. [スタート]を押します。
   - ADF(自動原稿送り装置)を使用している場合、本製品はスキャンを開始して原稿を送信します。
   - 原稿台ガラスを使用し、[カラー設定]の[モノクロ]を選択している場合、本製品は最初のページのスキャンを開始します。
     次の手順に進みます。
   - 原稿台ガラスを使用し、[カラー設定]の[カラー]を選択している場合、カラーファクスを送信したいかどうか、画面に確認メッセージが表示されます。
     [はい(カラー送信)]を押して確定します。本製品はダイヤルを開始し、原稿を送信します。
6. 画面に[次の原稿はありますか?]と表示された場合は、以下のいずれかを行ってください：
   - ページの読み取りが完了した場合は、[いいえ]を押します。本製品が原稿の送信を開始します。

- 他のページをスキャンするには、[はい]を押します。次のページを原稿台ガラスに置き、[OK]を押します。本製品がページの読み取りを開始します。

追加するページごとにこの手順を繰り返します。

関連情報

- ファクスを送信する

関連トピック：

- ファクスオプション

手動でファクスを送信する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

手動送信を使用すると、ダイヤルトーン（ツーという音）、呼出音、またファクス受信音（ピーヒョロヒョロという音）を確認してファクスを送信することができます。

1. 原稿をセットします。
2. [ファクス]を押します。

[みるだけ受信]が[オン(画面で確認)]に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信]を押します。

---

3. [ｵﾝﾌｯｸ]を押して、ダイヤルトーンを聞きます。
4. ファクス番号を入力します。
5. ファクス受信音が聞こえたら、[スタート]を押します。
   - 原稿台ガラスを使用している場合は、[送信]を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

子機で話をしてから送る

関連モデル: MFC-J4940DN

相手と話をして、ファクスを送ることを伝えてから送ることができます。

「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1. 相手先に電話をかけます。
2. 相手と通話してファクスを送ることを伝え、相手側のファクス機のスタートボタンを押してもらいます。
   相手先のファクスが応答すると「ピー」という音が聞こえます。
3. 原稿をセットします。
4. ［ファクス送受信］を押します。
   - 原稿台ガラスを使用している場合は、［送信］を押します。
5. 子機を充電器に戻します。

関連情報

- ファクスを送信する

複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

同じ原稿を複数のファクス番号に同時に送信する場合は、同報送信機能を使用します。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- 電話帳の番号を同報送信で使用するには、事前に電話帳を製品のメモリーに登録する必要があります。
- グループダイヤルを同報送信で使用する場合も、事前にグループダイヤルを製品のメモリーに登録する必要があります。グループに電話帳の番号をたくさん登録すると、簡単にダイヤルすることができます。

同じ同報送信には、グループ、電話帳の番号、直接入力した番号（最大 50 件）を含めることができます。
電話帳にグループダイヤルを使用していない場合、最大 250 件の異なる番号にファクスを同報送信することができます。

1. 原稿をセットします。
2. [ファクス]を押します。

[みるだけ受信]が[オン(画面で確認)]に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信]を押します。

3. [設定変更] > [同報送信]を押します。
4. [番号追加]を押します。
   以下の方法で、同報送信に番号を追加できます。
   - [番号追加]を押し、ダイヤルパッドを使ってファクス番号を入力します。[OK]を押します。
   - [電話帳から選択]を押します。▲または▼を押して、同報送信に追加する番号を表示します。追加する番号のチェックボックスを選択します。
     完了したら、[OK]を押します。
   - [検索して選択]を押します。名前の最初の文字を押し、[OK]を押します。名前を押したあと、追加する番号を押します。

   追加するファクス番号ごとにこの手順を繰り返します。
5. 完了したら、[OK]を押します。
6. [スタート]を押します。
7. 以下のいずれかを行ってください：
   - ADF(自動原稿送り装置)を使用している場合、本製品はスキャンを開始して原稿を送信します。
   - 原稿台ガラスを使用している場合、本製品は最初のページのスキャンを開始します。
     画面に[次の原稿はありますか?]と表示された場合は、以下のいずれかを行ってください：
     - ページの読み取りが完了した場合は、[いいえ]を押します。 本製品が原稿の送信を開始します。
     - 他のページをスキャンするには、[はい]を押します。次のページを原稿台ガラスに置き、[OK]を押します。 本製品がページの読み取りを開始します。

     追加するページごとにこの手順を繰り返します。

関連情報

- ファクスを送信する
  - 同報送信をキャンセルする

関連トピック：

- 同報送信のグループダイヤルを設定する
- 本製品にテキストを入力する

同報送信をキャンセルする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

同報送信中に、現在のあて先のみか、全ての送信先かを選んで送信をキャンセルすることができます。

1. を押してホーム画面に戻ります。
2. を押します。
3. 以下のいずれかを行ってください：
   - すべての同報送信をキャンセルするには、[全ての同報送信]を押します。[はい]を押して確認するか、[いいえ]を押してキャンセルせずに操作をやめます。
   - ダイヤルする現在の番号をキャンセルするには、画面上の名前または番号を押します。[はい]を押して確認するか、[いいえ]を押してキャンセルせずに操作をやめます。
   - キャンセルせずに終了する場合、を押します。

関連情報

- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）

リアルタイム送信する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品は、ファクス送信する時、送信前に原稿を製品のメモリーに記憶します。電話回線につながり次第、本製品はダイヤルとファクス送信を始めます。すぐに重要な原稿を送りたい場合には、製品のメモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信する［リアルタイム送信］の機能を有効にします。

- カラーファクスを送信している場合、または製品のメモリーがいっぱいで ADF(自動原稿送り装置)からモノクロファクスを送信している場合、［リアルタイム送信］が［オフ］に設定されていても原稿はリアルタイムで送信されます。
- リアルタイム送信では、原稿台ガラスを使用しているときは自動再ダイアル機能は機能しません。

1. 原稿をセットします。
2. ［ファクス］を押します。

［みるだけ受信］が［オン（画面で確認）］に設定されている場合は、［ファクス］>［ファクス送信］を押します。

3. ［設定変更］>［リアルタイム送信］を押します。
4. ［オン］を押します。
5. ［OK］を押します。
6. ファクス番号を入力します。
7. ［スタート］を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

24 時間以内に送信するファクスを、50 件まで製品のメモリーに保存することができます。

この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

1. 原稿をセットします。
2. [ファクス]を押します。

[みるだけ受信]が[オン(画面で確認)]に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信]を押します。

3. [設定変更] > [タイマー送信]を押します。
4. [タイマー送信]を押します。
5. [オン]を押します。
6. [指定時刻]を押します。
7. 画面を使ってファクスを送信する時間を入力します。[OK]を押します。

メモリーに記憶できるページ数は、データ量とデータ種類によって異なります。

8. [OK]を押します。
9. ファクス番号を入力します。
10. [スタート]を押します。
    - 原稿台ガラスを使用している場合は、次の手順に進みます。
11. 画面に[次の原稿はありますか?]と表示された場合は、以下のいずれかを行ってください：
    - ページの読み取りが完了した場合は、[いいえ]を押します。
    - 他のページをスキャンするには、[はい]を押します。次のページを原稿台ガラスに置き、[OK]を押します。本製品がページの読み取りを開始します。

    追加するページごとにこの手順を繰り返します。

関連情報

- ファクスを送信する

IP ファクスを送信する（データコネクト設定）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

データコネクトとは、NTT のフレッツ 光ネクストのご契約をされている場合に利用できるサービスです。次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクスを使用する場合に設定します。（モノクロファクスのみ）

- データコネクトとは、お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュリティー性が高く安定した帯域確保型データ通信を実現する NTT のフレッツ 光ネクストのサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトで IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。
- 「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT 東日本/NTT 西日本のサービスです。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [データコネクト設定] > [IP ファクス] を押します。
2. 送信動作を選びます。
   - [専用]

     ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信の場合は、通常のファクス送信になります。
   - [優先]

     相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
   - [オフ]

     通常のファクス送信のみとなります。
3. [送信速度] を押します。
4. ▲または▼を押して、光ネクストのご契約内容に合わせて通信速度を選びます。
   - [自動]

     本製品が回線にアクセスして判断します。
   - [標準]

     64kbps に設定します。
   - [高速]

     512kbps に設定します。
   - [最高速]

     1000kbps に設定します。
5. を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

ファクス自動再ダイヤル設定を変更する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクスを自動送信中に回線が混み合っている場合、ファクス自動再ダイヤル設定が［オン］にされていれば、3回まで 5 分間隔で再ダイヤルします。

お買い上げ時の設定は［オン］です。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［初期設定］>［ファクス自動再ダイヤル］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

ファクス送信をキャンセルする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. を押してホーム画面に戻ります。
2. を押して、進行中のファクスをキャンセルします。
3. ダイヤル中や送信中に を押すと、[停止しますか?]と画面に表示されます。[はい]を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

送信待ちファクスを確認、キャンセルする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

製品のメモリーに保存された送信待ちファクスを確認、またはキャンセルするには、手順に従って操作してください。メモリーにファクスジョブがない場合には、画面に［通信待ちはありません］と表示されます。 ファクスが送信される前であれば、ファクスジョブをキャンセルすることができます。

1. ［メニュー］ > ［全てのメニュー］>［ファクス］または［ファクス/電話］>［通信待ち一覧］を押します。
2. 確認したいファクスジョブやキャンセルしたいファクスジョブに対して下記の操作を行います。
   a. ▲または▼を押して、送信待ちのジョブをスクロールします。キャンセルしたいジョブがある場合は、そのジョブを押してください。
   b. ［停止］を押します。
   c. ［はい］を押して確認するか、［いいえ］を押してキャンセルせずに操作をやめます。
3. 完了したら、 を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

ファクスオプション

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクス送信設定を変更するには、[設定変更]を押します。

オプション	詳細
[ファクス画質]	ファクス送信するときの画質を設定します。 ファクス画質を変更することで、ファクスの画質が改善されます。
[原稿濃度]	原稿濃度を設定します。 原稿が明る過ぎたり、暗過ぎたりする場合は、原稿濃度を変更することで、ファクスの画質が改善される場合があります。
[同報送信] (モノクロのみ)	1 回の操作で複数の相手先に同じ原稿を送ります。
[みてから送信] (モノクロのみ)	ファクス送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。 [みてから送信]が[オン]に設定されている場合、カラーファクスは送信できません。
[カラー設定]	原稿をモノクロまたはカラーで送信するかどうかの設定をします。 • カラーファクスの場合はメモリーに保存されず、すぐに送信されます。 • 複数枚のカラーファクスを送信する場合は、ADF(自動原稿送り装置)を使用してください。 • [みてから送信]が[オン]に設定されている場合、カラーファクスは送信できません。
[タイマー送信] (モノクロのみ)	指定した時刻にファクスを送信します。
[とりまとめ送信] (モノクロのみ)	送信時刻と相手先の番号が同じものを、1 回のファクスでまとめて送るように設定し、通信時間を節約します。
[リアルタイム送信]	製品のメモリーからデータが読み取られるのを待たずに、すぐにファクスを送信します。
[海外送信モード]	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
[履歴]	履歴から番号を選択します。
[電話帳]	電話帳 から番号を選択します。
[設定を保持する]	現在の設定を初期値として保存します。
[設定をリセットする]	設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]を押して、現在の設定を保存できます。
設定を直接スタート機能にするかどうかを確認されます。画面の指示に従います。

関連情報

- ファクスを送信する

関連トピック：

- お使いのブラザー製品からファクスを送る
- 仕様

ファクスを受信する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- 受信モードの設定
- 親切受信を設定する
- みるだけ受信
- サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する
- ファクス受信スタンプの設定
- 電話に出てから受ける（手動受信）
- メモリー受信オプション
- リモコン機能
- リモートコードを使う

受信モードの設定

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N

- 受信モードの概要
- 正しい受信モードを選択する
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 再呼出ベル回数を設定する

受信モードの概要

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N

一部の受信モードは自動的に応答します（[FAX=ファクス専用]と[F/T=自動切換え]）。これらのモードを使用する前に、呼出ベル回数を変更してください。

ファクス専用

[FAX=ファクス専用]モードでは、すべての着信をファクスとして自動的に応答します。

F/T=自動切換え

[F/T=自動切換え]モードにすると、着信がファクスか音声通話かを判別し、以下のいずれかの方法でお知らせします。

- ファクスの場合は自動的に受信します。
- 音声通話の場合は、再呼出ベルで電話に出るようお知らせします。再呼出ベルは、本製品で作られた擬似呼出音です。

TEL=電話

[TEL=電話]モードはすべての自動応答機能をオフにします。

[TEL=電話]モードでファクスを受信するには、外付け電話の受話器を取ります。ファクス受信音（「ポーポー」という音）が聞こえたら、を押してから、[ファクス送受信] > [受信]を押して、ファクスを受信します。親切受信機能を使い、製品と同じ回線にある外付け電話の受話器を取ることでファクスを受信することもできます。

留守=外付け留守電

[留守=外付け留守電]モードでは、外付け留守番電話機が着信を管理します。

着信は下記のように判別されます。

- ファクスの場合は自動的に受信します。
- 音声通話の場合は、外付け留守番電話機にメッセージを録音します。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

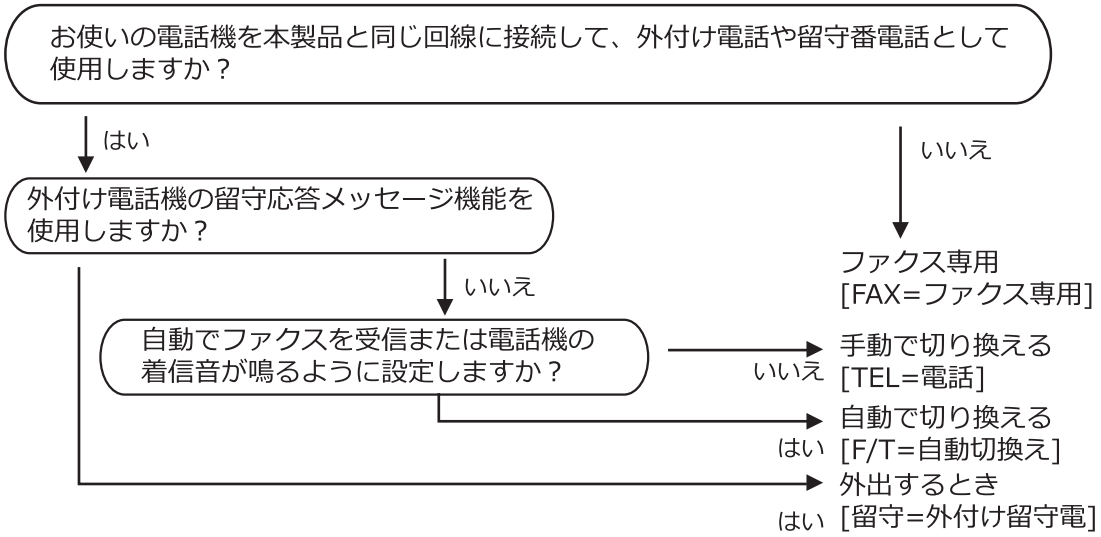
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 再呼出ベル回数を設定する
- 親切受信を設定する

正しい受信モードを選択する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N

お使いの回線で使用している外部機器および電話サービスに合わせて、受信モードを選択する必要があります。

お買い上げ時の設定では、送られてくるファクスは自動的に全て受信するようになっています。下記を参考に、正しいモードを選択してください。



本製品にはガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定できる「かんたんファクス設定」機能があります。[メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [かんたんファクス設定]を押して、画面の指示に従って設定を進めると、接続環境に応じて、最適な受信モードに設定されます。

[かんたんファクス設定]を使って設定を行った場合は、以下の受信モードの設定操作は不要です。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [受信モード]を押します。
2. ▲または▼を押して、[FAX=ファクス専用]、[F/T=自動切換え]、[留守=外付け留守電]または[TEL=電話]を表示させ、使用したいオプションを押します。
3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N

本製品に着信があると、通常の着信音が鳴ります。着信音の回数は、呼出ベル回数オプションで設定します。

- MFC-J4940DN をお使いの場合、呼出ベル回数を変更できます。「関連情報」をご覧ください。
- 呼出ベル回数設定で、[FAX=ファクス専用]モードと[F/T=自動切換え]モードのときに自動受信するまでの着信音の回数を設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [呼出ベル回数]を押します。
2. 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を押します。

[0]を選択した場合、着信音は鳴らず、自動受信します。

3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

- 受信モードの概要
- 親切受信を設定する
- 電話とファクスの問題
- 呼出ベル回数を設定する
- 再呼出の設定をする

再呼出ベル回数を設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N

受信モードが[F/T=自動切換え]に設定されていると、着信がファクスの場合に、本製品は自動的にファクスを受信します。しかし、着信が音声通話の場合は、本製品は再呼出ベル回数オプションで設定した回数を鳴らします。再呼出ベルが聞こえた場合、音声通話の着信が入っているということが分かります。

MFC-J4940DN をお使いの場合、呼出ベル回数を変更できます。「関連情報」をご覧ください。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [再呼出ベル回数]を押します。
2. 音声通話を知らせる再呼出ベルをどれくらい鳴らすかを押します。
3. を押します。

再呼出ベルが鳴っている間に発信者が電話を切った場合でも、製品は設定されている回数だけ呼び出し音を鳴らします。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

- 受信モードの概要
- 呼出ベル回数を設定する
- 再呼出の設定をする

親切受信を設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

電話に出たときにファクスであれば、受話器または子機を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。本製品を手動で操作する必要がないため、離れた場所で電話に出たときなどに便利です。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [受信設定] > [親切受信] を押します。
2. [オン]（または [オフ]）を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを受信する

関連トピック：

- 受信モードの概要
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 電話とファクスの問題

みるだけ受信

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。

- みるだけ受信をオンにする
- 画面で新着ファクスを見る

みるだけ受信をオンにする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- みるだけ受信がオンのとき、ファクス転送、PC-FAX 受信、ファクスクラウド転送のバックアップコピーは、本体でも印刷するように設定していても印刷されません。
- ファクス受信スタンプがオンに設定されている場合、印刷されたファクスには受信日時が印字されますが、みるだけ受信画面には表示されません。

1. (MFC-J4440N/MFC-J4540N) ［メニュー］を押して、 ［みるだけ受信］を押します。
2. (MFC-J4940DN) ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス/電話］>［受信設定］>［みるだけ受信］を押します。
3. ［オン(画面で確認)］（または［オフ(受信したら印刷)］）を押します。
   今後受信するファクスは印刷されないというメッセージが画面に表示されます。
4. ［はい］を押します。
5. を押します。

みるだけ受信をオフに変更した時に、まだメモリー内にファクスが保存されている場合は、以下のうちいずれかを行います：

- 保存されているファクスを印刷したくない場合は、［全て消去］を押します。
  ［はい］を押して確認します。
  ファクスは消去されます。
- 保存されているファクスを全て印刷するには、［全て印刷してから消去］を押します。
- みるだけ受信をオフにしない場合は、［キャンセル］を押します。

関連情報

- みるだけ受信

画面で新着ファクスを見る

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクスを受信すると、画面にメッセージが表示されます。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- 既読ファクスを再度見るには、[ファクス]と[受信ファクス]を押します。

1. 新着ファクスを見るには を押します。

2. ファクス一覧には新旧のファクスが含まれます。新着ファクスには、緑の印がつきます。
見たいファクスを押します。

リスト内の全てのファクスを印刷または消去したい場合は[印刷/消去]を押します。
以下のいずれかを行ってください：
- まだ見ていないファクスを全て印刷するには[全て印刷(新着ファクス)]を押します。
- 既に見たファクスを全て印刷するには[全て印刷(既読ファクス)]を押します。
- まだ見ていないファクスを全て消去するには[全て消去(新着ファクス)]を押します。
- 既に見たファクスを全て消去するには[全て消去(既読ファクス)]を押します。

3. 表中のボタンを押して、以下の操作を行います：

ボタン	結果
	ファクスを拡大します。
	ファクスを縮小します。
	縦にスクロールします。
	横にスクロールします。
	ファクスを時計回りに回転させます。
	ファクスを消去します。 [はい]を押して確認します。
	前のページに戻ります。
	次のページに進みます。
	ファクスの一覧に戻ります。
[スタート]	ファクスを印刷します。 ファクスが 1 ページの場合は、印刷を開始します。本製品のメモリーからファクスを削除するかどうかを確認するメッセージが画面に表示されます。ファクスを削除するには、[はい]を押します。ファクスを本製品のメモリーに残すには、[いいえ]を押します。 ファクスが複数ページの場合は、以下のいずれかを行います。 • すべてのページを印刷するには、[全てのページをプリント]を押します。本製品のメモリーからファクスを削除するかどうかを確認するメッセージが画面に表示されます。ファクスを削除するには、[はい]を押します。ファクスを本製品のメモリーに残すには、[いいえ]を押します。 • 表示されているページのみを印刷するには、[表示ページのみプリント]を押します。 • 表示されているページから最後のページまですべてを印刷するには、[表示ページ以降プリント]を押します。

- ファクスデータが大きいと、表示されるまでに時間がかかります。
- 画面にファクスの現在のページ番号と合計ページ数が表示されます。

4. を押します。

関連情報

- みるだけ受信

サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

[自動縮小]機能が[オン]の場合、お使いの Brother 製品は受信した大きいサイズのファクスを用紙サイズに合わせて縮小します。ファクスの用紙サイズと用紙サイズ設定から、製品が縮小率を計算します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [受信設定] > [自動縮小] を押します。
2. [オン]（または [オフ]）を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを受信する

関連トピック：

- 用紙設定
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

ファクス受信スタンプの設定

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクスを印刷するときに、受信した日時を各ページの一番上に印刷するように設定します。製品に現在の日付と時刻を設定していることを確認してください。

この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [受信設定] > [受信スタンプ] を押します。
2. [オン]（または [オフ]）を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを受信する

電話に出てから受ける（手動受信）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

電話に出たあとに、ファクスを受信することができます。

親切受信が設定されている場合は、電話に出て約 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。

>> MFC-J4440N/MFC-J4540N
>> MFC-J4940DN

MFC-J4440N/MFC-J4540N

本製品と接続している電話機で電話に出なかった場合は、設定している受信モードに従った動作をします。

1. 着信音が鳴ったら、本製品と接続している電話機で電話に出ます。
2. 「ポーポー」と音がしていたら、を押し、[ファクス送受信]を押します。

通話中にファクスを受信するときは、を押してから、[ファクス送受信]を押します。いったんファクスに切り替えると通話に戻れないため、相手にはファクスに切り替えることを伝えてください。

3. [受信]を押します。
4. 画面に[受信中]と表示されたら、受話器を戻します。

MFC-J4940DN

1. 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取ります。
   - 子機を充電器に置いていないときは、外線を押します。
2. 「ポーポー」と音がしていたら、子機の機能 確定を押します。
3. で[ﾌｧｸｽ受信]を選び、機能 確定を押します。

通話中にファクスを受信するときは、機能 確定を押して、で[ﾌｧｸｽ受信]を選び、機能 確定を押します。いったんファクスに切り替えると通話に戻れないため、相手にはファクスに切り替えることを伝えてください。

4. 画面に[ﾌｧｸｽ受信を開始します]と表示されたら、子機を充電器に戻します。

関連情報

- ファクスを受信する

メモリー受信オプション

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品から離れているときは、メモリー受信を使って受信ファクスを管理することができます。メモリー受信オプションは一度につき 1 つのみ使用可能です。

メモリー受信は下記のオプションに設定できます：

- ファクス転送
- メモリー保持のみ
- PC-FAX 受信
- ファクスクラウド転送
  受信ファクスはオンラインサービスに転送されます。
- オフ

この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

- 受信ファクスを別のファクス機に転送する
- 本製品のメモリーに受信ファクスを保存する
- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）
- メモリー受信オプションを変更する
- メモリー受信をオフにする
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
- ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオンにする

受信ファクスを別のファクス機に転送する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクス転送機能を使って、受信するファクスを自動的に別のファクス機に転送します。

この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [受信設定] > [メモリ受信] を押します。
2. ▲ または ▼ を押して [ファクス転送] を表示させ、それを押します。
3. ダイヤルパッドを使用して、転送先のファクス番号（最大 20 桁）を入力します。
   [OK] を押します。
4. [本体でも印刷する] または [本体では印刷しない] を押します。

- [本体でも印刷する] を選択した場合、本製品でも受信ファクスが印刷されるため、バックアップとしてコピーを保管することができます。
- みるだけ受信がオンに設定されているときは、受信ファクスのバックアップ印刷はされません。
- カラーファクスを受信した場合、本製品はカラーファクスを印刷しますが、設定した転送番号へは転送しません。

5. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

本製品のメモリーに受信ファクスを保存する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

メモリ保持機能を使用して、本製品のメモリーに受信ファクスを保存します。ファクス機から離れた場所にいる場合、リモコンコードを使用して、保存されているファクスメッセージをファクス機から取り出します。 お使いの製品は、保存されているファクスをバックアップ印刷します。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [受信設定] > [メモリ受信] を押します。
2. ▲または▼を押して [メモリ保持のみ] を表示させ、それを押します。
3. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- リモコン機能を使ってファクス転送する
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する

PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

PC-FAX 受信機能をオンにすると、本製品のメモリーに受信ファクスが自動的に保存され、お使いのパソコンに送信されます。パソコンを使用して、これらのファクスを表示または保存します。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。カラーファクスを受信した場合、本製品はカラーファクスを印刷しますが、ファクスをパソコンには送信しません。
- PC-FAX 受信の設定を行う前に、お使いのパソコンに Brother のソフトウェアとドライバーをインストールする必要があります。パソコンが接続されており、電源が入っていることを確認してください。お使いのパソコンで PC-FAX 受信ソフトウェアが動作している必要があります。

お使いのパソコンの電源が切れている場合でも、本製品はファクスを受信しメモリーに保存しています。パソコンを起動し PC-FAX 受信ソフトウェアが動作すると、本製品は自動的にファクスをパソコンに転送します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [受信設定] > [PC ファクス受信] を押します。
2. [オン] を押します。
   画面に [パソコンの「PC-FAX 受信」を起動してください] というメッセージが表示されます。
3. [OK] を押します。
4. [<USB>] を押すか、ネットワークに接続している場合はファクスを受信する転送先のパソコンの名前を押します。[OK] を押します。
5. [本体でも印刷する] または [本体では印刷しない] を押します。

みるだけ受信がオンに設定されているときは、受信ファクスのバックアップ印刷はされません。

6. を押します。

転送先のパソコンを変更するにはこれらの手順を繰り返します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送
- お使いのパソコンにファクスを転送する
- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

メモリー受信オプションを変更する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

メモリー受信オプションを変更する際に、お使いの製品のメモリー内に受信したファクスがある場合、画面に次のいずれかの質問が表示されます：

- **受信したファクスが印刷済みの場合、画面に[ファクスを消去しますか?]と表示されます。**
  - [はい]を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスを消去します。
  - [いいえ]を押すと、メモリー内のファクスは消去されず、設定も変更されません。
- **印刷されていないファクスがメモリー内に存在する場合、画面に[全てのファクスをプリントしますか?]と表示されます。**
  - [はい]を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスが印刷されます。
  - [いいえ]を押すと、メモリー内のファクスは印刷されず、設定も変更されません。
- 受信したファクスがメモリー内に残っている状態で別のオプション（[ファクス転送]、[ファクス クラウド転送]、または[メモリ保持のみ]）から[PC ファクス受信]に変更した場合は、[<USB>]またはパソコンの名前（ネットワーク接続の場合）を押し、[OK]を押します。本体でも印刷するように設定するか尋ねられます。

  以下の画面が表示されます：

  [ファクスを PC に転送しますか?]
  - [はい]を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスがパソコンに送信されます。
  - [いいえ]を押すと、メモリー内のファクスは消去されず、設定も変更されません。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- メモリー受信をオフにする

メモリー受信をオフにする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品が受信ファクスを保存または転送しないように設定する場合は、メモリー受信をオフにします。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [受信設定] > [メモリ受信] を押します。
2. [オフ] を押します。

製品のメモリーに受信したファクスが保存されている場合、画面に [全てのファクスをプリントしますか?] または [ファクスを消去しますか?] と表示されます。

3. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- メモリー受信オプションを変更する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 電話とファクスの問題

本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- ファクスを印刷したあと、製品のメモリーから消去されます。

[メモリ保持のみ]を選択した場合、メモリー内のすべてのファクスを印刷できます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス]または[ファクス/電話] > [ファクス出力]を押します。

画面の[受信ファクス]を押してメモリー内のファクスを印刷することもできます。

2. [はい]を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- 本製品のメモリーに受信ファクスを保存する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 電話とファクスの問題

リモコン機能

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

リモコン機能を使うと、電話回線のトーン信号から本製品を呼び出すことができ、暗証番号とリモコンコードを使ってファクスを取り出すことができます。

- 暗証番号を設定する
- 暗証番号を使用する
- リモコンコード
- リモコン機能を使ってファクス転送する
- ファクス転送先の番号を変更する

暗証番号を設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

離れた場所からでも本製品へのアクセスと制御を行えるよう、暗証番号を設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [暗証番号] を押します。
2. ダイヤルパッドの [0] から [9]、[*] または [#] を使用して 3 桁のコードを入力します（あらかじめ設定されている「*」は変更できません）。
   [OK] を押します。

   - 暗証番号を消去するには、を長押しして未設定の状態（- - - *）に戻し、[OK] を押します。

3. を押します。

関連情報

- リモコン機能

関連トピック：

- 暗証番号を使用する

暗証番号を使用する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

>> MFC-J4440N/MFC-J4540N
>> MFC-J4940DN

MFC-J4440N/MFC-J4540N

1. 本ブラザー製品から離れている場合は、トーン信号の出せる電話機またはファクス機からお使いのファクス番号にダイアルします。
2. 本製品が応答したら、すぐに 3 桁の暗証番号と*を入力します。
3. 本製品がファクスを受信している場合は、信号音が鳴ります。
   - 「ポー」という音：1 件以上のファクスを受信しました。
   - 音がしない：ファクスを受信しませんでした。
4. ピピッと 2 回鳴った場合は、リモコンコードを入力します。
   - リモコンコードを入力するまでに 30 秒以上経った場合は、通信が切れます。
   - 無効なリモコンコードが入力された場合は、ピピピッと 3 回鳴ります。
5. 完了したら、9 を押してから 0 を押してリモコンアクセスを停止させます。
6. 電話を切ります。

MFC-J4940DN

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。在宅モードでも操作できます。

1. 外出先から本製品に電話します。

在宅モードで呼出ベル回数を［無制限］に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。この場合は、「ピー」という音が鳴るのみで、応答メッセージは再生されません。

2. 応答メッセージが再生されたら、外出先の電話で、「#」、「＊」を押します。
3. 暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力します。
4. 本製品は、メッセージの有無を音でお知らせします。
   - 「ポー」：
     ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」：
     音声メッセージが記憶されています。
   - 「ポーポーポー」：
     ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
5. リモコンコードを入力します。
   - リモコンコードの入力を 30 秒以上しないと、本製品が電話を切ります。
   - 無効なリモコンコードを入力すると、本製品は 3 回ビープ音を鳴らします。
6. 終了したら、「9」「0」を押します。
7. 電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

関連トピック：

- 暗証番号を設定する

リモコンコード

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

外出先など、本製品から離れているときにファクス操作をするには、下表のリモコンコードを使用します。本製品に電話をし、暗証番号（3 桁の番号と*）を入力します。ピピッと 2 回鳴ったら、リモコンコード（1 列目）に続けて、オプションコード（2 列目）を入力してください。

>> MFC-J4440N/MFC-J4540N
>> MFC-J4940DN

MFC-J4440N/MFC-J4540N

リモコンコード	オプションコード	操作の詳細
95	**ファクス転送、またはメモリー保持のみ設定を変更する**	
	1　オフ	すべてのファクスメッセージを受信、または消去した後に、オフを選択できます。
	2　ファクス転送	正しく受け付けられた場合は、ピーッという音が長く 1 回鳴ります。正しく受け付けられなかった場合は、設定が不十分なため変更されず、ピピピッと 3 回鳴ります（例えば、ファクス転送先番号が未登録の場合）。 4 を押すことで、ファクス転送先番号を登録できます。 番号を登録後、ファクス転送することができます。
	4　ファクス転送先番号	
	6　メモリー保持のみ	
96	**ファクスを取り出す**	
	2　全てのファクスを取り出す	メモリーに保存されたファクスを受信するために、離れた場所にあるファクス機のファクス番号を入力します。
	3　メモリーからファクスを消去する	ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、メモリーからファクスが消去されたことを示します。
97	**受信状態を確認する**	
	1　ファクス	お使いの本製品がファクスを受信したかどうかを確認します。ファクスを受信している場合、ビーッという音が長く 1 回鳴ります。ファクスを受信していない場合、ピピピッと 3 回鳴ります。
98	**受信モードを変更する**	
	1　留守=外付け留守電	ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、変更が受け付けられたことを示します。
	2　F/T=自動切換え	
	3 FAX=ファクス専用	
90	**終了する**	リモコンアクセスを終了するには、**9 0** を押します。ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、電話を切ります。

MFC-J4940DN

リモコンコード	オプションコード	操作の詳細
91	**音声メッセージを再生する**	
	1 メッセージを最初から再生	メッセージとメッセージの間で **1** を押すと、前のメッセージを再生します。
	2 次のメッセージを再生	
	9 再生を中止	

リモコンコード	オプションコード	操作の詳細
93	**録音されているすべての音声メッセージを消去する**	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がします。
95	**ファクス転送、またはメモリー保持のみ設定を変更する**	
	1 オフ	すべてのファクスメッセージを受信、または消去した後に、オフを選択できます。
	2 ファクス転送	正しく受け付けられた場合は、ピーッという音が長く 1 回鳴ります。正しく受け付けられなかった場合は、設定が不十分なため変更されず、ピピピッと 3 回鳴ります（例えば、ファクス転送先番号が未登録の場合）。4 を押すことで、ファクス転送先番号を登録できます。 番号を登録後、ファクス転送することができます。
	4 ファクス転送先番号	
	6 メモリー保持のみ	
96	**ファクスを取り出す**	
	2 全てのファクスを取り出す	メモリーに保存されたファクスを受信するために、離れた場所にあるファクス機のファクス番号を入力します。
97	**受信状態を確認する**	
	1 ファクス	お使いの本製品がファクスや音声メッセージを受信したかどうかを確認します。受信している場合、ビーッという音が長く 1 回鳴ります。受信していない場合、ピピピッと 3 回鳴ります。
	2 音声メッセージ	
98	**受信モードを変更する**	
	1 留守モード	ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、変更が受け付けられたことを示します。
	2 在宅モード	
90	**終了する**	リモコンアクセスを終了するには、**9 0** を押します。ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

リモコン機能を使ってファクス転送する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

トーン信号の出せる電話機またはファクス機から本製品を呼び出して、受信ファクスを別のファクス機に転送します。

- この機能を使うには、メモリー保持のみ又はみるだけ受信の設定をオンにしてください。

1. ファクス番号をダイヤルします。
2. 本製品が応答したら、暗証番号（3 桁の番号と*）を入力します。「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージがあります。
3. ピピッと 2 回聞こえたら、962 を押します。
4. 長いピーッという音が鳴るのを待ってから、ダイヤルパッドを使って、ファクス転送先のファクス番号(20 桁まで)を入力して、最後に##を入力します。
5. 1 回長くピーッという音が聞こえたら、電話を切ります。受信ファクスは、入力したファクス番号に転送されます。別のファクス機でファクスメッセージが印刷されます。

関連情報

- リモコン機能

関連トピック：

- 本製品のメモリーに受信ファクスを保存する

ファクス転送先の番号を変更する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. ファクス番号をダイヤルします。
2. 本製品が応答したら、暗証番号（3 桁の番号と*）を入力します。「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージがあります。
3. ピピッと 2 回聞こえたら、954 を押します。
4. 長いピーッという音を待ってから、ダイヤルパッドを使用して、新しいファクス転送先のファクス番号(20 桁まで)を入力して、最後に##を入力します。
5. 完了したら、90 を押してリモコンアクセスを停止します。
6. 1 回長くピーッという音が聞こえたら、電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

リモートコードを使う

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N

リモートコードを使うと、本製品と接続している外付け電話機から本製品を操作して、ファクスを受信することができます。これをリモート受信といいます。

着信音が鳴ったら外付け電話機の受話器を取り、「**#51**」（リモート起動番号）を入力します。画面に［受信中］と表示されたら、外付け電話機の受話器を戻します。リモート受信が始まります。

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行う場合は、外付け電話機のトーンボタンを押して、トーン信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［受信設定］>［リモート受信］を押します。
2. ［リモート受信］を押します。
3. ［オン］（または［オフ］）を押します。
4. を押します。

関連情報

- ファクスを受信する
  - リモートコードを変更する

リモートコードを変更する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N

あらかじめ設定されたリモート起動番号は「#51」です。リモート起動番号を変更するときは、1 桁目は「#」のままで、下 2 桁の数字部分を変更してください。

3 桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している外付け電話から特定の相手に電話がかけられなくなります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [リモート受信]を押します。
2. [起動番号]を押します。新しいコードを入力し、[OK]を押します。
3. を押します。

関連情報

- リモートコードを使う

電話帳

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- ファクス/電話番号を登録する
- 同報送信のグループダイヤルを設定する

ファクス/電話番号を登録する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- 電話帳に登録する
- 子機の電話帳に登録する
- 発信履歴から電話帳に番号を登録する
- 発信履歴から子機の電話帳に番号を登録する
- ナンバーディスプレイの着信履歴から電話帳に番号を登録する
- ナンバーディスプレイの着信履歴から子機の電話帳に番号を登録する
- 電話帳の名前や番号を変更、または削除する
- 子機の電話帳の名前や番号を変更、または削除する
- 親機の電話帳を子機へ転送する
- 子機の電話帳を本製品（親機）に転送する

電話帳に登録する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. ［ファクス］>［電話帳］を押します。
2. 以下の手順を行います：
   a. ［登録/編集］>［電話帳登録］>［名前］を押します。
   b. 画面を使用して名前（最大 10 文字）を入力します。［OK］を押します。
   c. ［宛先 1］を押します。
   d. 画面を使用して、1 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。［OK］を押します。

- 名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。
- 番号の間にポーズを入れるには［ポーズ］を押します。［ポーズ］は、必要なだけポーズの長さを増やすことができます。
- ファクスまたは電話番号を入力するときは、必ず市外局番を含めてください。ファクスまたは電話番号に市外局番が登録されていないと、ナンバーディスプレイの着信履歴が正しく表示されない場合があります。

   e. 2 番目のファクスまたは電話番号を登録するには、［宛先 2］を押します。画面を使用して、2 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。［OK］を押します。
   f. ［OK］を押して確認します。

   別の相手先の番号を電話帳に登録する場合は、これらの手順を繰り返します。
3. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

関連トピック：

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

子機の電話帳に登録する

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 子機の を押します。
2. で［電話帳登録］を選び、機能 確定 を押します。
3. 以下の手順を行います：
   a. 名前（最大 10 文字）を入力し、機能 確定 を押します。
   b. 電話番号（最大 20 桁）を入力し、機能 確定 を押します。

- 名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、編集して 機能 確定 を押してください。
- 番号の間にポーズを入れるには、発信履歴/P 文字 を押します。
- 「186」または「184」を付けて登録する場合や国際電話、構内交換機をお使いの場合は、「関連情報」をご覧ください。

他の番号を電話帳に登録するには、これらの手順を繰り返します。

4. 切 を押して登録を終了します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

発信履歴から電話帳に番号を登録する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

発信履歴から番号をコピーして、電話帳に登録できます。

1. [ファクス] > [履歴] > [発信履歴]を押します。
2. ▲または▼を押して登録したい番号を表示させ、それを押します。
3. [設定] > [電話帳に登録] > [名前]を押します。

発信履歴から番号を削除するには、[設定] > [消去]を押します。[はい]を押して確認します。
（MFC-J4940DN）本製品（親機）で削除した履歴は子機には反映されません。

4. 画面を使用して名前（最大 10 文字）を入力します。[OK]を押します。

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。

5. 2 番目のファクスまたは電話番号を登録するには、[宛先 2]を押します。画面を使用して、2 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。[OK]を押します。
6. [OK]を押して、登録するファクスまたは電話番号を確認します。
7. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力する

発信履歴から子機の電話帳に番号を登録する

関連モデル: MFC-J4940DN

発信履歴から番号をコピーして、電話帳に登録できます。

1. 機能 確定 を押します。
2. ▲▼で［発信履歴］を選び、機能 確定 を押します。
3. ▲▼で登録する番号を選び、機能 確定 を押します。
4. ▲▼で［電話帳登録］を選び、機能 確定 を押します。

> 発信履歴から番号を削除するには、［1 件消去］を選び、機能 確定 を押した後、1 あ を押してください。

5. 名前（最大 10 文字）を入力し、機能 確定 を押します。

   名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。（最大 16 文字）
6. 読みがなを変更したい場合は、読みがなを入力し直して、機能 確定 を押します。
7. 機能 確定 を押して、電話番号を登録します。

> すべての発信履歴を削除する場合は、［発信履歴］を選んで機能 確定 を押した後に、再度機能 確定 を押して、［全件消去］を選びます。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

ナンバーディスプレイの着信履歴から電話帳に番号を登録する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

電話会社（ここでは NTT の場合）によるナンバーディスプレイサービスを利用している場合は、着信履歴から番号をコピーして、電話帳に登録できます。

1. ［ファクス］>［履歴］>［着信履歴］を押します。
2. ▲または▼を押して登録したい名前または番号を表示させ、それを押します。
3. ［設定］>［電話帳に登録］>［名前］を押します。

着信履歴から番号を削除するには、［設定］>［消去］を押します。［はい］を押して確認します。
（MFC-J4940DN）本製品（親機）で削除した履歴は子機には反映されません。

4. 画面を使用して名前（最大 10 文字）を入力します。［OK］を押します。

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、［ヨミガナ］を押して、再入力してください。

5. 2 番目のファクスまたは電話番号を登録するには、［宛先 2］を押します。画面を使用して、2 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。［OK］を押します。
6. ［OK］を押して、登録するファクスまたは電話番号を確認します。
7. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力する

ナンバーディスプレイの着信履歴から子機の電話帳に番号を登録する

関連モデル: MFC-J4940DN

電話会社によるナンバーディスプレイサービスを利用している場合は、着信履歴から番号をコピーして、電話帳に登録できます。

1. 機能 確定を押します。
2. ▲▼で［着信履歴］を選び、機能 確定を押します。
3. ▲▼で登録する番号を選び、機能 確定を押します。
4. ▲▼で［電話帳登録］を選び、機能 確定を押します。

着信履歴から番号を削除するには、削除したい番号を選んだあと、［1 件消去］を選び、機能 確定を押した後、1 あを押してください。

5. 名前（最大 10 文字）を入力し、機能 確定を押します。

   名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。（最大 16 文字）
6. 読みがなを変更したい場合は、読みがなを入力し直して、機能 確定を押します。
7. 機能 確定を押して、電話番号を登録します。
8. 切を押します。

すべての着信履歴を削除する場合は、［着信履歴］を選んで機能 確定を押した後に、再度機能 確定を押して、［全件消去］を選びます。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

電話帳の名前や番号を変更、または削除する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. ［ファクス］>［電話帳］>［登録/編集］を押します。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - ［変更］を押して、名前、ファクス番号、または電話番号を編集します。

     ▲または▼を押して変更したい番号を表示させ、それを押します。
     - 名前を変更するには、［名前］を押します。画面を使用して新しい名前（最大 10 文字）を入力します。［OK］を押します。
     - 読みがなを変更するには、［ヨミガナ］を押します。画面を使用して新しい読みがなを入力します。［OK］を押します。
     - 1 番目のファクスまたは電話番号を変更するには、［宛先 1］を押します。画面を使用して、新しいファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。［OK］を押します。
     - 2 番目のファクスまたは電話番号を変更するには、［宛先 2］を押します。画面を使用して、新しいファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。［OK］を押します。

     ［OK］を押して操作を終了します。

文字を変更するには、◀または▶を押して対象の文字にカーソルを合わせて反転表示し、 を押します。新しい文字を入力します。

   - 番号を削除するには、▲または▼を押して［消去］を表示させ、それを押します。
     - 削除するファクスまたは電話番号を押して、チェックマークが表示されたら［OK］を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

子機の電話帳の名前や番号を変更、または削除する

関連モデル: MFC-J4940DN

1. を押します。
2. で変更したい名前を選び、機能 確定を押します。
3. 以下のいずれかを行ってください：
   - で［変更］を選び、機能 確定を押します。

     名前を入力し直し、機能 確定を押します。

     読みがなと電話番号を入力し直し、機能 確定を押します。
   - で［消去］を選び、機能 確定を押します。

     1 あを押します。
4. 切を押して操作を終了します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

親機の電話帳を子機へ転送する

関連モデル: MFC-J4940DN

親機の電話帳に登録した番号が電話・ファクス兼用番号であれば、そのまま子機に転送すると便利です。

転送するときは、子機側で別の操作（外線通話・内線通話、設定、登録など）をしないでください。

1. ［ファクス］>［電話帳］>［登録/編集］>［子機に転送］を押します。
2. 子機が複数ある場合は、転送したい子機を選びます。
3. 子機に転送する相手先を選び、［OK］を押します。
   一度に転送できる相手先は 20 件です。1 つの名前に 2 件登録されている場合は、個別に選んでください。
4. 画面の指示に従って、操作を完了します。

次の設定について詳しくは、「関連情報」をご覧ください。

- 発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する
- 電話帳の内容を変更/削除する
- グループダイヤルを登録する
- 子機の電話帳を親機に転送する
- 電話帳リストを印刷する（「レポート種類」）

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

関連トピック：

- 発信履歴から電話帳に番号を登録する
- ナンバーディスプレイの着信履歴から電話帳に番号を登録する
- 電話帳の名前や番号を変更、または削除する
- 同報送信のグループダイヤルを設定する
- 子機の電話帳を本製品（親機）に転送する
- レポート種類

子機の電話帳を本製品（親機）に転送する

関連モデル: MFC-J4940DN

子機の電話帳に登録した番号が電話・ファクス兼用番号の場合、本製品（親機）に転送すると便利です。

1. を押します。
2. で本製品（親機）に転送する相手先を選び、機能 確定を押します。
3. で［転送］を選び、機能 確定を押します。
4. 切を押します。

以下の場合は、電話帳を転送できません。

- 外線使用中
- 内線通話中、呼び出し中
- 本製品（親機）がオフになっている場合
- 本製品（親機）の電話帳が最大件数登録済みの場合
- 本製品（親機）でメニューを操作中
- 子機の画面に［親機使用中］または［子機 X 使用中］が表示されている場合
  （子機が複数台ある場合。X には子機の番号が入ります。）

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

同報送信のグループダイヤルを設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

グループを作成して送信先として電話帳に登録することで、同じファクスメッセージを複数のファクス番号に送信したり、同報送信したりできます。

まず電話帳にファクス番号を登録する必要があります。次に、その番号をグループダイヤルに登録します。各グループダイヤルは 1 件として電話帳に追加されます。グループダイヤルは 6 つまで登録できます。または 1 つの大きなグループダイヤルを作って 198 件の番号を登録することができます。

1. [ファクス] > [電話帳]を押します。
2. 以下の手順を行います：
   a. [登録/編集] > [グループ登録] > [名前]を押します。
   b. 画面を使用してグループ名（最大 10 文字）を入力します。[OK]を押します。

   名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。

   c. [追加/消去]を押します。
   d. グループに追加する電話帳の番号を押して、チェックマークを表示させます。[OK]を押します。
   e. 表示された選択済みの名前と番号の一覧を確認し、[OK]を押してグループに登録します。

   同報送信用に別のグループダイヤルも登録するには、これらの手順を繰り返します。
3. を押します。

関連情報

- 電話帳
  - 同報送信のグループダイヤルの名前を変更する
  - 同報送信のグループダイヤルを削除する
  - 同報送信のグループダイヤルのメンバーを追加または削除する

関連トピック：

- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）
- 電話帳に登録する

同報送信のグループダイヤルの名前を変更する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. ［ファクス］>［電話帳］>［登録/編集］>［変更］を押します。
2. ▲または▼を押して変更したいグループを表示させ、それを押します。
3. ［名前］を押します。
4. 画面を使用して新しいグループ名（最大 10 文字）を入力します。［OK］を押します。

文字を変更するには、◀または▶を押して修正したい文字にカーソルを合わせて反転表示し、 を押します。
新しい文字を入力します。

5. ［OK］を押します。
6. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力する

同報送信のグループダイヤルを削除する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. ［ファクス］>［電話帳］>［登録/編集］>［消去］を押します。
2. ▲または▼を押して削除したいグループを表示させ、それを押します。
3. ［OK］を押します。
4. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

同報送信のグループダイヤルのメンバーを追加または削除する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. ［ファクス］>［電話帳］>［登録/編集］>［変更］を押します。
2. ▲または▼を押して変更したいグループを表示させ、それを押します。
3. ▲または▼を押して［追加/消去］を表示させ、それを押します。
4. ▲または▼を押して、追加または削除する番号を表示します。
5. 変更したい番号に対して、以下の操作を行います。
   - グループに番号を追加するには、対象番号のチェックボックスを押してチェックマークを付けます。
   - グループから番号を削除するには、対象番号のチェックボックスを押してチェックマークを外します。
6. ［OK］を押します。
7. ［OK］を押します。
8. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

電話

関連モデル: MFC-J4940DN

- 通話の前に
- 電話をかける
- 電話を受ける
- 通話を保留にする
- 通話を録音する
- いろいろな電話のかけ方
- 電話を取り次ぐ
- 内線通話をする
- かかってきた電話を拒否する
- ナンバーディスプレイサービスを利用する
- キャッチホンを利用する
- キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

通話の前に

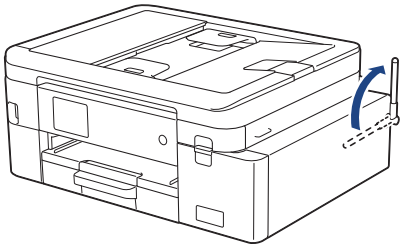
- 子機の設置場所
- 留守モードと在宅モード
- 呼出ベル回数を設定する
- 再呼出の設定をする
- ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）

子機の設置場所

関連モデル: MFC-J4940DN

子機（充電器）を設置するときは、以下のような点に注意してください。

- 親機のアンテナを立ててください。
  アンテナを立てていないと、電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。



- 親機から障害物のない直線距離で約 100m 以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。
- 子機は親機や他の子機から離して（推奨 3m 以上）設置してください。

関連情報

- 通話の前に

留守モードと在宅モード

関連モデル: MFC-J4940DN

本製品は、留守番機能がセットされている場合を「留守モード」、セットされていない場合を「在宅モード」としています。「留守モード」と「在宅モード」では、呼出ベル回数や回線につながった後の動作が異なります。 留守モードの設定方法について、詳しくは、留守番機能章をご覧ください。

関連情報

- 通話の前に

呼出ベル回数を設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

本製品が応答してから、回線が自動的につながる（電話かファクスかを区別する）までに鳴る着信音の回数を設定します。

呼出ベル回数を 0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。なお、電話のときは本製品で電話を取らなくても相手に料金がかかります。

1. ［メニュー］ > ［全てのメニュー］ > ［ファクス/電話］ > ［呼出ベル回数］を押します。
2. ［在宅モード］を押します。
3. 呼出ベル回数を選びます。
   - ［0～15（回）］
     設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
   - ［無制限］
4. ［留守モード］を押します。
5. 呼出ベル回数を選びます。
   - ［0～7（回）］
     設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
   - ［トールセーバー］
     外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
6. を押します。

関連情報

- 通話の前に
  - トールセーバーを利用する

トールセーバーを利用する

関連モデル: MFC-J4940DN

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。

外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出ベル回数を確認します。

- 2 回：音声メッセージがある
- 5 回：音声メッセージがない

呼出音の 3 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。

呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

関連情報

- 呼出ベル回数を設定する

関連トピック：

- リモコン機能

再呼出の設定をする

関連モデル: MFC-J4940DN

着信を知らせる呼出音が設定された回数鳴ったあと、本製品は電話かファクスかを判断するために自動的に電話回線を接続します。

留守モードに設定されているときは、留守モードの場合の設定動作を自動的に行います。

ここでは、在宅モード時の、電話回線接続後の本製品の動作を設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [受信設定] > [再呼出ベル設定]を押します。
2. [再呼出ベル設定]を押して、自動着信後の動作を選びます。
   - [オン（電話呼び出し）]
     電話とファクスの両方を使うときに選びます。
     電話のときは再呼出音が鳴ります。ファクスは自動的に受信します。
   - [オフ（ファクス専用）]
     本製品をファクス専用として使うときに選びます。
     回線接続後は再呼び出しをせず、すぐにファクス受信を開始するため電話は受けられません。
3. [オン（電話呼び出し）]を選んだ場合は、再呼出方法を設定します。
   a. [再呼出方法]を押して、再呼出音を選びます。
      再呼出音が鳴っている間に、相手に流す音（声）を選びます。
      - [相手にベル]
        「トゥルルルルルル」という音が相手に流れます。
      - [相手にメッセージ]
        在宅応答メッセージが相手に流れます。
        お買い上げ時のメッセージ：
        「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」
        在宅応答メッセージを自分の声で録音することもできます。
   b. [再呼出時間]を押して、再呼出音を鳴らす時間を選びます。
4. を押します。

関連情報

- 通話の前に

ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）

関連モデル: MFC-J4940DN

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。

- 無鳴動受信を有効にすると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって、本製品で電話を取らなくても相手側には通話料金が発生します。
- 無鳴動受信を有効にしても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [受信設定] > [ファクス無鳴動受信]を押します。
2. [する]を押します。
   - [する]

     ファクス受信を優先する無鳴動受信が設定されます。

     無鳴動受信を設定すると、呼出ベル回数は、在宅モード時、留守モード時ともに[0]、再呼出ベル設定が自動的に、[オン（電話呼び出し)]、[相手にベル]、[30 秒]に設定されます。
   - [しない]

     無鳴動受信は設定されません。電話、ファクスどちらの場合も着信音が鳴ります。

     無鳴動受信を設定しない場合、呼出ベル回数は、在宅モード時[7]、留守モード時[5]になり、再呼出ベル設定が自動的に、[オン（電話呼び出し)]、[相手にベル]、[30 秒]に設定されます。
3. を押します。

関連情報

- 通話の前に

電話をかける

関連モデル: MFC-J4940DN

- 着信履歴は、ナンバーディスプレイ機能をご利用の場合のみ、使用できます。
- 電話帳の登録については、「関連情報」をご覧ください。

1. 子機を充電器から外します。
2. 以下のいずれかの方法で電話をかけることができます。
   - ダイヤルパッド

     外線を押します。

     0わ～9らWXYZ を押して電話番号を入力します。
   - 発信履歴

     発信履歴/P 文字 を押します。

     で相手先を選び、外線 を押します。
   - 着信履歴

     キャッチ 着信履歴 を押します。

     で相手先を選び、外線 を押します。
   - **電話帳**

     外線を押します。

     を押します。

     で相手先を選び、外線 を押します。
3. 通話が終わったら子機を充電器に戻します。（または 切 を押します。）

関連情報

- 電話

関連トピック：

- 電話帳

電話を受ける

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 電話がかかってきたら子機を充電器から取ります。
   子機を充電器に置いていないときは、外線 を押します。
2. 通話が終わったら子機を充電器に戻します。（または 切 を押します。）

関連情報

- 電話

通話を保留にする

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 通話中に 内線 保留 を押します。

   保留メロディが流れ、相手にはこちらの声が聞こえなくなります。
2. 通話に戻るときは、内線 保留 を押します。

関連情報

- 電話

通話を録音する

関連モデル: MFC-J4940DN

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。

- 1 回の操作で録音できるのは 180 秒です。180 秒を過ぎると、録音は自動で終了します。録音を続けたいときは操作を繰り返します。
- 電話を切ると録音も自動的に終了します。
- 録音できる通話数は最大 99 件、総録音時間は合計で 29 分です。記録した通話はこまめに整理することをお勧めします。
- 内線通話、三者間通話は録音できません。また、保留中も録音できません。

>> 子機で通話を録音する
>> 親機で録音した通話を再生/ 消去する
>> 子機で録音した通話を再生/ 消去する

子機で通話を録音する

1. 通話中に、子機の 留守/録音 を押します。

   録音が始まります。
2. 録音をやめるときは、留守/録音、機能 確定、音質 クリア のいずれかを押します。

親機で録音した通話を再生/ 消去する

1. [メニュー] > [留守録再生] > [会話録音] を押します。

   保存されている会話の一覧画面が表示されます。
2. 以下のいずれかの方法でメッセージを確認します。
   - 全件一括操作の場合

     ▶ または 🗑 を押します。

     ▶ を押すと、古いメッセージから順に再生が始まります。✕ を押すと再生を中止できます。[消去] を押すと、再生中のメッセージがメモリーから消去されます。

     🗑、[はい] を順に押すと、全ての会話がメモリーから消去されます。
   - 1 件操作の場合

     操作対象のメッセージを選ぶと、再生が始まります。✕ を押すと再生を中止できます。[消去] を押すと、再生中のメッセージがメモリーから消去されます。

     ホーム画面に戻るときは、🏠 を押します。

子機で録音した通話を再生/ 消去する

1. 子機の 機能 確定 を押します。
2. ✚ で [再生/消去] を選び、機能 確定 を押します。
3. ✚ で [会話] を選び、機能 確定 を押します。
4. ✚ で [1 件ずつ] または [全件] を選び、機能 確定 を押します。

［1件ずつ］を選ぶと記録されているメッセージの1件目の詳細が表示されます。 で操作の対象を選んで を押してください。

5. で［再生］または［消去］を選び、 を押します。
   - ［再生］を選ぶと、再生が始まります。 を押すと再生を中止できます。
   - ［消去］を選ぶと、消去の確認メッセージが表示されます。 を押して消去します。
6. を押します。

関連情報

- 電話

いろいろな電話のかけ方

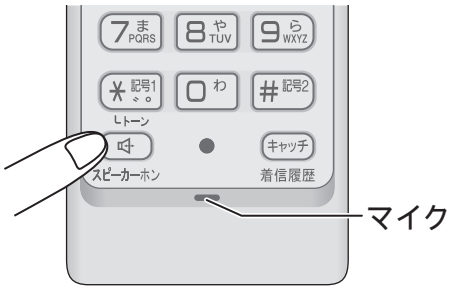
関連モデル: MFC-J4940DN

- 子機を置いたままかける（スピーカーホン）
- プッシュホンサービスを利用する
- スピーカーホン通話に切り替える
- 受話音質を調節する
- 内緒話モードを設定する

子機を置いたままかける（スピーカーホン）

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 子機の スピーカーホン を押します。
2. 相手先の電話番号を押します。
3. 相手が出たら、マイクに向かって話します。



まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器から取って話してください。

4. 通話が終わったら、切 を押します。

関連情報

- いろいろな電話のかけ方

プッシュホンサービスを利用する

関連モデル: MFC-J4940DN

本製品では、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などができるプッシュホンサービスを利用できます。

1. 子機の 外線 を押し、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルします。

ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

2. ダイヤル回線の場合は、＊ 記号1 トーン を押します。
3. サービスの指示に従ってダイヤルパッドを押します。

関連情報

- いろいろな電話のかけ方

スピーカーホン通話に切り替える

関連モデル: MFC-J4940DN

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

1. 通話中に子機の スピーカーホン を押します。

   スピーカーホン通話が始まります。

2. スピーカーホン通話をやめるときは、もう一度 スピーカーホン を押します。

関連情報

- いろいろな電話のかけ方

受話音質を調節する

関連モデル: MFC-J4940DN

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。

1. 通話中に子機の 音質 クリア を押します。

   設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

2. 音質 クリア を押して音質を調整します。

   5 段階から選びます。

   通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

関連情報

- いろいろな電話のかけ方

内緒話モードを設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

1. 通話中に子機の 音質/クリア を約 2 秒押します。

   [内緒：ON]と表示されます。

2. 内緒話モードをやめるときは、もう一度 音質/クリア を約 2 秒押します。

関連情報

- いろいろな電話のかけ方

電話を取り次ぐ

関連モデル: MFC-J4940DN

子機を 2 台以上使用しているとき、子機で取った電話を別の子機に取り次ぐことができます。
ここでは「子機 1 で受け、子機 2 へ取り次ぐ場合」を例として説明します。

1. 子機 1 で通話中に 内線 保留 を押します。
   外線の相手との通話が保留になります。
2. ＋ で［子機 2］を選び、機能 確定 を押します。
   子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

呼び出している子機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、内線 保留 を押します。

3. 子機 2 が内線に応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて、子機 1 の 切 を押します。
   子機 2 と外線の相手が通話できるようになります。

関連情報

- 電話
  - 用件を伝えずに電話を取り次ぐ

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

関連モデル: MFC-J4940DN

内線通話をはさまずに、直接別の子機に外線を取り次ぐ方法です。

ここでは「子機 1 で受け、子機 2 へ取り次ぐ場合」を例として説明します。

1. 子機 1 で通話中に 内線 保留 を押します。
   外線の相手との通話が保留になります。
2. ＋ で［子機 2］を選び、機能 確定 を押します。
   子機 2 の内線呼出音が鳴ります。
3. 子機 1 の 切 を押します。
   子機 2 の呼び出し音が、内線呼出音から外線着信音に変わります。
4. 子機 2 を充電器から取ります。
   子機 2 と外線の相手が通話できるようになります。

関連情報

- 電話を取り次ぐ

内線通話をする

関連モデル: MFC-J4940DN

子機どうしで通話する操作方法です。外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。
ここでは、「子機 1 から子機 2 に内線をかける場合」を例に説明します。

1. 子機 1 を充電器から取り、「内線 保留」を押します。
2. ▲▼ で［子機 2］を選び、「機能 確定」を押します。
   子機 2 の内線呼出音が鳴ります。
3. 子機 2 を充電器から取ります。
   子機 1 と子機 2 で通話できます。

電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

関連情報

- 電話
  - 3 人で同時に話す

3 人で同時に話す

関連モデル: MFC-J4940DN

子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。

- 外線の相手 2 人と同時に通話することはできません。
- トリプル通話中は、保留はできません。

ここでは、「子機 1 と外線で通話中に、子機 2 を参加させる場合」を例として説明します。

1. 子機 1 で外線通話中に 内線 保留 を押します。
   外線の相手との通話が保留になります。
2. ＋ で［子機 2］を選び、機能 確定 を押します。
   子機 2 の内線呼出音が鳴ります。
3. 子機 2 を充電器から取ります。
4. 子機 2 の相手に 3 人で話すことを伝えて、内線 保留 を押します。
   トリプル通話が始まります。

トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れる子機の 切 を押してください。

関連情報

- 内線通話をする

かかってきた電話を拒否する

関連モデル: MFC-J4940DN

- 通話前に電話を拒否する
- 通話中に電話を拒否する

通話前に電話を拒否する

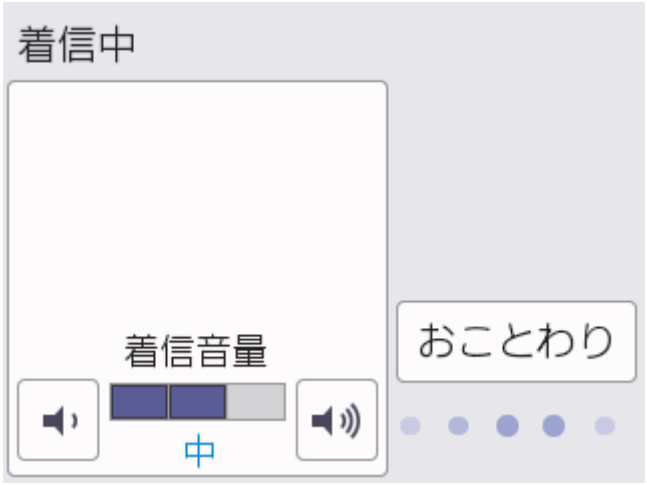
関連モデル: MFC-J4940DN

番号表示機能などにより電話を取る前に、話したくない相手だとわかったときは、回線を切ることができます。

>> 親機の場合
>> 子機の場合

親機の場合

1. 着信音が鳴っているときに、[おことわり]を押します。



2. [はい]を押します。
「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

子機の場合

1. 着信音が鳴っているときに、充電器から取らずに子機の 機能 確定 を押します。
通話中専用のメニューが表示されます。
2. ▲▼◀▶ で[おことわり]を選び、機能 確定 を押します。
「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

関連情報

- かかってきた電話を拒否する

通話中に電話を拒否する

関連モデル: MFC-J4940DN

しつこい勧誘やいたずら電話など、かかってきた電話の相手とそれ以上話したくないときに、自動音声による拒否メッセージを流し、回線を切ることができます。

1. 通話中に、子機の 機能 確定 を押します。

   通話中専用のメニューが表示されます。

2. ＋ で［おことわり］を選び、 機能 確定 を押します。

   「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

関連情報

- かかってきた電話を拒否する

ナンバーディスプレイサービスを利用する

関連モデル: MFC-J4940DN

- 着信鳴り分けを設定する
- 迷惑電話指定する

着信鳴り分けを設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、かけてきた相手によって着信音を変えることができます。

>> 親機の場合
>> 子機の場合

親機の場合

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [着信鳴り分け]を押します。
2. 鳴り分けを設定したい電話番号を選びます。

> を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、[OK]を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

3. [ファクス専用]または[電話鳴り分け]を選びます。
   - [ファクス専用]
     着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
   - [電話鳴り分け]
     設定した着信音で親機が鳴ります。
4. [電話鳴り分け]を選んだ場合は、着信音を選び、[OK]を押します。
5. を押します。

子機の場合

1. 子機の 機能 確定 を押します。
2. で[鳴動音設定]を選び、機能 確定 を押します。
3. で[2.着信鳴分け]を選び、機能 確定 を押します。
4. で着信音を選び、機能 確定 を押します。
5. 切 を押します。

> - 子機では、電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
> - 子機の電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

関連情報

- ナンバーディスプレイサービスを利用する

迷惑電話指定する

関連モデル: MFC-J4940DN

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、100 件まで、迷惑先として本製品に登録することができます。登録後は指定した先からかかってきても着信音が鳴りません。

- 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。
- 親機を［迷惑番号指定］に設定すると、子機も着信音が鳴りません。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス/電話］>［着信拒否］>［迷惑番号指定］を押します。
2. メッセージを確認して、［OK］を押します。
3. 迷惑指定する番号を選びます。

を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、［OK］を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

4. ［迷惑番号指定］を押します。
5. を押します。

関連情報

- ナンバーディスプレイサービスを利用する

キャッチホンを利用する

関連モデル: MFC-J4940DN

キャッチホン（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合の電話の受けかたです。

ご利用には別途、電話会社との契約が必要です。（有料）

>> キャッチホンで電話を受けた場合
>> キャッチホンでファクスを受けた場合

キャッチホンで電話を受けた場合

1. 通話中に「プップッ」と聞こえたら、子機の キャッチ 着信履歴 を押します。

別途、ナンバーディスプレイ機能をご契約の場合は、かかってきたキャッチホンの相手の電話番号を画面に表示させて、取る前に相手を確認することもできます。

最初の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線がつながります。

2. 新しくかかってきた相手と通話します。
3. 最初の相手に戻るときは、再度 キャッチ 着信履歴 を押します。

キャッチ 着信履歴 を押すたびに、通話の相手が切り替わります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

親切受信を［オン］に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 4、5 のとおりに手動で受信してください。

1. 通話中に「プップッ」と聞こえたら、子機の キャッチ 着信履歴 を押します。

   「ピーピー」という音が聞こえます。最初の相手との通話は保留になります。
2. 再度 キャッチ 着信履歴 を押して、いったん最初の相手に戻ります。
3. 最初の相手との通話を手短に終えて、もう一度 キャッチ 着信履歴 を押します。

   キャッチの相手（ファクス）につながります。

お願い

ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

4. 子機の 機能 確定、［ﾌｧｸｽ受信］、 機能 確定 を順に押します。
5. 画面に［ﾌｧｸｽ受信を開始します］と表示されたら、子機を充電器に戻します。

関連情報

- 電話

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

関連モデル: MFC-J4940DN

キャッチホン・ディスプレイサービス（NTT の場合の有料サービス名）を契約している場合に本製品で使用できる機能です。

外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を本製品に表示します。

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用するためには、「キャッチホン」と「ナンバーディスプレイサービス」両方の有料サービスを契約していただく必要があります。

他の電話会社の同様のサービスにも対応しています。それぞれのサービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス/電話］>［キャッチディスプレイ］を押します。
2. ［あり］を押します。
3. を押します。

- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホンが入ると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が一瞬とぎれます。
- 子機のキャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒です。

関連情報

- 電話

留守番機能

関連モデル: MFC-J4940DN

- 留守番機能の設定
- 留守番機能をセット/解除する
- 留守録転送をする

留守番機能の設定

関連モデル: MFC-J4940DN

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。

関連情報

- 留守番機能
  - メッセージの録音時間を設定する
  - 応答メッセージを録音する
  - 留守録モニターを設定する

メッセージの録音時間を設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの 1 回あたりの録音時間を設定します。

1 回の最大録音時間は約 3 分、最大件数は 99 件、合計で 29 分まで録音可能です。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [留守番電話設定] > [録音時間]を押します。
2. 録音時間を選びます。

[0 秒（応答メッセージのみ）]に設定すると、本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。あらかじめ、専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしています。のちほどおかけ直しください。」など）を録音しておき、そのメッセージが留守モード時に流れるように設定しておいてください。操作については、このセクション内の「応答メッセージを録音する」をご覧ください。

3. を押します。

関連情報

- 留守番機能の設定

応答メッセージを録音する

関連モデル: MFC-J4940DN

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて 2 種類の留守応答メッセージと 1 種類の在宅応答メッセージを、それぞれ 20 秒まで自分の声で録音することができます。

1. 子機の 機能 確定 を押します。
2. ▲▼ で［留守番設定］を選び、機能 確定 を押します。
3. ▲▼ で設定したい応答メッセージを選び、機能 確定 を押します。
   - ［留守応答 1、留守応答 2］
     留守番機能がセットされており、電話に出られない場合に流すメッセージです。
     お買い上げ時のメッセージ：「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話しください。ファクスの方はそのまま送信してください。」
   - ［在宅応答］
     留守番機能がセットされていない状態で、電話とファクスの両方を使う設定にしている場合に流すメッセージです。
     お買い上げ時のメッセージ：「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」
4. ▲▼ で［録音］を選び、機能 確定 を押します。
5. メッセージを録音します。
6. 録音が終わったら、機能 確定 を押します。
   今録音した内容が自動的に再生されます。
   別の録音を続ける場合は、この手順を繰り返してください。
7. 切 を押します。

- 留守応答メッセージは、子機で選ぶことができます。
  a. 子機の 機能 確定 を押します。
  b. ▲▼ で［留守番設定］を選び、機能 確定 を押します。
  c. ▲▼ で［応答切替］を選び、機能 確定 を押します。
  d. ▲▼ でメッセージを選び、機能 確定 を押します。
  e. 切 を押します。
- 在宅応答メッセージは、いったん録音すると、そのメッセージが固定となります。お買い上げ時のメッセージを再度使用したいときは、録音した在宅応答メッセージを消去します。
- メッセージは何度でも録音し直すことができます。

関連情報

- 留守番機能の設定
  - 録音した応答メッセージを消去する
  - 応答メッセージを確認する

録音した応答メッセージを消去する

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 子機の 機能 確定 を押します。
2. で [留守番設定] を選び、機能 確定 を押します。
3. で消去したい応答メッセージを選び、機能 確定 を押します。
4. で [消去] を選び、機能 確定 を押します。
5. 消去の確認メッセージが表示されたら、1 を押します。
   応答メッセージが消去されます。
6. 切 を押します。

関連情報

- 応答メッセージを録音する

応答メッセージを確認する

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 子機の 機能 確定 を押します。
2. で [留守番設定] を選び、機能 確定 を押します。
3. で確認したい応答メッセージを選び、機能 確定 を押します。
4. で [再生] を選び、機能 確定 を押します。

   応答メッセージが再生されます。
5. 切 を押します。

関連情報

- 応答メッセージを録音する

留守録モニターを設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [留守番電話設定] > [留守録モニター]を押します。
2. [する]または[しない]を押します。
3. を押します。

留守録モニターは、子機側で設定することもできます。子機の 「機能 確定」 を押して、 で[留守番設定]を選び、設定を行ってください。

関連情報

- 留守番機能の設定

留守番機能をセット/解除する

関連モデル: MFC-J4940DN

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

関連情報

- 留守番機能
  - 留守番機能をセットする
  - 留守番機能を解除する
  - 留守録メッセージを再生/ 消去する
  - 音声メッセージを確認する

留守番機能をセットする

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 留守 を押します。
2. 留守 の右側に配置された LED が点灯し、留守モードになったことを確認します。

留守番機能は、子機の 留守/録音 を押して設定することもできます。

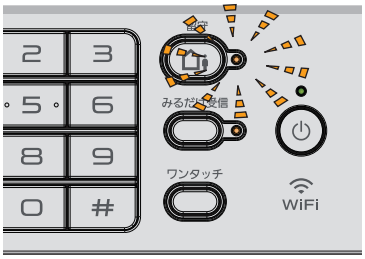
関連情報

- 留守番機能をセット/解除する

留守番機能を解除する

関連モデル: MFC-J4940DN

新しく録音された音声メッセージがあるときは、留守 の右側に配置された LED が点滅しています。



1. 留守 を押します。

   留守 の右側に配置された LED が消灯し、留守モードが解除されます。新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。

子機で留守番機能を解除する場合は、留守/録音 を押します。

関連情報

- 留守番機能をセット/解除する

留守録メッセージを再生/ 消去する

関連モデル: MFC-J4940DN

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生/ 消去できます。

>> 親機の場合
>> 子機の場合

親機の場合

1. [メニュー] > [留守録再生] > [留守録] を押します。
   保存されているメッセージの一覧画面が表示されます。
2. 以下のいずれかの方法でメッセージを確認します。
   - 全件一括操作の場合
     ▶ または 🗑 を押します。
     ▶ を押すと、古いメッセージから順に再生が始まります。✕ を押すと再生を中止できます。[消去]、[はい] を順に押すと再生中のメッセージがメモリーから消去されます。
     🗑、[はい] を順に押すと、全留守録メッセージがメモリーから消去されます。
   - 1 件操作の場合
     操作対象のメッセージを選ぶと、再生が始まります。✕ を押すと再生を中止できます。[消去]、[はい] を順に押すと再生中のメッセージがメモリーから消去されます。
     ホーム画面に戻るときは、🏠 を押します。

子機の場合

1. 子機の 機能 確定 を押します。
2. ✣ で [再生/消去] を選び、機能 確定 を押します。
3. ✣ で [留守] を選び、機能 確定 を押します。
4. ✣ で [1 件ずつ] または [全件] を選び、機能 確定 を押します。
   [1 件ずつ] を選ぶと留守録メッセージの 1 件目の詳細が表示されます。✣ で操作の対象を選んで 機能 確定 を押してください。
5. ✣ で [再生] または [消去] を選び、機能 確定 を押します。
   - [再生] を選ぶと、再生が始まります。切 を押すと再生を中止できます。
   - [消去] を選ぶと、消去の確認メッセージが表示されます。1 あ を押して消去します。
6. 切 を押します。

関連情報

- 留守番機能をセット/解除する

音声メッセージを確認する

関連モデル: MFC-J4940DN

留守録メッセージの再生で、親機の ▶ または子機の［全件］を選んだときは、下記の操作ができます。

>> 親機の場合
>> 子機の場合

親機の場合

1. 再生中のメッセージを聞き直すときは、◀◀ を押します。

   ◀◀ を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージが再生されます。

   ※◀◀ は、ゆっくり押してください。

2. 次のメッセージを聞くときは、▶▶ を押します。

子機の場合

1. 再生中のメッセージを聞き直すときは、十字キー を押します。

   十字キー を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージが再生されます。

   ※十字キー は、ゆっくり押してください。

2. 次のメッセージを聞くときは、十字キー を押します。

3. 途中でメッセージの再生をやめるときは、「機能」確定 または 切 を押します。

   その後、切 を押すと、待ち受け画面に戻ります。

関連情報

- 留守番機能をセット/解除する

留守録転送をする

関連モデル: MFC-J4940DN

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送することができます。

お願い

- 本製品が留守モードのときのみ転送できます。外出時には、留守を押して、留守モードに切り替えてください。
- 転送先で留守録を聞くときは暗証番号の入力が必要になります。あらかじめ暗証番号を設定してください。

通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
留守録転送を使用するには、暗証番号を設定してください。

>> 留守録転送を設定する
>> 転送先で確認する
>> 留守録転送を解除する

留守録転送を設定する

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [留守番電話設定] > [留守録転送]を押します。
2. [する]を押します。
3. 表示された電話番号を確認して、[OK]を押します。
   電話番号を変更する場合は、電話番号を入力し直して、[OK]を押してください。
4. を押します。

転送先で確認する

1. 電話を受けたあと、音声ガイダンスに従って暗証番号を入力します。
2. メッセージを聞きます。
   2 件以上あるときは連続して再生されます。
   再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [留守番電話設定] > [留守録転送]を押します。
2. [しない]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 留守番機能

関連トピック：

- 暗証番号を設定する

電話サービスと色々な接続方法

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- ナンバーディスプレイを利用する
- 電話/ファクス回線の色々な接続

ナンバーディスプレイを利用する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

電話会社の有料サービスを契約している必要があります。事前に必ずご確認ください。（NTT の場合の有料サービス名：ナンバーディスプレイサービス）

電話会社の有料サービスを契約していて、本製品でファクスを使用する場合や、本製品に外付け電話を接続して利用する場合に、ファクス受信や電話着信の相手の番号を本製品に表示します。

>> MFC-J4440N/MFC-J4540N
>> MFC-J4940DN

MFC-J4440N/MFC-J4540N

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [ナンバーディスプレイ] を押します。
2. 以下のいずれかのオプションを選択します：
   - [あり（本製品に表示）]

     本製品の画面に番号を表示します。本製品に外付け電話を接続している場合は、その電話機のナンバーディスプレイ機能をオフにしてください。
   - [あり（外付け電話に表示）]

     本製品と接続している外付け電話に番号を表示します。外付け電話のナンバーディスプレイ機能をオンにしてください。
   - [なし]

     本機能を使用しないときや、有料サービスの契約をしていないときに選んでください。
3. を押します。

- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバーディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続する場合は、構内交換機（PBX）がナンバーディスプレイに対応している必要があります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバーディスプレイの動作が異なります。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合、誤動作することがあります。

MFC-J4940DN

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [ナンバーディスプレイ] を押します。
2. [あり] を押します。
3. を押します。

ナンバーディスプレイサービスを利用してさまざまな設定ができます。「関連情報」をご覧ください。

- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバーディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続する場合は、構内交換機（PBX）がナンバーディスプレイに対応している必要があります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバーディスプレイの動作が異なります。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合、誤動作することがあります。

関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法

関連トピック：

- 着信鳴り分けを設定する
- 迷惑電話指定する

電話/ファクス回線の色々な接続

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

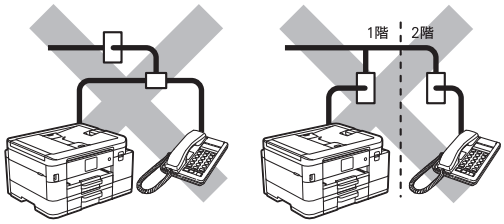
本製品をファクスとして使用したり、本製品に外付け電話を接続してファクスや電話を使用したりする場合の色々な接続を説明します。

重要

ブランチ接続（並列接続）はしないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります：

- ファクス送受信中に、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
- 着信時に、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本製品で保留にした場合、並列に接続された電話機では本製品の保留状態を解除できません。
- 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバーディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

ブランチ接続（並列接続）の例



関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法
  - ひかり電話を接続する
  - ADSL 環境で使用する
  - ISDN 環境で使用する
  - デジタルテレビを接続する
  - 構内交換機（PBX）・ビジネスホンに接続する

ひかり電話を接続する

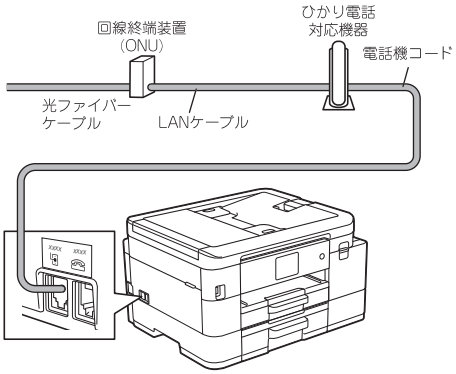
関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品とひかり電話の接続について説明します。

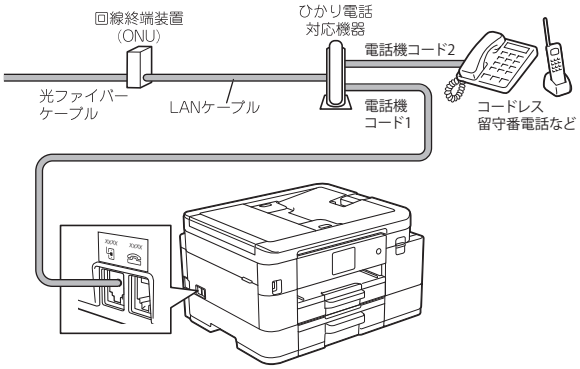
ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。

ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動で設定できない場合があります。手動で回線種別を［プッシュ回線］に設定してください。「関連情報」をご覧ください。

- ひかり電話の接続例



- ひかり電話を接続し、複数番号を使用する例



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

ADSL 環境で使用する

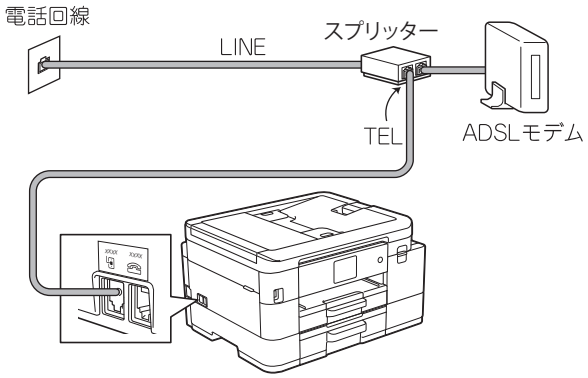
関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッターの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。スプリッターに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。

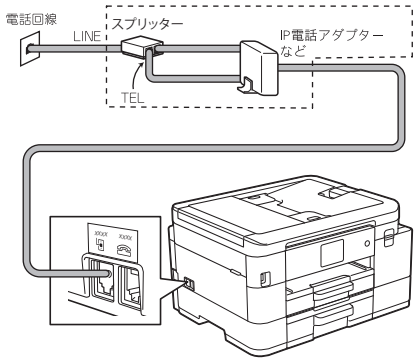
詳しい設定については、スプリッターや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されている場合があります。
- ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッター」で分岐してください。「スプリッター」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。
- IP 電話を使用する場合は、回線種別を自動で設定できない場合があります。手動で回線種別を設定してください。「関連情報」をご覧ください。

- ADSL 環境での接続例



- IP 電話などの IP 網を使用して接続した例



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

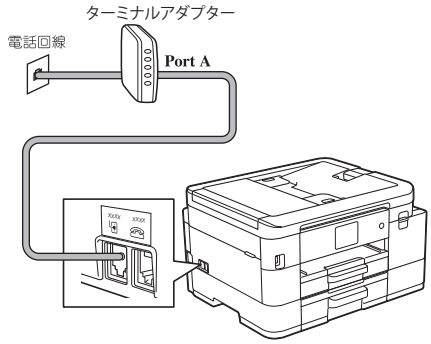
ISDN 環境で使用する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

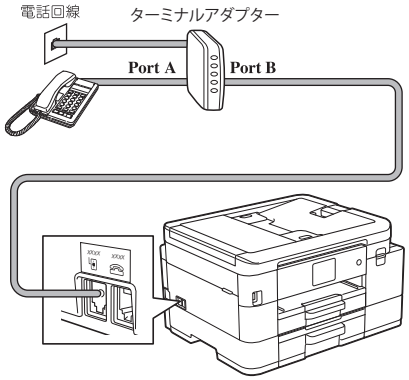
本製品を ISDN 環境で使用する場合は、本製品をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。詳しい設定については、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

ISDN 環境で使用する場合は、手動で回線種別を [プッシュ回線] に設定してください。「関連情報」をご覧ください。

- 電話番号が 1 つの例（電話とファクスの同時使用はできません）



- 電話番号が 2 つの例（電話とファクスを同時に使用できます）



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

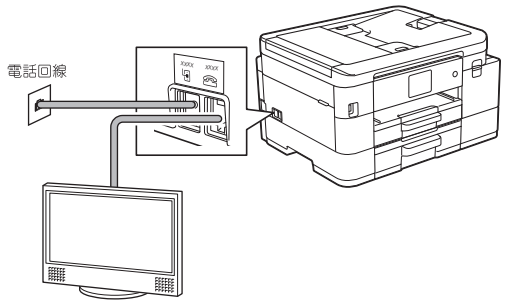
デジタルテレビを接続する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品と CS チューナーやデジタルテレビを接続するときは、外付け電話接続端子または停電用電話機接続端子に接続してください。

CS チューナーについてのご質問はご購入された販売店にお問い合わせください。

- デジタルテレビの接続例



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

構内交換機（PBX）・ビジネスホンに接続する

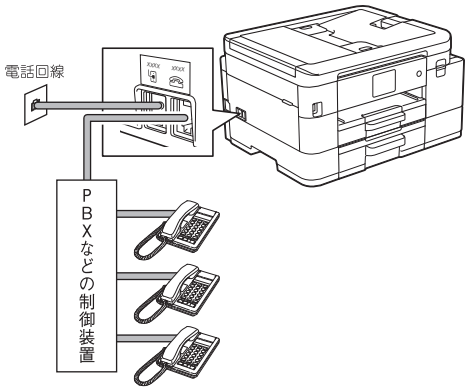
関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品を構内交換機（PBX）などに接続する場合は、次のいずれかの方法で接続してください。

構内交換機（PBX）、ビジネスホンに接続している場合は、回線種別を自動で設定できない場合があります。手動で回線種別を設定してください。「関連情報」をご覧ください。

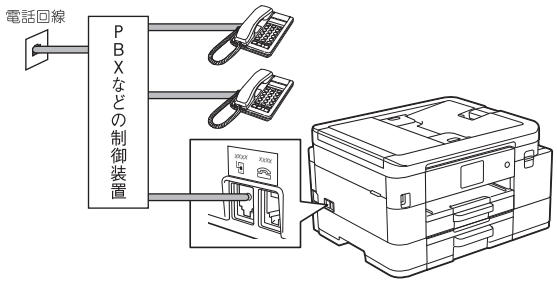
- 本製品の外付け電話としてビジネスホンを接続する場合 (MFC-J4440N/MFC-J4540N)

  本製品の外付け電話接続端子に構内交換機（PBX）などの制御装置を接続します。



- 本製品を構内交換機（PBX）の内線電話として使用する場合

  構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホンの主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更する必要があります。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

送受信テストとファクスレポート

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- ファクス送受信テストをする
- 送信結果レポートの形式を設定する
- 通信管理レポートの間隔を設定する
- レポートを印刷する

ファクス送受信テストをする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクスを送受信できるかを、弊社専用回線でテストできます。

下記テスト用ファクス番号にファクスを送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスをお送りします。

テスト用ファクス番号: 052-824-4773

発信者番号を非通知で送信すると、自動返信されません。ファクス番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

関連情報

- 送受信テストとファクスレポート

送信結果レポートの形式を設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

送信結果レポートでファクス送信したことを確認できます。送信結果レポートには、送信相手の名前やファクス番号、送信日時、通信時間、送信したページ数、送信が成功したかどうかが一覧で印刷されます。

送信結果レポートには複数の設定があります：

オプション	詳細
[送信毎に印刷]	ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。
[送信毎に印刷 (+画像)]	ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。 送信したファクスの最初のページの一部が、レポートに表示されます。
[エラー時のみ]	送信エラーによりファクスが送信できなかった場合にレポートを印刷します。
[エラー時のみ (+画像)]	送信エラーによりファクスが送信できなかった場合にレポートを印刷します。 送信したファクスの最初のページの一部が、レポートに表示されます。
[印刷しない]	レポートは印刷されません。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [レポート設定] > [送信結果レポート] を押します。
2. セットしたいオプションを押します。

   [送信毎に印刷 (+画像)] または [エラー時のみ (+画像)] を選択し、リアルタイム送信が [オン] に設定されている場合、送信結果レポートに画像は表示されません。カラーファクスを送信した場合、レポートに画像は表示されません。
3. を押します。

   送信が成功した場合、送信結果レポートの [結果] の横に [OK] が表示されます。送信が成功しなかった場合、[結果] の横に [エラー] が表示されます。

関連情報

- 送受信テストとファクスレポート

通信管理レポートの間隔を設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

通信管理レポートの印刷間隔を設定できます。（50 件ごと、6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと、2 日ごと、7 日ごと）

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [レポート設定] > [通信管理レポート] を押します。
2. [通信管理レポート] を押します。
3. ▲ または ▼ を押して間隔を選択します。
   - 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、または 7 日

     製品は設定された間隔ごとにレポートを印刷すると、メモリーから通信記録を消去します。印刷指定時刻より前に件数が 200 を超えると、自動的に通信管理レポートが印刷され、メモリーから全ての通信記録が消去されます。印刷指定時刻より前に通信管理レポートが必要な場合は、メモリーから通信記録を削除することなく印刷することができます。
   - 50 件ごと

     ファクスが 50 件に達すると、自動的にレポートが印刷されます。
4. 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、または 7 日を選択した場合、[印刷時刻指定] を押してから画面を使って時刻を入力します。[OK] を押します。
5. [7 日ごと] を選択した場合、[曜日指定] を押します。▲ または ▼ を押して [月曜日ごと]、[火曜日ごと]、[水曜日ごと]、[木曜日ごと]、[金曜日ごと]、[土曜日ごと]、または [日曜日ごと] を表示し、レポートを印刷する曜日を押します。
6. を押します。

関連情報

- 送受信テストとファクスレポート

関連トピック：

- 自動電源オフ機能を設定する

PC-FAX

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- Windows 用 PC-FAX （MFC モデル）
- Mac 用 PC-FAX （MFC モデル）

Windows 用 PC-FAX （MFC モデル）

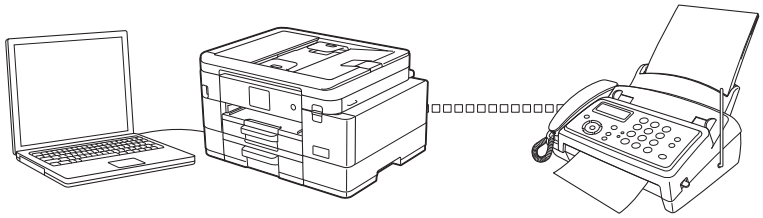
関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- PC-FAX の概要（Windows）（MFC モデル）
- PC-FAX を使ってファクスを送信する(Windows)
- パソコンでファクスを受信する（Windows）（MFC モデル）

PC-FAX の概要（Windows）（MFC モデル）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

Brother PC-FAX ソフトウェアを使用してパソコンから直接ファクスを送信することで、用紙の消費を抑えたり、時間を節約したりすることができます。



- PC-FAX の設定を行う（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

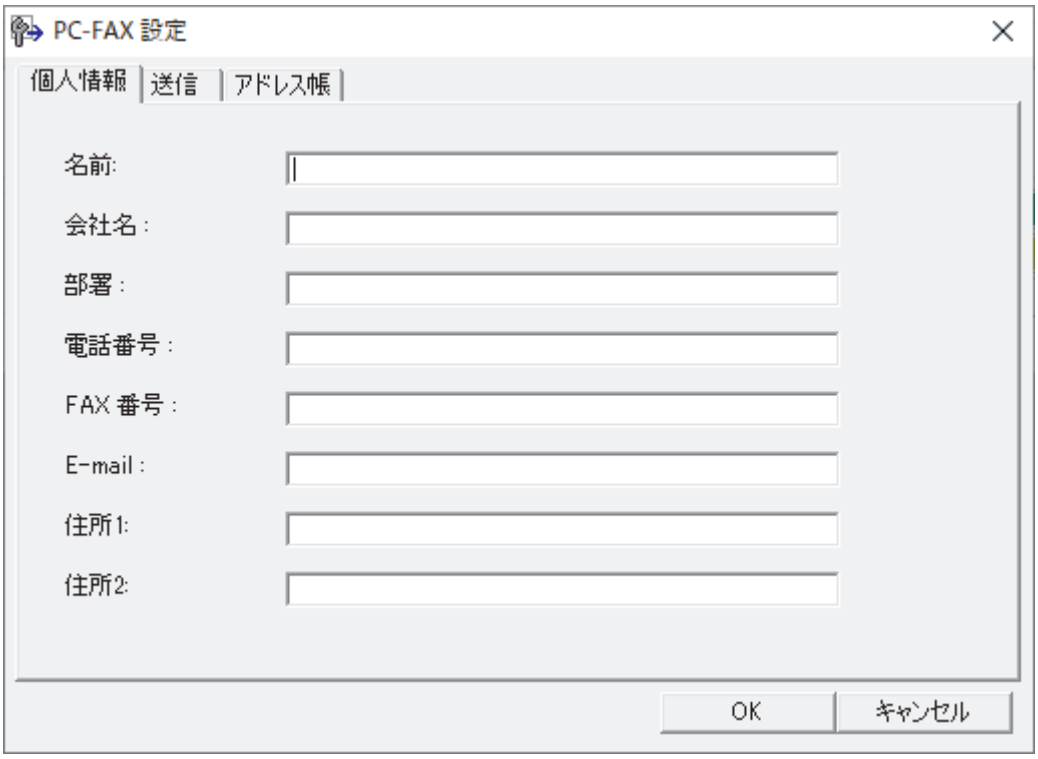
PC-FAX の設定を行う（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

PC-FAX を使用してファクスを送信する前に、**PC-FAX 設定**ダイアログボックスの各タブにある送信設定をカスタマイズします。

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信設定**をクリックします。

   PC-FAX 設定ダイアログボックスが表示されます。



3. 以下のいずれかを行ってください：
   - **個人情報**タブをクリックし、各欄にユーザー情報を入力します。

各 Microsoft アカウントでは、ファクスのヘッダーや送付書に、カスタマイズした**個人情報**画面をそれぞれ設定することができます。

   - **送信**タブをクリックし、必要に応じて**外線番号**欄に外線発信番号を入力します。**ヘッダー情報追加**チェックボックスを選択し、ヘッダー情報を含めます。
   - **アドレス帳**タブをクリックし、**使用するアドレス帳**のドロップダウンリストから、PC-FAX に使いたいアドレス帳を選択します。
4. **OK** をクリックします。

関連情報

- PC-FAX の概要（Windows）（MFC モデル）

PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

PC-FAX アドレス帳で、メンバーやグループを追加、編集、または削除などのカスタマイズを行います。

- PC-FAX のアドレス帳にメンバーを追加する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳にグループを作成する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループ情報を編集する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループを削除する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳をエクスポートする（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳に情報をインポートする（Windows）

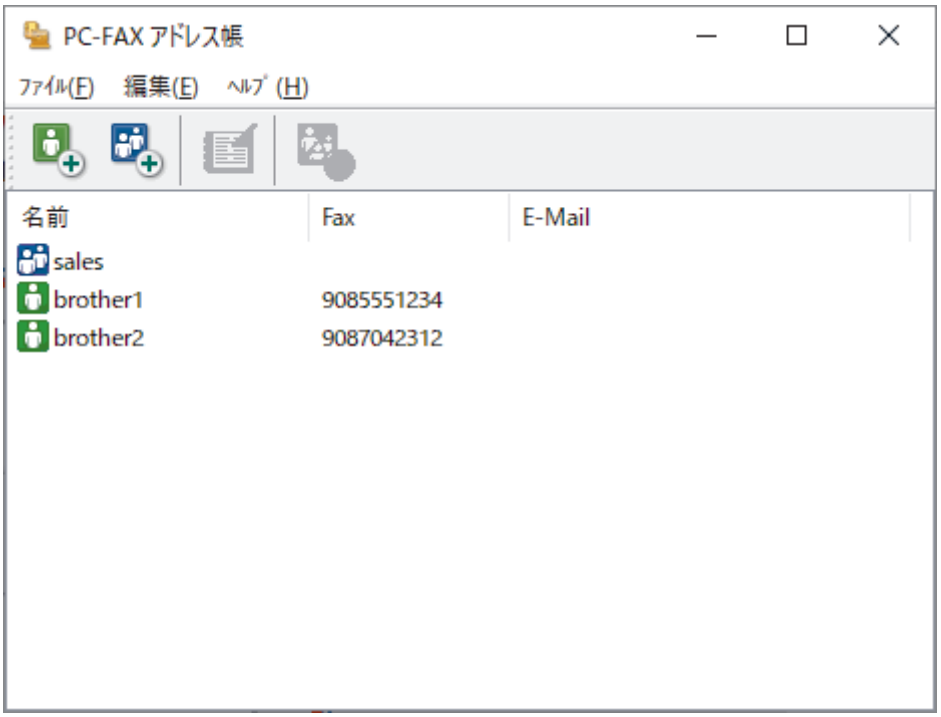
PC-FAX のアドレス帳にメンバーを追加する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

Brother PC-FAX ソフトウェアを使用してファクスを送信する場合は、新規のメンバーおよびそのメンバーのファクス情報を PC-FAX アドレス帳に追加します。

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳 メンバー設定ダイアログボックスが表示されます。
4. 対応する入力欄にメンバーの情報を入力します。**名前**のみ必須です。

電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。

5. **決定** をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

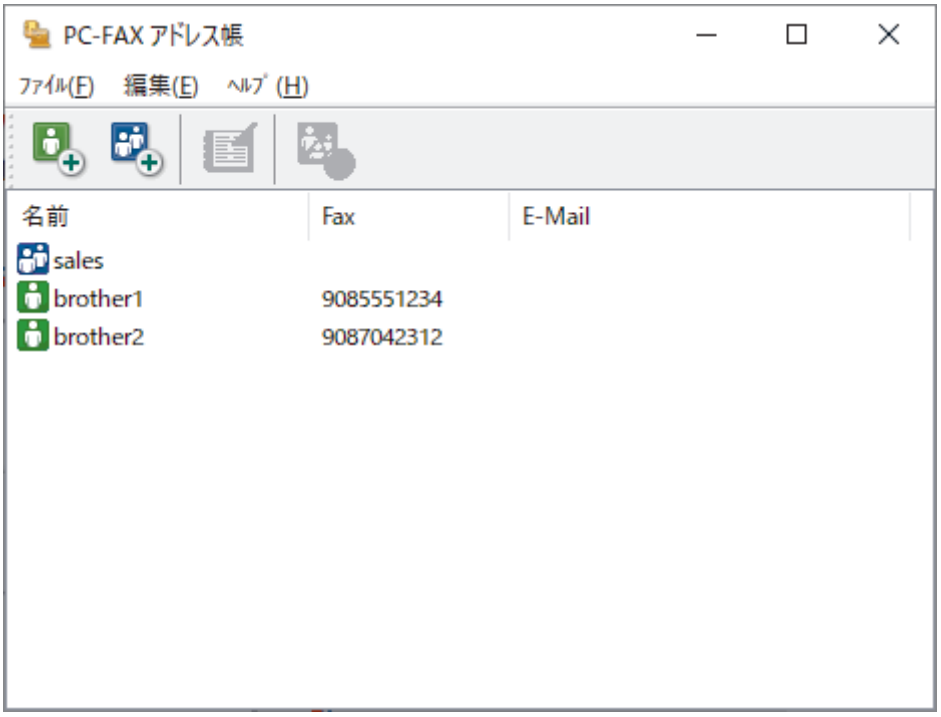
PC-FAX のアドレス帳にグループを作成する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

同じ PC-FAX を一度に複数の受信者に同報送信するためのグループを作成します。

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳 グループ設定ダイアログボックスが表示されます。
4. 新しいグループの名前を**グループ名**欄に入力します。
5. **選択可能メンバー**欄で、グループに含める名前をそれぞれ選択し、**追加 >>**をクリックします。

   グループに追加されたメンバーが**選択済みメンバー**に表示されます。
6. 完了後、**決定**をクリックします。

各グループには、最大 50 名のメンバーを含めることができます。

関連情報

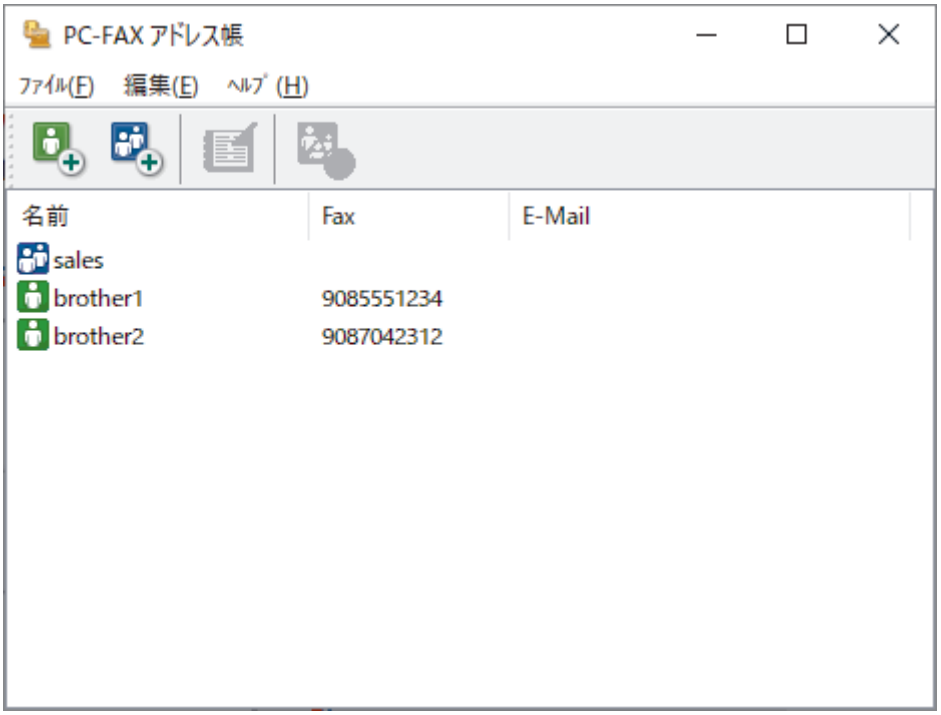
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループ情報を編集する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. 編集したいメンバーまたはグループを選択します。
4. （**詳細情報**）をクリックします。
5. メンバーまたはグループ情報を変更します。
6. **決定** をクリックします。

関連情報

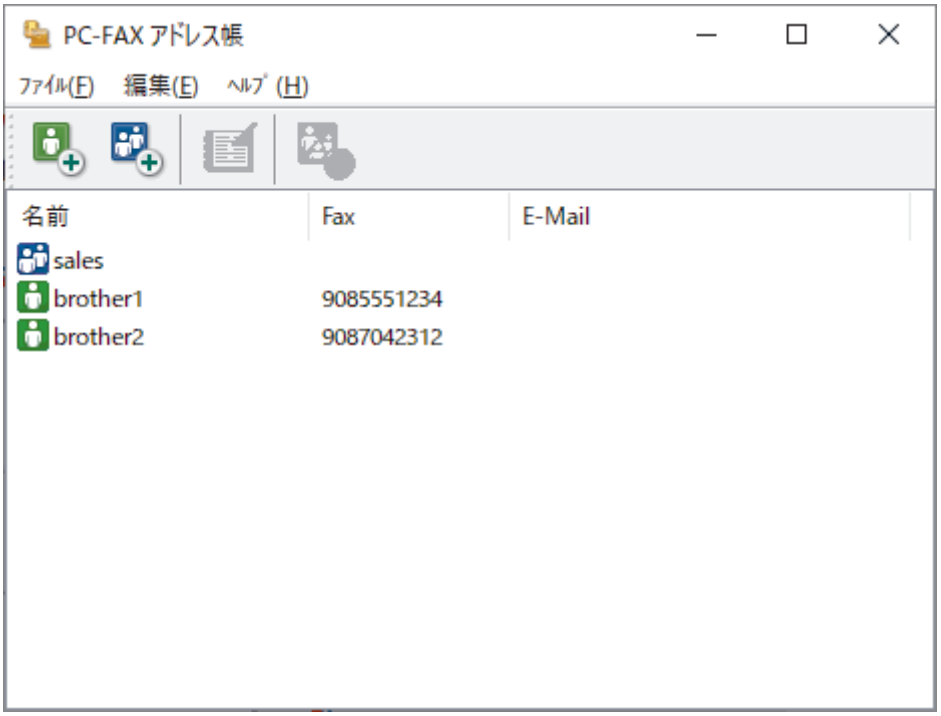
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループを削除する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. 削除したいメンバーまたはグループを選択します。
4. （**削除**）をクリックします。
5. 確認ダイアログボックスが表示されたら、**OK** をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳をエクスポートする（Windows）

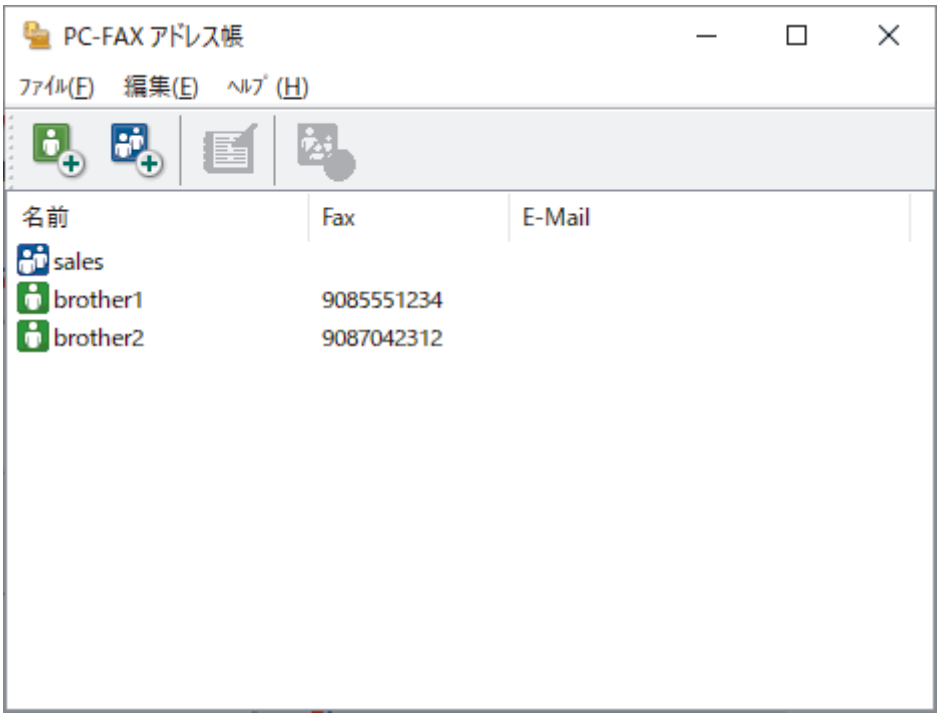
関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

アドレス帳を ASCII テキストファイル（*.csv）または vCard（電子名刺）としてエクスポートし、パソコンに保存できます。

- **PC-FAX アドレス帳**のデータをエクスポートする場合、グループ設定はエクスポートできません。

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. **ファイル** > **エクスポート**をクリックします。
4. 以下のいずれかを選択します。
   - **テキストファイル**

     項目選択ダイアログボックスが表示されます。次の手順に進みます。
   - **vCard**

     このオプションを選択する前に、アドレス帳からエクスポートするメンバーを選択する必要があります。

     vCard の保存先フォルダーを開き、**ファイル名**欄にファイル名を入力して、**保存**をクリックします。
5. **選択可能項目**欄で、エクスポートするデータを選択し、**追加 >>**をクリックします。

   表示する順に項目を選択して追加します。
6. ASCII ファイルにエクスポートする場合は、**区切り文字**セクションで**タブ**または**コンマ**オプションを選択して、データフィールドを区切ります。
7. **決定** をクリックします。
8. データの保存先のパソコンのフォルダーを開き、ファイル名を入力して、**保存**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

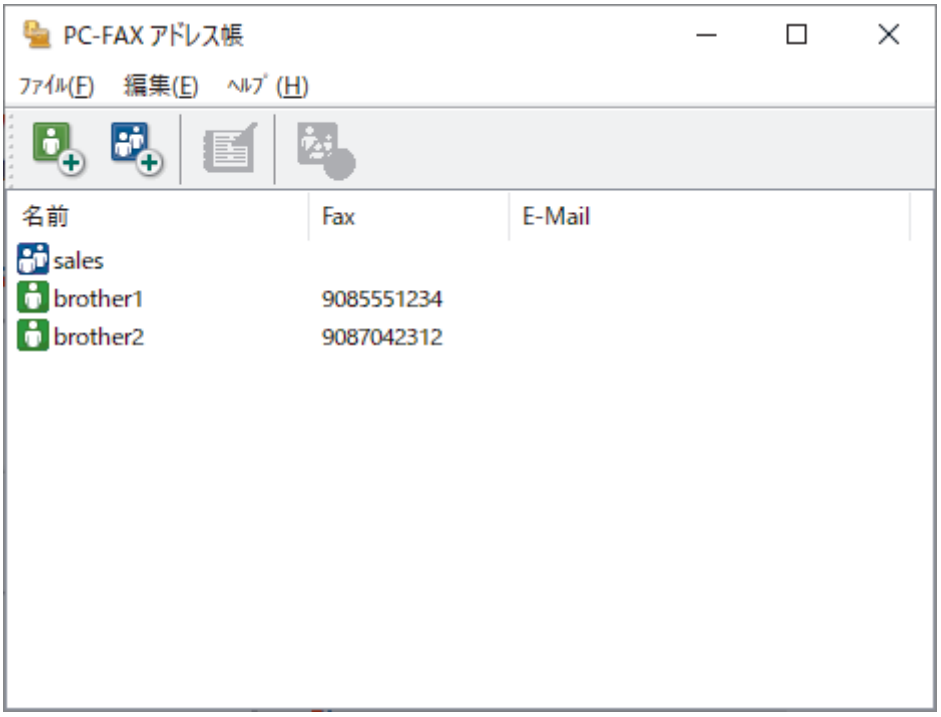
PC-FAX のアドレス帳に情報をインポートする（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ASCII テキストファイル（*.csv）または vCard（電子名刺）をアドレス帳にインポートできます。

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. **ファイル** > **インポート**をクリックします。
4. 以下のいずれかを選択します。
   - **テキストファイル**

     項目選択ダイアログボックスが表示されます。手順 5 に進みます。
   - **vCard**

     手順 8 に進みます。
5. **選択可能項目**欄で、インポートするデータを選択し、**追加 >>**をクリックします。

選択可能項目リストから、インポートテキストファイルに表示されている順に項目を選択して追加する必要があります。

6. ASCII ファイルをインポートする場合は、**区切り文字**セクションで**タブ**または**コンマ**オプションを選択して、データフィールドを区切ります。
7. **決定** をクリックします。
8. データのインポート先のフォルダーを参照し、ファイル名を入力して、**開く**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX を使ってファクスを送信する(Windows)

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

PC-FAX はモノクロのファクスにのみ対応しています。元のデータがカラーで、かつ受信側のファクス機がカラー対応のファクスであったとしても、モノクロのファクスが送信されます。

1. パソコン上のアプリケーションでファイルを作成します。
2. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
3. プリンターとして **Brother PC-FAX** を選択し、印刷操作を完了させます。
   Brother PC-FAX のダイアログボックスが表示されます。

4. 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します。
   - ダイヤルパッドの数字をクリックして番号を入力し、**送信先追加**をクリックします。

ダイヤル制限機能のチェックボックスを選択した場合は、確認用ダイアログボックスが表示され、キーボードを使ってファクス番号を再入力することが求められます。この機能により、送信先の間違いを防ぐことができます。

   - **アドレス帳**ボタンをクリックし、アドレス帳からメンバーまたはグループを設定します。

間違った場合は、**全削除**をクリックすれば入力した項目をすべて削除できます。

5. 送付書を含める場合は、**送付書使用**のチェックボックスにチェックを入れます。 をクリックして送付書の作成や編集をすることもできます。
6. **送信**をクリックしてファクスを送信します。

- ファクス送信を中止するときは、**キャンセル**をクリックします。
- 再ダイヤルするときは、**再ダイヤル**をクリックして送信したい番号を表示し、**送信**をクリックします。

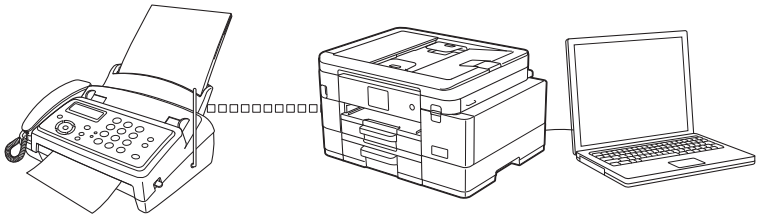
関連情報

- Windows 用 PC-FAX （MFC モデル）

パソコンでファクスを受信する（Windows）（MFC モデル）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

Brother PC-FAX ソフトウェアを使用して、パソコンでファクスを受信し、それらを選別して、必要なファクスのみを印刷します。



- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

Brother PC-FAX 受信ソフトウェアを使用すると、パソコンでファクスを表示および保存できます。本製品のソフトウェアとドライバーをインストールすると自動的にインストールされ、ローカルまたはネットワークに接続されたパソコンで動作します。

- PC-FAX 受信機能は、モノクロのファクスにのみ対応しています。カラーファクスを受信すると、そのファクスはパソコンに送信されず、本製品でカラーファクスが印刷されます。

パソコンの電源を切っていても、本製品は継続してファクスを受信し、メモリーに保存します。保存されたファクスの数が本製品の画面に表示されます。アプリを起動すると、本製品が受信したファクスをまとめてパソコンに転送します。ファクスがパソコンに送信される前、もしくはパソコンの電源を切る前に、ファクスを印刷したい場合は、バックアップ印刷オプションを有効にします。バックアップ印刷は、本製品から設定できます。

関連情報

- パソコンでファクスを受信する（Windows）（MFC モデル）
  - お使いのパソコンで Brother PC-FAX 受信を実行する（Windows）
  - 受信した PC-FAX メッセージを表示する（Windows）

関連トピック：

- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）

お使いのパソコンで Brother PC-FAX 受信を実行する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

パソコン起動時に起動するのチェックボックスを選択しておくと、パソコンを起動したときに、ソフトウェアが同時に起動し、ファクスを転送します。

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 受信を起動**をクリックします。
3. メッセージを確認し、**Yes** をクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。（**PC ファクス受信**）アイコンがパソコンのタスクトレイに表示されます。

関連情報

- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）
  - PC-FAX 受信を設定する（Windows）
  - PC-FAX 受信に本製品を追加する（Windows）

PC-FAX 受信を設定する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**PC ファクス受信**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。
2. **設定** をクリックします。
3. 必要に応じて次のオプションを設定します。

   起動

   Windows の起動時に、PC-FAX 受信が自動的に起動されるよう設定します。

   保存

   受信した PC-FAX の保存先や保存形式を選択します。

   アップロード先

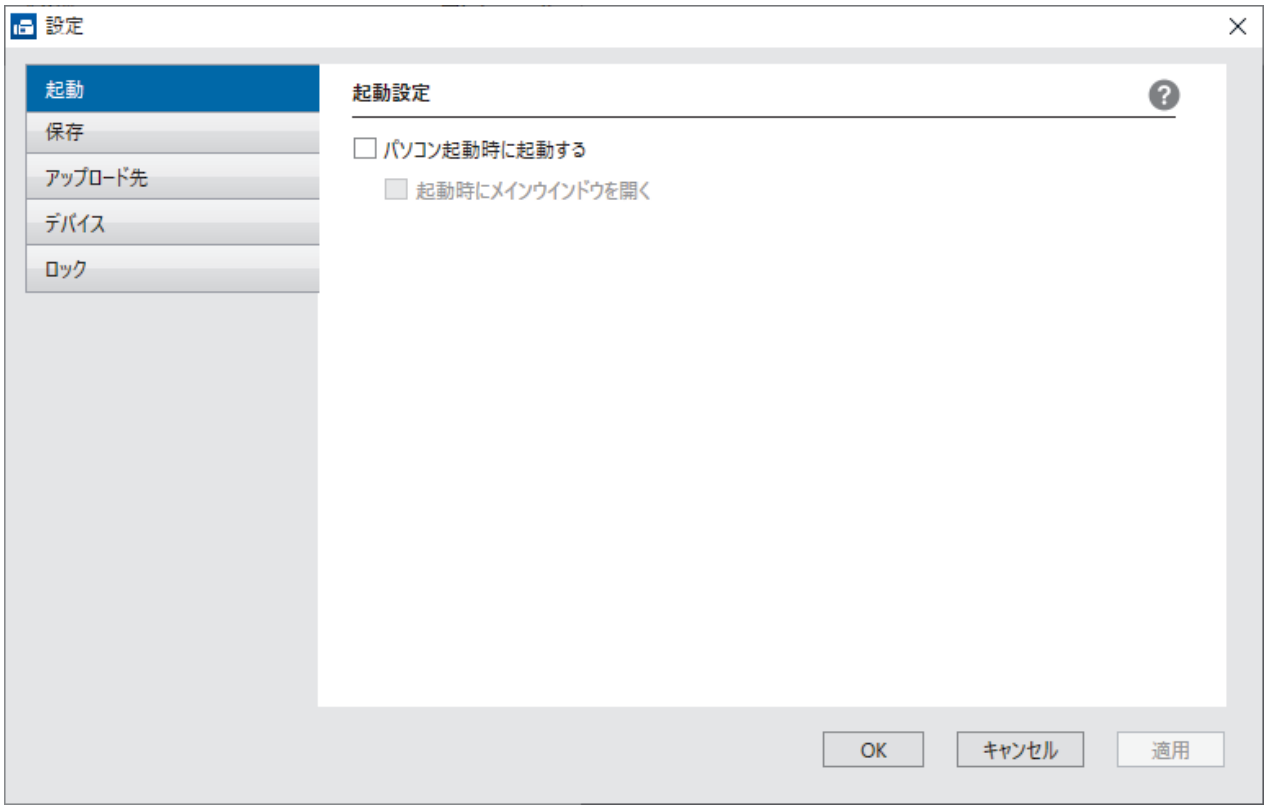
   サーバーへのパスを設定し、アップロードの自動または手動を選択します。（管理者のみ利用可能）

   デバイス

   PC-FAX を受信したいブラザー製品を設定します。

   ロック （管理者のみ利用可能）

   管理者権限の無いユーザーに対して、設定を制限することができます。



4. **OK** をクリックします。

関連情報

- お使いのパソコンで Brother PC-FAX 受信を実行する（Windows）

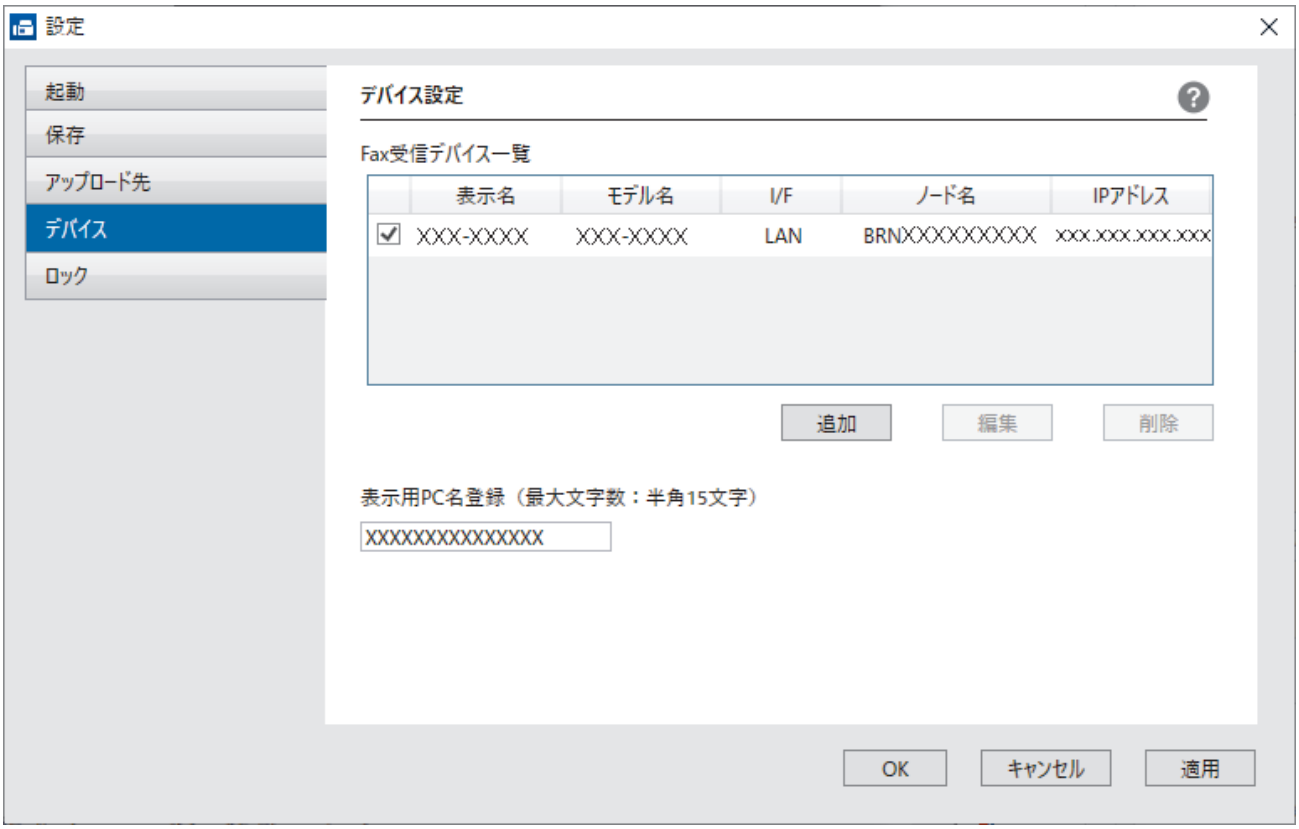
PC-FAX 受信に本製品を追加する（Windows）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- ネットワークユーザー向けの指示に従って本製品をインストールした場合、本製品はお使いのネットワーク上ですでに設定されています。

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**PC ファクス受信**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。
2. **設定** をクリックします。
3. **デバイス** > **追加**をクリックします。



4. 適切な接続方法を選択します。

   自動検索結果から選択してデバイスを追加

   接続済みの製品の一覧が表示されます。使用する製品を選択します。**OK** をクリックします。

   IP アドレスを入力してデバイスを追加

   IP アドレス欄に本製品の IP アドレスを入力し、**OK** をクリックします。
5. 本製品の画面に表示されるパソコン名を変更するには、**表示用 PC 名登録（最大文字数：半角 15 文字）**欄に新しい名前を入力します。
6. **OK** をクリックします。

関連情報

- お使いのパソコンで Brother PC-FAX 受信を実行する（Windows）

受信した PC-FAX メッセージを表示する（Windows）

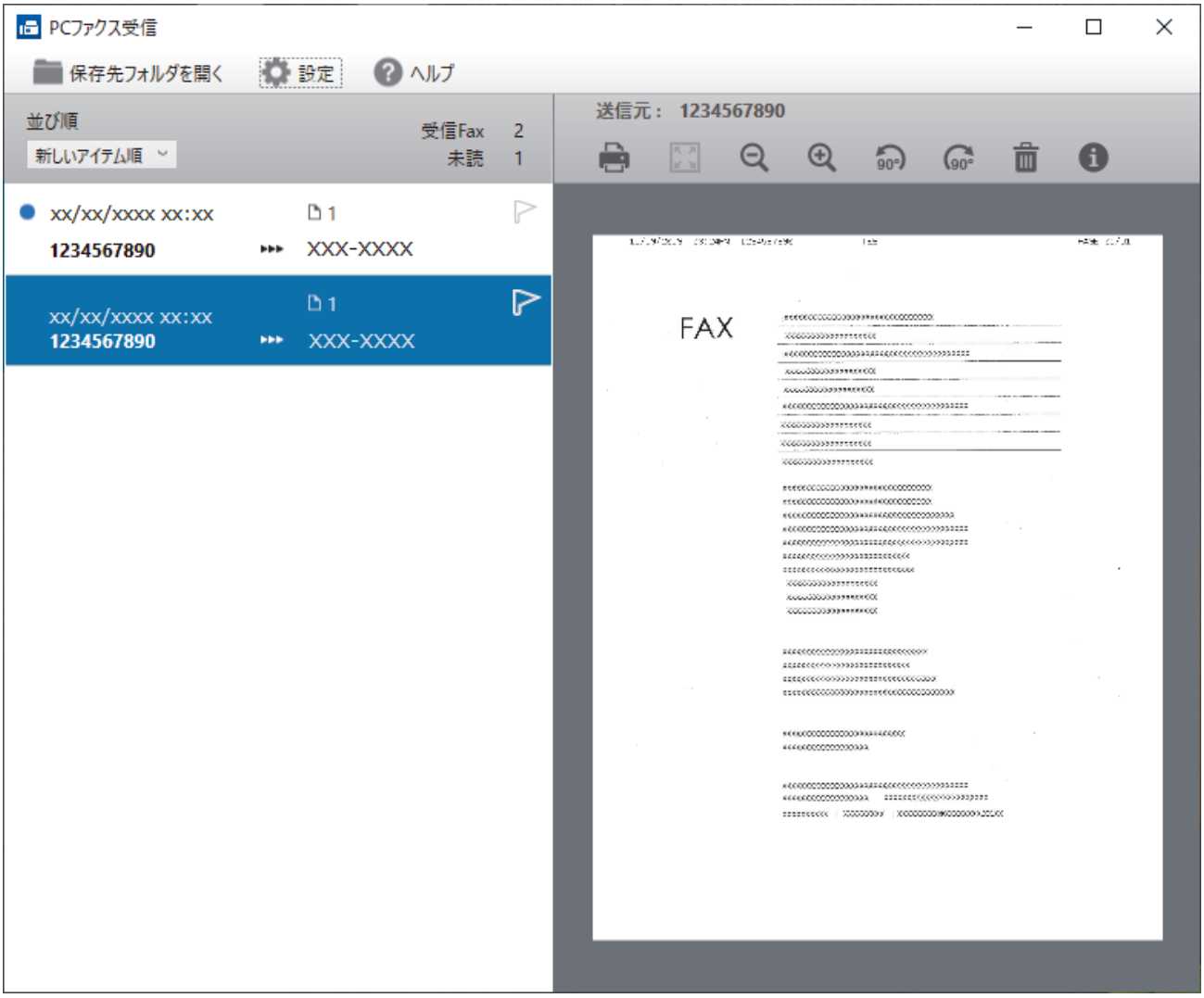
関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

受信ステータス

アイコン	表示されるステータス
	待機モード 未読メッセージなし
	メッセージを受信中
	メッセージを受信済み 未読メッセージあり

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**PC ファクス受信**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。



2. リストをクリックすると、ファクスが表示されます。
3. 完了したら、画面を閉じます。

ウィンドウを閉じた後も、PC-FAX 受信は起動しているので、パソコンのタスクトレイに （**PC ファクス受信**）アイコンが表示されたままになります。PC-FAX 受信を閉じるには、パソコンのタスクトレイのアイコンをクリックし、**閉じる**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

Mac 用 PC-FAX （MFC モデル）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）

ネットワーク

- 対応している基本ネットワーク機能について
- ネットワークを設定する
- 無線ネットワーク設定
- ネットワーク機能
- ブラザー管理ツール

対応している基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS に合わせて、さまざまな機能をサポートしています。この表で、各 OS でサポートされるネットワーク機能と接続を確認してください。

オペレーティングシステム	Windows	Windows Server	macOS
印刷	○	○	○
スキャン	○	-	○
PC ファクス送信 (MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN)	○	-	○
PC ファクス受信 (MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN)	○	-	-
Web Based Management [1]	○	○	○
ステータスモニター	○	-	-
オートマチックドライバーインストーラー	○	○	-

1 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。本製品への不正アクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

本製品の有線・無線 LAN インターフェイスは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。

本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。

関連情報

- ネットワーク

関連トピック：

- Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する

ネットワークを設定する

- 操作パネルを使用してネットワークを設定する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

操作パネルを使用してネットワークを設定する

本製品のネットワークの設定をするには、操作パネルの［ネットワーク］メニューの項目を使用します。

- 操作パネルを使用して設定できるネットワーク設定については「関連情報」をご覧ください：設定一覧
- Web Based Management などのユーティリティを使用して、本製品のネットワークの設定や変更を行うこともできます。

1. ［メニュー］ > ［ネットワーク］を押します。
2. ▲または▼を押してネットワークオプションを表示し、それを押します。このステップを繰り返して設定したいメニューにアクセスし、画面の指示に従ってください。

関連情報

- ネットワークを設定する

関連トピック：

- 設定一覧（2.7 型（67.5mm）タッチパネルモデル）

無線ネットワーク設定

- 無線ネットワークを使用する
- Wi-Fi Direct®を使用する
- 無線 LAN を有効/無効にする
- 無線 LAN レポートを印刷する

無線ネットワークを使用する

- 無線ネットワークに本製品を設定する前に
- パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 携帯端末からセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

無線ネットワークに本製品を設定する前に

無線 LAN ネットワークを設定する前に、以下の点を確認してください。

- エンタープライズ無線ネットワークを使用している場合、ユーザー ID とパスワードを知っておく必要があります。
- 常に文書を快適に印刷するために、本製品を無線 LAN アクセスポイント/ルーターの近くに設置し、無線通信に支障のないようにしてください。本製品と無線 LAN アクセスポイントまたはルーターとの間に大きな障害物や壁があったり、他の電子機器からの電磁干渉があると、印刷する文書のデータ転送速度に影響を与える可能性があります。

  無線 LAN 接続は必ずしもすべてのタイプの文書やアプリケーションに最適な接続方法とは限りません。複雑で文字数の多い文書や写真などの大きいサイズのデータを印刷する場合は、データ転送速度のより速い有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）、または最速で処理可能な USB 接続で印刷することをお勧めします。
- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のいずれのネットワークでも使用できますが（サポート対象モデルのみ）、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。
- 電波の届く範囲であれば、自由に無線 LAN 接続が可能になります。ただし、セキュリティー設定を正しく行わないと、悪意のある第三者によって電波が傍受され、次のような結果を招く可能性があります。
  - 個人情報または機密情報の盗用
  - 特定の個人になりすました者への不適切な情報送信
  - 傍受され、改ざんされた通信内容の拡散

無線 LAN ルーター/アクセスポイントのネットワーク名（SSID）とネットワークキー（パスワード）があることを確認してください。この情報が見つからない場合は、無線 LAN ルーター/アクセスポイントの製造元、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。弊社がこの情報を提供することはできません。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows

     support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページからインストーラーをダウンロードします。
   - Mac

     a. support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページからインストーラーをダウンロードします。

     b. インストーラーを開始し、**Start Here Mac** アイコンをダブルクリックします。
2. 画面の指示に従います。
3. **無線 LAN (Wi-Fi)**を選択してから**次の項目へ**をクリックします。
4. 画面の指示に従います。

無線 LAN のセットアップが完了しました。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

携帯端末からセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Android™端末

     Google Play™から Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。
   - iPhone、iPad、iPod touch を含む iOS または iPadOS 対応のすべての機器

     App Store から、Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。
2. Brother Mobile Connect を起動し、画面の指示に従って携帯端末を本製品に接続します。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名（SSID）

ネットワークキー（パスワード）

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

ネットワークキー（パスワード）
12345

- ご使用の無線 LAN アクセスポイント/ルーターが複数の WEP キーに対応している場合でも、本製品で使用できるのは 1 番目の WEP キーのみです。
- セットアップできないなど、ブラザーコールセンターにお問い合わせいただく場合は、あらかじめ SSID（ネットワーク名）とネットワークキーを調べ、お手元にご用意ください。弊社がこの情報を提供することはできません。
- SSID(ネットワーク名）およびネットワークキーがわからない場合、無線ネットワークのセットアップを行うことはできません。

  SSID(ネットワーク名）およびネットワークキーの見つけ方

  - お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの取扱説明書を調べてください。
  - 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
  - セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。
3. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。

   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. ネットワークの検索が行われた後、利用可能な SSID の一覧が表示されます。SSID のリストが表示されたら、▲または▼を押して、使用したい SSID を選択します。[OK]を押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 使用する認証方式と暗号化方式でネットワークキーが必要な場合は、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。

     キーを入力し、[OK]を押して設定します。
   - 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。
6. 製品は、選択された無線機器に接続しようと試みます。

無線機器が正常に接続されると、画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターが、WPS（プッシュボタン設定）をサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS を使用して無線ネットワークを設定することができます。

1. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [WPS(プッシュボタン)]を押します。
2. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ]を押します。
3. 画面に WPS を起動するよう指示が表示されたら、無線 LAN アクセスポイント/ルータの WPS ボタンを押します。本製品の[OK]を押します。本製品が自動的にお使いの無線ネットワークへの接続を試みます。

無線機器が正常に接続されると、画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

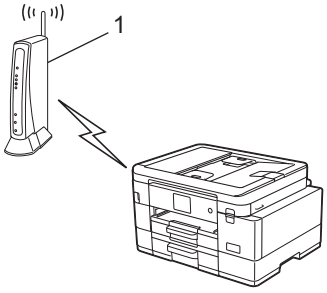
Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN のアクセスポイント/ルーターが、WPS をサポートしている場合、暗証番号（PIN：Personal Identification Number）方式を使用して無線ネットワークを設定できます。

PIN 方式は、 Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。本製品で作成された PIN コードを、レジストラー（無線 LAN を管理する機器）に送信することで、無線ネットワークとセキュリティの設定を行うことができます。WPS モードへのアクセス方法の詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターの説明書を参照してください。

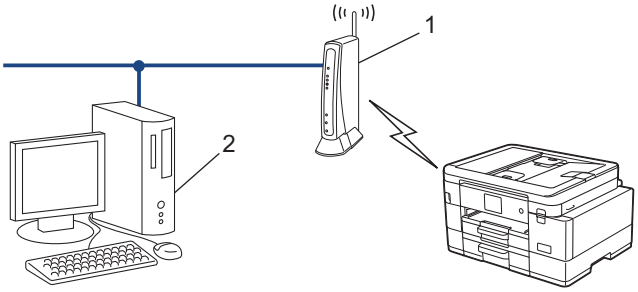
使用例 A

無線 LAN アクセスポイント/ルーター（1）がレジストラー（登録管理機器）を兼用する場合の接続。



使用例 B

パソコンなどの別の機器（2）がレジストラー（登録管理機器）として使用される場合の接続。



1. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [WPS(PIN コード)]を押します。
2. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
3. 本製品の画面に 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイント/ルーターの検索を開始します。
4. ネットワークに接続したパソコンを使って、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスをブラウザーのアドレスバーに入力します。（例：http://192.168.1.2）
5. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。

- レジストラー（登録管理機器）は通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの種類によって異なる場合があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。

Windows 7、Windows 8.1、または Windows 10 パソコンをレジストラーとして使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

6. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 8.1

  マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、 **設定** > **コントロール パネル** > **ハードウェアとサウンド** > **デバイスとプリンター** > **デバイスの追加**をクリックします。
- Windows 7

  (スタート) > **デバイスとプリンター** > **デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 7、Windows 8.1、または Windows 10 パソコンをレジストラーとして使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 7、Windows 8.1、または Windows 10 を レジストラーとして使用する場合は、画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタードライバーをインストールできます。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

7. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
8. 製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
9. （Windows 7）ネットワークを選択して、**次へ**をクリックします。
10. **閉じる** をクリックします。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN の設定を調べて書き留めてください。

ネットワーク名（SSID）

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー（パスワード）
オープンシステム	なし	-
	WEP	
共有キー	WEP	
WPA/WPA2-PSK	AES	
	TKIP	

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー（パスワード）
WPA2-PSK	AES	12345678

お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。
3. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. ネットワークの検索が行われた後、利用可能な SSID の一覧が表示されます。▲または▼を押して[<New SSID>]オプションを表示させ、それを押します。
5. [OK]を押します。
6. SSID 名を入力し、[OK]を押します。

文字入力に関する詳しい説明は,「関連情報」をご覧ください。

7. 認証方式を選択します。
8. 以下のいずれかを行ってください：
   - [オープンシステム認証]オプションを選択した場合、[なし]または[WEP]を押します。
     暗号化方式に[WEP]オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、[OK]を押します。
   - [共有キー認証]オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、[OK]を押します。
   - [WPA/WPA2-PSK]オプションを選択した場合、[TKIP+AES]または[AES]を押します。
     WPA キーを入力し、[OK]を押します。

- 文字入力に関する詳しい説明は、「関連情報」をご覧ください。
- 本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

9. 製品は、選択された無線機器に接続しようと試みます。

無線機器が正常に接続されると、画面に［接続しました］と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

- 本製品のネットワークに問題がある場合
- 本製品にテキストを入力する

エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名（SSID）

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/NONE	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/GTC	AES		
	TKIP		
PEAP/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
PEAP/GTC	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/PAP	AES		
	TKIP		
EAP-TLS	AES		-
	TKIP		-

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

2. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。
3. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. ネットワークの検索が行われた後、利用可能な SSID の一覧が表示されます。▲または▼を押して[<New SSID>]オプションを表示させ、それを押します。
5. [OK]を押します。
6. SSID 名を入力し、[OK]を押します。

文字入力に関する詳しい説明は,「関連情報」をご覧ください。

7. 認証方式を選択します。
8. 以下のいずれかを行ってください：
   - [EAP-FAST]、[PEAP]または[EAP-TTLS]を選択した場合、内部認証方式を[NONE]、[CHAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2]、[GTC]または[PAP]から選択します。

使用する認証方式によって、選択する内部認証方式は異なります。

暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択します。
検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+サーバー ID]から選択します。
- [CA 証明書+サーバー ID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID、パスワード（必要に応じて）を入力し、その都度[OK]を押します。
- その他を選択した場合は、ユーザー ID とパスワードを入力し、[OK]を押します。

本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、[検証しない]と表示されます。

   - [EAP-TLS]オプションを選択した場合、暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択します。
     使用可能なクライアント証明書のリストが本製品に表示されます。表示されたリストから証明書を選択します。
     検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+サーバー ID]から選択します。
     - [CA 証明書+サーバー ID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID を入力し、その都度[OK]を押します。
     - その他を選択した場合は、ユーザー ID を入力し、[OK]を押します。
9. 製品は、選択された無線機器に接続しようと試みます。

無線機器が正常に接続されると、画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の機器の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、support.brother.co.jp でお使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

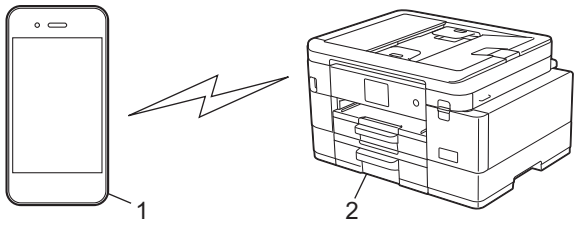
- 本製品にテキストを入力する

Wi-Fi Direct®を使用する

- Wi-Fi Direct の概要
- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する
- Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する
- 本製品のネットワークに問題がある場合

Wi-Fi Direct の概要

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance®により開発された無線設定方法の一つです。無線 LAN ルーター/アクセスポイントを使用せずに、携帯端末を本製品に安全に接続できます。



1. 携帯端末
2. 本製品

- Wi-Fi Direct は、有線または無線のネットワーク接続と同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct をサポートしている機器は、グループオーナーになります。Wi-Fi Direct ネットワークを設定する場合、グループオーナーはアクセスポイントとして機能します。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する
- Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

本製品が携帯端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、メッセージ「[Wi-Fi Direct の接続リクエストがきています通信を開始するには[OK]を押してください]」が液晶ディスプレーに表示されます。[OK]を押して接続します。

1. [メニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct]を押します。
2. お使いの携帯端末が Wi-Fi Direct に対応していない場合は、[グループ オーナー] > [オン]を押します。
3. [プッシュボタン接続]を押します。
4. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして[OK]を押してください]と表示されたら、携帯端末の Wi-Fi Direct 機能を有効にします（詳細は、携帯端末の取扱説明書を参照してください）。本製品の[OK]を押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 携帯端末に Wi-Fi Direct が有効になっている製品のリストが表示される場合は、本製品を選択します。
   - 本製品に Wi-Fi Direct が有効になっている携帯端末のリストが表示される場合は、お使いの携帯端末を選択します。利用可能な機器を再検索するには、[再検索]を押します。

携帯端末が正常に接続されると、本製品に[接続しました]と表示されます。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- Wi-Fi Direct の概要
- Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

本製品の操作パネルから Wi-Fi Direct を設定します。

1. [メニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [手動接続]を押します。
2. 本製品に SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）が表示されます。ご使用の携帯端末の無線ネットワーク設定画面で、SSID を選択して、パスワードを入力します。

携帯端末が正常に接続されると、本製品に[接続しました]と表示されます。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- Wi-Fi Direct の概要
- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

無線 LAN を有効/無効にする

1. ［メニュー］>［ネットワーク］>［有線/無線切替え］を押します。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - Wi-Fi を有効にするには、［無線 LAN(Wi-Fi)］を選択します。
   - Wi-Fi を無効にするには、［有線 LAN］を選択します。
3. を押します。

関連情報

- 無線ネットワーク設定

無線 LAN レポートを印刷する

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が表示されます。無線接続に失敗した場合は、印刷されたレポートのエラーコードを確認してください。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［レポート印刷］>［無線 LAN レポート］>［はい］を押します。

   製品は無線 LAN レポートを印刷します。

無線 LAN レポートが印刷されない場合、製品のエラーの有無を確認します。目視できるエラーがない場合、1 分間待ったあと、もう一度レポートを印刷してみてください。

関連情報

- 無線ネットワーク設定
  - 無線 LAN レポートのエラーコード

関連トピック：

- 本製品のネットワークに問題がある場合
- Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する

無線 LAN レポートのエラーコード

無線 LAN レポートに接続の失敗が表示された場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認し、エラーに対応する指示を表で確認します。

エラーコード	問題と推奨対策
TS-01	無線 LAN（Wi-Fi）設定が有効になっていません。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • 本製品の無線 LAN 設定を ON にしてください。 • 本製品に LAN ケーブルがつながっている場合は抜いてください。
TS-02	接続する無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりません。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。 • セットアップ時は、本製品を障害のない場所へ移動させたり、ルーター／アクセスポイントに近づけてみてください。 • MAC アドレスフィルタリングなどの接続制限機能をご利用の場合は、本製品の MAC アドレスを制限がかからないようにルーター／アクセスポイントの設定をご確認ください。本製品の MAC アドレスは、ネットワーク設定リストの印刷結果で確認できます。 • 手動で SSID を入力している場合には、セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式）が間違っている可能性があります。セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式）を再度確認し、入力をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントの電源を入れなおしてください。お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-03	無線 LAN エンタープライズのセキュリティ情報が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • 以下の情報を確認してください。 - 本製品で選択したネットワーク名（SSID）。 - 本製品で選択したセキュリティ情報（認証方式/暗号化方式/ユーザー ID など） ネットワーク名（SSID）やセキュリティ情報が分からない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-04	無線アクセスポイント／ルーターで使用されている認証方式と暗号化方式を、本製品はサポートしておりません。 インフラストラクチャモードの場合（最も一般的） 無線 LAN ルーター／アクセスポイントの認証方式や暗号化方式を変更してください。本製品は、以下の方式に対応しています。 • WPA-パーソナル： TKIP / AES • WPA2-パーソナル： TKIP / AES • OPEN： WEP / なし（認証なし） • 共有キー： WEP 解決しない場合は、選択した SSID または入力したネットワーク設定が間違っている可能性があります。ネットワーク設定を再度確認してください。

エラーコード	問題と推奨対策
TS-05	ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）を確認してください。 • ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 • ネットワーク名（SSID）やセキュリティ情報が見つからない場合、無線 LAN（Wi-Fi）ルーター／アクセスポイントの取扱説明書を確認するか、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 • ルーター／アクセスポイントの WEP が複数ある場合は、最初の WEP キーで接続してください。
TS-06	セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ネットワークキー（パスワード）を確認してください。ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 • 選択した認証方式を確認してください。認証方式や暗号化方式は、無線 LAN ルーター／アクセスポイントが対応しているものを選択してください。 • ネットワークキー、認証方式、暗号化方式を確認してください。ルーター／アクセスポイントと本製品の電源を入れなおしてください。 • 無線 LAN アクセスポイントの設定で SSID を隠している（SSID ステルス）場合、SSID は検出されません。SSID ステルスをオフにしてください。 お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-07	WPS（Wi-Fi Protected Setup） 設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりませんでした。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントに WPS ロゴが表示されているか確認し、WPS に対応している事を確認してください。詳しい事は、ルーター／アクセスポイントの説明書で確認してください。 • WPS で接続する場合は、本製品とルーター／アクセスポイントの両方の操作が必要です。詳しい事は、本製品のユーザーズガイドで確認してください。 • これらの情報がわからない場合は、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-08	WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが 2 つ以上見つかりました。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • 本製品と接続する 1 つのルーター／アクセスポイントだけが WPS を有効にしていることを確認してください。 • 他のルーター／アクセスポイントからの影響を避けるため、数分後にもう一度試してください。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの、無線セキュリティー情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）の確認方法：

1. お買い上げ時のセキュリティー設定が、無線 LAN アクセスポイント／ルーターに貼られているラベルに記載されている場合があります。または、無線 LAN アクセスポイント／ルーターのメーカー名もしくは型番号が、お買い上げ時のセキュリティー設定として使用されている場合があります。
2. 使用している無線 LAN アクセスポイント／ルーターの取扱説明書をご覧になり、セキュリティ設定値の記載場所を確認してください。

- 無線 LAN アクセスポイント／ルーターが SSID をブロードキャストするように設定されていない場合、SSID は自動的には検出されません。SSID 名を手動で入力する必要があります。
- ネットワークキーは、パスワード、セキュリティーキー、または暗号化キーとして記載されている場合もあります。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの SSID および無線セキュリティ設定、または設定の変更方法が分からない場合、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧になるか、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターのメーカーもしくは、ご契約のインターネットプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

関連情報

- 無線 LAN レポートを印刷する

関連トピック：

- 本製品のネットワークに問題がある場合

ネットワーク機能

- ネットワーク設定リストを印刷する
- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

ネットワーク設定リストを印刷する

ネットワーク設定リストには、ネットワークプリントサーバーの設定値を含む、ネットワーク設定が一覧表示されます。

- ノード名：ノード名は、ネットワーク設定リストに表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。（「xxxxxxxxxxxx」は、本製品の MAC アドレス／イーサネットアドレスを示します。）
- ネットワーク設定リストに表示される IP アドレスが 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。以下は一例です：
  - IP アドレス：192.168.0.5
  - サブネットマスク：255.255.255.0
  - ノード名：BRN000ca0000499
  - MAC アドレス：00-0c-a0-00-04-99

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [ネットワーク設定リスト] > [はい] を押します。

   製品は、現在のネットワーク設定リストを印刷します。

関連情報

- ネットワーク機能

関連トピック：

- 本製品のネットワークに問題がある場合
- Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する

簡易ネットワークタイムプロトコル（SNTP：Simple Network Time Protocol）は、本製品が認証に使用する時間と、SNTP タイムサーバーとの時刻を同期させます。（この時刻は、本製品の操作パネルに表示される時間とは異なります。）SNTP タイムサーバーを使用して、本製品の時刻と協定世界時（UTC: Coordinated Universal Time）を、自動または手動で同期させることができます。

- Web Based Management で日時を設定する
- Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

Web Based Management で日時を設定する

本製品で使用する時刻と SNTP タイムサーバーが同期するように、日時を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **時計設定**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **タイムゾーン** 設定を確認します。
6. **SNTP サーバーと同期する**チェックボックスを選択します。
7. **OK** をクリックします。

日付と時刻は手動で設定することもできます。

関連情報

- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

SNTP プロトコルを設定して、本製品が認証に使用する時間と SNTP タイムサーバーが維持する時間を同期させます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **SNTP** チェックボックスをオンにして、設定を有効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
8. SNTP チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
9. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	SNTP プロトコルが有効か無効かを表示します。
同期状態	最新の同期状態を確認します。
SNTP サーバー設定の方法	**AUTO** または **STATIC** を選択します。 • **AUTO** ネットワーク上に DHCP サーバーがあれば、SNTP サーバーが自動的に DHCP サーバーからアドレスを取得します。 • **STATIC** 使用したいアドレスを入力します。
プライマリー SNTP サーバーアドレス **セカンダリー SNTP サーバーアドレス**	サーバーアドレスを 64 文字以内で入力します。 セカンダリー SNTP サーバーアドレスは、プライマリー SNTP サーバーアドレスの予備として使用されます。プライマリーサーバーが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP サーバーと通信します。
プライマリー SNTP サーバーポート **セカンダリー SNTP サーバーポート**	ポート番号を入力します（1～65535）。 セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートの予備として使用されます。プライマリーポートが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP ポートと通信します。
同期間隔	サーバーとの同期処理の間隔（1～168 時間）を入力します。

10. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットします。パスワードや IP アドレスなど、すべての情報がリセットされます。

- すべての有線 LAN（サポート対象モデルのみ）および無線 LAN ネットワークの設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。
- Web Based Management を使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ネットワーク］>［ネットワーク設定リセット］を押します。
2. リセットの確認メッセージが表示されます。［OK］を 2 秒間押します。
   本製品が再起動します。

関連情報

- ネットワーク機能

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送

ブラザー管理ツール

ブラザーの管理ツールのいずれかを使用して、本製品のネットワーク設定を構成します。

support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページに移動し、ツールをダウンロードします。

関連情報

- ネットワーク

セキュリティ

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に
- デバイスセキュリティーの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- IPsec を使用する
- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する
- Active Directory 認証を使用する
- LDAP 認証を使用する
- セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する
- E メールを安全に送信する

ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。

FTP および TFTP プロトコルを無効にすることをお勧めします。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。ただし、FTP を無効にした場合、スキャン to FTP 機能が無効になることにご注意ください。

関連情報

- セキュリティ

デバイスセキュリティーの証明書を設定する

SSL/TLS を使用してネットワーク接続された本製品を安全に管理するには、証明書を設定する必要があります。証明書を設定するには、Web Based Management を使用する必要があります。

- サポートされているセキュリティ証明書機能
- 証明書の作成とインストールの手順
- 自己署名証明書を作成する
- CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする
- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて
- CA 証明書のインポートとエクスポートについて
- 複数の証明書を管理する

サポートされているセキュリティ証明書機能

本製品は、複数のセキュリティ証明書の使用をサポートしています。これにより、安全な認証および本製品との通信が可能になります。本製品では、以下のセキュリティ証明書機能を使用できます。

- SSL/TLS 通信
- IEEE 802.1x 認証
- IPsec

本製品は、次をサポートしています。

- プリインストール証明書

  本製品には、自己署名証明書がプリインストールされています。この証明書により、別の証明書を作成またはインストールしなくても、SSL/TLS 通信を使用できます。

プリインストールされた自己署名証明書により、一定レベルまでは通信が保護されます。セキュリティを強化するために、信頼できる組織から発行された証明書を使用することをお勧めします。

- 自己署名証明書

  本プリントサーバーは自己の証明書を発行します。この証明書を使用すると、別の証明書を作成したり、CA 発行の証明書をインストールしなくても、SSL/TLS 通信を簡単に使用できます。

- 認証局（CA）発行の証明書

  CA 発行の証明書をインストールする場合、2 とおりの方法があります。CA 発行の証明書がすでにある場合、または外部の信頼できる CA の証明書を使用する場合：

  - 本プリントサーバーからの証明書署名要求（CSR）を使用する場合。
  - 証明書とプライベートキーをインポートする場合。

- 認証局（CA）証明書

  CA を識別し、プライベートキーを所有する CA 証明書を使用するには、ネットワークのセキュリティ機能を設定する前に、CA が発行した CA 証明書をインポートする必要があります。

- SSL/TLS 通信を使用する場合は、まずシステム管理者に連絡することをお勧めします。
- プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットする場合、インストールされている証明書とプライベートキーは削除されます。プリントサーバーのリセット後にも同じ証明書とプライベートキーを保持する場合は、リセット前にこれらをエクスポートし、リセット後に再インストールします。

関連情報

- デバイスセキュリティーの証明書を設定する

関連トピック：

- Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する

証明書の作成とインストールの手順

セキュリティ証明書を使用する場合、自己署名証明書を使用するか、認証局（CA）発行の証明書を使用するかを選択できます。

オプション 1

自己署名証明書

1. Web Based Management を使用して自己署名証明書を作成します。
2. パソコンへ自己署名証明書をインストールします。

オプション 2

CA からの証明書

1. Web Based Management を使用して、証明書署名要求（CSR）を作成します。
2. Web Based Management を使用して、CA が発行した証明書を、本製品にインストールします。
3. パソコンへ証明書をインストールします。

関連情報

- デバイスセキュリティーの証明書を設定する

自己署名証明書を作成する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **自己署名証明書の作成** をクリックします。
6. **コモンネーム**および**有効期限**を入力します。
   - **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満です。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。
   - IPPS または HTTPS プロトコルを使用し、自己署名証明書に使用された**コモンネーム**とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **RSA(2048bit)**です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。

関連情報

- デバイスセキュリティーの証明書を設定する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

外部の信頼された CA からの証明書がすでに存在する場合、その証明書とプライベートキーを本製品に保存し、インポートやエクスポートを行うことによってそれらを管理することができます。外部の信頼された CA からの証明書が存在しない場合、証明書署名要求（CSR）を作成し、CA に送信して認証を受けたあと、返却された証明書を本製品にインストールします。

- 証明書署名要求（CSR：Certificate Signing Request）を作成する
- 証明書を本製品にインストールする

証明書署名要求（CSR：Certificate Signing Request）を作成する

証明書署名要求（CSR）は、証明書に含まれる資格情報を認証するために、認証局（CA）に送信される要求です。

CSR を作成する前に、CA からのルート証明書をお使いのパソコンにインストールしておくことを推奨します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **CSR の作成** をクリックします。
6. **コモンネーム**（必須）を入力して、ご使用の**組織**に関するその他の情報（任意）を追加します。

   - CA がお客様の身元を確認し、外部に向けて証明するために、お客様の会社の情報が必要です。
   - **コモンネーム**の長さは 64 バイト以下である必要があります。SSL/TLS 通信を介して本プリンターにアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。**コモンネーム**は必須です。
   - 証明書に使用された共通名とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
   - **組織**、**部署**、**市**、および**県/州**の長さは 64 バイト以下の必要があります。
   - **国**は、2 文字の ISO3166 国コードです。
   - X.509v3 証明書拡張を設定する場合、**拡張領域設定**チェックボックスを選択後、**自動 (本機の IPv4 アドレスを登録します。)**または**手動**を選択します。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **RSA(2048bit)**です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。

   CSR が画面に表示されます。表示された CSR をファイルとして保存するか、認証局から提供されたオンラインの CSR フォームにコピー・ペーストします。

10. **保存** をクリックします。

- CSR をお客様の CA に送信する方法については、お客様の CA の方針に従ってください。
- Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016/2019 の Enterprise root CA を使用している場合、クライアント証明書の安全な作成のために、証明書用ウェブサーバーテンプレートを使用することを推奨します。EAP-TLS 認証を行う IEEE 802.1x 環境のためのクライアント証明書を作成する場合、証明書用ユーザーテンプレートを使用することを推奨します。

関連情報

- CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

証明書を本製品にインストールする

証明書を CA から受信した後、以下の手順でプリントサーバーにインストールします。

本製品には、本製品の CSR と一緒に発行された証明書のみをインストールできます。他の CSR を作成する場合は、CSR 作成前に、この証明書がインストールされていることを確認してください。この証明書を必ず先にインストールしてから、他の CSR を作成してください。この証明書が先にインストールされなかった場合、作成した CSR は無効になります。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **証明書のインストール** をクリックします。
6. CA に発行された証明書を含むファイルを表示して、**OK** をクリックします。

   証明書が作成され、本製品のメモリーに正常に保存されます。

SSL/TLS 通信を使用する場合は、お使いのパソコンに、CA から取得したルート証明書を必ずインストールしてください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

関連情報

- CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーを本製品に保存して、インポートまたはエクスポートすることにより、これらを管理します。

- 証明書とプライベートキーをインポートする
- 証明書とプライベートキーをエクスポートする

証明書とプライベートキーをインポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **証明書と秘密鍵のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. ファイルが暗号化されている場合はパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

証明書とプライベートキーが本製品にインポートされます。

関連情報

- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

証明書とプライベートキーをエクスポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **証明書一覧**と共に表示される**エクスポート**をクリックします。
6. ファイルを暗号化する場合は、パスワードを入力します。

   パスワードを空白のままにすると、出力内容は暗号化されません。
7. 確認のためにパスワードを再入力し、**OK** をクリックします。
8. **保存** をクリックします。

証明書とプライベートキーがお使いのパソコンにエクスポートされます。

ご使用のパソコンに証明書をインポートすることもできます。

関連情報

- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

CA 証明書のインポートとエクスポートについて

本製品で CA 証明書をインポート、エクスポート、および保存できます。

- CA 証明書をインポートする
- CA 証明書をエクスポートする

CA 証明書をインポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **CA 証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **CA 証明書のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. **OK** をクリックします。

関連情報

- CA 証明書のインポートとエクスポートについて

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

CA 証明書をエクスポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **CA 証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. エクスポートする証明書を選択し、**エクスポート**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。
7. **保存**の横の▼をクリックし、ファイルの保存先を指定します。

関連情報

- CA 証明書のインポートとエクスポートについて

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

複数の証明書を管理する

複数の証明書の機能により、Web Based Management を使用して、本製品にインストールされている証明書を管理することができます。Web Based Management で、**証明書**または **CA 証明書**画面に移動して、証明書の内容の表示、また証明書の削除やエクスポートを行えます。

	本製品に保存できる証明書の最大数
自己署名証明書または、CA 発行の証明書	5
CA 証明書	6

保存する証明書は最大数よりも少ない数にし、証明書の期限切れに備えて 1 個分の空きを確保しておくことをお勧めします。証明書の期限が切れた場合、新しい証明書を確保した場所にインポートして、期限切れの証明書を削除します。こうすることで、設定エラーを回避できます。

- HTTPS/IPPS または IEEE 802.1x を使用する場合、使用する証明書を選択する必要があります。
- SMTP 通信に SSL を使用する場合、証明書を選択する必要はありません。必要な証明書は自動的に選択されます。

関連情報

- デバイスセキュリティーの証明書を設定する

SSL/TLS を使用する

- SSL/TLS について
- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理
- SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する
- SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う

SSL/TLS について

セキュアソケットレイヤー（SSL）またはトランスポート層セキュリティ（TLS）は、LAN または WAN 経由で送信されるデータを保護する効果的な方式です。ネットワーク経由の印刷ジョブなどのデータを暗号化して送信するため、第三者から内容を読み取られることがありません。

SSL/TLS は、有線と無線のネットワークのいずれにも設定可能であり、WPA キーやファイアウォールなど他のセキュリティ形式でも機能します。

関連情報

- SSL/TLS を使用する
  - SSL/TLS の略史
  - SSL/TLS を使用するメリット

SSL/TLS の略史

SSL/TLS は当初、ウェブ上のトラフィック情報、特にウェブブラウザーとサーバー間で送信されるデータの安全性を確保するために作られました。Internet Explorer を使用してインターネットバンキングを利用する際、ウェブブラウザー上に https://や小さな鍵アイコンが表示されている場合は、SSL が使用されています。SSL はやがて、オンラインセキュリティに対する共通の解決策として、Telnet、プリンター、FTP など他のアプリケーションともあわせて使用されるようになりました。この当初の設計意図が、今日でも多くのオンライン小売業者や銀行によって採り入れられ、クレジットカード番号や顧客情報など極秘データの安全性を確保しています。

SSL/TLS では非常に高度なレベルの暗号化が用いられ、世界中の銀行から信頼されています。

関連情報

- SSL/TLS について

SSL/TLS を使用するメリット

SSL/TLS を使用する主なメリットは、製品へ送信されたデータの読み込みを非認証のユーザーに対して制限することで、IP ネットワークを介した印刷の安全性を保証することです。SSL の主なメリットは、機密データを安全に印刷するために使用できることです。例えば、大企業の人事部門が定期的に給与明細を印刷しているとします。これら給与明細のデータが暗号化されていない場合、他のネットワークユーザーから読み取られる可能性があります。しかし、SSL/TLS を使用すると、これらのデータを読み取ろうとしても、実際の給与明細ではなく、複雑なコードのページが表示されるだけです。

関連情報

- SSL/TLS について

SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする
- 管理者権限を持つ Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする
- デバイスセキュリティーの証明書を設定する

SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する

SSL/TLS 通信を使用するには、Web Based Management を使用して本製品に証明書を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
  - 例：

    https://SharedPrinter

  NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
  - 例：

    https://brnxxxxxxxxxxxx

  NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **HTTP サーバー設定** をクリックします。
6. **証明書の選択**ドロップダウンリストから、設定対象の証明書を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **Yes** をクリックしてプリントサーバーを再起動します。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする
- SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする

お使いのネットワーク製品を安全に管理するには、セキュリティープロトコルを使用している管理ユーティリティを使用する必要があります。

- HTTPS プロトコルを使用するには、本製品で HTTPS が有効になっている必要があります。お買い上げ時の設定では、HTTPS プロトコルは有効です。
- Web Based Management の画面で HTTPS プロトコルの設定を変更できます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. 以上で HTTPS を使用して製品へアクセスする準備が整いました。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

管理者権限を持つ Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

以下は、Microsoft Internet Explorer を使用する場合の手順です。その他のウェブブラウザーを使用する場合、そのブラウザーの説明書を参照して証明書をインストールしてください。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019

     > **Windows アクセサリ**をクリックします。
   - Windows 8.1

     タスクバーの（**Internet Explorer**）アイコンを右クリックします。
   - Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2

     （**Internet Explorer**）をクリックし、タスクバーに表示された（**Internet Explorer**）アイコンを右クリックします。
   - Windows 7 および Windows Server 2008

     (スタート) > **すべてのプログラム**をクリックします。
2. **Internet Explorer** を右クリックしてから **管理者として実行**をクリックします。

   その他 オプションが表示されたら、 **その他**をクリックします。

   ユーザー アカウント制御画面が表示されたら、**はい**をクリックします。
3. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス/」を入力して、本製品にアクセスします（「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレス、または証明書に割り当てたノード名を入力します）。
4. **詳細情報** をクリックします。
5. **Web ページに移動 (非推奨)** をクリックします。
6. **証明書のエラー**をクリックして、 **証明書の表示**をクリックします。

7. **証明書のインストール...** をクリックします。
8. **証明書のインポート ウィザード**が表示されたら、 **次へ**をクリックします。
9. **証明書をすべて次のストアに配置する** を選択してから **参照...** をクリックします。
10. **信頼されたルート証明機関** を選択してから **OK** をクリックします。

11. **次へ** をクリックします。
12. **完了** をクリックします。
13. フィンガープリント（拇印）が正しければ、**はい**をクリックします。
14. **OK** をクリックします。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

- SSL/TLS を使用して文書を印刷する
- デバイスセキュリティーの証明書を設定する
- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する

SSL/TLS を使用して文書を印刷する

IPP プロトコルを使用して文書を安全に印刷するには、IPPS プロトコルを使用します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **IPP** チェックボックスが選択されていることを確認します。

   IPP チェックボックスが選択されていない場合、**IPP** チェックボックスを選択して、**OK** をクリックします。

   製品を再起動して、設定を有効にします。

   本製品が再起動したら、本製品のウェブページに戻ってパスワードを入力し、ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。
6. **HTTP サーバー設定** をクリックします。
7. **IPP** で **HTTPS (ポート 443)**チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
8. 製品を再起動して、設定を有効にします。

IPPS を使用した通信では、プリントサーバーへの非認証のアクセスを防ぐことはできません。

関連情報

- SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

SNMPv3 を使用する

- SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

簡易ネットワーク管理プロトコルバージョン 3（SNMPv3）は、ネットワーク機器を安全に管理するための、ユーザー認証とデータの暗号化に使用されます。ネットワーク製品を安全に管理するには、BRAdmin Professional 4 を使用するときに SNMPv3 プロトコルを使用することをお勧めします。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **SNMP** 設定が有効であることを確認して、**詳細設定**をクリックします。
6. SNMP の設定を行います。**SNMP 動作モード**には 3 つのオプションがあります。

オプション	詳細
SNMP v1/v2c read-write access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、すべてのブラザーアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行われず、データは暗号化されないため、安全ではありません。
SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3（読み書きアクセス）と、Ver. 1 および Ver. 2c（読み取り専用アクセス）を使用します。 **SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access** モードを使用する場合、Ver. 1 と Ver. 2c の読み取り専用が認証されるため、プリントサーバーにアクセスするブラザーアプリケーション（BRAdmin Light など）の一部が正常に機能しない場合があります。すべてのアプリケーションを使用する場合、**SNMP v1/v2c read-write access** モードを使用することを推奨します。
SNMPv3 read-write access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 を使用します。プリントサーバーを安全に管理するには、このモードを使用します。 **SNMPv3 read-write access** モードを使用する場合、以下に注意してください。 • プリントサーバーを管理するには BRAdmin Professional または Web Based Management のみが使用できます • BRAdmin Professional を除き、SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションの使用が制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、**SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access** または **SNMP v1/v2c read-write access** モードを使います。

7. **OK** をクリックします。

関連情報

- SNMPv3 を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

IPsec を使用する

- IPsec について
- Web Based Management を使用して IPsec を設定する
- Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する
- Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

IPsec について

IPsec（Internet Protocol Security）は、任意のインターネットプロトコル機能を使用してデータの改ざんを防止し、IP パケットとして送信されるデータの信頼性を確保するセキュリティプロトコルです。IPsec は、パソコンからプリンターへ送信される印刷データなど、ネットワーク経由で転送されるデータを暗号化します。データはネットワーク層で暗号化されるため、高レベルのプロトコルを使用するアプリケーションには、ユーザーが認識していなくても、IPsec が使用されています。

IPsec では、以下の機能をサポートしています。

- IPsec 送信

  IPsec 設定条件に従い、ネットワークに接続されたパソコンは、IPsec に対応している指定機器との間でデータの送受信を行います。機器が IPsec を使用して通信を開始すると、インターネットキー交換（IKE : Internet Key Exchange）を使用してキーが交換されたあと、それらのキーを使用して暗号化されたデータが送信されます。

  また、IPsec には、トランスポートモードおよびトンネルモードの、2 種類の操作モードがあります。トランスポートモードは、主に機器間の通信に使用され、トンネルモードは仮想プライベートネットワーク（VPN : Virtual Private Network）などの環境で使用されます。

IPsec 送信を行うには、次の条件が必要です。

- IPsec を使用して通信できるパソコンが、ネットワークに接続されている。
- 本製品が IPsec 通信用に設定されている。
- 本製品に接続されているパソコンが、IPsec 接続用に設定されている。

- IPsec 設定

  IPsec を使用する接続に必要な設定。これらの設定は、Web Based Management を使用して行うことができます。

IPsec を設定するには、該当ネットワークに接続されているパソコンのブラウザーを使用する必要があります。

関連情報

- IPsec を使用する

Web Based Management を使用して IPsec を設定する

IPsec の接続条件は、**アドレス**および **IPsec** の 2 種類の**テンプレート**で構成されます。最大 10 個の接続条件を設定できます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **IPsec** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	IPsec を有効または無効にします。
接続モード	IKE Phase 1 の**接続モード**を選択します。IKE はプロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための、暗号キーの交換に使用されます。 **メイン**モードでは、処理速度は遅くなりますが、安全性は高くなります。**アグレッシブ**モードでは、処理速度は**メイン**モードの場合より速くなりますが、安全性は低くなります。
IPsec 以外のトラフィックルール	IPsec 以外のパケットに対する対処方法を選択します。 Web サービスを使用するとき、**IPsec 以外のトラフィックルール**に対して**通過**を選択する必要があります。**遮断**を選択すると、Web サービスは使用できません。
Broadcast/Multicast Bypass	**有効**または**無効**を選択します。
Protocol Bypass	使用したいオプションのチェックボックスを選択します。
ルール	**有効**チェックボックスを選択して、テンプレートを有効にします。複数のチェックボックスを選択し、それらの設定が競合する場合は、番号が小さい方のチェックボックスの設定が優先されます。 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される**アドレステンプレート**を選択します。**アドレステンプレート**を追加するには、**テンプレートの追加**をクリックします。 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される **IPsec テンプレート**を選択します。**IPsec テンプレート**を追加するには、**テンプレートの追加**をクリックします。

6. **OK** をクリックします。

   新しい設定を登録するために本製品を再起動する必要がある場合は、再起動の確認画面が表示されます。

   ルールで有効化したテンプレートに空白の項目が含まれる場合、エラーメッセージが表示されます。選択した項目を確認し、もう一度 **OK** をクリックします。

関連情報

- IPsec を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

- デバイスセキュリティーの証明書を設定する

Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **IPsec アドレステンプレート**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **削除**ボタンをクリックして**アドレステンプレート**を削除します。**アドレステンプレート**が使用中の場合は、削除できません。
6. 作成したい**アドレステンプレート**をクリックします。**IPsec アドレステンプレート**が表示されます。
7. 設定を確認します。

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
ローカル IP アドレス	• **IP アドレス** IP アドレスを指定します。ドロップダウンリストから、**すべての IPv4 アドレス**、**すべての IPv6 アドレス**、**すべてのリンクローカル IPv6 アドレス**、または**カスタム**を選択します。 ドロップダウンリストから**カスタム**を選択した場合、テキストボックスに IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。 • **IP アドレス範囲** テキストボックスに IP アドレス範囲の開始アドレスと終了アドレスを入力します。開始および終了の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または終了 IP アドレスが開始アドレスより小さい場合、エラーが発生します。 • **IP アドレス/プレフィックス** IP アドレスを CIDR 表記で指定します。 例：192.168.1.1/24 192.168.1.1 に対しプレフィックスを 24 ビットのサブネットマスク（255.255.255.0）で指定するため、192.168.1.xxx というアドレスが有効となります。
リモート IP アドレス	• **すべて** **すべて**を選択すると、すべての IP アドレスが有効になります。 • **IP アドレス** 指定した IP アドレス（IPv4 または IPv6）をテキストボックスに入力します。 • **IP アドレス範囲** IP アドレス範囲の開始および終了アドレスを入力します。開始および終了の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または終了 IP アドレスが開始アドレスより小さい場合、エラーが発生します。 • **IP アドレス/プレフィックス**

オプション	詳細
	IP アドレスを CIDR 表記で指定します。 例：192.168.1.1/24 192.168.1.1 に対しプレフィックスを 24 ビットのサブネットマスク（255.255.255.0）で指定するため、192.168.1.xxx というアドレスが有効となります。

8. **OK** をクリックします。

使用中のテンプレートの設定を変更する場合は、本製品を再起動して設定を有効にします。

関連情報

- IPsec を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **IPsec テンプレート**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **削除**ボタンをクリックして **IPsec テンプレート**を削除します。**IPsec テンプレート**が使用中の場合は、削除できません。
6. 作成したい **IPsec テンプレート**をクリックします。**IPsec テンプレート**画面が表示されます。設定欄は、選択する**テンプレートを使用する**および **IKE** によって異なります。
7. **テンプレート名**欄に、テンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
8. **テンプレートを使用する**ドロップダウンリストで**カスタム**を選択した場合、**IKE** を選択してから、必要に応じて設定値を変更します。
9. **OK** をクリックします。

関連情報

- IPsec を使用する
  - IPsec テンプレートの IKEv1 の設定
  - IPsec テンプレートの IKEv2 設定
  - IPsec テンプレートの手動設定

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

IPsec テンプレートの IKEv1 の設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	**カスタム**、**IKEv1 高セキュリティ**または **IKEv1 中セキュリティ**を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 **テンプレートを使用する**で**カスタム**を選択した場合、**IKEv1** を選択します。
認証タイプ	• **DH グループ** このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式では、秘密キーではなく離散対数問題を利用して、乱数および秘密キーを使って生成された公開情報が送受信されます。 **グループ 1**、**グループ 2**、**グループ 5**、または**グループ 14** を選択します。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。 • **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。
動作セキュリティ	• **プロトコル** **ESP**、**AH**、または **AH+ESP** を選択します。 - ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 - AH は、送信者を認証する IPsec プロトコルの一部であり、データの改ざんを防止します（完全性を保証します）。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **なし**、**MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。

オプション	詳細
	• **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 • **動作モード** **トランスポート**または**トンネル**を選択します。 • **リモートルーター IP アドレス** リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、**トンネル**モードが選択されている場合にのみ入力します。 SA（セキュリティアソシエーション）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用される SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（インターネットキー交換）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。
PFS	PFS では、メッセージの暗号化に使用された以前のキーからキーは導出されません。また、親キーから導出されたキーでメッセージが暗号化されている場合でも、その親キーを使用して他のキーが導出されることはありません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、被害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージだけに限られます。 **有効**または**無効**を選択します。
認証方式	認証方式を選択します。**事前共有キー**または**証明書**を選択します。
事前共有キー	通信を暗号化する際に、事前に別の通信路を使用して暗号化キーが交換および共有されます。 **認証方式**で**事前共有キー**を選択した場合は、**事前共有キー**（最大 32 文字）を入力します。 • **ローカル/ID タイプ/ID** 送信者の ID タイプを選択し、ID を入力します。 タイプとして、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。 **証明書**を選択した場合は、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。 • **リモート/ID タイプ/ID** 受信者の ID タイプを選択し、その ID を入力します。 タイプとして、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。 **証明書**を選択した場合は、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。
証明書	**認証方式**で**証明書**を選択した場合、証明書を選択します。 選択できる証明書は、Web Based Management のセキュリティ設定画面の**証明書**ページを使用して作成された証明書のみです。

関連情報

- Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

IPsec テンプレートの IKEv2 設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	**カスタム**、**IKEv2 高セキュリティ**または **IKEv2 中セキュリティ**を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 **テンプレートを使用する**で**カスタム**を選択した場合、**IKEv2** を選択します。
認証タイプ	• **DH グループ** このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式では、秘密キーではなく離散対数問題を利用して、乱数および秘密キーを使って生成された公開情報が送受信されます。 **グループ 1**、**グループ 2**、**グループ 5**、または**グループ 14** を選択します。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。 • **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。
動作セキュリティ	• **プロトコル** **ESP** を選択します。 ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。 • **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 • **動作モード** **トランスポート**または**トンネル**を選択します。

オプション	詳細
	• **リモートルーター IP アドレス** リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、**トンネル**モードが選択されている場合にのみ入力します。 SA（セキュリティアソシエーション）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用される SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（インターネットキー交換）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。
PFS	PFS では、メッセージの暗号化に使用された以前のキーからキーは導出されません。また、親キーから導出されたキーでメッセージが暗号化されている場合でも、その親キーを使用して他のキーが導出されることはありません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、被害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージだけに限られます。 **有効**または**無効**を選択します。
認証方式	認証方式を選択します。**事前共有キー**、**証明書**、**EAP - MD5**、または **EAP - MS-CHAPv2** を選択します。 EAP は、PPP を拡張した認証プロトコルです。EAP を使用した IEEE802.1x 認証では、セッションごとに異なるキーを使用してユーザー認証が行われます。 以下の設定は、**認証方式**で **EAP - MD5** または **EAP - MS-CHAPv2** が選択されている場合にのみ必要です。 • **モード** **サーバーモード**または**クライアントモード**を選択します。 • **証明書** 証明書を選択します。 • **ユーザー名** ユーザー名を入力します（最大 32 文字）。 • **パスワード** パスワードを入力します（最大 32 文字）。確認のため、パスワードは 2 回入力します。
事前共有キー	通信を暗号化する際に、事前に別の通信路を使用して暗号化キーが交換および共有されます。 **認証方式**で**事前共有キー**を選択した場合は、**事前共有キー**（最大 32 文字）を入力します。 • **ローカル/ID タイプ/ID** 送信者の ID タイプを選択し、ID を入力します。 タイプとして、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。 **証明書**を選択した場合は、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。 • **リモート/ID タイプ/ID** 受信者の ID タイプを選択し、その ID を入力します。 タイプとして、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。 **証明書**を選択した場合は、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。
証明書	**認証方式**で**証明書**を選択した場合、証明書を選択します。

オプション	詳細
	選択できる証明書は、Web Based Management のセキュリティ設定画面の**証明書**ページを使用して作成された証明書のみです。

関連情報

- Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

IPsec テンプレートの手動設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	**カスタム**を選択します。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 **手動**を選択します。
認証キー（ESP, AH）	**In/Out** 値を入力します。 こうした設定は、**テンプレートを使用する**に**カスタム**が選択され、**IKE** に**手動**が選択され、**動作セキュリティ**セクションの**ハッシュ**に**なし**以外の設定が選択されているときに必要です。 設定可能な文字数は、**動作セキュリティ**セクションで**ハッシュ**に選択した設定によって異なります。 指定した認証キーの長さが、選択したハッシュアルゴリズムの長さと一致していない場合、エラーとなります。 • **MD5**：128 ビット（16 バイト） • **SHA1**：160 ビット（20 バイト） • **SHA256**：256 ビット（32 バイト） • **SHA384**：384 ビット（48 バイト） • **SHA512**：512 ビット（64 バイト） キーをアスキーコードで指定する場合は、文字を二重引用符（"）で囲みます。
コードキー（ESP）	**In/Out** 値を入力します。 こうした設定は、**テンプレートを使用する**で**カスタム**が選択され、**IKE** で**手動**が選択され、**動作セキュリティ**の**プロトコル**で **ESP** が選択されているときに必要です。 設定可能な文字数は、**動作セキュリティ**セクションで**暗号化方式**に選択した設定によって異なります。 指定したコードキーの長さが、選択した暗号化アルゴリズムの長さと一致していない場合、エラーとなります。 • **DES**：64 ビット（8 バイト） • **3DES**：192 ビット（24 バイト） • **AES-CBC 128**：128 ビット（16 バイト） • **AES-CBC 256**：256 ビット（32 バイト） キーをアスキーコードで指定する場合は、文字を二重引用符（"）で囲みます。
SPI	セキュリティー情報を識別するためのパラメーターです。複数の種類の IPsec 通信に対応するために、通常、ホストには複数の SA（Security Association）が用意されています。したがって、IPsec パケットを受信したときに、該当する SA を識別する必要があります。SPI パラメーター（SA を識別する）は、AH（認証ヘッダー）と ESP（Encapsulated Security Payload、暗号ペイロード）ヘッダーに含まれます。 こうした設定は、**テンプレートを使用する**に**カスタム**が選択され、**IKE** に**手動**が選択されているときに必要です。 **In/Out** 値を入力します。（3～10 文字）

オプション	詳細
動作セキュリティ	• **プロトコル** **ESP** または **AH** を選択します。 - ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 - AH は IPsec プロトコルの一部であり、送信元の認証やデータの改ざん防止（完全性の保証）を実現します。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **なし**、**MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。**プロトコル**で **ESP** が選択されている場合にのみ、**なし**を選択できます。 • **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 • **動作モード** **トランスポート**または**トンネル**を選択します。 • **リモートルーター IP アドレス** リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、**トンネル**モードが選択されている場合にのみ入力します。 SA（セキュリティアソシエーション）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用される SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（インターネットキー交換）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。

関連情報

- Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

- IEEE 802.1x 認証について
- Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する
- IEEE 802.1x 認証方式

IEEE 802.1x 認証について

IEEE 802.1x は、有線および無線ネットワークの IEEE 標準であり、非認証のネットワーク機器からのアクセスを制限します。本ブラザー製品（サプリカント）は、アクセスポイントまたはハブを通して、RADIUS サーバー（認証サーバー）に認証要求を送信します。要求が RADIUS サーバーに確認されると、本製品はネットワークにアクセスすることができます。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。

操作パネルから無線セットアップウィザードを使用して IEEE 802.1x 認証を設定することもできます（無線 LAN）。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
  - 例：

    https://SharedPrinter

  NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
  - 例：

    https://brnxxxxxxxxxxxx

  NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 有線 LAN の場合

     有線 > **有線 802.1x 認証**をクリックします。
   - 無線 LAN の場合

     無線 > **無線 (エンタープライズ)**をクリックします。
6. IEEE 802.1x 認証を設定します。

- 有線 LAN の IEEE 802.1x 認証を有効にするには、**有線 802.1x 認証**ページの**有線 802.1x** で**有効**を選択します。
- **EAP-TLS** 認証を使用している場合、検証のためにインストールされているクライアント証明書を（証明書の名前付きで表示）、**クライアント証明書**ドロップダウンリストから選択する必要があります。
- **EAP-FAST**、**PEAP**、**EAP-TTLS**、または **EAP-TLS** 認証を選択する場合は、**サーバー証明書の検証**ドロップダウンリストから検証方式を選択します。該当のサーバー証明書に署名した CA が発行し、あらかじめ製品にインポートされた CA 証明書を使用して、サーバー証明書を検証します。

サーバー証明書の検証ドロップダウンリストから、以下の検証方式のいずれかを選択します。

オプション	詳細
検証しない	このサーバー証明書は常に信頼できます。検証は実施されません。
CA 証明書	該当のサーバー証明書に署名した CA により発行された CA 証明書を使用して、サーバー証明書の CA 信頼性を確認する検証方法。
CA 証明書+サーバー ID	サーバー証明書の CA 信頼性に加え、サーバー証明書の共通名 [1] を確認する検証方法。

7. 設定が終了したら、**OK** をクリックします。

   有線 LAN の場合：設定後、IEEE 802.1x がサポートされたネットワークに、使用製品を接続します。数分後、ネットワーク設定リストを印刷して、**<Wired IEEE 802.1x>**の状態を確認します。

オプション	詳細
Success	有線の IEEE 802.1x 機能は有効で、認証は成功しました。
Failed	有線の IEEE 802.1x 機能は有効ですが、認証は失敗しました。
Off	有線の IEEE 802.1x 機能は利用不可です。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

関連トピック：

- ネットワーク設定リストを印刷する
- 無線 LAN レポートを印刷する
- Web Based Management にアクセスする
- デバイスセキュリティーの証明書を設定する
- サポートされているセキュリティ証明書機能

1 共通名の検証では、サーバー証明書の共通名と、**サーバー ID** に設定された文字列を比較します。この方式を使用する前に、サーバー証明書の共通名についてシステム管理者に問い合わせて、**サーバー ID** を設定してください。

IEEE 802.1x 認証方式

EAP-FAST

EAP-FAST（Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunneling）は、Cisco Systems 社が開発したプロトコルで、認証のためのユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用してトンネル認証プロセスを実現します。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

EAP-MD5 （有線 LAN）

拡張可能認証プロトコルメッセージダイジェストアルゴリズム 5（EAP-MD5：Extensible Authentication Protocol-Message Digest Algorithm 5）はユーザー ID とパスワードを使用して、チャレンジ／レスポンス認証を行います。

PEAP

保護された拡張可能認証プロトコル（PEAP：Protected Extensible Authentication Protocol）は、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA セキュリティ社が開発した EAP 方式です。PEAP はユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に、暗号化した Secure Sockets Layer（SSL）/Transport Layer Security（TLS）トンネルを作成します。PEAP により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証をサポートしています。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

EAP-TTLS

拡張可能認証プロトコルトンネル方式トランスポートレイヤーセキュリティ（EAP-TTLS：Extensible Authentication Protocol-Tunneled Transport Layer Security）は、ファンク・ソフトウェア社と Certicom 社によって開発されました。EAP-TTLS は、クライアントと認証サーバー間に、ユーザー ID およびパスワードを送信するための、PEAP 同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証をサポートしています。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

EAP-TLS

拡張可能認証プロトコルトランスポートレイヤーセキュリティ（EAP-TLS：Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security）では、クライアントと認証サーバーのいずれにも、デジタル証明書認証が必要です。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

Active Directory 認証を使用する

- Active Directory 認証について
- Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する
- 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（Active Directory 認証）

Active Directory 認証について

Active Directory 認証により、本製品の使用が制限されます。Active Directory 認証が有効の場合、本製品の操作パネルはロックされます。本製品の設定を変更するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

Active Directory 認証では、以下の機能が利用可能です。

- 受信ファクスデータを保存する

Active Directory 認証が有効の場合、本製品にはすべての受信ファクスデータが保存されます。ログイン後、製品は保存されたファクスデータを印刷します。

Active Directory 認証の設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

関連情報

- Active Directory 認証を使用する

Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する

Active Directory 認証は、Kerberos 認証および NTLMv2 認証をサポートしています。認証のための SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）と DNS サーバー構成を設定する必要があります。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限機能**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **Active Directory 認証**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **Active Directory 認証**メニューを選択します。
8. 次の設定を行います。

オプション	詳細
ファクス受信データ蓄積	このオプションを選択して、受信ファクスデータを保存します。製品へのログオン後、すべての受信ファクスデータを印刷できます。
ユーザー ID を記憶	このオプションを選択して、ユーザー ID を保存します。
Active Directory サーバアドレス	Active Directory サーバーの IP アドレスまたはサーバー名（例：ad.example.com）を入力します。
Active Directory ドメイン名	Active Directory のドメイン名を入力します。
プロトコルと認証方式	プロトコルと認証方式を選択します。
ユーザーのホームディレクトリ取得	このオプションを選択して、スキャン to ネットワークファイルの送信先のホームディレクトリーを取得します。（**LDAP + kerberos** 認証方式の場合のみ可能）
LDAP ポート	ポート番号を入力して LDAP 経由で Active Directory サーバー（ **LDAP + kerberos** 認証方式のみ対応）に接続します。
LDAP 検索場所	LDAP 検索ルートを入力します（**LDAP + kerberos** 認証方式の場合のみ可能）。

9. **OK** をクリックします。

関連情報

- Active Directory 認証を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（Active Directory 認証）

Active Directory 認証が有効の場合、本製品の操作パネルにユーザー ID とパスワードが入力されるまで、操作パネルはロックされた状態となります。

1. 操作パネルを使用して、製品の画面にユーザー ID とパスワードを入力します。
2. [OK]を押します。
3. 認証が成功すると、製品の操作パネルのロックが解除されます。

関連情報

- Active Directory 認証を使用する

LDAP 認証を使用する

- LDAP 認証について
- Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する
- 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（LDAP 認証）

LDAP 認証について

LDAP 認証により、本製品の使用が制限されます。LDAP 認証が有効の場合、本製品の操作パネルはロックされます。本製品の設定を変更するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

LDAP 認証では以下の機能が提供されます。

- 受信ファクスデータを保存する

LDAP 認証が有効の場合、本製品にはすべての受信ファクスデータが保存されます。ログイン後、製品は保存されたファクスデータを印刷します。

LDAP 認証設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

関連情報

- LDAP 認証を使用する

Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限機能**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **LDAP 認証**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **LDAP 認証**メニューをクリックします。
8. 次の設定を行います。

オプション	詳細
ファクス受信データ蓄積	このオプションを選択して、受信ファクスデータを保存します。製品へのログオン後、すべての受信ファクスデータを印刷できます。
ユーザー ID を記憶	このオプションを選択して、ユーザー ID を保存します。
LDAP アドレス	LDAP サーバーの IP アドレスまたはサーバー名（例：ldap.example.com）を入力します。
ユーザーのホームディレクトリ取得	このオプションを選択して、スキャン to ネットワークファイルの送信先のホームディレクトリーを取得します。
LDAP ポート	LDAP サーバーのポート番号を入力します。
LDAP 検索場所	LDAP 検索のルートディレクトリを入力します。
名前属性名 (検索する属性)	検索キーとする属性を入力します。

9. **OK** をクリックします。

関連情報

- LDAP 認証を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（LDAP 認証）

LDAP 認証が有効の場合、本製品の操作パネルにユーザー ID とパスワードが入力されるまで、操作パネルはロックされた状態となります。

1. 操作パネルを使用して、製品の画面にユーザー ID とパスワードを入力します。
2. [OK] を押します。
3. 認証が成功すると、製品の操作パネルのロックが解除されます。

関連情報

- LDAP 認証を使用する

セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティー機能ロック 3.0 は、本製品で利用できる機能を制限し、安全性を高めます。

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に
- Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする
- セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について
- 外付け IC カードリーダーに登録する

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に

セキュリティ機能ロックを使用してパスワードを設定し、特定のユーザーページへのアクセスを設定して、以下の機能の一部または全部へのアクセスを許可します。

Web Based Management を使用して、以下のセキュリティー機能ロック 3.0 設定値の設定や変更を行うことができます。

- **印刷**

  印刷には、AirPrint、Brother iPrint&Scan、および Brother Mobile Connect を経由して送信される印刷ジョブが含まれます。

  ユーザーのログイン名を事前に登録すると、ユーザーはパスワードの入力なしで印刷機能を使用できます。
- **コピー**
- **スキャン**

  スキャンには、Brother iPrint&Scan および Brother Mobile Connect を経由して送信されるスキャンジョブが含まれます。
- **ファックス**（サポート対象モデルのみ）
  - **送信**
  - **受信**
- **メディア**
  - **プリント**
  - **スキャン**
- **クラウド接続**（サポート対象モデルのみ）
- **お役立ちツール**（サポート対象モデルのみ）
- **枚数制限（*）**
- **カラープリント**
- **ページカウンター**
- **カード ID**（サポート対象モデルのみ）

関連情報

- セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する

Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限管理**または**制限機能**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **ユーザーリスト/機能制限** 欄にグループ名またはユーザ名を入力します。
9. **印刷**およびその他の列で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
10. 最大ページ数を設定するには、**枚数制限**列の**オン**チェックボックスを選択し、**最大ページ数**欄で最大数を入力します。
11. **OK** をクリックします。
12. **ユーザーリスト**メニューをクリックします。
13. **ユーザーリスト**欄で、ユーザー名を入力します。
14. **パスワード**欄に、パスワードを入力します。

モデルによって設定できる文字数は異なります。

15. ユーザーのカード ID を登録するには、**カード ID** 欄でカード番号を入力します（特定のモデルのみ対応）。
16. それぞれのユーザーでドロップダウンリストから**ユーザーリスト/機能制限**を選択します。
17. **OK** をクリックします。

セキュリティ機能ロックメニューでユーザーリストのロックアウト設定を変更することもできます。

関連情報

- セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする

スキャン制限を設定する（管理者向け）

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用すると、管理者はスキャンを許可するユーザーを制限できます。パブリックユーザー設定でスキャン機能がオフに設定されている場合、**スキャン**チェックボックスが選択されているユーザーだけがスキャンを実行できます。

スキャン機能を使用する（制限されたユーザー向け）

- 本製品の操作パネルを使用してスキャンする場合：

  制限されたユーザーは、操作パネルでパスワードを入力してスキャンモードにアクセスする必要があります。
- パソコンからスキャンする場合：

  制限されたユーザーは、各自のパソコンからスキャンする前に、操作パネルでパスワードを入力する必要があります。操作パネルでパスワードが入力されなかった場合、ユーザーのパソコンにエラーメッセージが表示されます。

関連情報

- セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する

セキュリティ機能ロック画面を使用してパブリックモードを設定します。これにより、パブリックユーザーに利用可能な機能が制限されます。パブリックユーザーは、パブリックモード設定により利用可能となった機能に、パスワードの入力なしでアクセスできます。

パブリックモードには、Brother iPrint&Scan および Brother Mobile Connect を経由して送信される印刷ジョブが含まれます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限管理**または**制限機能**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **一般モード**行で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
9. **OK** をクリックします。

関連情報

- セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について

セキュリティ機能ロック画面で以下の機能を設定します。

カウンターリセット

ページカウンター列で**カウンターリセット**をクリックして、ページカウンターをリセットします。

CSV ファイルへ出力

CSV ファイルへ出力をクリックして、**ユーザーリスト/機能制限**情報を含む現在および前回のページカウンターを、CSV ファイルとしてエクスポートします。

カード ID（サポート対象モデルのみ）

ユーザーリストメニューをクリックして、**カード ID** 欄にユーザーのカード ID を入力します。IC カードを認証に使用できます。

前回ログ

カウンターをリセットした後でページ数を確認したい場合は、**前回ログ**をクリックします。

カウンター自動リセット

カウンター自動リセットをクリックして、ページカウンターのリセット間隔を設定します。毎日、毎週、毎月のいずれかを選択します。

関連情報

- セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する

外付け IC カードリーダーに登録する

外付け IC（集積回路）カードリーダーを接続する場合は、Web Based Management でカードリーダーを登録してください。本製品は外付け IC カードリーダーに対応する HID クラスのドライバーをサポートしています。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

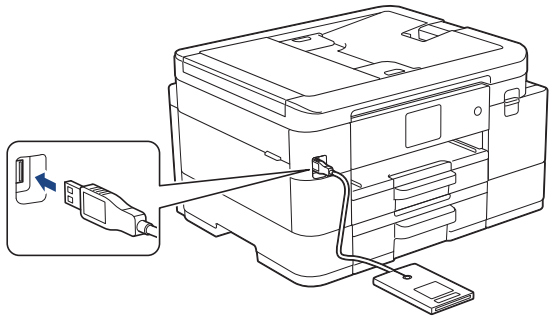
   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **外付けカードリーダー**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. 必要な情報を入力し、**OK** をクリックします。
6. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
7. カードリーダーを本製品に接続します。



8. カード認証を使用するときに、カードをカードリーダーにタッチします。

関連情報

- セキュリティー機能ロック 3.0 を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

E メールを安全に送信する

- Web Based Management を使用して E メール送信の設定を行う
- ユーザー認証を使用して E メールを送信する
- SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う

Web Based Management を使用して E メール送信の設定を行う

Web Based Management を使用して、安全なユーザー認証付き E メール送信の設定、または SSL/TLS を使用した E メール送信の設定を行うことを推奨します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **SMTP クライアント**欄で、**詳細設定**をクリックして、**SMTP クライアント**が**有効**であることを確認します。
6. **SMTP クライアント**設定を確認します。
   - テストメールを送信して、E-mail の設定値が正しいことを確認します。
   - SMTP サーバーの設定値が不明の場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。
7. 完了後、**OK** をクリックします。

   E メール送信設定テストダイアログボックスが表示されます。
8. ダイアログボックスに表示される指示に従って、現在の設定値をテストします。

関連情報

- E メールを安全に送信する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

ユーザー認証を使用して E メールを送信する

本製品は、ユーザー認証が必要な E-mail サーバーを経由して E-mail を送信するための SMTP-AUTH 方式をサポートしています。この方式により、非認証のユーザーによる E-mail サーバーへのアクセスが防止されます。

E メール通知および E メールレポートには、SMTP-AUTH 方式を使用できます（特定モデルのみ対応）。

Web Based Management を使用して SMTP 認証を設定することをお勧めします。

E-mail サーバー設定

本製品の SMTP 認証方式を、お使いの E-mail サーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。

SMTP サーバー認証を有効にするには、Web Based Management の **SMTP クライアント**画面の下の**送信メールサーバー認証方式**で、**SMTP-AUTH** を選択する必要があります。

関連情報

- E メールを安全に送信する

SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う

本製品では SSL/TLS 通信方式をサポートしています。SSL/TLS 通信を使用している E-mail サーバーを使用するには、次の設定が必要です。

Web Based Management を使用して SSL/TLS を設定することを推奨します。

サーバー証明書を検証する

SSL/TLS で、 **SSL** または **TLS** を選択している場合、 **サーバー証明書を検証** チェックボックスが自動的に選択されます。

- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。CA 証明書のインポートの必要性について確認するには、ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。
- サーバー証明書を検証する必要がない場合は、**サーバー証明書を検証**チェックボックスの選択を解除してください。

ポート番号

SSL または **TLS** を選択すると、**ポート**値がプロトコルと一致するように変更されます。手動でポート番号を変更するには、**SSL/TLS** 設定を選択した後、ポート番号を入力します。

本製品の通信方式を、お使いの E-mail サーバーで使用されている方式に合わせて設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。

ほとんどの場合、安全なウェブメールサービスには次の設定が必要です。

SMTP	**ポート**	25
	送信メールサーバー認証方式	**SMTP-AUTH**
	SSL/TLS	**TLS**

関連情報

- E メールを安全に送信する

関連トピック：

- デバイスセキュリティーの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する

モバイル/クラウド接続

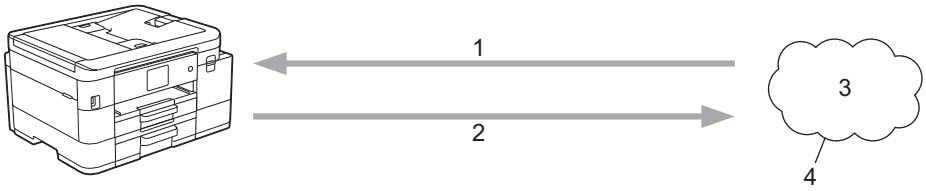
- クラウド接続機能
- AirPrint
- Mopria®プリントサービス
- Brother Mobile Connect
- 近距離無線通信（NFC）による印刷

クラウド接続機能

- クラウド接続機能の概要
- クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス
- クラウド接続機能の設定
- 写真や原稿をスキャンしてアップロードする
- 外部メモリーに保存されている写真や文書をアップロードする
- 写真や文書をダウンロードして印刷する
- クラウド接続機能を使用して文書をダウンロードし、外部メモリーに保存する
- ファクスクラウド／E メール転送

クラウド接続機能の概要

ウェブサイトに画像やファイルをアップロードしたり、閲覧したりできるサービスがあります。本製品では、画像をスキャンしてこのようなサービスにアップロードしたり、アップロードされている画像をダウンロードして印刷することができます。



1. 印刷
2. スキャン
3. 写真、画像、文書、その他のファイル
4. ウェブサービス

クラウド接続機能を使用するには、有線接続または無線接続で、本製品がインターネットにアクセスできるネットワーク環境が必要です。

プロキシーサーバーを使用するネットワーク環境の場合は、お使いのブラザー製品でプロキシーサーバーの設定をする必要があります。お使いのネットワークの設定が不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

プロキシサーバーとは、直接インターネットに接続していない複数のパソコンとインターネットとの間を仲介するコンピューターのことです。

クラウド接続機能を使用するには、画面の（クラウド）または（お役立ちツール）を押します。

関連情報

- クラウド接続機能
  - 本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う
  - Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、お使いのブラザー製品で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Web 接続設定] > [プロキシ設定] > [プロキシ経由接続] を押します。
2. [オン] を押します。
3. 設定したいオプションを押して、プロキシサーバーの情報を入力します。
   [OK] を押します。
4. を押します。

関連情報

- クラウド接続機能の概要

Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、Web Based Management 上で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 10/11、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。いずれのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **プロキシ**チェックボックスが選択されていることを確認して、**OK** をクリックします。
6. **プロキシ**欄で、**詳細設定**をクリックします。
7. プロキシサーバーの情報を入力します。
8. **OK** をクリックします。

関連情報

- クラウド接続機能の概要

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス

クラウド接続機能を使用すると、ご使用のブラザー製品から以下のオンラインサービスにアクセスできます。一部のウェブサービスでは、ビジネス版を提供しています。

クラウド接続機能を使用するためには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンで利用したいサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。

ブラザープリンターオリジナルコンテンツを利用する場合は、アカウントを作成する必要はありません。

Google Drive™

オンラインの文書保管、編集、共有、およびファイルの同期サービスです。

URL：drive.google.com

Evernote®

オンラインのファイル保管および管理サービスです。

URL：www.evernote.com

Dropbox

オンラインのファイル保管、共有、および同期サービスです。

URL：www.dropbox.com

OneDrive

オンラインのファイル保管、共有、および管理サービスです。

URL：https://onedrive.live.com

Box

オンラインの文書編集および共有サービスです。

URL：www.box.com

OneNote

オンラインの文書編集および共有サービスです。

URL：www.onenote.com

ブラザープリンターオリジナルコンテンツ

ブラザープリンターオリジナルコンテンツは、ブラザーが運営する情報発信サイトです。グリーティングカードやペーパークラフトの素材を無料でダウンロードすることができます。

https://online.brother.co.jp/ot/

これらのサービスについて、詳しくは各サービスのウェブサイトを参照してください。

次の表は、クラウド接続機能で使用できるファイルの種類について説明しています。

アクセス可能なウェブサービス	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive Box	OneNote	ブラザープリンターオリジナルコンテンツ
画像をダウンロードして印刷またはメディアへ保存	JPEG PDF DOC DOCX XLS XLSX PPT	JPEG PDF DOC DOCX XLS XLSX PPT PPTX	（印刷のみ）

アクセス可能なウェブサービス	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive Box	OneNote	ブラザープリンターオリジナルコンテンツ
	PPTX		
スキャンした画像のアップロード	JPEG PDF DOCX XLSX PPTX TIFF	JPEG PDF DOCX XLSX PPTX TIFF	-
メディアに保存された画像のアップロード	JPEG	-	-
オンラインサービスへのファクス転送 (MFC-J4440N/ MFC-J4540N/ MFC-J4940DN)	JPEG PDF TIFF	JPEG PDF TIFF	-

関連情報

- クラウド接続機能

クラウド接続機能の設定

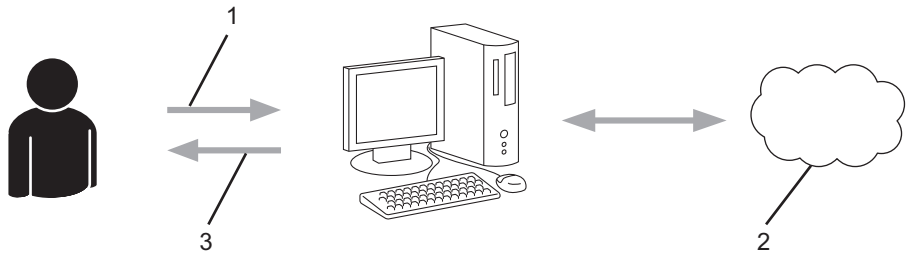
- クラウド接続機能設定の概要について
- クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する
- クラウド接続機能の利用申請を行う
- 本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

クラウド接続機能設定の概要について

下記の手順に従ってクラウド接続機能を設定します（ブラザープリンターオリジナルコンテンツを使用する場合は、この手順は不要です）：

手順 1：利用するサービスのアカウントを作成する。

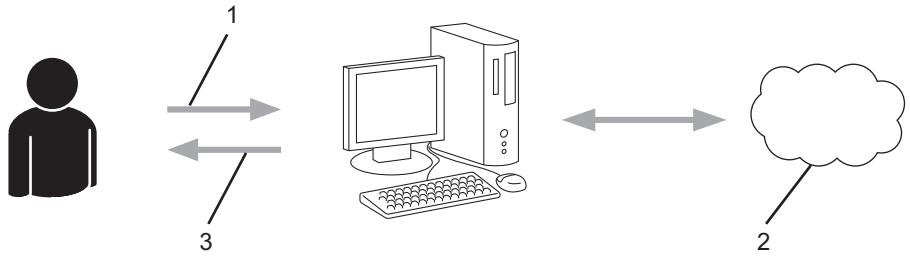
パソコンを使用してサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成します。（既にアカウントをお持ちの場合は、追加のアカウントを作成する必要はありません。）



1. ユーザー登録
2. Web サービス
3. アカウント取得

手順 2：クラウド接続機能の利用申請を行う

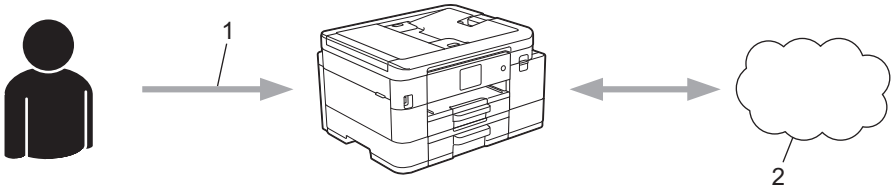
パソコンを使用してクラウド接続機能にアクセスし、仮登録 ID を取得します。



1. アカウント情報の入力
2. クラウド接続機能申請ページ
3. 仮登録 ID の取得

手順 3：利用対象のサービスにアクセスできるよう、本製品にアカウント情報を登録します。

本製品でサービスを利用できるように仮登録 ID を入力します。本製品で表示したいアカウント名を指定し、必要に応じて PIN コードを入力します。



1. 仮登録 ID の入力
2. Web サービス

お使いのブラザー製品で Web サービスを利用できます。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスにアクセスするには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンで利用したいサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。アカウントを作成したら、クラウド接続機能を使用する前に、パソコンで一度アカウントにログオンして使用してみます。一度もログインしていない場合、ブラザークラウド接続機能を使ってサービスにアクセスできないことがあります。

すでにアカウントをお持ちの場合は、追加でアカウントを作成する必要はありません。

利用するオンラインサービスでアカウントを作成したら、クラウド接続機能へのアクセスを申請します。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

クラウド接続機能の利用申請を行う

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスが利用できるように、ソフトウェアがインストールされているパソコンを使用して、クラウド接続ページにアクセスし、クラウド接続機能の利用申請を行います。

1. クラウド接続機能のウェブページにアクセスします：

オプション	詳細
Windows	（**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。 左ナビゲーションバーの**もっと活用する**をクリックして、**Brother Web Connect** をクリックします。 ウェブサイトに直接アクセスすることもできます。 お使いのウェブブラウザーのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。
Mac	お使いのウェブブラウザーのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。

   ブラザークラウド接続機能のページが起動します。
2. 利用するサービスを選択します。
3. 画面の指示に従って、利用申請を行います。
   申請が終了すると、仮登録 ID が表示されます。

4. 仮登録 ID をメモしておきます。この ID は、お使いのブラザー製品にアカウントを登録する際に必要となります。仮登録 ID は、24 時間有効です。
5. ウェブブラウザーを閉じます。

次に、お使いのブラザー製品にアカウントを登録します。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

クラウド接続機能を使用するために、お使いのブラザー製品にアカウント情報を入力し設定します。

- 利用するサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。
- アカウントを登録する前に、本製品の操作パネルで日時が正しく設定されていることを確認します。

1. ◀または▶を押して［クラウド］を表示します。
   ［クラウド］を押します。

   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、［OK］を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、［OK］を押します。

2. ▲または▼を押して、登録対象のサービスを表示します。
   対象のサービス名を押します。
3. クラウド接続機能に関する情報が表示された場合、［OK］を押します。
4. ［アカウントの登録／削除］>［アカウント登録］を押します。
5. クラウド接続機能の利用申請を行ったときに取得した仮登録 ID の入力を求められます。
   ［OK］を押します。
6. 画面を使用して仮登録 ID を入力し、［OK］を押します。

   入力した情報が申請時に取得した仮登録 ID と一致しない場合、または仮登録 ID の有効期限が切れている場合は、画面にエラーメッセージが表示されます。正しい仮登録 ID を入力するか、または再度申請を行って新しい仮登録 ID を取得します。

7. 画面に表示するアカウント名の入力を求められます。
   ［OK］を押します。
8. 画面を使用して名前を入力し、［OK］を押します。
9. 以下のいずれかを行ってください：
   - アカウントの PIN コードを設定するには、［はい］を押します。（PIN コードは、アカウントへの不正アクセスを防ぎます。）4 桁の数字を入力し、［OK］を押します。
   - PIN コードを設定しない場合は、［いいえ］を押します。

   入力したアカウント情報が表示されたら、正しく入力されていることを確認します。

10. ［はい］を押して入力した情報を登録します。
11. ［OK］を押します。
    アカウントの登録が完了し、本製品がサービスにアクセスできるようになりました。
12. を押します。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

写真や原稿をスキャンしてアップロードする

スキャンした写真やドキュメントを、パソコンを使用せずに、直接 Web サービスにアップロードします。

- JPEG ファイルまたは検索可能な PDF のスキャンまたはアップロードには、モノクロスキャンは対応していません。
- Microsoft Office ファイルのスキャンまたはアップロードには、モノクロおよびグレースキャンは対応していません。
- JPEG ファイルとしてスキャンしアップロードした場合は、各ページが別のファイルとしてアップロードされます。
- アップロードされたファイルは、**From_BrotherDevice** というアルバムに保存されます。

アップロードできるファイルサイズや数などの制限については、各サービスのウェブサイトを参照してください。

セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）によりクラウド接続の利用が制限されている場合、スキャンしたデータのアップロードはできません。

1. 原稿をセットします。
2. ◀または▶を押して［クラウド］を表示します。
   ［クラウド］を押します。

   - ［スキャン］>［クラウド］を押すこともできます。
   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、［OK］を押します。
   - アップデートまたは機能に関するお知らせが画面に表示されることがあります。情報を読んで［OK］を押します。
3. ▲または▼を押して、アップロード先のアカウントを保持するサービスを表示します。
   対象のサービス名を押します。
4. ▲または▼を押してアカウント名を表示し、それを押します。
5. PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、［OK］を押します。
6. ▲または▼を押して［スキャンしてアップロード］を表示します。
   ［スキャンしてアップロード］を押します。

   - ［スキャン］>［クラウド］を押した場合、このオプションは表示されません。
   - サービスによっては、このオプションが表示されない場合があります。
7. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- クラウド接続機能

外部メモリーに保存されている写真や文書をアップロードする

本製品に接続されたメディア（USB フラッシュメモリーなど）に保存されている文書を Web サービスに直接アップロードできます。

- アップロードされたファイルは、**From_BrotherDevice** というアルバムに保存されます。

アップロードできるファイルサイズや数などの制限については、各サービスのウェブサイトを参照してください。

セキュリティ機能ロック（特定モデルのみ対応）により制限されたユーザーの場合、メディアに保存されている文書をアップロードすることはできません。

重要

画面にメッセージが表示されている間は、USB フラッシュメモリーを取り外さないでください。USB フラッシュメモリー、または USB フラッシュメモリーに保存されているデータが壊れる恐れがあります。

1. USB フラッシュメモリーを本製品に差し込みます。
   画面の表示が自動的に変わります。
2. [クラウド]を押します。

- 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、[OK]を押します。
- アップデートまたは機能に関するお知らせが画面に表示されることがあります。情報を読んで[OK]を押します。

3. ▲または▼を押して、アップロード先のアカウントを保持するサービスを表示します。
   対象のサービス名を押します。
4. ▲または▼を押してアカウント名を表示し、それを押します。
5. PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、[OK]を押します。
6. ▲または▼を押して[メディアからアップロード]を表示します。
   [メディアからアップロード]を押します。
7. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- クラウド接続機能

写真や文書をダウンロードして印刷する

ご自身のアカウントにアップロードした文書は、直接本製品にダウンロードして印刷できます。他のユーザーが共有用に自身のアカウントにアップロードした文書も、それらの文書の閲覧権限があれば、本製品にダウンロードして印刷できます。

セキュリティー機能ロック（特定モデルのみ対応）によりクラウド接続が制限されたユーザーの場合、データのダウンロードはできません。

セキュリティー機能ロックで印刷枚数を制限している場合、Web サービス上の文書の印刷も制限対象になります。

関連情報

- クラウド接続機能
  - Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う
  - ブラザープリンターオリジナルコンテンツ

Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

ブラザープリンターオリジナルコンテンツについては、「関連情報」をご覧ください。

1. ◀または▶を押して［クラウド］を表示します。

   ［クラウド］を押します。

   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、［OK］を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、［OK］を押します。

2. ▲または▼を押して、ダウンロードして印刷したい文書を保持するサービスを表示します。

   対象のサービス名を押します。

3. ▲または▼を押してお使いのアカウント名を表示し、それを押します。PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、［OK］を押します。
4. ▲または▼を押して［ダウンロードして印刷］を表示します。

   ［ダウンロードして印刷］を押します。

5. ▲または▼を押して使用するアルバムを表示し、表示されたアルバムを押します。

   - アルバムとは文書を集めたものです。利用するサービスによって名称が異なる場合があります。Evernote®をご利用の場合は、ノートブックを選択し、次にノートを選択します。
   - アルバムに文書を保存する必要のないサービスもあります。アルバムに保存されていない文書の場合は、［未分類のファイルを表示］を選択し、文書を選択します。

6. 印刷するファイル名を押します。画面に表示される文書を確認し、［OK］を押します。さらに印刷する文書を選択します（最大 10 個の文書が選択可能です）。
7. 完了したら、［OK］を押します。
8. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- 写真や文書をダウンロードして印刷する

関連トピック：

- ブラザープリンターオリジナルコンテンツ

ブラザープリンターオリジナルコンテンツ

1. ◀または▶を押して、[お役立ちツール]を表示します。
   [お役立ちツール]を押します。

   - インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を読み[OK]を押します。
   - アップデートまたは機能に関するお知らせが表示されることがあります。情報を読み[OK]を押します。

2. ▲/▼を押して[オリジナルコンテンツ]を表示させます。
   [オリジナルコンテンツ]を押します。
3. ブラザープリンターオリジナルコンテンツの利用規約に関する情報が表示された場合は、内容を確認して[OK]を押します。
4. カテゴリーのリストから、印刷したい画像が含まれるカテゴリーを選びます。
5. もう一度カテゴリーを選びます。
6. 画像のサムネイルを押します。
7. 画面上で画像を確認して[OK]を押します。

   1 ページの画像は最大 10 個まで、複数ページの画像は 1 個のみ選択できます。

8. すべての画像を選択したら、[OK]を押します。
9. お勧め印刷設定に関する情報が表示されている場合は、[OK]を押します。今後この情報を表示するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。[はい]または[いいえ]を押します。

   ブラザープリンターオリジナルコンテンツの画像を印刷する場合、カテゴリや画像に応じたお勧めの印刷設定が初期設定値として表示されます。

10. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- 写真や文書をダウンロードして印刷する

関連トピック：

- Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

クラウド接続機能を使用して文書をダウンロードし、外部メモリーに保存する

JPEG、PDF、および Microsoft Office ファイルをサービスからダウンロードし、本製品に接続されたメディアに直接保存できます。他のユーザーが共有用に自身のアカウントにアップロードした文書も、それらの文書の閲覧権限があれば、本製品にダウンロードして印刷できます。

- USB フラッシュメモリーに十分な空き領域があることを確認します。
- ダウンロードしたファイルは、現在の日付に基づいて名前が変更されます。たとえば、7 月 1 日に最初に保存された画像の名前は 07010001.jpg になります。また、地域設定によって、ファイル名の日付形式が決まることに注意してください。
- 画像は、お使いのメディアのルート階層（直下）に自動で作成された「BROTHER」フォルダーに保存されます。

重要

画面にメッセージが表示されている間は、USB フラッシュメモリーを取り外さないでください。USB フラッシュメモリー、または USB フラッシュメモリーに保存されているデータが壊れる恐れがあります。

1. USB フラッシュメモリーを本製品に差し込みます。

   画面の表示が自動的に変わります。
2. [クラウド]を押します。

   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、[OK]を押します。
   - アップデートまたは機能に関するお知らせが画面に表示されることがあります。情報を読んで[OK]を押します。
3. ▲または▼を押して、ダウンロードする文書を保持するサービスを表示します。

   対象のサービス名を押します。
4. ▲または▼を押してアカウント名を表示し、それを押します。PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、[OK]を押します。
5. ▲または▼を押して[メディアにダウンロード]を表示します。

   [メディアにダウンロード]を押します。
6. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

   - アルバムとは文書を集めたものです。利用するサービスによって名称が異なる場合があります。Evernote®をご利用の場合は、ノートブックを選択し、次にノートを選択してください。
   - 一部のウェブサービスでは文書をアルバムに保存する必要はありません。アルバムに保存されていない文書の場合は、[未分類のファイルを表示]を選択し、文書を選択します。

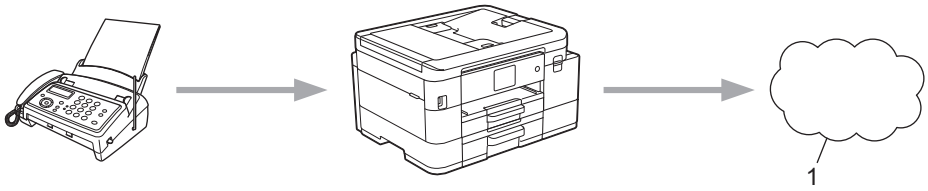
関連情報

- クラウド接続機能

ファクスクラウド／E メール転送

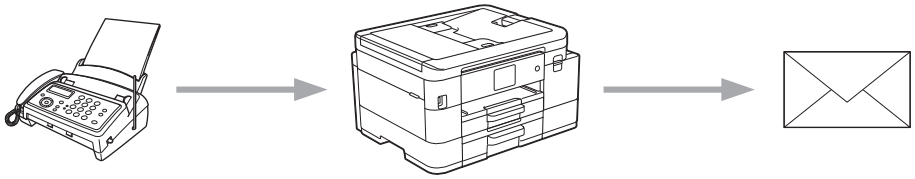
関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- 受信したファクスをウェブサービスへ転送します。



1. ウェブサービス

- 受信したファクスを指定した E メールへ添付ファイルとして転送します。



関連情報

- クラウド接続機能
  - ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオンにする
  - ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオフにする

ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオンにする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクスクラウド転送機能をオンにして、受信したファクスをウェブサービスへ転送したり、E メールへ添付ファイルとして転送します。

- 転送できるのは、モノクロファクスのみです。
- この機能をオンにすると、下記の機能は使用できません：
  - メモリ受信（[ファクス転送]、[メモリ保持のみ]）
  - [PC ファクス受信]

1. ◀または▶を押して[お役立ちツール]を表示します。
   [お役立ちツール]を押します。

   - 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を読み[OK]を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

2. ▲または▼を押して[ファクス クラウド転送]を表示します。
   [ファクス クラウド転送]を押します。

   [ファクス クラウド転送]に関する情報が表示された場合は、情報を読み[OK]を押します。

3. [オン]を押します。
4. [クラウドサービスへ転送]または[メールで転送]を押します。
   - [クラウドサービスへ転送]を選択した場合は、ファクスを転送したいウェブサービスを選択して、自分のアカウント名を指定します。
   - [メールで転送]を選択した場合は、ファクスを添付ファイルとして転送したい E メールアドレスを入力します。
5. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- ファクスクラウド／E メール転送

関連トピック：

- メモリー受信オプション

ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオフにする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

受信したファクスをウェブサービスまたは E メールに転送したくない場合は、ファクスクラウド転送機能をオフにします。

受信したファクスが本製品のメモリーに残っている場合は、ファクス転送をオフにすることはできません。

1. ◀または▶を押して［お役立ちツール］を表示します。
   ［お役立ちツール］を押します。

   - 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を読み［OK］を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、［OK］を押します。

2. ▲または▼を押して［ファクス　クラウド転送］を表示します。
   ［ファクス　クラウド転送］を押します。

   ［ファクス　クラウド転送］に関する情報が表示された場合は、情報を読み［OK］を押します。

3. ［オフ］を押します。
4. ［OK］を押します。

関連情報

- ファクスクラウド／E メール転送

AirPrint

- AirPrint の概要
- AirPrint を使用する前に（macOS）
- AirPrint を使用して印刷する
- AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）
- AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）
- AirPrint の問題

AirPrint の概要

AirPrint は、ドライバーをインストールすることなく、お使いの iPad、iPhone、iPod touch、および Mac パソコンから写真、E メール、ウェブページおよび文書をワイヤレスで印刷することを可能にする、Apple 社の OS 用の印刷ソリューションです。

AirPrint ではさらに、原稿を印刷せずに、お使いの Mac パソコンから直接ファクスを送信したり、お使いの Mac パソコンに原稿をスキャンしたりすることができます。（MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN）

詳細については、Apple のウェブサイトを参照してください。

Works with Apple バッジを使用するということは、その機能が、バッジで特定された技術で動作するように設計され、Apple のパフォーマンス基準を満たすように開発者に認定されていることを意味します。

関連情報

- AirPrint

AirPrint を使用する前に（macOS）

macOS を使用して印刷を行う前に、本製品を Mac パソコンのプリンター一覧に追加してください。

1. アップルメニューから**システム環境設定**を選択します。
2. **プリンタとスキャナ** をクリックします。
3. 画面左側のプリンターリストの下にある[+]アイコンをクリックします。
   追加画面が表示されます。
4. 本製品を選択して、**ドライバ**のポップアップメニューから **AirPrint** を選択します。
5. **追加** をクリックします。

関連情報

- AirPrint

AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う（macOS）

iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。以下の例では Safari を使用します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、必要に応じて本製品の用紙トレイ設定を変更します
3. 印刷するページを Safari で開きます。
4. または をタップします。
5. **プリント**をタップします。
6. 本製品が選択されていることを確認します。
7. 別の製品が選択されている場合や、プリンターが選択されていない場合は、**プリンタ**をタップします。
   利用可能な製品の一覧が表示されます。
8. 一覧で本製品の名前をタップします。
9. 印刷枚数、両面印刷（本製品が対応している場合）など、必要なオプションを選択します。
10. **プリント**をタップします。

関連情報

- AirPrint を使用して印刷する

AirPrint を使用して印刷を行う（macOS）

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、Safari で閲覧しているウェブページの印刷手順を例にして説明します。印刷する前に、Mac のプリンターリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
   用紙トレイに正しい用紙がセットされていることを確認し、本製品の用紙トレイの用紙設定を変更します。
2. お使いの Mac で、印刷するページを Safari で開きます。
3. **ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
4. 本製品が選択されていることを確認します。別の製品が選択されている場合や、プリンターが選択されていない場合は、**プリンタ**ポップアップメニューをクリックして、本製品を選択します。
5. 印刷枚数、両面印刷（本製品が対応している場合）などを必要に応じて設定します。
6. **プリント** をクリックします。

関連情報

- AirPrint を使用して印刷する

関連トピック：

- AirPrint を使用する前に（macOS）

AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）

スキャンする前に、Mac のスキャナーリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 原稿をセットします。
2. アップルメニューから**システム環境設定**を選択します。
3. **プリンタとスキャナ** をクリックします。
4. スキャナーリストから本製品を選択します。
5. **スキャン**タブをクリックし、**スキャナを開く...**ボタンをクリックします。
   スキャナー画面が表示されます。
6. ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、**書類フィーダを使用**チェックボックスを選択し、ポップアップメニューからスキャンサイズを選択します。
7. 保存先設定ポップアップメニューで、 保存先フォルダーまたはアプリケーションを選択します。
8. 必要に応じて、**詳細情報を表示**をクリックし、スキャン設定を変更します。
   原稿台ガラスからスキャンした場合は、スキャンしたい部分にマウスポインタをドラッグして、画像をトリミングすることができます。
9. **スキャン** をクリックします。

関連情報

- AirPrint

関連トピック：

- AirPrint を使用する前に（macOS）

AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品がお使いの Mac のプリンターリストに表示されていることを確認してください。以下の手順は、テキストエディットを例にして説明しています。

- AirPrint はモノクロのファクス原稿のみに対応しています。
- 本製品はセキュリティ機能ロックに対応しています。ユーザーのファクス送信が制限されている場合、AirPrint を介してファクスを送信することはできません。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. Mac で、ファクスとして送信したいファイルを開きます。
3. **ファイル**をクリックして、**プリント**を選択します。
4. **プリンタ**のポップアップメニューをクリックし、**Brother XXX-XXXX - Fax**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択します。
5. 宛先などのファクス情報を入力します。
6. **ファクス** をクリックします。

関連情報

- AirPrint

関連トピック：

- AirPrint を使用する前に（macOS）

AirPrint の問題

問題	対応
本製品がプリンターリストに表示されません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	ネットワーク設定を確認します。
	携帯端末を無線 LAN アクセスポイント/ルーターまたは本製品に近づけてください。
印刷できません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	ネットワーク設定を確認します。
iOS 機器から複数のページを印刷しようとしても、最初のページしか印刷されません。	最新版の OS を使用していることを確認してください。

関連情報

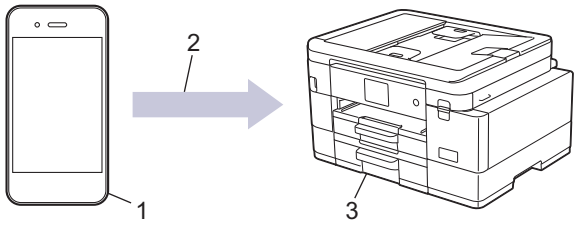
- AirPrint
- 本製品に問題がある場合は

関連トピック：

- トラブルシューティング

Mopria®プリントサービス

Mopria®プリントサービスは、Mopria® Alliance が開発した、Android™携帯端末用の印刷機能です。このサービスを使うことによって、追加の設定をしなくても製品と同じネットワークに接続し、印刷することができます。



1. Android™携帯端末
2. Wi-Fi®接続
3. 本製品

Google Play™ ストアから Mopria®プリントサービスをダウンロードして、お使いの Android™機器にインストールする必要があります。このサービスを使用する前に、機器の電源を入れておく必要があります。

関連情報

- モバイル/クラウド接続

Brother Mobile Connect

Brother Mobile Connect を使用して、携帯端末から印刷とスキャンを行います。

- Android™端末の場合

  Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの Android™端末から直接本製品の機能を使用できます。

  Google Play™から Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。
- iPhone、iPad、iPod touch を含む iOS または iPadOS 対応のすべての機器の場合

  Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの iOS または iPadOS 機器から直接本製品の機能を使用できます。

  App Store から、Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。

関連情報

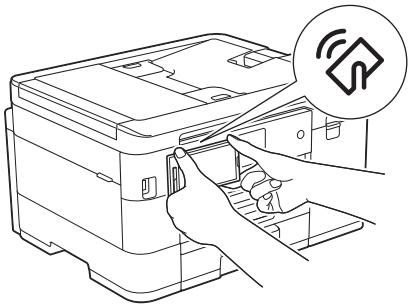
- モバイル/クラウド接続

近距離無線通信（NFC）による印刷

関連モデル: DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4540N

近距離無線通信（NFC）では、近距離に位置する 2 台の機器間の、簡易的な処理、データ交換、および無線接続が可能になります。

お使いの Android™機器が NFC 対応の場合、本製品の操作パネル上の NFC タッチ部分にかざして、データ（写真、PDF ファイル、およびテキストファイル）を機器から印刷することができます。



この機能を使用するには、お使いの Android™機器に Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールする必要があります。

関連情報

- モバイル/クラウド接続

関連トピック：

- 操作パネルの概要

Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan

- Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan の概要

Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan の概要

Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan を使用して、お使いのパソコンから印刷およびスキャンします。

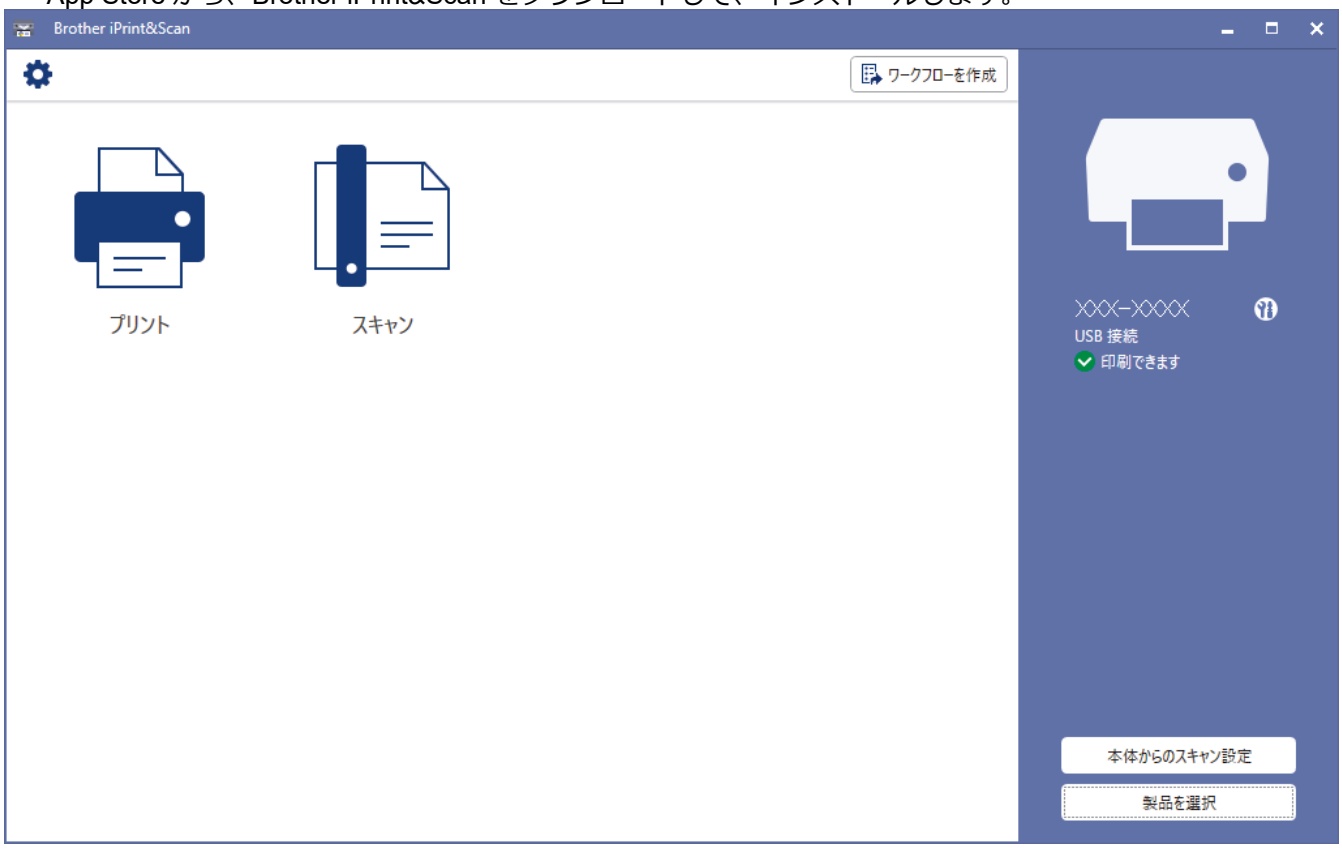
以下の画面は、Windows 向けの Brother iPrint&Scan の例を示しています。アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なることがあります。

- Windows の場合

  support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページに移動し、最新のアプリケーションをダウンロードします。

- Mac の場合

  App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。



表示にしたがって、本製品を使用するために必要なドライバーとソフトウェアをインストールします。
support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページからインストーラーをダウンロードします。

関連情報

- Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャン設定を変更する
- Brother iPrint＆Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac）

トラブルシューティング

本製品に問題があると思われる場合は、まず、以下の各項目を確認し、問題を特定してから、トラブルシューティングのヒントに従ってください。

ほとんどの問題はご自身で解決できます。さらに情報が必要な場合は、support.brother.co.jp にアクセスして最新の FAQ とトラブルシューティングのヒントをご覧ください。

1. support.brother.co.jp にアクセスします。
2. **よくあるご質問 (Q&A)**をクリックしてお使いの製品名を検索します。

まず、以下の点を確認してください。

- 本製品の電源コードが正しく接続され、本製品の電源がオンになっている。
- 本製品の保護部材がすべて取り外されている。
- インクカートリッジが正しく取り付けられている。
- 本体カバーと紙詰まり解除カバーが完全に閉まっている。
- 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。
- 本製品とパソコンにインターフェイスケーブルがしっかりと接続されている。または、本製品とパソコンの両方で無線接続が設定されている。
- （ネットワーク接続モデルの場合）無線 LAN アクセスポイント、ルーター、またはハブの電源が入っており、リンクランプが点滅している。
- 本製品の画面にメッセージが表示されている。

各項目を確認しても問題が解決しない場合は、問題を特定し、「関連情報」をご覧ください。

関連情報

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 子機のエラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 原稿が詰まったときは
- 用紙が詰まったときは
- 本製品に問題がある場合は
- 本製品の情報を確認する
- 本製品を初期状態に戻す
- 本製品を廃却するときは
- 子機のバッテリーを交換する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 電話とファクスの問題
- その他の問題
- ネットワークの問題
- AirPrint の問題

エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

高度な機能を備えたオフィス製品によく見られるように、エラーが発生したり、消耗品の交換が必要なことがあります。その場合、本製品はエラーや必要な定期メンテナンスを特定し、適切なメッセージを表示します。最も一般的なエラーとメンテナンスのメッセージを表に記載します。

ほとんどのエラーの解決、およびお手入れは、ご自身で行うことができます。さらにヒントが必要な場合は、support.brother.co.jp で**よくあるご質問 (Q&A)**ページを参照してください。

- (DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4540N)

  画面にエラーが表示され、お使いの Android™機器が NFC 機能をサポートしている場合、操作パネルの NFC タッチ部分にお使いの機器をタッチして、最新の FAQ を参照してください。(お使いの携帯端末の通信料金が適用されます。)

  お使いのブラザー製品と Android™ 端末、両方の NFC 機能が、オンに設定されていることを確認してください。
- 関連情報は、ページの最下部に表示されます。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[USB 機器の応答なし] [USB 機器を抜いてください]	接続している USB 機器が応答しません。	USB 差し込み口から該当機器を外します。
[ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ がありません]	インクカートリッジが正しく取り付けられていません。	インクカートリッジを取り外し、しっかり装着されるまでもう一度ゆっくり取り付けてください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する
[ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ の型番が違います]	インクカートリッジの型番がお使いの製品に対応していません。	カートリッジの型番がお使いの製品に対応しているかどうかを確認してください。
[ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ を交換できます]	インクの残量が少なくなっています。相手側のファクス機の送信機能でカラーをモノクロに変換できる場合、カラーファクスはモノクロファクスとして本製品で印刷されます。	新しいインクカートリッジを用意してください。画面に[インク交換]と表示されるまで印刷を続行できます。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する • **インクが少なくなっていたり、交換が必要な場合でも、引き続きスキャンできます。**
[インク交換]	1 色または複数のインクカートリッジがなくなりました。本製品はすべての印刷操作を停止します。メモリーに空き容量がある場合、モノクロのファクスはメモリーに保存されます。相手側のファクス機の送信機能でカラーをモノクロに変換できる場合、カラーファクスはモノクロファクスとしてメモリーに保存されます。	インクカートリッジを交換してください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する • インクが少なくなっていたり、交換が必要な場合でも、引き続きスキャンできます。
[インク量を検知できません]	ブラザー純正インクを使用していない場合、本製品がインク残量を検出しない場合があります。	ブラザー純正インクカートリッジを使用してください。エラーが解決しない場合は、ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
[インクを検知できません]	インクカートリッジが正しく取り付けられていません。	新しいインクカートリッジを取り外し、所定の位置に固定されるまで、もう一度ゆっくりとしっかり取り付けてください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する

エラーメッセージ	原因	対処方法
[インクを検知できません]	ブラザー純正インクを使用していない場合、本製品がインクカートリッジを検出しないことがあります。	ブラザー純正インクカートリッジを使用してください。エラーが解決しない場合は、ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
	違うモデルのインクカートリッジが取り付けられました。	インクカートリッジの型番を確認し、適切なインクカートリッジを取り付けます。
[カバーが開いています]	本体カバーが閉じた状態で固定されていません。	本体カバーを持ち上げ、もう一度閉めます。
		インターフェイスケーブル（使用時）が、ケーブル用の溝に沿って本製品の背面まで正しく配線されていることを確認します。
	インクカートリッジのカバーが閉じた状態で固定されていません。	インクカートリッジのカバーが所定の位置に固定されるまでカバーをしっかりと閉めます。
[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ の色が違います]	インクカートリッジの取り付け位置が間違っています。	間違った位置に挿入したインクカートリッジの色を確認し、正しい位置にセットし直してください。
[給紙の失敗を繰返しています]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	次のいずれかを行ってください。 • トレイに用紙を補充し、画面の指示に従ってください。 • 用紙を入れ直し、画面の指示に従ってください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	用紙の給紙ローラーの表面に紙粉がたまっています。	給紙ローラーを掃除してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙トレイ *#1* の給紙ローラーを清掃するまたは、用紙トレイ*#2* の給紙ローラーを清掃する
[ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ できません XX] [初期化できません XX] [印刷できません XX]	製品に機械的な異常があります。 **-または** ペーパークリップなどの異物や破れた用紙の紙片が製品内部に詰まっています。	本体カバーを開き、異物や紙片を製品の内部から取り除きます。エラーメッセージが消えない場合は、本製品の電源を切り、数分後に再度電源を入れます。 「関連情報」をご覧ください：製品の内部と前面の用紙詰まり（用紙詰まり［内部/前］） （MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN）受信したファクスを印刷できない場合は、別のファクス機またはパソコンに転送してください。 「関連情報」をご覧ください：ファクスや通信管理レポートの転送
[現在のトレイの設定] [現在のトレイ 1 の設定] [現在のトレイ 2 の設定]	このメッセージは、用紙タイプと用紙サイズを確認する設定が有効になっている場合に表示されます。	この確認メッセージを表示しないようにするには、設定をオフに変更します。 「関連情報」をご覧ください： トレイ確認の設定を変更する
[子機使用中です] （MFC-J4940DN）	子機で通話しています。	通話中の相手以外へファクスを送るには、子機の通話終了後に行ってください。
[室温が高すぎます]	室温が高すぎます。	室内を冷却したあと、本製品が室温になるまでお待ちください。本製品の温度が下がってから、もう一度試してください。
[室温が低すぎます]	室温が低すぎます。	室温を上げたあと、本製品が室温になるまでお待ちください。本製品が温まってから、もう一度試してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[使用不能な USB 機器です] [USB 機器を抜いてください]	サポートされていない USB 機器または USB フラッシュメモリーが、USB 差し込み口に接続されています。	USB 差し込み口から該当機器を外します。
[使用不能な USB 機器です] [前面にケーブル接続された機器はご利用できませんとり外してオン/オフボタンでリセットしてください]	故障した機器が、USB 差し込み口に接続されています。	USB 差し込み口から該当機器を外します。製品の電源をオフにしてから、再度オンにします。
[使用不能な USB ハブです]	ハブまたはハブが内蔵された USB フラッシュメモリーが、USB 差し込み口に接続されています。	ハブが内蔵された USB フラッシュメモリーも含め、ハブはサポートされていません。USB 差し込み口から該当機器を外します。
[スキャンできません XX]	製品に機械的な異常があります。	本製品の電源を切り、数分後に再度電源を入れてください。 （MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN）受信したファクスを印刷できない場合は、別のファクス機またはパソコンに転送してください。 「関連情報」をご覧ください：ファクスや通信管理レポートの転送
[接続エラー]	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct ネットワークに接続しようとしています。	Wi-Fi Direct への接続を試みている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度行います。
[接続できません他のデバイスと接続中です]	本製品がグループオーナーのときに、携帯端末の最大数がすでに Wi-Fi Direct ネットワークに接続されています。	本製品と他の携帯端末との接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定してください。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。 「関連情報」をご覧ください：ネットワーク設定リストを印刷する
[接続に失敗しました]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定中は、本製品とお使いの携帯端末が通信できません。	• 携帯端末を本製品に近づけます。 • 本製品と携帯端末を、障害物のない場所に移動します。 • WPS の PIN 方式を使用している場合、PIN コードは必ず正確に入力してください。
[切断されました]	送信相手または送信相手のファクス機により、通信が停止されました。	もう一度ファクス送信または受信してください。 通信が繰り返し停止され、VoIP（Voice over IP）システムを使用している場合は、安心通信モードを安心(VoIP)に変更してお試しください。 「関連情報」をご覧ください：安心通信モードを設定する
[設定できませんでした]	ADSL の IP 電話に接続しています。 PBX に接続しています。 マンションアダプター回線に接続しています。	手動で回線種別を設定し直してください。 「関連情報」をご覧ください： 電話/ファクス回線種別を設定する
	電話機コードが停電用電話機接続端子に接続されています。	「停電用電話機」端子から「回線」端子に、電話機コードを接続し直してください。 電話回線を接続しない場合は、 を押してください。
[タッチパネルエラー]	電源オン時の初期化が終了する前に、タッチパネルが押されました。	本製品の電源コードをつなぐ際には、タッチパネルの上に物が触れたり、乗ったりしていないか確認してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[タッチパネルエラー]	タッチパネルの下部とフレームとの間に、異物がはさまっている可能性があります。	タッチパネルの下部とフレームとの間に厚紙などを差し込み、前後にスライドさせて異物を押し出してください。
[着信がありません]	着信履歴がありません。着信がなかったか、電話会社のナンバー・ディスプレイサービスに加入していません。	ナンバー・ディスプレイサービス機能を使用する場合は、電話会社にご連絡ください。 「関連情報」をご覧ください： ナンバーディスプレイサービスを利用する
[通信エラー]	電話回線の状態が悪いため、通信エラーが発生しました。	ファクスを再送信するか、本製品を他の電話回線に接続します。問題が解決しない場合は、電話会社に問い合わせて、お使いの電話回線を調べてもらいます。
[詰まっています/長すぎます]	原稿が挿入されていないか、原稿が正しく送られずに詰まっているか、ADF（自動原稿送り装置）からスキャンされた原稿が長すぎました。	詰まっている原稿を取り除き、 を押します。ADF（自動原稿送り装置）に原稿を正しくセットします。 「関連情報」をご覧ください：自動原稿送り装置（*ADF*）に原稿をセットする 「関連情報」をご覧ください：原稿が詰まったときは
[デバイスが見つかりません] [デバイスが見つかりません]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定時に、本製品がお使いの携帯端末を認識できません。	• 本製品とお使いの携帯端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。 • 携帯端末を本製品に近づけます。 • 本製品と携帯端末を、障害物のない場所に移動します。 • Wi-Fi Direct を手動で設定する場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。 • IP アドレスを取得する方法について、お使いの携帯端末に設定ページがある場合、携帯端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。
[電話・ﾌｧｸｽが使えません]	電話回線が接続されていない可能性があります。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。詳しい説明はかんたん設置ガイドをご覧ください。
[データが残っています]	印刷データが製品のメモリーに残っています。	を押します。印刷ジョブがキャンセルされ、メモリーから削除されます。もう一度印刷します。
[トレイ設定が違います]	製品で設定された用紙サイズもしくは用紙タイプとトレイ選択設定が、使用している用紙サイズもしくは用紙タイプと一致していません。	画面の指示に従ってもう一度印刷します。 画面の指示に従って、トレイの用紙サイズもしくは用紙タイプを設定します。
[廃インク吸収パッド満杯]	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。 ※廃インク吸収パッドとは、ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品です。	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはブラザーコールセンターにご連絡ください。
[話し中/応答がありません]	ダイヤルした番号は、応答がないか、通話中です。	番号を確認し、かけ直します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ファイルがありません]	メディアドライブの USB フラッシュメモリーに、.JPG ファイルが含まれていません。	適切な USB フラッシュメモリーを、差し込み口に差し込みます。
[ﾌｧｸｽﾒﾓﾘ少なくなりました]	ファクスのメモリーが一杯です。	次のいずれかを行ってください。 • メモリーからデータを消去します。メモリーの容量を増やすには、メモリー受信をオフにしてください。 「関連情報」をご覧ください：メモリー受信をオフにする • メモリー内のファクスを印刷します。 「関連情報」をご覧ください：本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
[まもなく廃インク満杯]	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近づいています。 ※廃インク吸収パッドとは、ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品です。	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはブラザーコールセンターにご連絡ください。
[ﾒﾃﾞｨｱ容量がいっぱいです]	使用している USB フラッシュメモリーに空き容量が少ないため、原稿を読み取れません。	USB フラッシュメモリーから使用していないファイルを削除して空き容量を確保し、再度試してください。
[メモリがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	ファクスの送信またはコピー操作が進行中の場合： • または［取り消し］を押し、他の進行中の操作が終了するのを待ってから、再実行してください。 • ［読み取り分コピー］を押して、これまでに読み取った分のページをコピーします。 • メモリー内に保存されているデータを消去します。メモリーの容量を増やすには、メモリー受信をオフにします。 「関連情報」をご覧ください：メモリー受信をオフにする • メモリー内に保存されているファクスを印刷します。 「関連情報」をご覧ください：本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
[モノクロ印刷のみ可能です]	1 色または複数のカラーインクカートリッジがなくなりました。 印刷枚数によって異なりますが、モノクロモードで約 1 ヶ月間、本製品を使用できます。 画面にこのメッセージが表示されている間、各操作は以下のように動作します。 • 印刷 プリンタードライバーで、用紙の種類が**普通紙**に設定されていて、**モノクロ**が選択されている場合は、本製品をモノクロプリンターとしてご利用いただけます。 • コピー	インクカートリッジを交換してください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する 「原因」欄には、このエラーが表示された後に本製品を使用するための方法を載せていますが、以下の場合は、新しいインクカートリッジに交換されるまで本製品を使用いただけません 。 • 本製品の電源を抜くか、インクカートリッジを取り外した場合。

エラーメッセージ	原因	対処方法
	用紙の種類が［普通紙］に設定されている場合、モノクロでコピーを取ることができます。 • ファクスの送受信 用紙の種類が［普通紙］に設定されている場合、本製品は受信したファクスをモノクロで印刷することができます。	
［用紙ｻｲｽﾞ が不一致です］ ［用紙ｻｲｽﾞ が不一致です［ﾄﾚｲ 1］］ ［用紙ｻｲｽﾞ が不一致です［ﾄﾚｲ 2］］	用紙サイズの設定が、トレイにセットされている用紙のサイズと一致しません。 **-または** トレイの用紙ガイドが、使用している用紙サイズの表示に合わせて調整されていません。	1. 本製品の画面で選択した用紙サイズが、トレイにセットされている用紙のサイズと一致していることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙サイズと用紙タイプを変更する 2. 用紙を正しい向きにセットし、用紙ガイドを使用する用紙サイズの表示に合わせて調整してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット 3. 用紙のサイズとセット方向を確認したあと、画面の指示に従ってください。
		パソコンから印刷する場合は、プリンタードライバーまたは印刷に使用するアプリケーションで選択した用紙サイズが、トレイにセットされている用紙サイズと一致していることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷設定（*Windows*）
［用紙詰まり［後ろ］］ ［用紙詰まり［トレイ 2］］	製品に紙詰まりが発生しています。	詰まっている紙を破れないように取り除いてください。 「関連情報」をご覧ください：製品の背面の用紙詰まり（用紙詰まり［後ろ］［トレイ *2*］） 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。 A5 以下のサイズの用紙をセットしている場合は、用紙トレイを引き伸ばさないでください。
	用紙の給紙ローラーの表面に紙粉がたまっています。	給紙ローラーを掃除してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙トレイ *#1* の給紙ローラーを清掃するまたは、用紙トレイ*#2* の給紙ローラーを清掃する
［用紙詰まり［内部/前］］ ［繰返し用紙詰まり［内部/前］］	製品に紙詰まりが発生しています。	詰まっている紙を破れないように取り除いてください。 「関連情報」をご覧ください：製品の内部と前面の用紙詰まり（用紙詰まり［内部/前］） 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。 A5 以下のサイズの用紙をセットしている場合は、用紙トレイを引き伸ばさないでください。
	手差しトレイに、用紙が複数枚セットされました。 **-または**	手差しトレイには、一度に 2 枚以上の用紙をセットしないでください。画面に［用紙セット］と表示されるまで待ってから、手差しトレイに次の用紙をセットします。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[用紙詰まり[内部/前]] [繰返し用紙詰まり[内部/前]]	画面に[用紙セット]と表示される前に、別の用紙が手差しトレイにセットされました。	詰まっている紙を破れないように取り除いてください。 「関連情報」をご覧ください：製品の内部と前面の用紙詰まり（用紙詰まり［内部/前］）
[用紙詰まり[前]] [繰返し用紙詰まり[前]]	製品に紙詰まりが発生しています。	詰まっている紙を破れないように取り除いてください。 「関連情報」をご覧ください：製品の前面の用紙詰まり（用紙詰まり［前］） 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。 A5 以下のサイズの用紙をセットしている場合は、用紙トレイを引き伸ばさないでください。
[用紙トレイが抜けています] [用紙トレイ 1 が抜けています] [用紙トレイ 2 が抜けています]	用紙トレイが完全に差し込まれていません。	用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けてください。
	用紙や異物があると、用紙トレイを正しく取り付けられません。	製品から用紙トレイを引き抜き、詰まっている用紙や異物を取り除きます。詰まっている用紙が見つからない、または取り除けない場合は、「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは
[用紙を送れません] [用紙を送れません[トレイ1]] [用紙を送れません[トレイ2]]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	次のいずれかを行ってください。 • トレイに用紙を補充し、画面の指示に従ってください。 • 用紙を入れ直し、画面の指示に従ってください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	用紙が手差しトレイの中央にセットされていません。	用紙を取り除いて手差しトレイの中央にセットし直してから、画面の指示に従ってください。 「関連情報」をご覧ください：手差しトレイに用紙をセットする
	紙詰まり解除カバーが正しく閉じられていません。	紙詰まり解除カバーの両端が均等に閉じられていることを確認します。 「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは
	用紙の給紙ローラーの表面に紙粉がたまっています。	給紙ローラーを掃除してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙トレイ*#1* の給紙ローラーを清掃するまたは、用紙トレイ*#2* の給紙ローラーを清掃する

関連情報

- トラブルシューティング
  - ファクスや通信管理レポートの転送
  - クラウド接続機能のエラーメッセージ

関連トピック：

- タッチパネル画面の概要
- ネットワーク設定リストを印刷する
- インクカートリッジを交換する
- トレイ確認の設定を変更する
- 安心通信モードを設定する

- 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットする
- 原稿が詰まったときは
- 用紙のセット
- 手差しトレイに用紙をセットする
- 用紙が詰まったときは
- 用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する
- メモリー受信をオフにする
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- 印刷設定（Windows）
- 製品の内部と前面の用紙詰まり（用紙詰まり［内部/前］）
- 製品の前面の用紙詰まり（用紙詰まり［前］）
- 製品の背面の用紙詰まり（用紙詰まり［後ろ］［トレイ 2］）
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 用紙トレイ#2 の給紙ローラーを清掃する
- 電話/ファクス回線種別を設定する
- ナンバーディスプレイを利用する

ファクスや通信管理レポートの転送

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

画面に次のように表示されている場合：

- ［ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ できません XX］
- ［初期化できません XX］
- ［印刷できません XX］
- ［スキャンできません XX］

ファクスを別のファクス機またはパソコンに転送することをお勧めします。

「関連情報」をご覧ください：別のファクス機にファクスを転送する

「関連情報」をご覧ください：お使いのパソコンにファクスを転送する

ファクス通信管理レポートを転送して、転送する必要があるファクスがあるかどうかを確認することもできます。

「関連情報」をご覧ください：別のファクス機に通信管理レポートを転送する

関連情報

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
  - 別のファクス機にファクスを転送する
  - お使いのパソコンにファクスを転送する
  - 別のファクス機に通信管理レポートを転送する

関連トピック：

- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする
- 本製品を初期状態に戻す
- リセット機能の概要

別のファクス機にファクスを転送する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

発信元登録を設定していない場合、ファクス転送モードに入ることはできません。

1. を押して、エラーを一時的に消去します。
2. [メニュー] > [全てのメニュー] > [サービス] > [データ転送] > [ファクス転送]を押します。
3. 以下のいずれかを行ってください：
   - 画面に[受信データはありません]と表示された場合は、製品のメモリー内にはファクスは残っていません。

     [閉じる]を押し、を押します。
   - ファクスの転送先であるファクス番号を入力します。
4. [スタート]を押します。

関連情報

- ファクスや通信管理レポートの転送

関連トピック：

- 発信元を登録する

お使いのパソコンにファクスを転送する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

本製品のメモリーからパソコンにファクスを転送できます。

1. を押して、エラーを一時的に消去します。
2. Brother のソフトウェアとドライバーがお使いのパソコンにインストール済みであることを確認して、**PC ファクス受信**をオンにします。
3. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
4. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 受信を起動**をクリックします。
5. お使いのパソコンに表示される指示を確認します。
   製品のメモリーに保存されているファクスは自動的にお使いのパソコンに送信されます。

製品のメモリーのファクスがお使いのパソコンに送信されない場合：

製品で [PC ファクス受信] を設定したことを確認します。

PC-FAX 受信を設定したときに本製品のメモリーにファクスが保存されている場合、お使いのパソコンにファクスを転送するかどうかを確認するメッセージが画面に表示されます。

みるだけ受信がオフになっている場合、バックアップ印刷するかどうかを尋ねられます。

[はい] を押してメモリー内のすべてのファクスをお使いのパソコンに転送します。

関連情報

- ファクスや通信管理レポートの転送

関連トピック：

- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）

別のファクス機に通信管理レポートを転送する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

発信元登録を設定していない場合、ファクス転送モードに入ることはできません。

1. を押して、エラーを一時的に消去します。
2. [メニュー] > [全てのメニュー] > [サービス] > [データ転送] > [レポート転送]を押します。
3. 通信管理レポートの転送先のファクス番号を入力します。
4. [スタート]を押します。

関連情報

- ファクスや通信管理レポートの転送

関連トピック：

- 発信元を登録する

クラウド接続機能のエラーメッセージ

エラーが発生すると、本製品にエラーメッセージが表示されます。ここでは、代表的なエラーメッセージを記載しています。

ほとんどのエラーはご自身で解決できます。さらに情報が必要な場合は、support.brother.co.jp で**よくあるご質問 (Q&A)** ページを参照してください。

接続エラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ネットワーク接続エラー 02]	本製品はネットワークに接続されていません。	• ネットワークの接続状況が良好であることを確認してください。 • 本製品の電源を入れた後すぐに[クラウド]または[お役立ちツール]を押した場合は、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。少し待ってから再度実行してください。
[ネットワーク接続エラー 03]	• ネットワークやサーバーの設定が間違っています。 • ネットワークまたはサーバーに問題があります。	• ネットワークの設定が正しいことを確認するか、少し待ってから後で再試行してください。 • 本製品の電源を入れた後すぐに[クラウド]または[お役立ちツール]を押した場合は、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。少し待ってから再度実行してください。
[ネットワーク接続エラー 07]	日付と時刻の設定が間違っています。	日付と時刻を正しく設定します。本製品の電源コードが抜かれた場合、日付と時刻の設定がお買い上げ時の設定にリセットされる場合があります。

認証エラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[認証エラー 01]	このアカウントにアクセスするために入力した PIN コードが正しくありません。PIN コードは、本製品へのアカウントの登録時に入力した 4 桁の番号です。	正しい PIN コードを入力してください。
[認証エラー 02]	入力した仮登録 ID が間違っています。	正しい仮登録 ID を入力してください。
	入力した仮登録 ID は期限が切れています。仮登録 ID は 24 時間有効です。	再度、クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得したら、新しい仮登録 ID を使って本製品にアカウントを登録してください。
[認証エラー 03]	表示名として入力した名前がすでに別のユーザーに登録されています。	別の表示名を入力してください。

サーバーエラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[サーバーエラー 01]	お使いのブラザー製品の認証情報（サービスへのアクセスに必要）が、期限切れまたは無効です。	再度、クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得したら、新しい仮登録 ID を使って本製品にアカウントを登録してください。
[サーバーエラー 03]	アップロードしようとしているファイルに、次のような問題があります。 • ファイルの画素数、ファイルサイズなどがサービスの制限を超えている。 • ファイル形式が非対応。 • ファイルが破損している。	このファイルは使えません。 • サービスが対応しているファイルサイズ、形式の上限を確認してください。 • 別のファイル形式で保存してください。 • 可能であれば、新しく破損していないファイルを取得してください。
[サーバーエラー 13]	ウェブサービスに問題があり、現在利用できません。	少し待ってから再度実行してください。このメッセージが再び表示された場合は、ウェブサービスが利用可能かどうかを確認するためにパソコンからウェブサービスにアクセスしてみてください。

ショートカットエラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ショートカットエラー 02]	ショートカットが登録された後にアカウントが削除されたため、ショートカットは使用できません。	ショートカットを削除し、再度アカウントとショートカットを登録してください。

関連情報

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

子機のエラーメッセージとメンテナンスメッセージ

関連モデル: MFC-J4940DN

エラーメッセージ	原因	対処方法
[親機を探しています]	子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えています。	親機から 100m 以内に移動してください。 それでもメッセージが表示される場合は、子機の ID 登録をしなおしてください。子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書をダウンロードするには、サポートサイト（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いの本体モデルの製品マニュアルページを参照してください。
[外線使用中]	親機またはその他の子機が、通話またはファクス中です。	使い終わるのを待ってください。
[充電ﾃﾞｷﾏｾﾝ。もう一度ｾｯﾄしてください]	充電器に異物が付着している、または設置不良（すき間がある）の可能性があります。	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。
[通話圏外　親機に近づいてください]	電波状態が悪いか、親機の電源プラグが抜けています。	親機の電源が入っているか、電波状態が良好か、確認してください。 子機の 外線 を押してください。 それでもメッセージが表示される場合は、子機の ID 登録をしなおしてください。子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書をダウンロードするには、サポートサイト（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いの本体モデルの製品マニュアルページを参照してください。
[電源 Off]	親機の電源が入っていない可能性があります。	
[＜電池残り少＞充電して下さい]	バッテリー残量が少なくなりました。	子機を充電器に置いて充電してください。
[電話帳がいっぱいです]	電話帳に登録できる件数を超えています。	不要な電話番号を消去してください。
[電話帳登録　登録がありません]	電話帳に登録がありません。	電話帳に登録してください。 操作方法については、このセクションの最後の関連情報をご覧ください：電話帳に登録する
[発信履歴無し]	発信履歴がありません。	発信後、履歴が表示されるようになります。
[ﾌｧｸｽ受信あり [ｸﾘｱ/音質] を押して下さい]	ファクスを受信しました。	子機の 音質 クリア を押すとファクス受信ランプの点滅が消えます。親機で新着ファクスを確認してください。

関連情報

- トラブルシューティング

関連トピック：

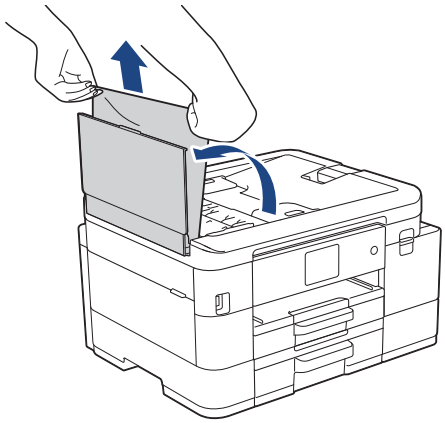
- 電話帳に登録する

原稿が詰まったときは

- ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり
- ADF(自動原稿送り装置)の内部の原稿詰まり
- ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり

1. ADF（自動原稿送り装置）から詰まっていない原稿をすべて取り除きます。
2. ADF カバーを開けます。
3. 詰まった原稿を上に引いて取り除きます。



4. ADF カバーを閉じます。
5. を押します。

重要

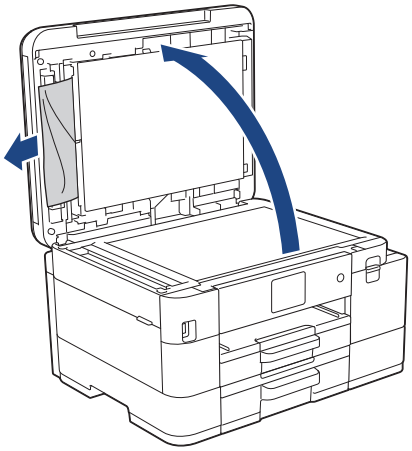
原稿詰まり防止のため、ADF カバーを閉じるときは、中央を押して、確実に閉じてください。

関連情報

- 原稿が詰まったときは

ADF(自動原稿送り装置)の内部の原稿詰まり

1. ADF（自動原稿送り装置）から詰まっていない原稿をすべて取り除きます。
2. 原稿台カバーを持ち上げます。
3. 詰まった紙を左方向に引っ張り出します。



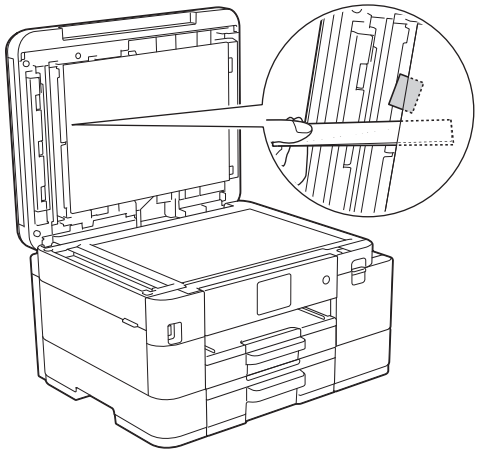
4. 原稿台カバーを閉じます。
5. ✕を押します。

関連情報

- 原稿が詰まったときは

ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く

1. 原稿台カバーを持ち上げます。
2. ADF(自動原稿送り装置)に厚紙などの硬い紙を入れ、細かい紙片を押し出します。



3. 原稿台カバーを閉じます。
4. ✕を押します。

関連情報

- 原稿が詰まったときは

用紙が詰まったときは

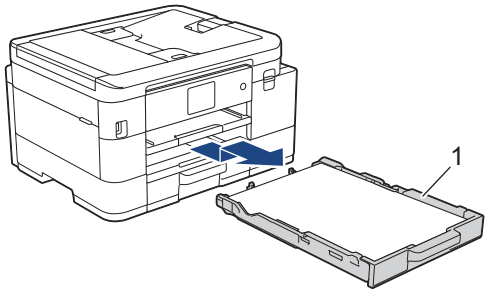
紙詰まりの位置を特定し、解消します。

- 製品の内部と前面の用紙詰まり（用紙詰まり［内部/前］）
- 製品の前面の用紙詰まり（用紙詰まり［前］）
- 製品の背面の用紙詰まり（用紙詰まり［後ろ］［トレイ 2］）
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

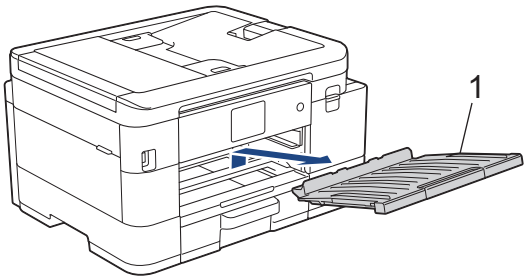
製品の内部と前面の用紙詰まり（用紙詰まり［内部/前］）

画面に［用紙詰まり［内部/前］］、［繰返し用紙詰まり［内部/前］］または［繰返し用紙詰まり］が表示された場合は、以下の手順に従います。

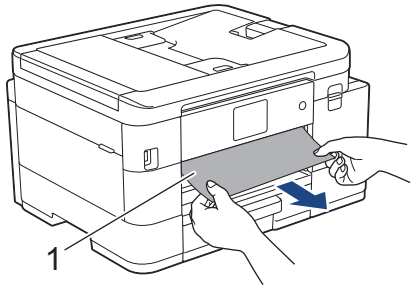
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 矢印のように、用紙トレイ#1（1）を本製品から完全に引き出します。



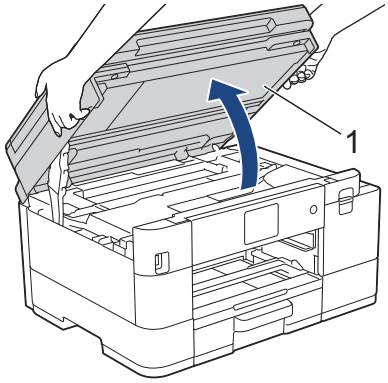
3. 排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように、本製品から引き出せる角度にして、引き出します。



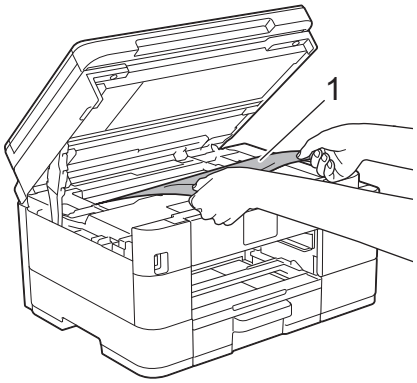
4. 詰まった紙（1）を製品からゆっくりと抜き取ります。



5. 本製品の両側にあるプラスチックの指掛け部に指をかけ、両手で本体カバー（1）を保持される位置まで持ち上げます。

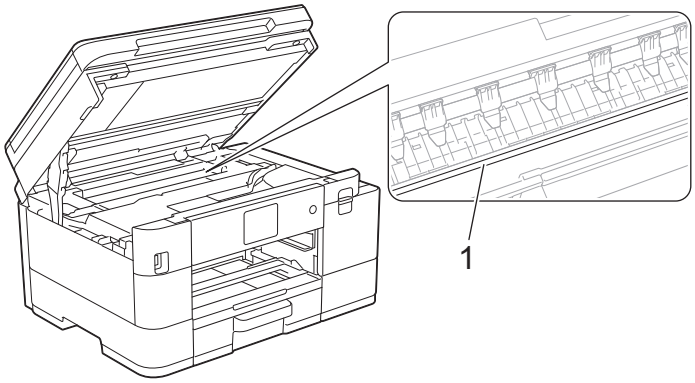


6. 詰まった紙（1）を製品からゆっくりと抜き取ります。



重要

- エンコーダー（1）（帯状の薄いプラスチックの部分）を触らないでください。本製品が破損する恐れがあります。

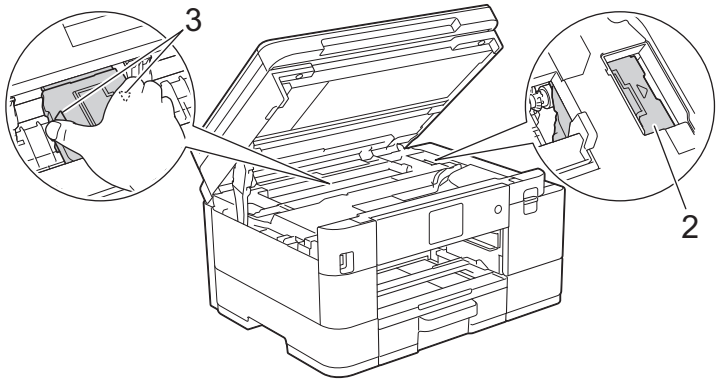


- プリントヘッドがイラスト（2）のように右端にある場合は、プリントヘッドを動かすことはできません。次の手順に従ってください。

  a. 本体カバーを閉じ、電源プラグをコンセントに差し込み直します。

  b. 再度本体カバーを開け、プリントヘッドが中央に移動するまで を長押しします。

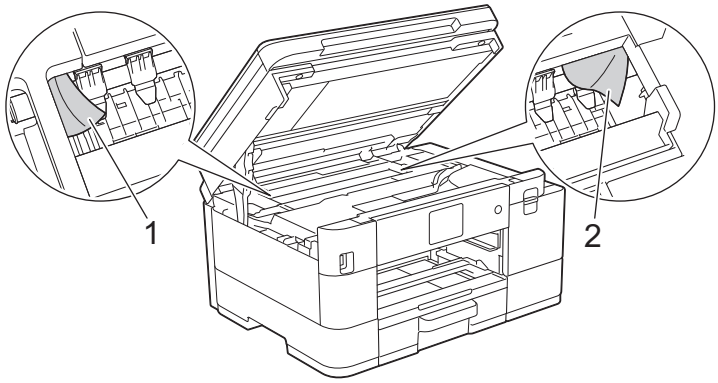
  c. 電源プラグを抜いて、詰まっている用紙を破れないように取り除きます。



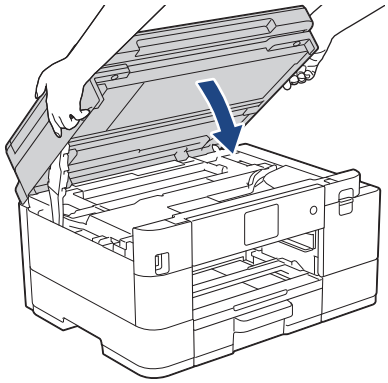
- プリントヘッドの下で紙が詰まった場合は、電源プラグを抜き、プリントヘッドを動かして紙を取り除きます。

  図（3）に示すように、三角形のマークのある凹んだ部分を持ち、プリントヘッドを移動させます。
- インクが皮膚や衣服に付着したときは、すぐに石けんや洗剤で洗い流してください。

画面のエラーメッセージが［繰返し用紙詰まり［内部/前］］または［繰返し用紙詰まり］だった場合は、プリントヘッドを動かし（必要な場合）、付近に残っている紙を取り除きます。製品の端（1）と（2）の部分に紙片が残っていないか確認してください。

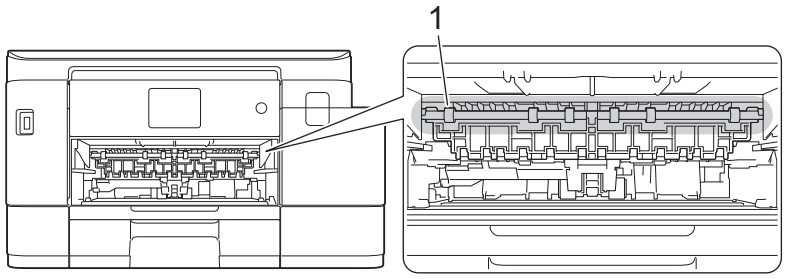


7. 両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じます。

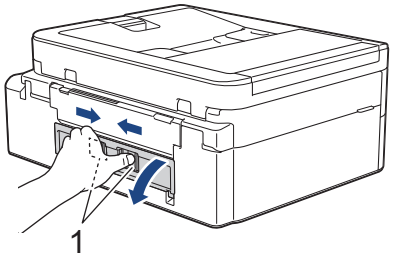


画面に表示されるメッセージが [繰返し用紙詰まり [内部/前]] または [繰返し用紙詰まり] だった場合は、以下の操作を行います。

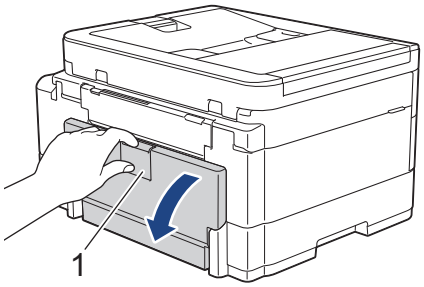
a. 内部（１）に紙片が残っていないかよく確認します。



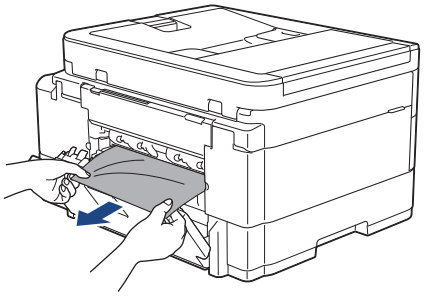
b. （DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4940DN）両方のレバー（1）を握り、製品の背面にある紙詰まり解除カバーを開きます。



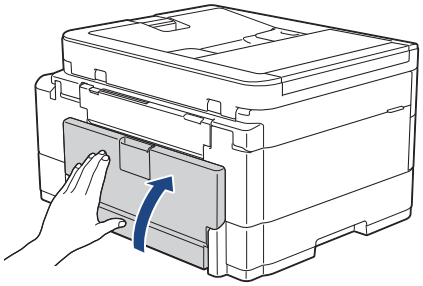
（MFC-J4540N）製品の背面にある紙詰まり解除カバー（1）を開きます。



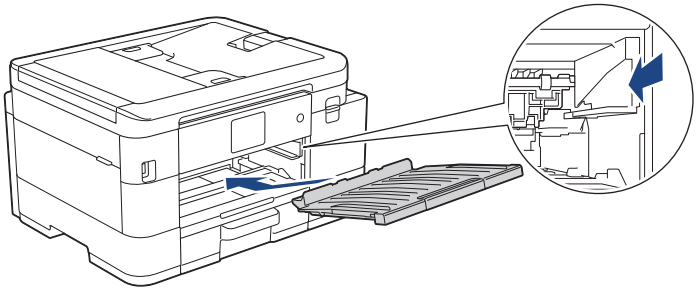
c. 詰まった紙を製品からゆっくりと抜き取ります。



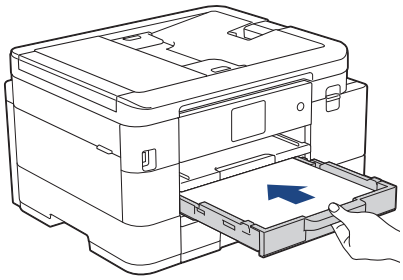
d. 紙詰まり解除カバーを閉じます。カバーが完全に閉じたか確認してください。



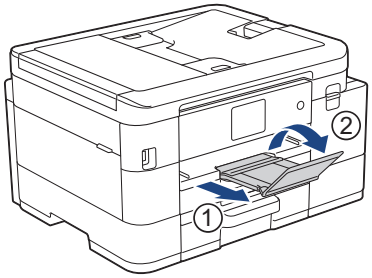
8. 排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



9. 用紙トレイ#1 をゆっくりと確実に本製品に戻します。



10. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。

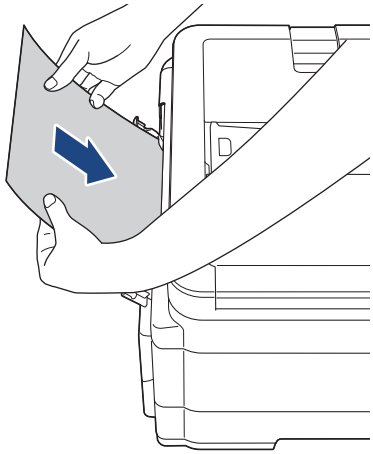


11. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

その他の用紙詰まり解消操作

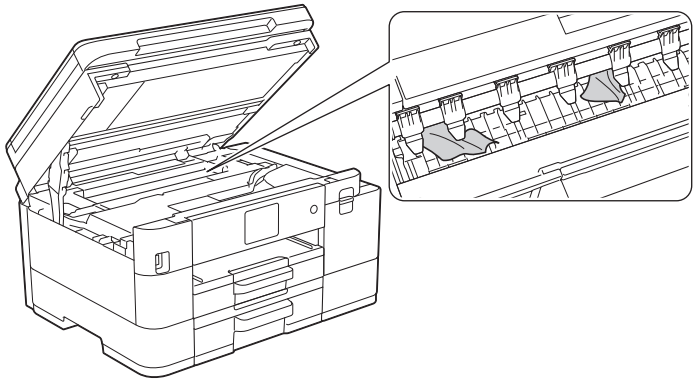
画面のエラーメッセージが引き続き表示され、用紙詰まりが繰り返し発生する場合は、次の手順を実行します。

1. 製品の電源プラグをコンセントから抜き、手差しトレイのカバーを開きます。
2. 手差しトレイに、A4 またはレターサイズの厚紙（光沢紙など）を 1 枚セットします。用紙を手差しトレイの奥まで挿入します。



3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

   手差しトレイにセットした用紙が、製品内を通過して排出されます。詰まっている紙片があった場合は、厚紙が詰まっている紙片を押し出して取り除きます。



関連情報

- 用紙が詰まったときは

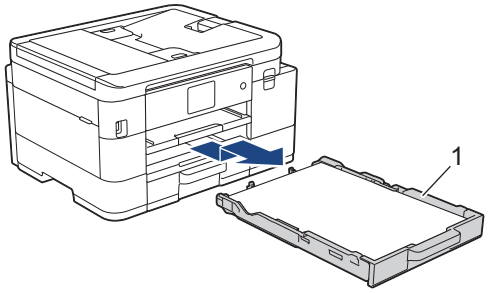
関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

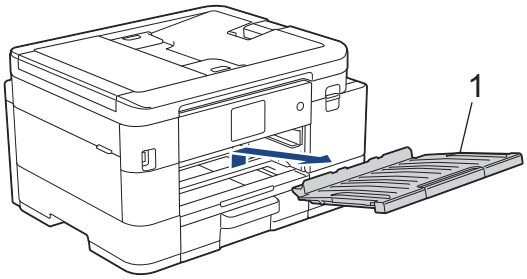
製品の前面の用紙詰まり（用紙詰まり［前］）

画面に［用紙詰まり［前］］または［繰返し用紙詰まり［前］］が表示された場合は、以下の手順に従います：

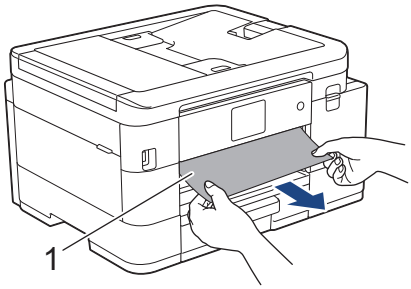
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 矢印のように、用紙トレイ#1（1）を本製品から完全に引き出します。



3. 排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように、本製品から引き出せる角度にして、引き出します。

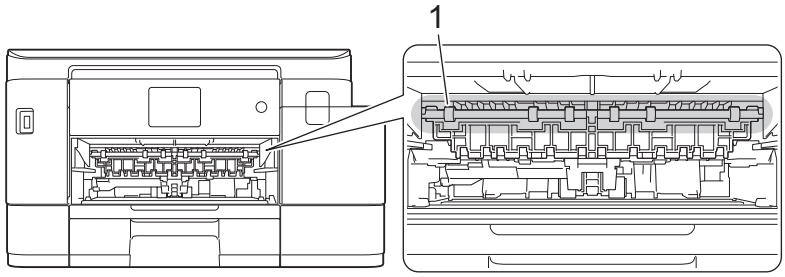


4. 詰まった紙（1）をゆっくりと引き抜きます。

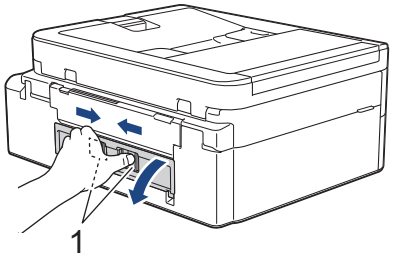


画面に表示されるメッセージが [繰返し用紙詰まり [前]] であった場合は、以下の操作を行います。

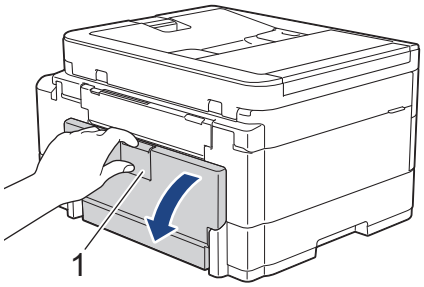
a. 内部（１）に紙片が残っていないかよく確認します。



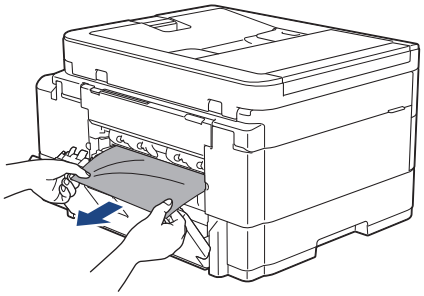
b. （DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4940DN）両方のレバー（1）を握り、製品の背面にある紙詰まり解除カバーを開きます。



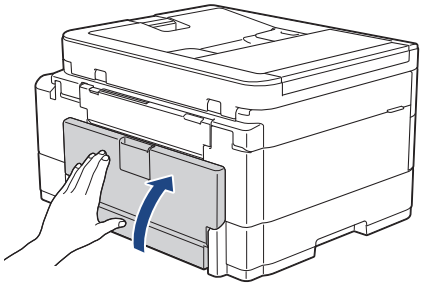
（MFC-J4540N）製品の背面にある紙詰まり解除カバー（1）を開きます。



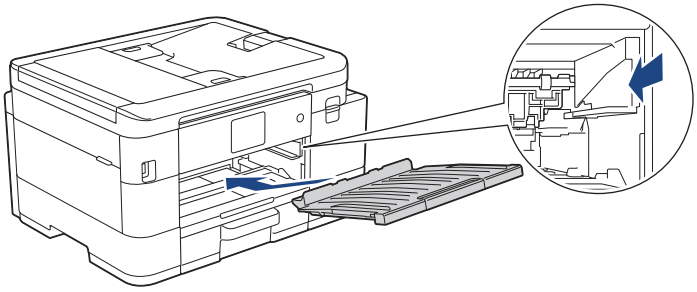
c. 詰まった紙を製品からゆっくりと抜き取ります。



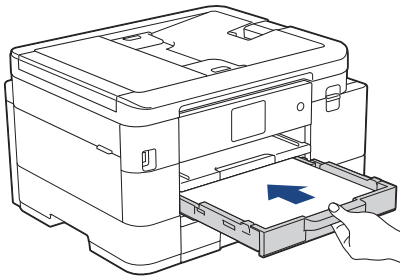
d. 紙詰まり解除カバーを閉じます。カバーが完全に閉じたか確認してください。



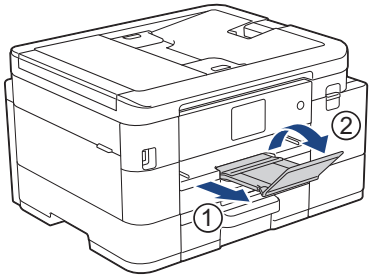
5. 排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



6. 用紙トレイ#1 をゆっくりと確実に本製品に戻します。



7. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。

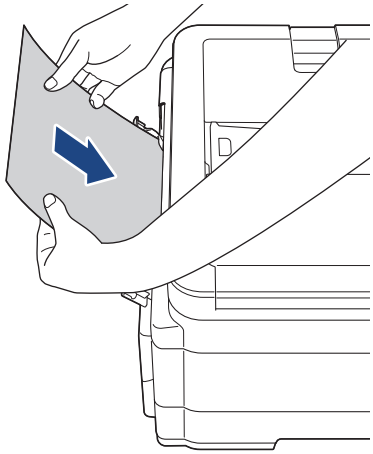


8. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

その他の用紙詰まり解消操作

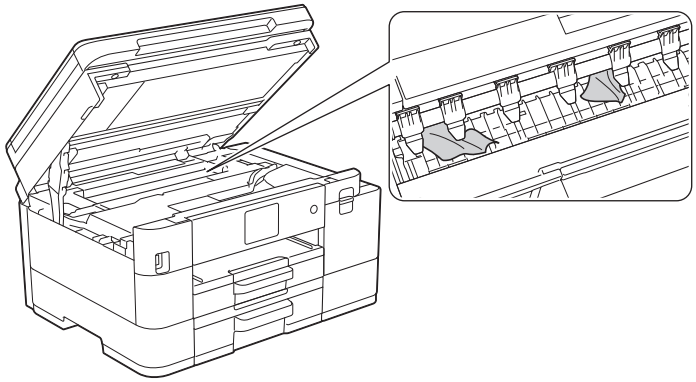
画面のエラーメッセージが引き続き表示され、用紙詰まりが繰り返し発生する場合は、次の手順を実行します。

1. 製品の電源プラグをコンセントから抜き、手差しトレイのカバーを開きます。
2. 手差しトレイに、A4 またはレターサイズの厚紙（光沢紙など）を 1 枚セットします。用紙を手差しトレイの奥まで挿入します。



3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

   手差しトレイにセットした用紙が、製品内を通過して排出されます。詰まっている紙片があった場合は、厚紙が詰まっている紙片を押し出して取り除きます。



関連情報

- 用紙が詰まったときは

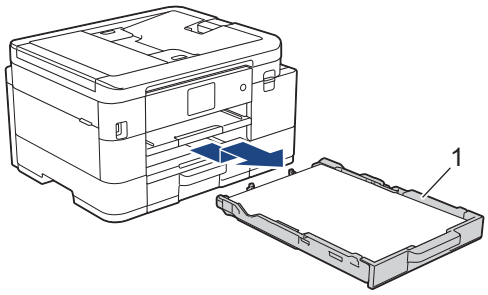
関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

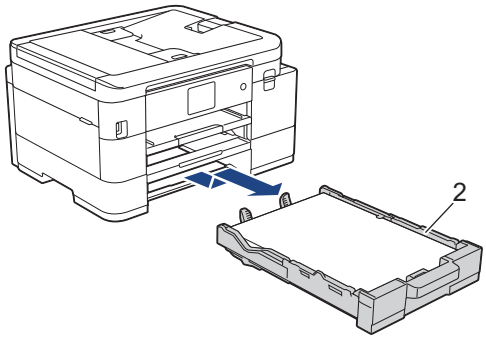
製品の背面の用紙詰まり（用紙詰まり［後ろ］［トレイ 2］）

画面に［用紙詰まり［後ろ］］または［用紙詰まり［トレイ 2］］が表示された場合は、以下の手順に従います：

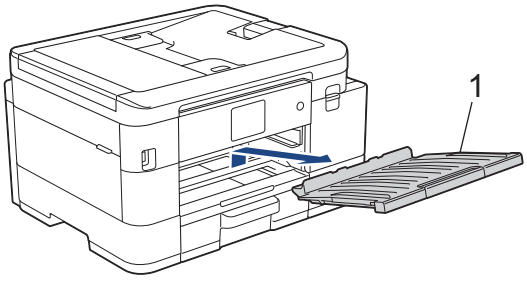
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 矢印のように、用紙トレイ#1（1）を本製品から完全に引き出します。



（MFC-J4540N）画面のエラーメッセージが［用紙詰まり［トレイ 2］］だった場合は、用紙トレイ#2（2）も矢印のように本製品から完全に引き出します。

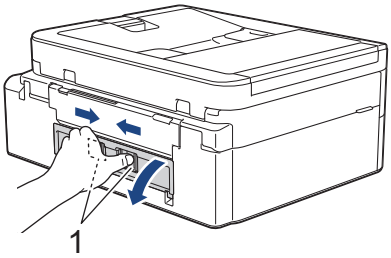


3. 画面のエラーメッセージが［用紙詰まり［後ろ］］だった場合は、排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように本製品から引き出せる角度にして、完全に引き出します。

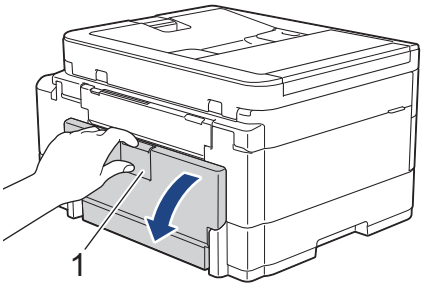


用紙のサイズによっては、詰まった用紙は本製品の背面からではなく前面からのほうが簡単に取り除くことができます。

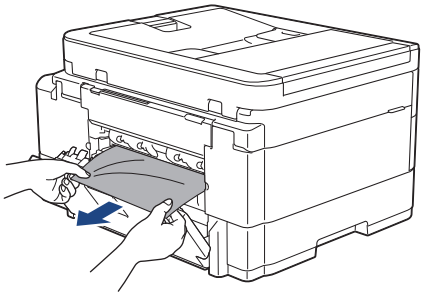
4. （DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4940DN）両方のレバー（1）を握り、製品の背面にある紙詰まり解除カバーを開きます。



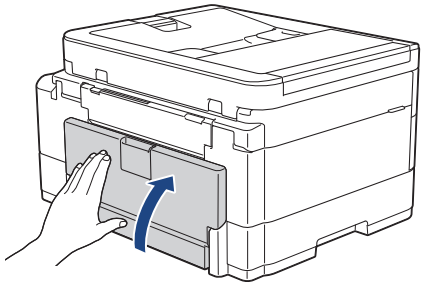
（MFC-J4540N）製品の背面にある紙詰まり解除カバー（1）を開きます。



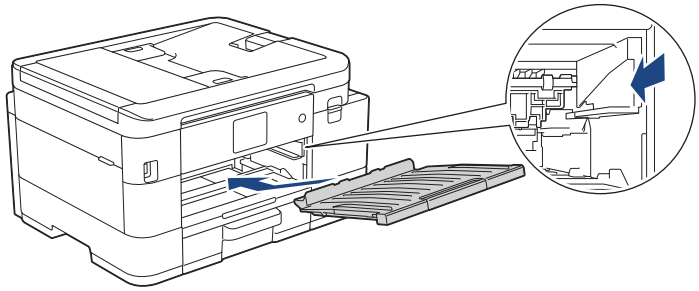
5. 詰まった紙を製品からゆっくりと抜き取ります。



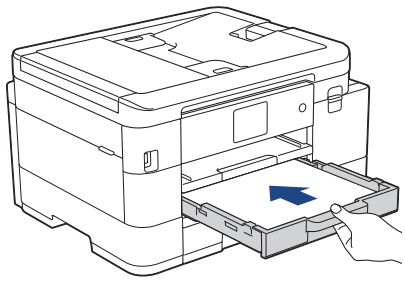
6. 紙詰まり解除カバーを閉じます。カバーが完全に閉じたか確認してください。



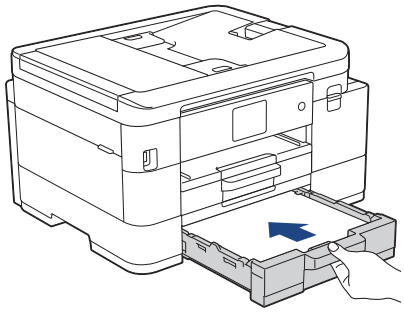
7. 画面のエラーメッセージが [用紙詰まり [後ろ]] だった場合は、排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



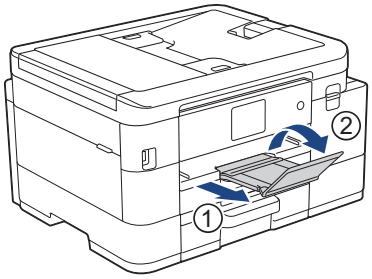
8. 用紙トレイ#1 をゆっくりと確実に本製品に戻します。



（MFC-J4540N）画面のエラーメッセージが［用紙詰まり［トレイ 2］］だった場合は、用紙トレイ#2 をゆっくりと確実に本製品に戻します。



9. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。



10. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

関連情報

- 用紙が詰まったときは

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

本製品に問題がある場合は

技術的なサポートについては、ブラザーコールセンターへお問い合わせください。

本製品に問題があると思われる場合は、以下の項目を確認してください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

さらにヘルプが必要な場合は、support.brother.co.jp で**よくあるご質問 (Q&A)**ページに移動してください。

ブラザー純正以外の部品を使用すると、印刷品質、ハードウェア性能、および製品の信頼性に影響する場合があります。

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 電話とファクスの問題
- その他の問題
- ネットワークの問題
- AirPrint の問題

用紙の取り扱いと印刷の問題

以下の表をお読みになっても、問題が解決しない場合は、support.brother.co.jp の**よくあるご質問 (Q&A)**をご覧ください。

>> 印刷の問題
>> 印刷品質の問題
>> 用紙の取り扱いの問題
>> 受信したファクスの印刷（MFC モデル）

印刷の問題

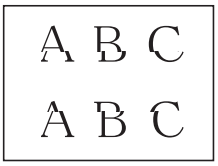
問題	対応
印刷されない。	（Windows） 適切にプリンタードライバーがインストールされ、選択されていることを確認します。
	本製品の画面にエラーメッセージが表示されているかどうか確認します。 「関連情報」をご覧ください： エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
	本製品がオンラインであることを確認します。 • Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 **> Windows システム ツール > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで**プリンター**をクリックし、**プリンターをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows 8.1 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで**プリンタ**をクリックし、**プリンタをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows Server 2012 R2 **スタート**画面で**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで**プリンタ**をクリックし、**プリンタをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows Server 2012 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで**プリンタ**をクリックし、**プリンタをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows 7 および Windows Server 2008 R2 **(スタート) > デバイスとプリンター**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックし（XXX-XXXX はお使いのモデル名）、**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーの**プリンタ**をクリ

問題	対応
	ックします。**プリンタをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows Server 2008 **(スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタ** **Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**プリンタをオフラインで使用する**が一覧にないことを確認します。一覧にある場合、このオプションをクリックして、ドライバーをオンラインで設定します。
	1 色または複数のインクカートリッジがなくなりました。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する
	プリンタードライバーのスプーラーに印刷に失敗した古いデータが残っているため、新しい印刷ジョブのデータが印刷されません。プリンターのアイコンを開き、すべてのデータを削除します。 • Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 **> Windows システム ツール > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示 > プリンター**をクリックします。 • Windows 8.1 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示 > プリンター**をクリックします。 • Windows Server 2012 R2 **スタート**画面で**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示 > プリンタ**をクリックします。 • Windows Server 2012 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示 > プリンタ**をクリックします。 • Windows 7 および Windows Server 2008 R2 **/スタート > デバイスとプリンター > プリンターと FAX** をクリックします。 • Windows Server 2008 **(スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタ**をクリックします。 • Mac **システム環境設定 > プリンタとスキャナ**をクリックします。
画面上では文書のヘッダーまたはフッターが表示されるが、印刷すると表示されない。	ページの上部と下部に印刷できない領域があります。この領域を考慮に入れて、文書の上下の余白を調整してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷できない範囲
「レイアウト」印刷ができない。	（Windows ） アプリケーションとプリンタードライバーの用紙サイズ設定が同一であることを確認します。
印刷速度が遅すぎる。	（Windows） プリンタードライバーの設定を変更してください。解像度を一番高く設定していると、データの処理、送信、および印刷の時間が長くなります。以下のように、プリンタードライバーで印刷品質を設定してみます。 プリンタードライバーで、**色補正**チェックボックス（**拡張機能**タブ）の選択を外します 。
	ふちなし印刷機能をオフにします。ふちなし印刷では通常印刷よりも速度が遅くなります。 「関連情報」をご覧ください：印刷設定（*Windows*）

問題	対応
	静音モード設定をオフにします。静音モードでは速度が遅くなります。「関連情報」をご覧ください：印刷音を軽減する
	プリンタードライバーまたはアプリケーションのメディアタイプ設定または本製品の用紙種類設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。 「関連情報」をご覧ください： 用紙サイズと用紙タイプを変更する 「関連情報」をご覧ください：印刷設定（*Windows*）

印刷品質の問題

問題	対応
印刷品質が悪い。	印刷品質を確認してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷品質をチェックする
	プリンタードライバーまたはアプリケーションのメディアタイプ設定または本製品の用紙種類設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。 「関連情報」をご覧ください： 用紙サイズと用紙タイプを変更する 「関連情報」をご覧ください：印刷設定（*Windows*）
	インクカートリッジが新しいことを確認します。以下の原因により、インクが詰まっている可能性があります。 • カートリッジのパッケージに記載された有効期限が切れています。 • インクカートリッジが、使用前に正しく保管されていなかった可能性があります。
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。ブラザーでは、ブラザー純正以外のカートリッジの使用や、使用済のカートリッジに他のインクを詰め替えることを推奨しておりません。
	お使いの用紙が推奨タイプであることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください：使用可能な印刷用紙について
	本製品は、20°C～33°C の環境で使用することを推奨します。
文字や画像に白い筋が入る。 	プリントヘッドをクリーニングしてください。 「関連情報」をご覧ください：本製品からプリントヘッドのクリーニングをする 「関連情報」をご覧ください：*Web Based Management* を使用してプリントヘッドをクリーニングする 「関連情報」をご覧ください：パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（*Windows*）
	用紙送りを確認し、調整してください。「関連情報」をご覧ください：用紙送りを調整して縦線をなくす
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
	推奨されている種類の用紙を使ってみてください。 「関連情報」をご覧ください：使用可能な印刷用紙について
	プリントヘッドの寿命を延ばしたり、インクカートリッジを節約したり、印刷品質を維持するために、電源プラグを頻繁に抜くことや、長期間電源プラグを抜いたままにしておくことは推奨しておりません。製品の電源を切る場合は、⏻を使うことをお勧めします。⏻を使うと、最小限の電力で定期的に、頻繁にはならない周期でプリントヘッドをクリーニングします。
濃い筋が周期的に入る。	用紙送りを確認し、調整してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙送りを調整して縦線をなくす

問題	対応
白紙が印刷される。	印刷品質を確認してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷品質をチェックする
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
	プリントヘッドの寿命を延ばしたり、インクカートリッジを節約したり、印刷品質を維持するために、電源プラグを頻繁に抜くことや、長期間電源プラグを抜いたままにしておくことは推奨しておりません。製品の電源を切る場合は、を使うことをお勧めします。を使うと、最小限の電力で定期的に、頻繁にはならない周期でプリントヘッドをクリーニングします。
文字や線がぼやける。 	罫線ずれのチェックを行ってください。 「関連情報」をご覧ください： 罫線ずれ、文字ぶれを改善する
	印刷オプションを変更してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷オプションを変更して印刷結果を改善する
文字や画像が斜めに印刷される。	用紙が用紙トレイに正しくセットされ、用紙ガイドが正しく合わせられているか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	紙詰まり解除カバーが正しく閉まっているか確認してください。
印刷面の中央上部に汚れやしみがある。	用紙が厚すぎないか、カールしていないか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：使用可能な印刷用紙について
印刷が汚れたりインクがにじんで見える。	推奨されている種類の用紙を使用しているか確認してください。インクが乾くまで用紙に触らないでください。 「関連情報」をご覧ください：使用可能な印刷用紙について
	用紙が印刷したい面を下にしてトレイにセットされているか確認してください。
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
	写真用紙を使用している場合、光沢面を下にしてトレイにセットされているか、正しい用紙タイプを設定しているか確認してください。パソコンから写真を印刷する場合は、プリンタードライバーまたは印刷に使用するアプリケーションで用紙種類を設定します。
写真光沢紙を使うとインクがにじんだり乾きにくい。	用紙の表裏を確認してください。光沢面（印刷したい面）を下にしてセットしてください。 「関連情報」をご覧ください： 用紙サイズと用紙タイプを変更する
	写真光沢紙を使用している場合は、用紙タイプの設定が正しいか確認してください。
裏面やページの下部にしみがつく。	プラテンがインクで汚れていないか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：本製品のプラテンを清掃する
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
	排紙ストッパーを使用しているか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	排紙ローラーがインクで汚れていないか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：排紙ローラーを清掃する
印刷された用紙がしわになる。	（Windows）

問題	対応
	プリンタードライバーで**拡張機能**タブを選択し、**その他特殊機能**をクリックして**カラー詳細設定**をクリックします。**双方向印刷**チェックボックスの選択を外します。
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
自動両面印刷のとき、用紙の裏面が汚れる。	(Windows) プリンタードライバーのプロパティーまたは詳細設定で用紙汚れの低減オプションを変更します。 「関連情報」をご覧ください：にじみや紙詰まりを防ぐ（*Windows*）

用紙の取り扱いの問題

問題	対応
製品に用紙が送り込まれていかない。	用紙トレイが、固定される位置までしっかり押し込まれていることを確認します。
	本製品背面の紙詰まり解除カバーが閉まっていることを確認します。
	本製品の画面に用紙詰まりメッセージが表示され、解決できない場合は、「関連情報」をご覧ください： エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
	用紙トレイが空の場合は、新しい用紙の束を用紙トレイにセットします。
	用紙トレイに紙が残っている場合は、曲がっていないか確認します。用紙がカールしている場合は、まっすぐな状態に伸ばします。用紙の束を取り出し、裏表を逆にしてから用紙トレイへ戻すと問題が解決する場合があります。
	用紙トレイにある用紙の量を減らし、再度印刷してください。
	給紙ローラーを掃除してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙トレイ*#1* の給紙ローラーを清掃するまたは、用紙トレイ*#2* の給紙ローラーを清掃する
	本製品の仕様に合った用紙が使われていることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください： 用紙トレイにセットできる用紙の容量
写真用紙がうまく給紙されない。	写真用紙に印刷するときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多く用紙トレイにセットしてください。
用紙が複数枚送り込まれる。	• 用紙トレイに用紙が正しくセットされているか確認してください。 • トレイからすべての用紙を取り出し、用紙をよくさばいてからトレイに入れ直してください。 • 用紙を押し込みすぎないでください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	紙詰まり解除カバーが正しく閉まっているか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは
	用紙トレイにあるベースパッドが汚れていないか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：ベースパッドを清掃する
用紙が詰まる。	「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。
	紙詰まり防止の設定を使用してください。 コピーの場合： 「関連情報」をご覧ください：印刷オプションを変更して印刷結果を改善する 印刷の場合： 「関連情報」をご覧ください：印刷オプションを変更して印刷結果を改善する 「関連情報」をご覧ください：にじみや紙詰まりを防ぐ（*Windows*）
両面印刷時に紙詰まりが発生する。	両面印刷中に紙詰まりが頻発する場合は、排紙ローラーがインクで汚れている可能性があります。排紙ローラーを清掃します。 「関連情報」をご覧ください：排紙ローラーを清掃する

受信したファクスの印刷（MFC モデル）

問題	対応
• 偏って印刷される。 • 横筋が入る。 • 上部と下部の文字が切れている。 • 印刷されない行がある。	この問題は通常、電話回線の状況がよくないために起こります。コピーをしてみて品質に問題がなければ、電話回線に障害や干渉など接続に問題が起きている可能性があります。相手に、ファクスの再送信を依頼してください。
受信した用紙に黒い線が現れる。	送信者のファクス機の読み取り部分が汚れています。送信者にコピーをするように依頼して、送信者のファクス機に問題がないかどうか確認します。 他のファクス機から送信してもらうように依頼してください。
左右の余白が切れたり、1 つのページが 2 枚の用紙に印刷されています。	受信ファクスが分割されて、2 ページに分かれて印刷される場合、または余分な空白ページが出力される場合は、使用している用紙に対して、用紙サイズ設定が正しくない可能性があります。 「関連情報」をご覧ください：用紙サイズと用紙タイプを変更する
	自動縮小機能をオンにします。 「関連情報」をご覧ください：サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する
受信したカラーファクスがモノクロでしか印刷されない。	残り少なくなっているカラーインクカートリッジを交換し、送信者にカラーファクスを再度送信してもらうよう依頼してください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する

関連情報

- 本製品に問題がある場合は

関連トピック：

- トラブルシューティング
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- インクカートリッジを交換する
- 印刷できない範囲
- 印刷品質をチェックする
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- 使用可能な印刷用紙について
- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）
- 罫線ずれ、文字ぶれを改善する
- 用紙のセット
- 本製品のプラテンを清掃する
- 排紙ローラーを清掃する
- 用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する
- 用紙が詰まったときは
- サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する
- 印刷設定（Windows）
- にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows）
- ベースパッドを清掃する
- 印刷オプションを変更して印刷結果を改善する
- 印刷音を軽減する
- 用紙送りを調整して縦線をなくす
- Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする
- 用紙トレイにセットできる用紙の容量

- 用紙トレイ#2 の給紙ローラーを清掃する

電話とファクスの問題

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

>> 電話回線や接続
>> 電話の取り扱い（MFC-J4440N/MFC-J4540N）
>> 電話の取り扱い（MFC-J4940DN）
>> ファクス受信
>> ファクス送信

電話回線や接続

問題	対応
電話発信できない。（ダイヤルトーン（ツーという音）が聞こえない）	すべての回線接続を確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE または回線と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。
	電話回線の状態を確認してください。 「関連情報」をご覧ください： 現在の電話回線状態を確認する
	プッシュ回線／ダイヤル回線を変更します。 「関連情報」をご覧ください：プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する
	ダイヤルトーンが聞こえない場合、別の使用可能な電話機と電話機コードを、 差し込み口に接続します。その後、接続した電話の受話器を取り、ダイヤルトーンが聞こえるかどうか確認します。これでもダイヤルトーンが聞こえない場合、電話会社に問い合わせて、回線および／または壁側の差し込み口を調べてもらいます。
着信音がなっても製品が応答しない。	本製品の設定で、正しい受信モードになっていることを確認します。 「関連情報」をご覧ください：正しい受信モードを選択する ダイヤルトーンを確認します。可能であれば、本製品に電話をかけ、応答するかどうか確認します。それでも応答がない場合、電話機コードが壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE または回線と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。本製品に電話をかけても着信音が鳴らない場合、電話会社に問い合わせて回線を調べてもらいます。
ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。

電話の取り扱い（MFC-J4440N/MFC-J4540N）

問題	対応
電話を受けたときにすぐ電話が切れてしまう。	電話会社のナンバーディスプレイサービスを契約している場合、本製品での設定も必要です。 「関連情報」をご覧ください： ナンバーディスプレイを利用する
電話番号が本製品に表示されない。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 「関連情報」をご覧ください： ナンバーディスプレイを利用する
	電話機コードをブランチ接続（並列接続）にしていないか確認してください。正しい接続については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

電話の取り扱い（MFC-J4940DN）

問題	対応
電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP 電話などの IP 網を使用している場合）	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。

問題	対応
特定の番号だけつながらない。(ひかり電話の場合)	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	以下のように登録をしてください。 (A)「186」または「184」を付ける場合 同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。 (B) 構内交換機（PBX）で“0”発信の場合 “0”のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。 (C) 国際電話の場合 国番号のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。 • 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合 010+ 国番号+ ポーズ+ 市外局番+ 電話番号 • 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合 （国際電話サービス会社指定の番号）+010+国番号+ ポーズ+ 市外局番+ 電話番号 ※入力したポーズは「p」と表示されます。
電話がかかってきても応答しない/着信音が鳴らない。	呼出ベル回数を確認してください。 「関連情報」をご覧ください： 呼出ベル回数を設定する
	構内交換機(PBX)に接続している場合は、［ナンバーディスプレイ］の設定を［なし］にしてください。 「関連情報」をご覧ください：ナンバーディスプレイを利用する
	おやすみタイマーの開始/ 終了時刻を変更してください。または、おやすみモードを解除してください。 「関連情報」をご覧ください：おやすみモードを設定する
子機が動作しない/子機の着信音が鳴らない。	バッテリーのコネクタを正しく接続してください。 「関連情報」をご覧ください： 子機のバッテリーを交換する
	着信音量を【■□□□】以上に設定してください。 「関連情報」をご覧ください：子機の音量を設定する
	親機の呼出ベル回数を 2 回以上に設定してください。子機は親機よりも遅れて着信音が鳴り始める場合があります。
	着信音が鳴る範囲まで、子機を親機に近づけてください。
	子機を雑音の原因となる電気製品などから離してください。
	親機や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
電話を受けたときにすぐ電話が切れてしまう。	電話会社のナンバーディスプレイサービスを契約している場合、本製品での設定も必要です。 「関連情報」をご覧ください：ナンバーディスプレイを利用する
電話番号が本製品に表示されない。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 「関連情報」をご覧ください：ナンバーディスプレイを利用する
	電話機コードをブランチ接続（並列接続）にしていないか確認してください。正しい接続については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
ナンバーディスプレイ機能が動作しない。(ひかり電話の場合)	VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
非通知の相手からの着信ができない。(ひかり電話の場合)	
雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	電話機コードをブランチ接続（並列接続）にしていないか確認してください。正しい接続については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

問題	対応
通話状態がよくない • 声が途切れる • 通話が切れる • 雑音が入りやすい	インターネット電話や IP 電話など、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	無線機器や電気製品を本製品や子機から遠ざけてください。
	親機や子機の置き場所や向きを変えてみてください。
	親機のアンテナを立てたり、向きを調節してみてください。
	親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
	通話中に子機の受話音量を下げてください。 「関連情報」をご覧ください：子機の音量を設定する
	子機の通話音質の設定を変更してみてください。設定値を小さくすると、相手にこちらの声が聞こえやすくなります。双方の聞こえ方を試しながら調整してください。 「関連情報」をご覧ください：子機の通話音質を調整する
子機の外線やスピーカーホンを押すと、「ピッピッピッ」と鳴る。	親機や他の子機が使用中です。使い終わるのを待ってください。
	通話できる位置まで移動してください。
子機で通話中に警告音（ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ）が鳴る。	バッテリーが少なくなっています。通話を終了して子機を充電器に戻してください。
子機を充電器に置いても［充電中］と表示されない。	画面が正面に見える方向に、子機を置いてください。
	新しいバッテリーは充電されていないことがあります。その場合は、子機を充電器に置いて約 2 分後に［充電中］と表示されます。そのまま約 12 時間充電をしてください。
子機を充電できない。 子機の電源が入らない。 子機に何も表示されない。	バッテリーを入れ直して、充電器にセットしてください。 • 画面に文字が表示される場合 ご購入後 1 年以上経過していればバッテリーの寿命だと思われます。新しいバッテリーに交換してください。 「関連情報」をご覧ください： 子機のバッテリーを交換する • 画面に何も表示されない場合 バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、充電器の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
外出先からのリモコン機能の操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）の出せる電話機からかけ直してください。
メッセージが録音できない。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。

ファクス受信

問題	対応
ファクスを受信できない。	すべての回線接続を確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE または回線と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。
	（MFC-J4940DN） 受信操作を行う前に子機を充電器に戻していないか確認してください。 相手からかかってきた場合は、画面に［ﾌｧｸｽ受信を開始します］と表示されてから、こちらからかけた場合は、［ファクス送受信］>［受信］の順に押してから、子機を充電器に戻してください。

問題	対応
	「関連情報」をご覧ください：電話に出てから受ける（手動受信）
	電話回線の状態を確認してください。 「関連情報」をご覧ください： 現在の電話回線状態を確認する
	（MFC-J4440N/MFC-J4540N） 本製品が適切な受信モードになっていることを確認します。 「関連情報」をご覧ください：正しい受信モードを選択する • 専用ファクス回線をお持ちで、本ブラザー製品に全てのファクスに自動的に応答させたい場合は、ファクス専用モードを選択する必要があります。 • 本ブラザー製品に外付け留守番電話機を接続している場合は、留守=外付け留守電モードを選択する必要があります。留守=外付け留守電モードでは、本ブラザー製品が自動的にファクスを受信し、音声通話者は留守番電話機にメッセージを残すことができます。 • 本ブラザー製品に外付け電話を接続し、全てのファクスを本製品で自動受信させたい場合は、F/T=自動切換えモードを選択します。F/T=自動切換えモードでは、本製品は自動的にファクスを受信し、再呼出ベル音を鳴らして、ユーザーに音声通話に応答するよう知らせます。 • 本ブラザー製品が受信ファクスに自動的に応答しないようにするには、TEL=電話モードに設定する必要があります。TEL=電話モードでは、お客様がすべての着信に応答し、本製品を手動で操作してファクスを受信する必要があります。
	（MFC-J4940DN） 在宅モードのときは呼出ベル回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼出ベル回数を 2 回以下に設定してください。 「関連情報」をご覧ください： 呼出ベル回数を設定する または、［ﾌｧｸｽ受信］を選択して手動で受信してください。 「関連情報」をご覧ください：電話に出てから受ける（手動受信）
	通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスを送受信する場合は、安心通信モードの設定を変更してみてください。 「関連情報」をご覧ください：安心通信モードを設定する
	本製品を PBX（構内交換機）または ISDN などの回線に接続している場合、電話回線種類のメニューで、お使いの電話回線を指定します。 「関連情報」をご覧ください：電話回線タイプを設定する
	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。

ファクス送信

問題	対応
ファクスを送信できない。	すべての回線接続を確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE または回線と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。
	（MFC-J4940DN） 送信操作を行う前に子機を充電器に戻していないか確認してください。 こちらからかけた場合は、［ファクス送受信］>［送信］の順に押してから、子機を充電器に戻してください。 「関連情報」をご覧ください：子機で話をしてから送る
	電話回線の状態を確認してください。 「関連情報」をご覧ください： 現在の電話回線状態を確認する
	送信結果レポートを印刷し、エラーについて確認します。 「関連情報」をご覧ください：レポートを印刷する
	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティー機能ロックの設定値を確認します。

問題	対応
	送信相手のファクス機に用紙がセットされていることを確認します。
送信結果が良くない。	解像度設定を、ファインまたはスーパーファインに変更してみてください。コピーをして本製品の読み取り動作を確認します。コピー品質が良くない場合、スキャナーを清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する
送信結果レポートに「結果：エラー」と表示される。	回線上の一時的なノイズや雑音が原因の場合があります。もう一度ファクスを送信してみてください。PC-FAX でファクスを送信し、送信結果レポートに「結果：エラー」と出力された場合、本製品のメモリーが不足している可能性があります。 メモリーの空き容量を確保するには、ファクスをメモリーに保存する設定をオフにする、メモリー内のファクスを印刷する、またはタイマー送信をキャンセルしてください。 問題が解決しない場合は、電話会社に問い合わせて、お使いの電話回線を確認します。 「関連情報」をご覧ください： メモリー受信をオフにする 「関連情報」をご覧ください：本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する 「関連情報」をご覧ください：ファクス送信をキャンセルする 「関連情報」をご覧ください：送信待ちファクスを確認、キャンセルする
	本製品を PBX（構内交換機）や ISDN 回線に接続している場合、設定メニューで電話回線種別をお使いの電話回線に合わせてください。 「関連情報」をご覧ください：電話回線タイプを設定する
	通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスを送受信する場合は、安心通信モードの設定を変更してみてください。 「関連情報」をご覧ください：安心通信モードを設定する
送信したファクスが白紙になる。	送信する原稿を必ず正しくセットしてください。 「関連情報」をご覧ください：自動原稿送り装置（*ADF*）に原稿をセットする 「関連情報」をご覧ください：原稿台ガラスに原稿をセットする
送信ファクスに黒い縦線が入る。	送信ファクスに現れる黒い縦線の多くは、ADF 読み取り部の汚れまたは、修正液が原因で発生します。ADF 読み取り部を掃除してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する

関連情報

- 本製品に問題がある場合は
  - 電話回線タイプを設定する
  - ダイヤルトーン検出を設定する
  - 安心通信モードを設定する
  - 現在の電話回線状態を確認する
  - 子機の通話音質を調整する

関連トピック：

- トラブルシューティング
- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する
- 正しい受信モードを選択する
- 親切受信を設定する
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- レポートを印刷する
- スキャナーを清掃する
- メモリー受信をオフにする
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
- ファクス送信をキャンセルする

- 送信待ちファクスを確認、キャンセルする
- 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- 呼出ベル回数を設定する
- 子機のバッテリーを交換する
- ナンバーディスプレイを利用する
- おやすみモードを設定する
- 子機の音量を設定する
- 電話に出てから受ける（手動受信）
- 子機で話をしてから送る

電話回線タイプを設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクス送受信用に PBX、ひかりまたは ISDN の回線を本製品に接続する場合、お使いの回線に合わせて電話回線種類を選択します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [特別回線対応]を押します。
2. [一般]、[PBX]、または[光・ISDN]を押します。

[PBX]に設定すると、ナンバーディスプレイの設定が無効になります。[ナンバーディスプレイ]の設定を[あり]にするときは、[特別回線対応]の設定を[一般]にしてください。

3. を押します。

関連情報

- 電話とファクスの問題

ダイヤルトーン検出を設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

話し中や番号間違いでないのに、ファクスが送信できない場合は、ダイヤルトーンの設定を変更することで、改善される可能性があります。

[検知する]に設定している場合、使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、発信できなくなる場合があります。その場合は[検知しない]に設定してください。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [ダイヤルトーン設定]を押します。
2. [検知する]または[検知しない]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 電話とファクスの問題

安心通信モードを設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、[安心通信モード]の設定を変えます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [安心通信モード]を押します。
2. [安心(VoIP)]を押します。
   設定を戻すときは、[高速]（MFC-J4440N/MFC-J4540N）または[標準]を選びます。

- [安心(VoIP)]に設定すると、カラーファクスの受信ができません。カラーファクスを受け取る機会が多い場合は、[標準]に設定してください。
- 送受信時間は[高速]（MFC-J4440N/MFC-J4540N）、[標準]、[安心(VoIP)]の順で遅くなりますが 、[標準]または[安心(VoIP)]に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。[標準]、[安心(VoIP)]の順にお試しください。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを 4 つ）を付けておかけください。この場合、通信料金は NTT などのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。

3. を押します。

関連情報

- 電話とファクスの問題

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

現在の電話回線状態を確認する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

現在の回線状態を診断し、結果を印刷することができます。

1. 用紙をセットします。
2. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [電話回線診断] を押します。
3. [はい] を押します。
   回線診断が始まります。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

関連情報

- 電話とファクスの問題

子機の通話音質を調整する

関連モデル: MFC-J4940DN

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整の設定を変更することで改善されることがあります。

1. 機能 確定を押します。
2. で［通話音質］を選び、機能 確定を押します。
3. で現在とは異なる設定値を選び、機能 確定を押します。

［音質設定 1］、［音質設定 2］、［音質設定 3］、［音質設定 4］の順にお試しください。

［音質設定 1］→［音質設定 2］→［音質設定 3］→［音質設定 4］へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声がはっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感じることがあります。

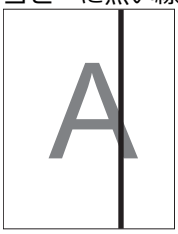
関連情報

- 電話とファクスの問題

その他の問題

>> コピーの問題
>> スキャンの問題
>> ダイレクトプリントの問題
>> ソフトウェアの問題

コピーの問題

問題	対応
コピーできない。	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティー機能ロックの設定値を確認します。
コピーに黒い線や筋が入る。 	コピーの黒い線の多くは、読み取り部の汚れや修正液によって起こります。読み取り部、原稿台ガラス、白色の部分、上部の白いプラスチック面を清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する
コピーに黒いしみや汚れがつく。	コピーの黒いしみや汚れの多くは、原稿台ガラスの汚れや修正液によって起こります。原稿台ガラスと上部の白いプラスチック面を清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する
コピーが白紙のまま出てくる。	原稿を必ず正しくセットしてください。 「関連情報」をご覧ください：自動原稿送り装置（*ADF*）に原稿をセットする 「関連情報」をご覧ください：原稿台ガラスに原稿をセットする
ADF(自動原稿送り装置)を使うとコピー結果が良くない。	原稿台ガラスの使用をお試しください。 「関連情報」をご覧ください：原稿台ガラスに原稿をセットする
用紙に合わせる機能が働かない。	原稿台ガラスに置いた原稿が傾いていないか確認してください。原稿をセットし直して、再度操作してください。
両面コピーのとき、用紙の裏面が汚れる。	印刷オプションを変更してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷オプションを変更して印刷結果を改善する

スキャンの問題

問題	対応
スキャン開始時に TWAIN エラーや WIA エラーが表示される。（Windows）	ブラザーの TWAIN または WIA ドライバーが、お使いのスキャンアプリケーションで選択されていることを確認してください。例えば、Nuance™ PaperPort™ 14SE で、**デスクトップ** > **スキャン設定** > **選択**をクリックしてブラザー TWAIN/WIA ドライバーを選択します。
OCR が動作していません。	スキャン解像度を上げてください。
ADF(自動原稿送り装置)を使うとスキャン結果が良くない。（スキャンしたデータに黒い線が入る。）	ADF 読み取り部と白色の部分を清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する
	原稿台ガラスの使用をお試しください。 「関連情報」をご覧ください：原稿台ガラスに原稿をセットする

ダイレクトプリントの問題

問題	対応
印刷した写真の一部が欠けている。	ふちなし印刷および画像トリミングがオフになっていることを確認してください。

問題	対応
	「関連情報」をご覧ください：*USB* フラッシュメモリーからふちなし印刷を行う 「関連情報」をご覧ください：画像トリミングして印刷する

ソフトウェアの問題

問題	対応
印刷できない。	ドライバー（Windows）とブラザーソフトウェアをアンインストールし、両方の最新バージョンを再インストールします。
パソコン画面に「本製品が動作中です。」と表示される。	本製品の画面にエラーメッセージがないか確認してください。

関連情報

- 本製品に問題がある場合は

関連トピック：

- トラブルシューティング
- スキャナーを清掃する
- 用紙送りを調整して縦線をなくす
- 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- USB フラッシュメモリーからふちなし印刷を行う
- 画像トリミングして印刷する
- 印刷オプションを変更して印刷結果を改善する

ネットワークの問題

- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）
- 本製品のネットワーク設定を確認する
- 本製品のネットワークに問題がある場合
- トラブルシューティング

ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）

ネットワーク診断修復ツールを使用して、本製品のネットワーク設定を修正してください。これにより IP アドレスとサブネットマスクの割り当てが行われます。

本製品の電源がオンになっており、パソコンと同じネットワークに接続されていることを確認してください。

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**ネットワーク診断修復ツール**をクリックします。
3. 画面の指示に従います。
4. ネットワーク設定リストを印刷し、診断結果を確認します。

ステータスモニターで**接続状態を常に監視する**オプションを選択した場合、 ネットワーク診断修復ツールが自動的に開始します。ステータスモニターを右クリックし、**その他の設定** > **接続状態を常に監視する**をクリックします。ネットワーク管理者が IP アドレスを「Static」に設定している場合は、IP アドレスが自動的に変更されるため推奨しません。

ネットワーク診断修復ツールを使用しても正しい IP アドレスとサブネットマスクが割り当てられない場合は、ネットワーク管理者にこれらの設定値をお問い合わせください。

関連情報

- ネットワークの問題

関連トピック：

- 本製品のネットワークに問題がある場合
- ネットワーク設定リストを印刷する

本製品のネットワーク設定を確認する

- ネットワーク設定リストを印刷する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

本製品のネットワークに問題がある場合

技術的なサポートについては、ブラザーコールセンターへお問い合わせください。

本製品に問題があると思われる場合は、以下の項目を確認してください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

さらにヘルプが必要な場合は、support.brother.co.jp で**よくあるご質問 (Q&A)**ページに移動してください。

>> 無線ネットワーク設定を完了できません
>> 本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません
>> 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

無線ネットワーク設定を完了できません

無線 LAN アクセスポイント/ルーターの電源を切って、電源を入れ直してください。その後で、再度、無線設定を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、次の手順に従ってください。

無線 LAN レポートで問題について調べます。

原因	対処方法	インターフェイス
セキュリティの設定（SSID/ネットワークキー）が正しくありません。	• **無線 LAN 情報確認ツール**を使用して、セキュリティーの設定を確認します。ユーティリティの詳細とダウンロードについては、support.brother.co.jp で、本モデルの**ソフトウェアダウンロード**ページを参照してください。 • セキュリティ設定が正しいことを確認します。 - セキュリティ設定については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。 - セキュリティの初期設定に、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの製造元の名前やモデル番号が使用されている可能性があります。 - アクセスポイント/ルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者に問い合わせてください。	無線 LAN
本製品の MAC アドレスが許可されていません。	本製品の MAC アドレスがフィルターで許可されていることを確認してください。MAC アドレスは、本製品の操作パネルで確認できます。	無線 LAN
無線 LAN アクセスポイント／ルーターがステルスモードです（SSID の隠ぺいが有効になっています）。	• 正しい SSID 名またはネットワークキーを手動で入力します。 • 無線 LAN アクセスポイント／ルーターの取扱説明書に記載されている SSID 名やネットワークキーを確認し、無線ネットワークを再設定します。	無線 LAN
セキュリティ設定（SSID／パスワード）に誤りがあります。	• SSID とパスワードを確認します。 - ネットワークを手動で設定する際、本製品の操作パネルに SSID とパスワードが表示されます。お使いの携帯端末が手動設定に対応している場合は、お使いの携帯端末の画面に SSID とパスワードが表示されます。	Wi-Fi Direct
Android™ 4.0 を使用しています。	携帯端末の接続が切断された場合（Wi-Fi Direct を使用してから約 6 分後）、WPS（推奨）を使ったワンプッシュ設定を試み、本製品をグループオーナーとして設定してください。	Wi-Fi Direct
本製品がお使いの携帯端末から離れすぎています。	本製品を携帯端末の約 1 メートル以内に近づけて、Wi-Fi Direct 接続の設定を行います。	Wi-Fi Direct
本製品と携帯端末の間に、障害物（壁や家具など）がありませんか？	本製品を障害物のない場所へ移動してください。	Wi-Fi Direct
本製品または携帯端末の近くに、無線パソコン、	他の機器を、本製品または携帯端末から離れた場所に移動します。	Wi-Fi Direct

原因	対処方法	インターフェイス
Bluetooth®対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。		
上記をすべて確認した後も、Wi-Fi Direct の設定ができない場合：	• 本製品の電源を一度切ってから、再度、入れ直します。その後で、再度 Wi-Fi Direct の設定を行ってください。 • 本製品をクライアントとして使用している場合、現在の Wi-Fi Direct 接続で許可されている機器の数と、接続されている機器の数を確認します。	Wi-Fi Direct

Windows の場合

無線接続が中断し、上記のすべてを確認して試した後でも問題が解決しない場合は、ネットワーク診断修復ツールを使用することをお勧めします。

本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません

原因	対処方法	インターフェイス
お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。（ネットワークスキャン機能が動作していません。）	• Windows ネットワークスキャンを許可するように、サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワークスキャンにポート 54925 を追加するには、以下の情報を入力します。 - **名前**: ブラザー NetScan など、説明を入力します。 - **ポート番号**: 54925 を入力します。 137 を入力します。 161 を入力します。 - **プロトコル**: UDP が選択されます。 サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。 • Mac （Brother iPrint&Scan） **Finder** メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、Brother iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。**製品を選択**ボタンをクリックし、画面の指示に従ってお使いのネットワーク機器を再度選択します。	有線/無線
お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。（ネットワーク PC-FAX 受信機能が動作していません。） （Windows）	PC-FAX 受信を許可するように、サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワーク PC-FAX 受信にポート 54926 を追加するには、以下の情報を入力します。 • **名前**: ブラザー PC-FAX Rx など、説明を入力します。 • **ポート番号**: 54926 を入力します。 • **プロトコル**: UDP が選択されます。 サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。	有線/無線

原因	対処方法	インターフェイス
お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。	正常にインストールできた場合でも、一部のセキュリティソフトウェアは、セキュリティ警告のダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックする場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。	有線/無線
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。	• IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのパソコンと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがいずれも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法についての詳細は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 • Windows ネットワーク診断修復ツールを使用して、IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 • Mac ping コマンドを使ってネットワーク機器を確認します。ネットワーク設定の確認方法に関する詳細は「関連情報」をご覧ください：ネットワーク機器を確認する	有線/無線
失敗した印刷ジョブが、パソコンの印刷キューに残っています。	• 失敗した印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除します。 • または、以下のフォルダーでプリンターアイコンをダブルクリックし、すべての文書をキャンセルします。 - Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。 - Windows 8.1 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。 - Windows Server 2012 R2 **スタート**画面で**コントロールパネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。 - Windows Server 2012 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示** > **プリンタ**をクリックします。 - Windows 7 **(スタート)** > **デバイスとプリンター**をクリックします。 - Windows Server 2008 **スタート** > **コントロール パネル** > **プリンタ**をクリックします。 - Mac **システム環境設定** > **プリンタとスキャナ**をクリックします。	有線/無線
お使いのブラザー製品は無線ネットワークに接続されていません。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。	無線 LAN

上記のすべての対応を確認して試しても、本製品で印刷およびスキャンができない場合、ドライバー（Windows）とブラザーソフトウェアをアンインストールし、最新バージョンを再インストールしてください。

使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

確認	対処方法	インターフェイス
本製品、アクセスポイント／ルーター、またはネットワークハブの電源が入っていることを確認します。	**次の点を確認してください。** • 電源コードが正しく接続され、本製品の電源が入っている。 • アクセスポイント/ルーターまたはハブの電源が入った状態で、リンクランプが点滅している。 • すべての保護用梱包材が本製品から取り除かれている。 • インクカートリッジが正しく取り付けられている。 • 本体カバーと紙詰まり解除カバーが完全に閉まっている。 • 用紙トレイに用紙が正しく挿入されている。 • （有線 LAN の場合）ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに確実に接続されている。	有線/無線
ping コマンドを使用してパソコンと本製品の接続を確認します。	Windows のコマンドプロンプトまたは Mac Terminal アプリケーションで、IP アドレスまたはノード名を使用して、パソコンから本製品に対して ping を実行します。 [<ipaddress>]または[<nodename>]を ping します。 • 成功：本製品は正しく動作していて、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されています。 • 失敗：本製品は、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されていません。 Windows： 管理者に IP アドレスとサブネットマスクを問い合わせてから、ネットワーク診断修復ツールを使用してください。 Mac： IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されていることを確認してください。	有線/無線
本製品が無線 LAN に接続されていることを確認します。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。	無線 LAN

上記の対策をすべて試みても問題が解決しない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターの説明書で SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）の情報を参照し、それらを正しく設定してください。

関連情報

- ネットワークの問題
  - ネットワーク機器を確認する

関連トピック：

- 無線 LAN レポートを印刷する
- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）
- 無線 LAN レポートのエラーコード
- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Direct®を使用する
- ネットワーク設定リストを印刷する

ネットワーク機器を確認する

お使いのパソコンと本製品の両方の IP アドレスを確かめ、ネットワークが正しく機能しているかどうかを確認します。

>> パソコンの IP アドレスを設定する(Windows)
>> パソコンの IP アドレスを設定する(Mac)
>> 本製品の IP アドレスを設定する

パソコンの IP アドレスを設定する(Windows)

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Windows システム ツール** > **コマンド プロンプト**をクリックします。
   - Windows 8.1

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**検索** > **コマンド プロンプト**をクリックします。
   - Windows 7

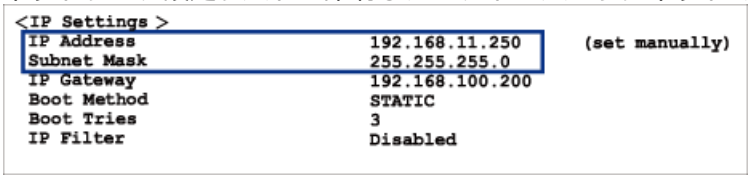
     (スタート) > **すべてのプログラム** > **アクセサリ** > **コマンド プロンプト**をクリックします。
2. "ipconfig"と入力し、キーボードの Enter キーを押します。
3. IPv4 アドレスとサブネットマスクの値を確認します。
4. "exit"と入力し、キーボードの Enter キーを押します。

パソコンの IP アドレスを設定する(Mac)

1. Apple メニューから**システム環境設定**を選択します。
2. **ネットワーク** > **詳細** > **TCP/IP** をクリックします。
3. IPv4 アドレスとサブネットマスクの値を確認します。

本製品の IP アドレスを設定する

ネットワーク設定リストを印刷し、IP アドレスとサブネットマスクの値を確認します。



パソコンと本製品の両方の IP アドレスを確認します。ネットワークアドレス部分が同一であることを確認します。例えば、サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、ホストアドレス部分のみが異なっていれば正常です。

	ネットワークアドレス	ホストアドレス	
IP アドレス	192.168.100.	250	サブネットマスクでは「0」に相当する最後の数字を、1-254 に設定します。
サブネットマスク	255.255.255.	0	通常、サブネットマスクが「255.255.255.0」であれば問題ありません。お使いのすべてのパソコンに同じ値を使用します。

関連情報

- 本製品のネットワークに問題がある場合

AirPrint の問題

問題	対応
本製品がプリンターリストに表示されません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	ネットワーク設定を確認します。
	携帯端末を無線 LAN アクセスポイント/ルーターまたは本製品に近づけてください。
印刷できません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	ネットワーク設定を確認します。
iOS 機器から複数のページを印刷しようとしても、最初のページしか印刷されません。	最新版の OS を使用していることを確認してください。

関連情報

- AirPrint
- 本製品に問題がある場合は

関連トピック：

- トラブルシューティング

本製品の情報を確認する

以下の指示に従って、本製品のシリアルナンバー、ファームウェアのバージョンとファームウェアの更新を確認してください。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［製品情報］を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
［シリアル No.］	製品のシリアルナンバーを確認します。
［ファームウェアバージョン］	製品のファームウェアバージョンを確認します。
［ファームウェア更新］	製品を最新のファームウェアに更新します。
［ファームウェア更新通知］	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
［印刷枚数表示］	製品が印刷した合計ページ数を確認します。

3. を押します。

関連情報

- トラブルシューティング

本製品を初期状態に戻す

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［初期設定］>［設定リセット］を押します。
2. 使用したいリセットのオプションを押します。
3. ［OK］を 2 秒以上押して本製品を再起動します。

関連情報

- トラブルシューティング
  - リセット機能の概要

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送

リセット機能の概要

以下のリセット機能があります。

1. ［機能設定リセット］
   変更したすべての設定をリセットできます。
   電話帳、ファクスレポート、および通信履歴は残ります。（MFC モデル）
2. ［ネットワーク設定リセット］
   パスワードや IP アドレス情報など、プリントサーバーをお買い上げ時の設定に戻します。
3. ［電話帳&ファクスリセット］（MFC モデル）
   電話帳&ファクスリセットでは、次の設定がリセットされます。
   - 電話帳とグループ登録
   - メモリーに予約されているファクスジョブ（MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN）
     タイマー送信ととりまとめ送信
   - 発信元登録
     名前と電話番号
   - メモリー受信オプション（MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN）
     ファクス転送
   - レポート
     送信結果レポート、電話帳リスト、および通信管理レポート
   - 履歴
     着信履歴と発信履歴
   - メモリー内のファクス
4. ［全設定リセット］
   本製品のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻すには、このリセット機能を使用します。
   本製品を廃棄するときにこの操作を実行することを強くお勧めします。

［ネットワーク設定リセット］または［全設定リセット］を選択する前に、インターフェイスケーブルを抜きます。

関連情報

- 本製品を初期状態に戻す

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送

本製品を廃却するときは

本製品を廃却する場合は、本製品に設定している内容など、保存されているすべての情報を消去し、お買い上げ時の状態に戻してください。「関連情報」をご覧ください。

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

（MFC-J4940DN）子機には充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれている電池は取り外して、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。貴重な資源を守るためにご協力ください。

- 事業所

  産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。
- 一般家庭

  小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者に引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

関連情報

- トラブルシューティング

子機のバッテリーを交換する

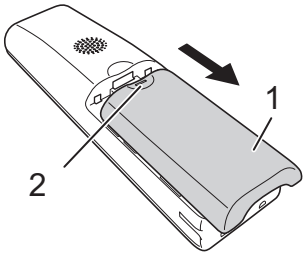
関連モデル: MFC-J4940DN

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。交換の目安は約 1 年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店もしくは弊社ダイレクトクラブでお買い求めください。

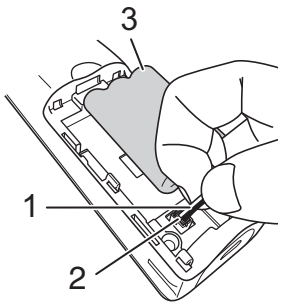
⚠ 注意

バッテリーは、誤った取り扱いをしないようご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

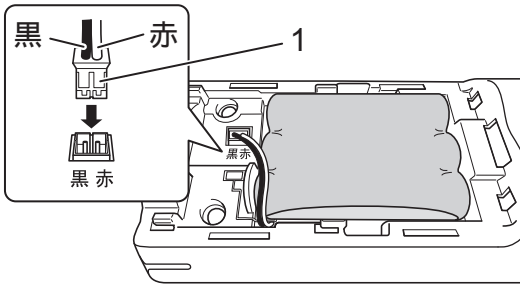
1. バッテリーカバー（1）を外します。
   バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。



2. バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を上に引き抜き、バッテリー（3）を取り出します。



3. 新しいバッテリーを子機に入れます。
4. バッテリーコードの黒/赤の方向が刻印に一致するように、コネクタ（1）を差し込みます。



5. バッテリーカバーを閉めます。
   コードをはさまないように注意してください。

バッテリーを交換したら、必ず 12 時間以上充電してください。

お願い

バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

- ビニールカバーは剥がさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

関連情報

- トラブルシューティング

日常のお手入れ

- インクカートリッジを交換する
- お使いのブラザー製品を清掃する
- お使いのブラザー製品を確認する
- 用紙送りを調整して縦線をなくす
- 印刷オプションを変更して印刷結果を改善する
- 製品を梱包して輸送する

インクカートリッジを交換する

本製品には、インクドットカウンター機能が搭載されています。インクドットカウンターは、各色のカートリッジのインク残量を自動でチェックします。インクカートリッジのインク残量が少なくなってきていることを検知すると、本製品はメッセージを表示します。

交換が必要なインクカートリッジが画面に表示されます。インクカートリッジ交換の際には、画面が指示する順番に従ってインクカートリッジを取り付けるようにしてください。

インクカートリッジを交換するように指示が出ても、インクカートリッジには少量のインクが残っています。

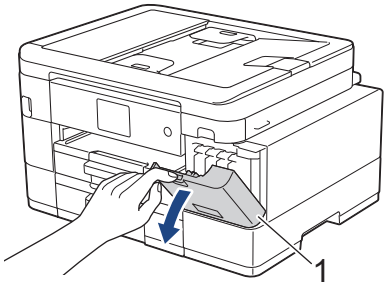
⚠ 注意

インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのままにしておくと、目の充血や軽度の炎症を引き起こすことがあります。異常がある場合は、医師にご相談ください。

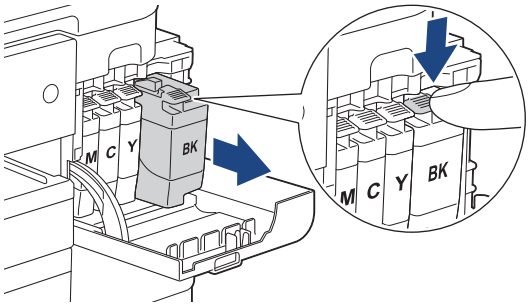
重要

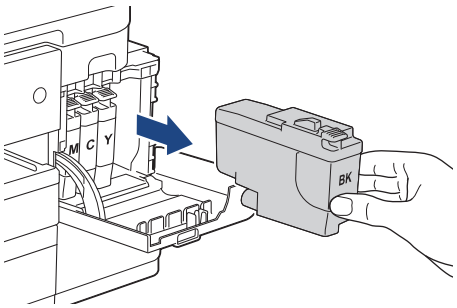
本製品付属のインクカートリッジにインクを補充して使わないでください。ブラザー純正インクカートリッジをお使いいただくことをお勧めします。純正以外のインクカートリッジをブラザー製品で使用すると、製品を損傷したり、印刷品質を低下させる原因に繋がる恐れがあります。純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。本ブラザー製品の最適な性能を維持するために、ブラザー純正インクカートリッジを使用することを強くお勧めします。

1. インクカバー（1）を開きます。



2. 画面に表示された色のインクカートリッジのリリースレバーを押して、図のように本製品からインクカートリッジを取り外します。

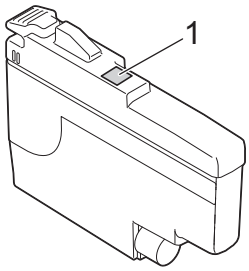




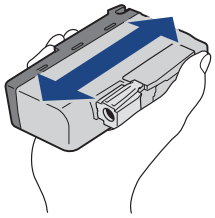
3. 画面に表示された色の新しいインクカートリッジの袋を開けて、インクカートリッジを取り出します。

重要

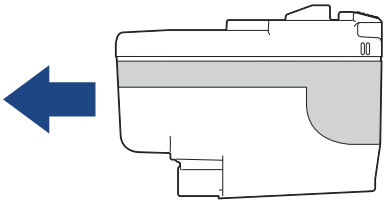
- インクカートリッジの基板 (1) に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。



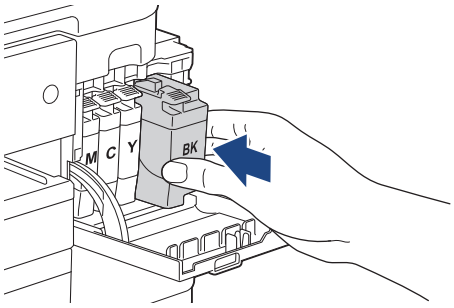
- **ブラック**のインクカートリッジのみ、本製品に挿入する前に、図のように水平方向にすばやく 15 回振ってください。



4. インクカートリッジのラベルに印刷された矢印の方向に、インクカートリッジを取り付けます。
   各色には、それぞれの取り付け位置が決められています。



5. インクカートリッジが止まるまで、「押」の部分をやさしく押し込み、インクカバーを閉じます。



インクドットカウンターがリセットされます。

インクカートリッジの装着後にインクカートリッジが検出されない場合は、インクカートリッジが正しく装着されているか確認してください。インクカートリッジを取り出して、所定の位置に固定されるまで、もう一度ゆっくり取り付けます。

重要

- インクカートリッジを本製品に装着した後は、カートリッジを振らないでください。インクが皮膚や衣服に付着したときは、すぐに石けんや洗浄剤で洗い流してください。
- 交換の必要がない限り、インクカートリッジを取り出さないでください。カートリッジのインク残量を検知できなくなります。
- インクカートリッジの挿入部スロットを触らないでください。インクが皮膚につく恐れがあります。

- インクカートリッジの取り付け位置を間違えて、インクの色を混合させた場合、画面に［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ の色が違います］と表示されます。

  間違った位置に挿入したインクカートリッジの色を確認し、正しい位置にセットし直してください。
- 未開封のインクカートリッジは、パッケージに記載されている使用期限内に使用してください。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。インクカートリッジからインクが漏れる原因となります。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）

また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/product/support_info/recycle/ink/index.htm

関連情報

- 日常のお手入れ

関連トピック：

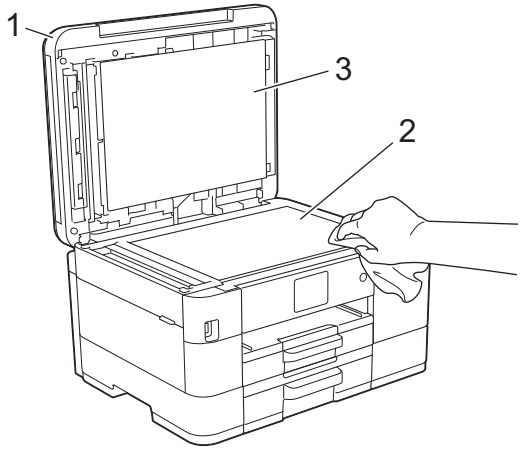
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 製品を梱包して輸送する

お使いのブラザー製品を清掃する

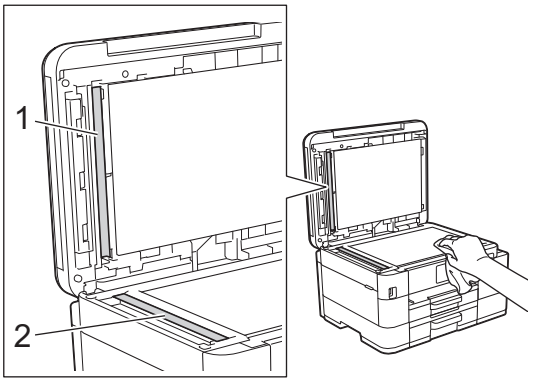
- スキャナーを清掃する
- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする
- パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）
- 本製品のタッチパネルを清掃する
- 本製品の外側を清掃する
- 本製品のプラテンを清掃する
- 排紙ローラーを清掃する
- ベースパッドを清掃する
- 用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する
- 用紙トレイ#2 の給紙ローラーを清掃する
- 子機／子機充電器を清掃する

スキャナーを清掃する

1. 製品のプラグを電源コンセントから抜きます。
2. 原稿台カバー（1）を持ち上げます。原稿台ガラス（2）と白いプラスチック部分（3）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。



3. ADF(自動原稿送り装置)の内部は、白色の部分（1）と ADF 読み取り部（2）を水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。



汚れやゴミが残っている場合は、再度ガラスを清掃してください。必要に応じて清掃作業を 3～4 回繰り返します。清掃が終わったら、テストコピーをします。

ADF 読み取り部に汚れや修正液が残っていると、印刷結果に縦線が表示されます。

ADF 読み取り部がきれいになると、縦線がなくなります。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

- 電話とファクスの問題
- その他の問題

本製品からプリントヘッドのクリーニングをする

印刷品質を良好に保つために、本製品は必要に応じてプリントヘッドを自動的にクリーニングします。印刷品質に問題がある場合は、手動でクリーニングを行うこともできます。

- 印刷されたページの文字や画像に横筋や空白が入る場合は、プリントヘッドのクリーニングをしてください。問題のある色によって、黒のみ、一度に三色（イエロー／シアン／マゼンタ）、または、一度に 4 色全てのクリーニングをするか選びます。
- プリントヘッドのクリーニングを行うと、インクを消耗します。

重要

プリントヘッドには触らないでください。プリントヘッドに触れると、回復不能な損傷につながり、保証が無効になる場合があります。

1. [インク] > [ヘッドクリーニング] を押します。
2. [ブラックのみ]、[カラーのみ]、または [全色] を押します。
3. [普通]、[強力]、または [超強力] を押します。
4. [スタート] を押します。
   プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

お願い

プリントヘッドを数回クリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、スペシャルクリーニングを試してください。スペシャルクリーニングでは、プリントヘッドを強力にクリーニングしますが、インクの消費量が最も多くなります。

1. [インク] > [ヘッドクリーニング] を押します。
2. を 5 秒間押します。
   本製品はクリーニングを開始します。

- スペシャルクリーニングでは、プリントヘッドのクリーニングに大量のインクが必要です。
- スペシャルクリーニングは、プリントヘッドを数回クリーニングしても、印刷品質が改善されなかった場合にのみ行ってください。
- プリントヘッドのクリーニングはパソコンからでも操作できます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）
- Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする

Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする

印刷品質を良好に保つために、本製品は必要に応じてプリントヘッドを自動的にクリーニングします。印刷品質に問題がある場合は、手動でクリーニングを行うこともできます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**基本設定** > **ヘッドクリーニング**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **普通**、**強力**、または**超強力**オプションを選択して、希望するクリーニング強度を選択します。**スペシャル**オプションでは、プリントヘッドを強力にクリーニングしますが、インクの消費量が最も多くなります。
6. **スタート** をクリックします。

- **スペシャル**オプションでは、プリントヘッドをクリーニングするために大量のインクが必要です。
- **スペシャル**オプションは、以前に**超強力**オプションを使用しても印刷品質が改善されなかった場合にのみ使用してください。

7. **はい** をクリックします。

   本製品はクリーニングを開始します。

（Windows）プリンタードライバーを使用してプリントヘッドをクリーニングすることもできます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）
- Web Based Management にアクセスする

パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）

印刷品質を良好に保つために、本製品は必要に応じてプリントヘッドを自動的にクリーニングします。印刷品質に問題がある場合は、手動でクリーニングを行うこともできます。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 の場合

     > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 8.1 の場合

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows Server 2012 R2 の場合

     スタート画面で**コントロールパネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows Server 2012 の場合：

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 7 および Windows Server 2008 R2 の場合：

     (スタート) > **デバイスとプリンター**をクリックします。
   - Windows Server 2008 の場合：

     (スタート) > **コントロール パネル** > **ハードウェアとサウンド** > **プリンタ**をクリックします。
2. **Brother XXX-XXXX Printer** アイコンを右クリックし（XXX-XXXX はお使いのモデル名）、**印刷設定**を選択します。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。

   プリンタードライバーのダイアログボックスが表示されます。
3. **メンテナンス**タブをクリックします。
4. 以下のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
印刷品質のチェック...	テスト印刷を行って印刷品質を確かめるときに使用します。
ヘッド クリーニング...	手動でクリーニング処理を開始するときに使用します。テストページの文字や画像の上に線または空白が表示される場合に選択します。

5. 以下のいずれかを行ってください：
   - **印刷品質のチェック...**を選択した場合、**スタート**をクリックします。

     本製品はテストページを印刷します。
   - **ヘッド クリーニング...**を選択した場合、クリーニングタイプから**ブラックのみ**、**カラーのみ**、または**全色**を選択し、**次へ**をクリックします。
6. クリーニングの強度から**普通**、**強力**、または**超強力**を選択し、**次へ**をクリックします。
7. **スタート**をクリックします。

   本製品はクリーニングを開始します。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

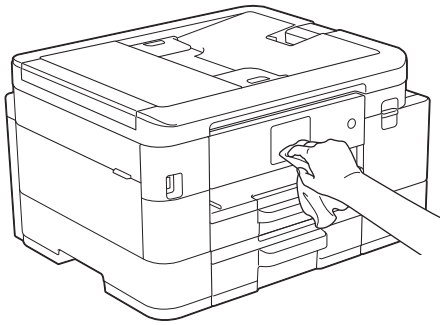
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする

本製品のタッチパネルを清掃する

重要

エタノールなど、液体クリーナーは絶対に使用しないでください。

1. を長押しして本製品の電源を切ります。画面に［電源をオフにします］と数秒間表示され、電源が切れます。
2. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で画面を拭きます。



関連情報

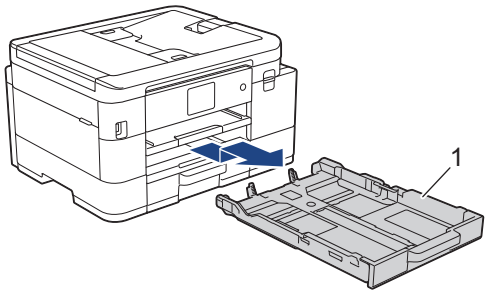
- お使いのブラザー製品を清掃する

本製品の外側を清掃する

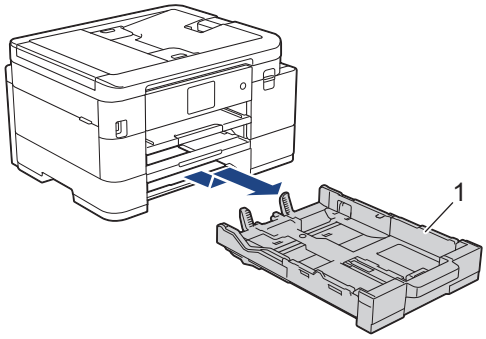
重要

- シンナーやベンジンなど揮発性の洗剤を使うと製品を傷つけるおそれがあります。
- アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。
- イソプロピルアルコールで操作パネルを拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。

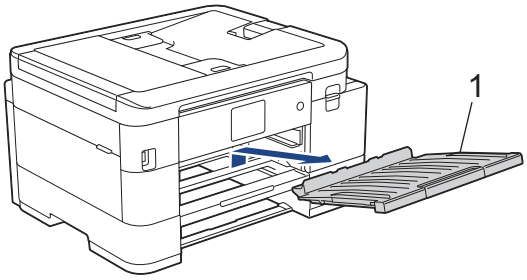
1. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
2. 矢印のように、用紙トレイ（1）を本製品から完全に引き出します。
   - 用紙トレイ#1



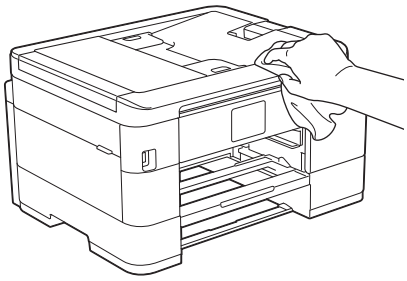
   - 用紙トレイ#2（MFC-J4540N）



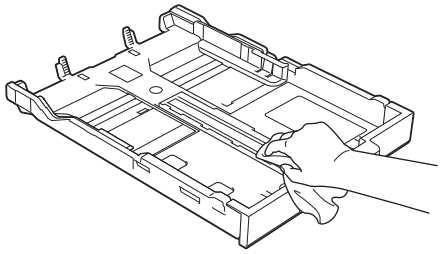
3. 排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように、本製品から引き出せる角度にして、引き出します。



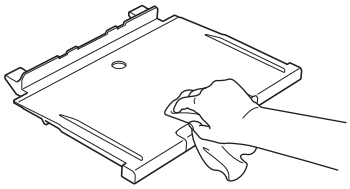
4. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で、本製品の外側を拭いてほこりを取り除きます。



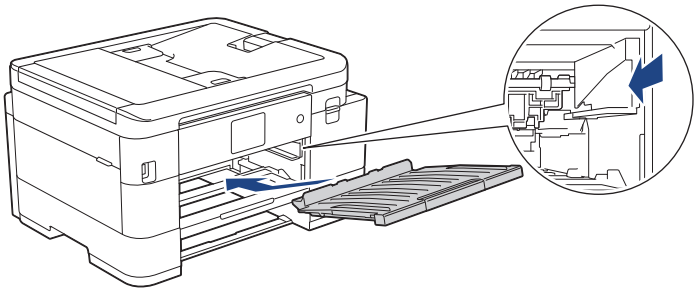
5. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で、用紙トレイの内側と外側を拭いてほこりを取り除きます。



6. 排紙トレイの外側を、乾いた柔らかくて繊維の出ない布で拭いてほこりを取り除きます。



7. 排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



8. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。

関連情報

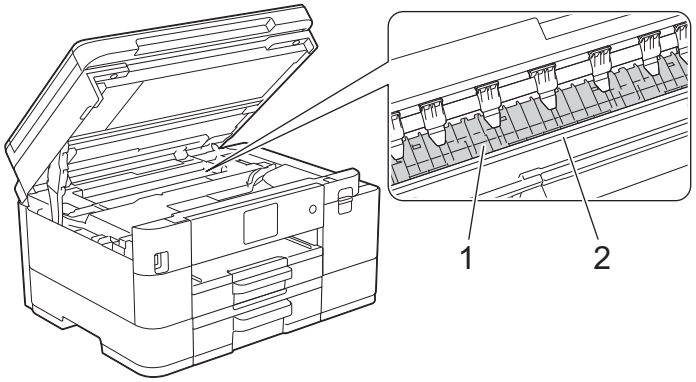
- お使いのブラザー製品を清掃する

本製品のプラテンを清掃する

⚠ 警告

感電する恐れがあるため、プラテンを清掃するときは必ず電源プラグを抜いてください。

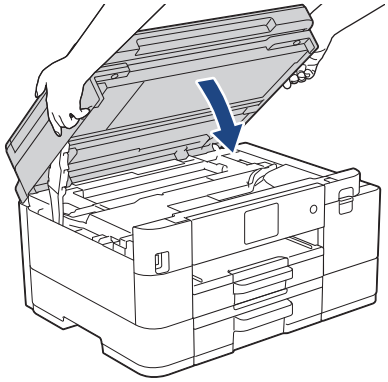
1. 製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、両手で本体カバーを開きます。
2. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布でプラテン（1）やその周辺に飛び散ったインクをふき取ります。



重要

エンコーダー（帯状の薄いプラスチックの部分（2））を触らないでください。本製品が破損する恐れがあります。

3. 両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じます。



4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

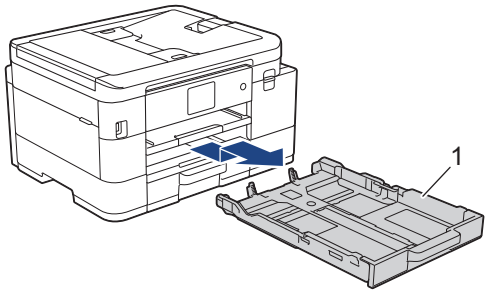
関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

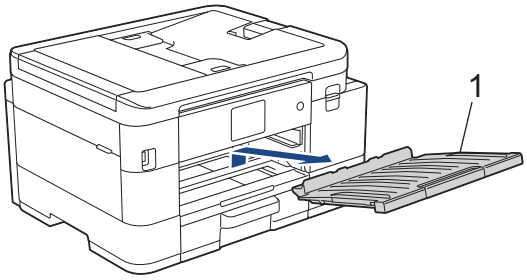
排紙ローラーを清掃する

排紙ローラーがインクで汚れていたり、紙粉がたまっていると、用紙送りトラブルを起こすおそれがあります。

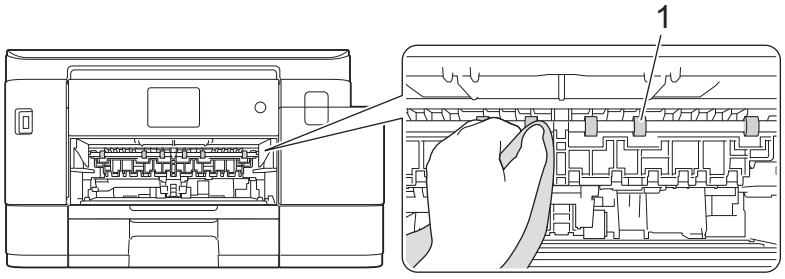
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
3. 用紙トレイ（1）を本製品から完全に引き出します。



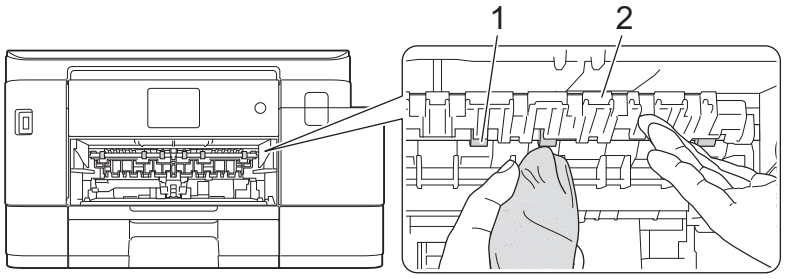
4. 排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように、本製品から引き出せる角度にして、引き出します。



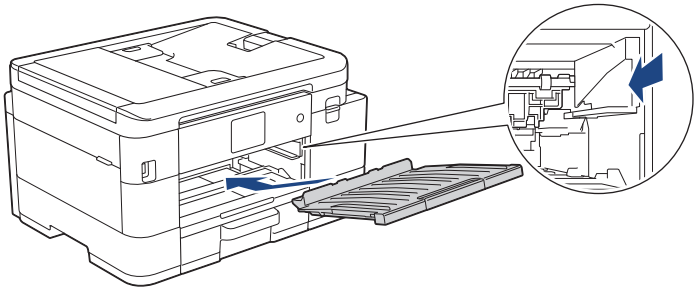
5. 水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、排紙ローラー（1）の前面を左右に拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



6. フラップ（2）を持ち上げ、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で排紙ローラー（1）の裏側を拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



7. 排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



8. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。
9. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

ローラーが乾くまで本製品を使用しないでください。ローラーが湿った状態で使用すると、給紙トラブルが起きるおそれがあります。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

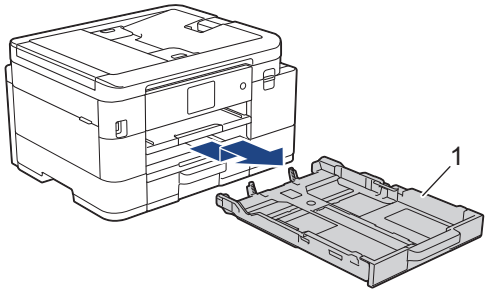
関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

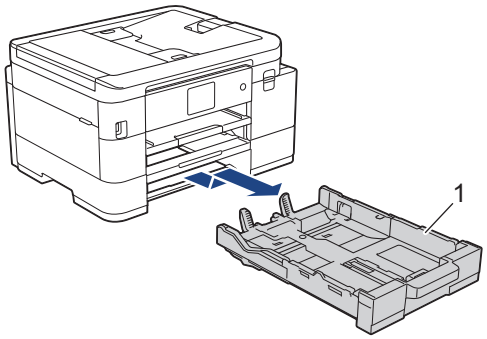
ベースパッドを清掃する

ベースパッドを定期的に清掃することで、トレイに用紙が数枚しか残っていない場合に、用紙が複数枚給紙されるのを防ぐことができます。

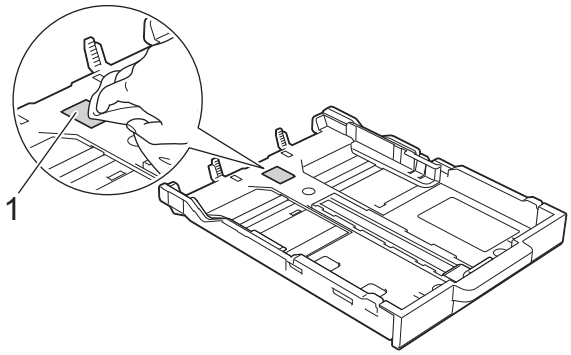
1. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
2. 矢印のように、用紙トレイ（1）を本製品から完全に引き出します。
   - 用紙トレイ#1



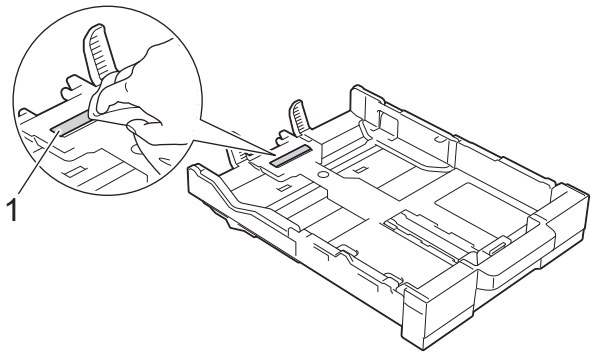
   - 用紙トレイ#2（MFC-J4540N）



3. ベースパッド（1）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。
   清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でパッドの水分を拭き取ってください。
   - 用紙トレイ#1



   - 用紙トレイ#2（MFC-J4540N）



4. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

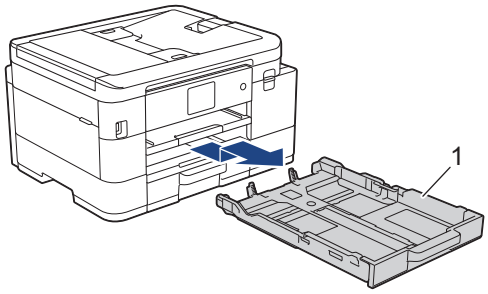
関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

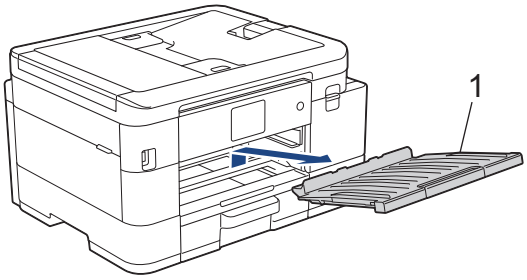
用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーの清掃を定期的に行うことで、給紙が適切に行われるようになり、紙詰まりを防ぎます。

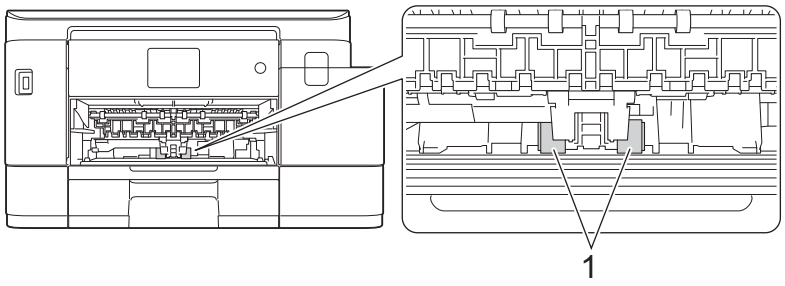
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
3. 矢印のように、用紙トレイ#1（1）を本製品から完全に引き出します。



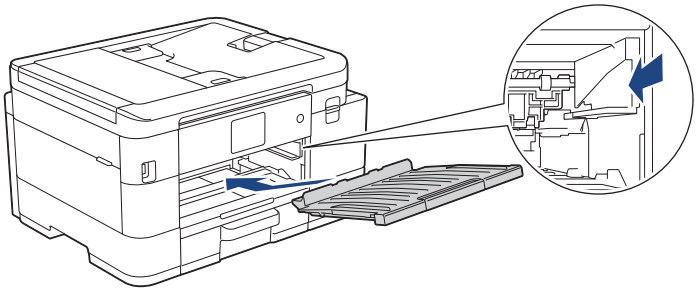
4. 排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように、本製品から引き出せる角度にして、引き出します。



5. 水にぬらして固く絞った、柔らかくて繊維の出ない布で、給紙ローラー（1）を拭きます。ゆっくりとローラーを回転させ、すべての面を拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



6. 排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



7. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。
8. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

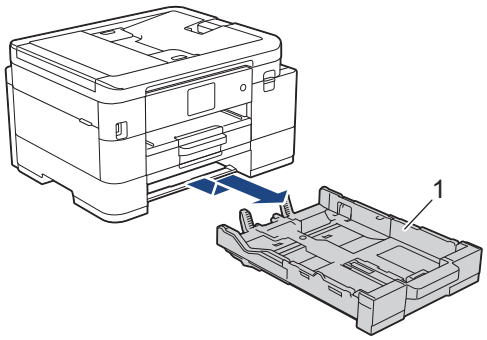
関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

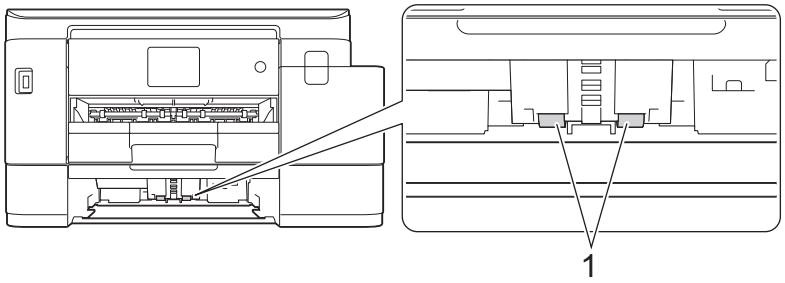
用紙トレイ#2 の給紙ローラーを清掃する

関連モデル: MFC-J4540N

1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
3. 矢印のように、用紙トレイ#2（1）を本製品から完全に引き出します。



4. 用紙トレイ#2 の給紙ローラー（1）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。ゆっくりとローラーを回転させ、すべての面を拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



5. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。
6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

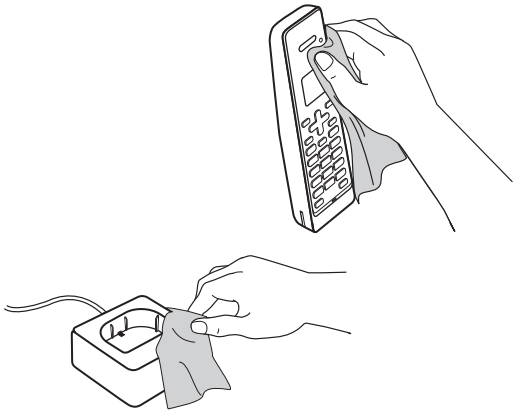
関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

子機／子機充電器を清掃する

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 子機を子機充電器から外し、子機充電器の電源プラグを抜きます。
2. 子機と子機充電器を乾いた柔らかい布で拭きます。



3. 清掃が終わったら、子機充電器の電源プラグをコンセントに差し、子機を子機充電器に戻します。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

お使いのブラザー製品を確認する

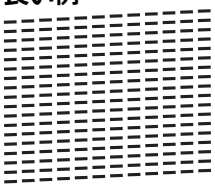
- 印刷品質をチェックする
- 罫線ずれ、文字ぶれを改善する
- インク残量を確認する
- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）
- Brother iPrint＆Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac）

印刷品質をチェックする

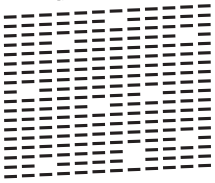
印刷の色や文字が薄かったり、筋が入ったり、または、表示されていない文字がある場合は、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。チェックシートを印刷して、ノズルチェックのパターンを確認してください。

1. [インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [印刷品質のチェックと改善]を押します。
2. [スタート]を押します。
   チェックシートが印刷されます。
3. チェックシートで 4 つの色の品質を確認します。
4. 画面に、印刷品質についての確認メッセージが表示されたら、以下のいずれかを行ってください。
   - すべての線がはっきりと見える場合は、[いいえ]を押し、を押して印刷品質のチェックを完了します。
   - 線が欠けている（以下の**悪い例**を参照）場合は、[はい]を押します。

     良い例

     悪い例

     
5. 画面に、各色の印刷品質を確認するように促すメッセージが表示されたら、印刷結果にもっとも近いパターンの番号（1～4）を押します。
6. 以下のいずれかを行ってください：
   - プリントヘッドのクリーニングが必要な場合は、[スタート]を押してクリーニングへ進みます。
   - プリントヘッドのクリーニングが必要でない場合は、メニュー画面が再度表示されます。を押します。
7. クリーニングが完了すると、チェックシートを再度印刷するか確認されます。[はい]を押し、[スタート]を押します。
   再度、チェックシートが印刷されます。チェックシートで 4 つの色の品質を再度確認します。

プリントヘッドを数回クリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、スペシャルクリーニングを試してください。「関連情報」をご覧ください。

重要

プリントヘッドには触らないでください。プリントヘッドに触れると、回復不能な損傷につながり、保証が無効になる場合があります。

プリントヘッドのノズルが詰まると、次のように印刷されます。

プリントヘッドのノズルをクリーニングすると、横筋が解消されます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする

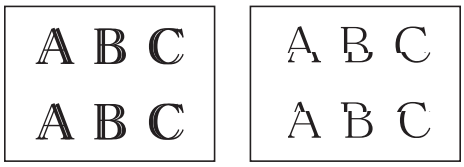
罫線ずれ、文字ぶれを改善する

本製品を移動した後などで、印刷された文字がずれていたり、画像がぼやけている場合は、罫線補正を行ってください。

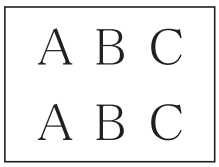
罫線補正を行う前に、[インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [印刷品質のチェックと改善]を押して、印刷品質を確認してください。

1. [インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [罫線ずれの補正]を押します。
2. [次へ]を押します。
3. 画面に印刷品質チェック結果を確認するメッセージが表示されたら、[はい]を押します。
4. [自動]または[手動]を押します。
   - [自動]モードを選択した場合、チェックシートをスキャンすると印刷の罫線ずれが自動で補正されます。
   - [手動]モードを選択した場合は、チェックシートに印刷された情報を手動で入力する必要があります。
5. [自動]モードを選択した場合は、チェックシートを印刷する用紙サイズを選択します。
6. トレイに指定サイズの用紙を入れ、[スタート]を押します。
   チェックシートが印刷されます。
7. 画面のメッセージに従います。

印刷位置が正しく調整されていないと、次のように文字がぼやけたりゆがんだりして見えます。



正しく印刷補正がされると、文字が次のように見えます。



関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

インク残量を確認する

画面上のインク残量アイコンに加え、各カートリッジに残っているおおよそのインク残量をより大きなグラフで見ることができます。

1. [インク] > [インク残量]を押します。

   画面にインク残量と印刷可能枚数[1]が表示されます。

   a. カートリッジのインク残量が表示されます。
   b. 本体内のインク残量が表示されます。
   c. 押すと印刷可能枚数の表示設定を変更します。
   d. 印刷可能枚数[1]には、現在セットされているカートリッジで印刷可能な枚数の目安が表示されます。

- インクカートリッジの寿命が近づくか、問題が起きた場合、以下のいずれかのアイコンが表示されます。

!	インクの残量が少なくなっています。
✕	インクカートリッジの交換が必要です。
?	インクカートリッジに問題があります。

- インクカートリッジの型番を確認または印刷するには（戻る）を押して、[インク]メニュー画面に戻ってください。
  [インクカートリッジ型番]を押し、画面の指示に従います。

2. を押します。

- インク残量はパソコンでも確認できます。
- 印刷可能枚数の測定方法について詳しくは、support.brother.co.jp/j/d/bkfo/にアクセスしてください。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する

関連トピック：

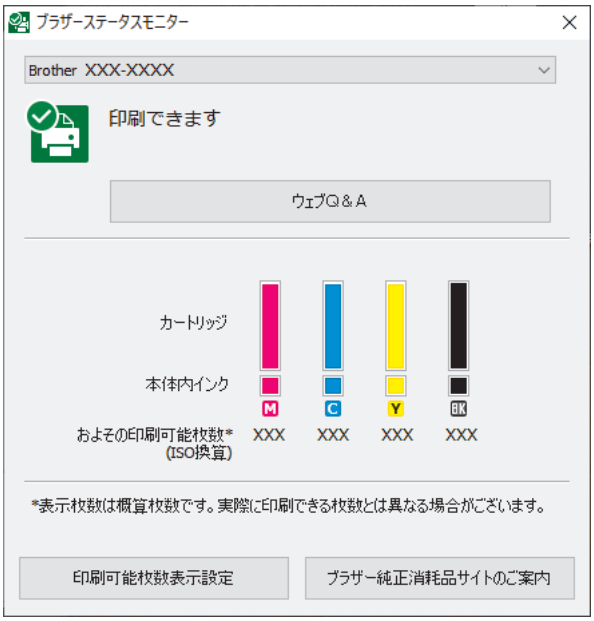
- タッチパネル画面の概要
- 設定画面の概要
- 文書を印刷する（Windows）
- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）
- Brother iPrint&Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac）

1 印刷可能枚数は目安の情報であり、実際の印刷可能枚数とは異なります。実際のカートリッジの印刷可能枚数については、support.brother.co.jp/j/d/bkfo/を参照してください。

本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

ステータスモニターは、1 台または複数台の製品の状態をモニターするためのツールで、エラーが発生した場合には即座にユーザーに通知します。

- 以下のいずれかを行ってください：
  - タスクトレイの アイコンをダブルクリックします。
  - （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**ステータスモニター**をクリックします。



ウェブQ＆A

ウェブQ＆Aボタンをクリックして、トラブルシューティングのウェブサイトにアクセスします。

印刷可能枚数表示設定

印刷可能枚数表示設定ボタンをクリックして、印刷可能枚数目安の表示設定を変更します。

ブラザー純正消耗品サイトのご案内

ブラザー純正消耗品については、**ブラザー純正消耗品サイトのご案内**ボタンをクリックしてください。

エラーアイコン

アイコン	詳細
	インクの残量が少なくなっています。
	インクカートリッジの交換が必要です。
	インクカートリッジに問題があります。

- Web Based Management を使用してインク量を確認することもできます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する
  - ステータスモニターとは（Windows）

- ステータスモニター機能をオフにする（Windows）
- ステータスモニターを閉じる(Windows)

関連トピック：

- 印刷ジョブをキャンセルする（Windows）
- インク残量を確認する

ステータスモニターとは（Windows）

パソコンを起動すると、タスクトレイ上に**ブラザーステータスモニター**アイコンが表示されます。

- 緑色のアイコンは通常のスタンバイ状態を示しています。

- 黄色のアイコンは警告を示しています。

- 赤色のアイコンは何らかのエラーが起きていることを示しています。

- グレーのアイコンは本製品がオフラインの状態であることを示しています。

関連情報

- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

ステータスモニター機能をオフにする（Windows）

ステータスモニター機能により、お使いのパソコンから接続している本製品に問題があった場合に、通知を受けられます。お買い上げ時の設定は**この PC から印刷したときのみ**です。設定をオフにするには、以下の手順に従ってください。

1. （**ブラザーステータスモニター**）アイコンまたはウィンドウを右クリックし、**ステータスモニターの設定**を選択して、**オプション**をクリックします。
   オプションウィンドウが表示されます。
2. **設定 1** タブをクリックし、**通知設定**で**なし**を選択します。
3. **OK** をクリックします。

ステータスモニター機能をオフにしている場合でも、ステータスモニターを表示させるといつでも本製品の状態を確認できます。

関連情報

- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

ステータスモニターを閉じる(Windows)

1. （**ブラザーステータスモニター**）アイコンまたはウィンドウを右クリックし、**閉じる**を選択します。
2. **OK** をクリックします。

関連情報

- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

Brother iPrint＆Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac）

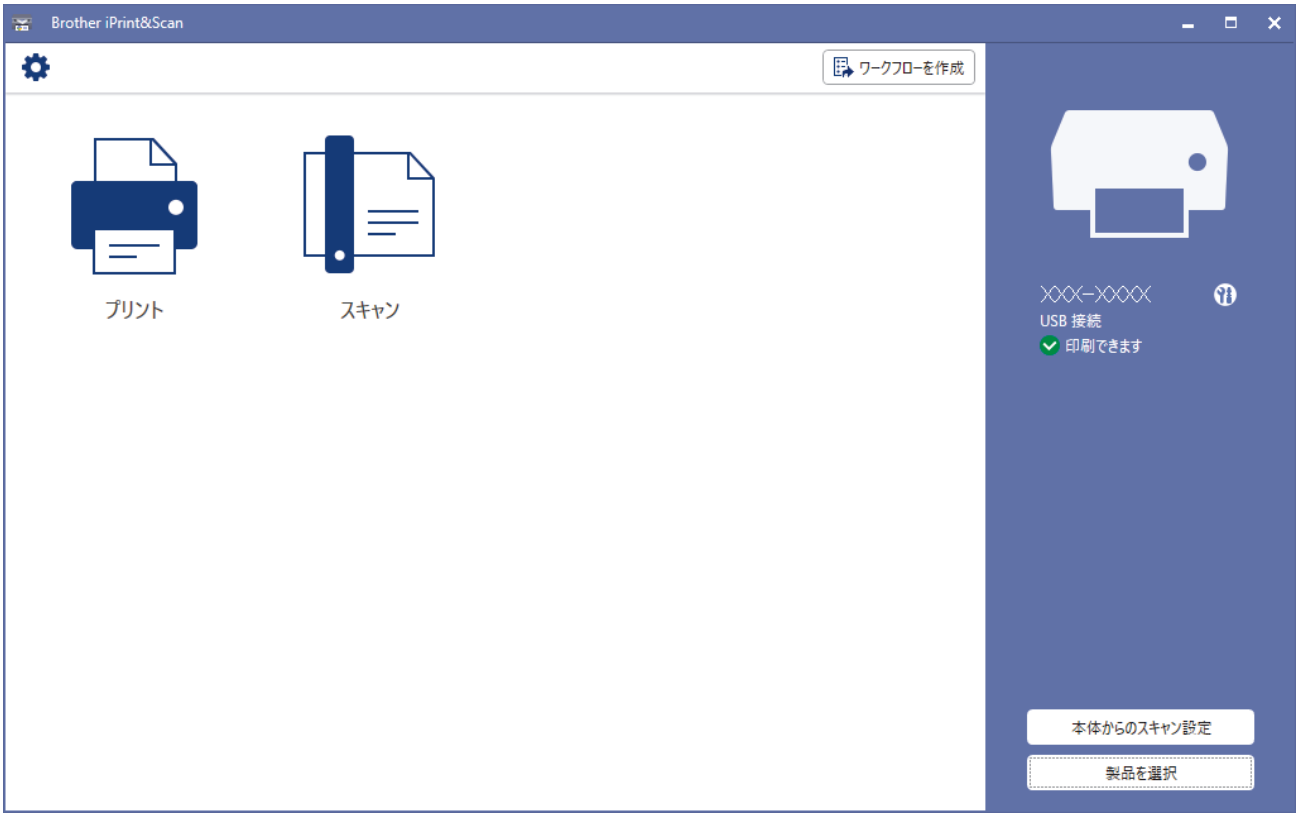
Brother iPrint&Scan では、本製品の状態を確認できます。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. お使いの製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧からお使いのモデル名を選択します。**OK** をクリックします。



ステータスアイコン

アイコン	詳細
	緑色のアイコンは、正常な待機状態を表します。
	黄色のアイコンは、警告を表します。
	赤色のアイコンは、エラーが発生していることを表します。
	グレーの アイコンは、本製品がオフラインであることを表します。

エラーアイコン

アイコン	詳細
	インクの残量が少なくなっています。
	インクカートリッジの交換が必要です。
	インクカートリッジに問題があります。

- アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なる場合があります。
- インク残量は目安であり、実際のインク残量とは異なる場合があります。
- Web Based Management を使用してインク残量を確認することもできます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する

関連トピック：

- インク残量を確認する

用紙送りを調整して縦線をなくす

用紙送りを調整して縦線を減らします。

用紙送りを調整する前に、[インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [印刷品質のチェックと改善]を押して、印刷品質を確認してください。

1. [インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [用紙送り量の補正]を押します。
2. [次へ]を押します。
3. 画面に印刷品質チェック結果を確認するメッセージが表示されたら、[はい]を押します。
4. [自動]または[手動]を押します。
   - [自動]モードを選択した場合は、チェックシートを読み取って用紙送りが自動的に調整されます。
   - [手動]モードを選択した場合は、チェックシートに印刷された情報を手動で入力する必要があります。
5. [自動]モードを選択した場合は、チェックシートを印刷する用紙サイズを選択します。
6. トレイに指定サイズの用紙を入れ、[スタート]を押します。
   チェックシートが印刷されます。
7. 画面のメッセージに従います。

関連情報

- 日常のお手入れ

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- その他の問題

印刷オプションを変更して印刷結果を改善する

印刷結果が期待どおりにならない場合は、本製品の印刷設定を変更して、印刷品質を改善してください。これらの設定を使用すると、印刷速度が遅くなる場合があります。

- これらの設定により、コピー、または、メディア/携帯端末からの印刷など本製品使用時における印刷結果を改善することができます。
- パソコンからの印刷時に印刷品質が低下する場合は、プリンタードライバーまたは印刷に使用するアプリケーションの設定を変更します。

1. ［インク］>［印刷設定オプション］を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
［用紙汚れの低減］	印刷物に汚れがある場合や紙詰まりが発生する場合は、このオプションを選択します。
［片方向印刷］	印刷結果がずれる問題が発生する場合は、このオプションを選択します。

3. 画面の指示に従います。
4. を押します。

関連情報

- 日常のお手入れ

関連トピック：

- 両面コピーする
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- その他の問題
- にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows）
- 印刷設定（Windows）

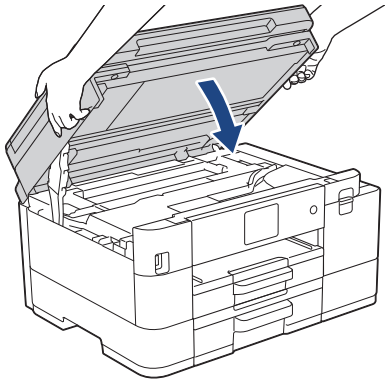
製品を梱包して輸送する

- 製品を移動させる場合は、製品と同梱されていた梱包材をお使いください。製品を傾けたり、上下逆さまにしないでください。製品が正しく梱包されていない場合、輸送中に製品が損傷しても保証の対象外となる場合があります。
- 適切な保険をかけて本製品を輸送してください。

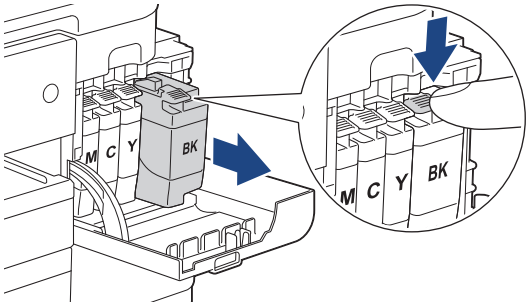
重要

印刷後にプリントヘッドが止まっていることを確認してください。すべての動作音が止まったかどうか、よく確認してから電源プラグを抜いてください。止まっていることの確認を怠ると、印刷時の問題やプリントヘッドの損傷につながる可能性があります。

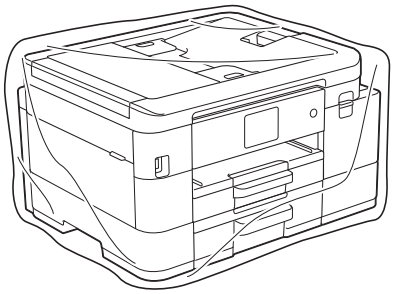
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. （MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN）壁側の電話用差し込み口から電話機コードを抜き、製品から電話機コードを取り外します。
3. 製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、両手で本体カバーを開きます。
4. インターフェイスケーブルが接続されている場合は、本製品から取り外します。
5. 製品の左右側面にある溝に指をかけて、本体カバーをゆっくりと閉じます。



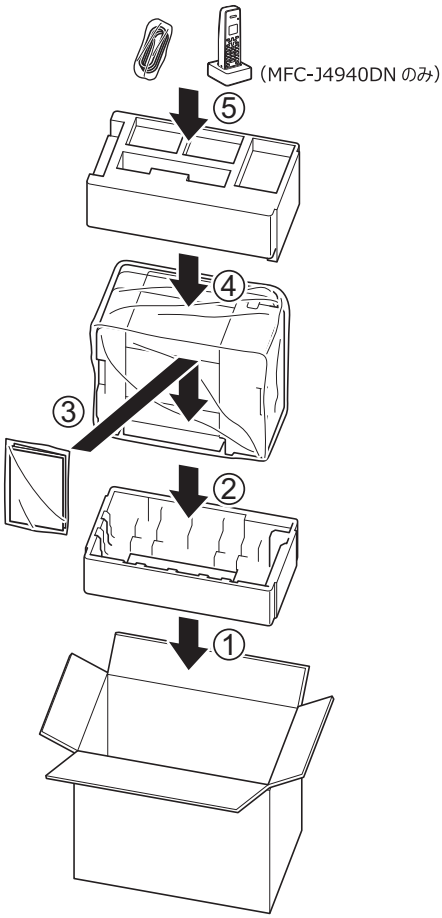
6. インクカバーを開きます。
7. インクリリースレバーを押してインクカートリッジを外し、取り出します。



8. 製品を袋で包みます。



9. 下図のように同梱されていた梱包材を使用して購入時の箱に梱包します。
   使用済みのインクカートリッジを箱の中に梱包しないでください。



交換のためお使いのブラザー製品を発送する場合は、本体のみ梱包してください。同梱品や印刷物は交換されてくる製品でご使用ください。

10. 箱を閉めて封をします。

関連情報

- 日常のお手入れ

関連トピック：

- インクカートリッジを交換する

製品の設定

設定と機能をカスタマイズして、本製品をより効率的にご使用いただけます。

- 操作パネルから製品の設定を変更する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

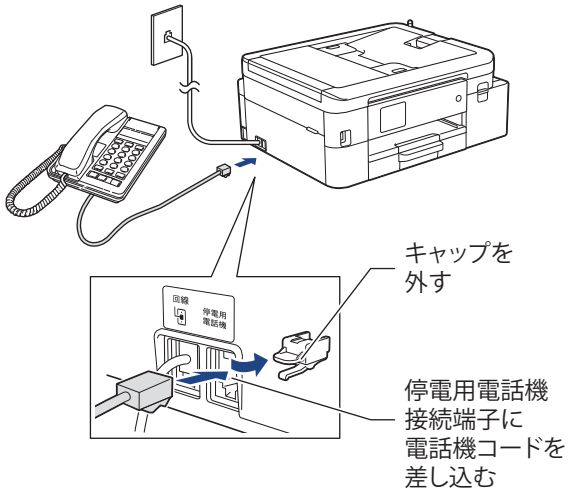
操作パネルから製品の設定を変更する

- 停電になったときは（メモリー保存）
- 基本設定
- お好みの設定をショートカットとして登録する
- レポートを印刷する
- 設定と機能一覧

停電になったときは（メモリー保存）

- メニュー設定は永久に保存され、消去されません。
- 一時的な設定（例：コントラストや海外送信モード）は消去されます。
- （MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN）日付と時刻は約 24 時間保持されます。
- （MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN）製品のメモリーに保存された他のファクスジョブは消去されません。
- (MFC-J4940DN)

  本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC 電源を必要としない電話機）を保管することをお勧めします。停電用電話機を親機の停電用電話機接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機で電話をかけたり受けることができます。



お願い

停電時以外は停電用電話機を接続しないでください。誤動作により正常に使用できないことがあります。

関連情報

- 操作パネルから製品の設定を変更する

基本設定

- 音量を調整する
- 子機の音量を設定する
- 着信音と保留音を設定する
- 子機の着信音を選ぶ
- おやすみモードを設定する
- スリープモードに入る時間を設定する
- 自動電源オフ機能を設定する
- 日時を設定する
- 子機の日時を設定する
- タイムゾーンを設定する
- 画面のバックライトの明るさを調整する
- 画面のバックライトの点灯時間を変更する
- 子機の画面のコントラストを変更する
- 電話/ファクス回線種別を設定する
- かんたんファクス設定をする
- 発信元を登録する
- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する
- 間違った番号への発信を防ぐ（ダイヤル制限機能）
- 着信を拒否する
- 印刷音を軽減する
- 画面に表示される言語を変更する
- キーボード設定を変更する

音量を調整する

1. MFC モデル：

   ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［音量］を押します。

   DCP モデル：

   ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［ボタン確認音量］を押します。

2. 以下のオプションのいずれかを押します（MFC モデル）

オプション	詳細
［着信音量］	着信時のベルの音量を調整します。
［ボタン確認音量］	ボタンを押したとき、操作を誤ったとき、またはファクスを送受信した後に鳴る確認音量を調整します。
［スピーカー音量］	スピーカーの音量を調整します。

3. ▲または▼を押して［切］、［小］、［中］、または［大］を表示させ、使用したい設定を選択します。
4. を押します。

関連情報

- 基本設定

子機の音量を設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

>> 子機の着信音量を設定する
>> 子機のボタン確認音を設定する
>> 子機のスピーカー音量を設定する
>> 子機の受話音量を設定する

子機の着信音量を設定する

1. を繰り返し押して音量を選びます。

   音量はオフ[□□□□]を含めて 5 段階から選べ、オフにすると画面に が表示されます。

子機のボタン確認音を設定する

1. 機能 確定 を押します。
2. で[鳴動音設定]を選び、機能 確定 を押します。
3. で[3.ﾎﾞﾀﾝ確認音]を選び、機能 確定 を押します。
4. で[ON]または[OFF]を選び、機能 確定 を押します。
5. 切 を押します。

子機のスピーカー音量を設定する

1. スピーカーホン を押します。
2. を繰り返し押して音量を選びます。

   スピーカー音量は 4 段階から選べます。
3. 通話中の変更であれば、そのまま通話を続け、通話中でなければ、切 を押します。

子機の受話音量を設定する

1. 通話中に を押して音量を選びます。

   受話音量は 4 段階から選べます。

関連情報

- 基本設定

着信音と保留音を設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

着信音と保留音は下記のように選ぶことができます。

- 保留音
  下表の 30 曲から選ぶことができます。
- 着信音
  4 種類のベル音と下表の 30 曲から選ぶことができます。

	曲名		曲名
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌（交響曲第 9 番）	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデイ
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷（ふるさと）
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

ベル音は保留メロディには設定できません。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [メロディ設定]を押し、[着信音]または[保留メロディ]を押します。
2. メロディを選び、[OK]を押します。
   現在選択されているメロディが流れます。
3. を押します。

構内交換機、ターミナルアダプター、ADSL モデムなどに接続している場合、それらの機器の着信音選択を[ベル 2]または[SIR]に設定しているときは、本製品で[ベル 1]に設定しても、メニュー選択時に聞こえる[ベル 1]の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

関連情報

- 基本設定

子機の着信音を選ぶ

関連モデル: MFC-J4940DN

子機の着信音は、ベル音 1 種類と下表にある 6 曲の中から選べます。子機の個体それぞれで好みの着信メロディに設定できます。

	曲名
1	アヴェ・マリア
2	大きな古時計
3	ガボット
4	きらきら星
5	四季より「春」
6	花のワルツ

1. 機能 確定 を押します。
2. で［鳴動音設定］を選び、機能 確定 を押します。
3. で［1.着信音］を選び、機能 確定 を押します。
4. でメロディを選び、機能 確定 を押します。
5. 切 を押します。

関連情報

- 基本設定

おやすみモードを設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

設定した時刻に留守モードに切替わり、親機も子機も着信音を鳴らさない設定ができます。

>> おやすみ開始/終了時刻を設定する
>> すぐにおやすみモードを開始/ 終了する

おやすみ開始/終了時刻を設定する

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［おやすみタイマー設定］>［おやすみタイマー］を押します。
2. ［オン］を押します。
3. ［開始時刻］を押して、タイマーを開始する時刻を入力し、［OK］を押します。
4. ［終了時刻］を押して、タイマーを終了する時刻を入力し、［OK］を押します。
5. を押します。

すぐにおやすみモードを開始/ 終了する

1. ［メニュー］>［おやすみモード］を押します。
   - おやすみタイマーでおやすみモード中の場合、おやすみモードが解除されます。
   - おやすみモード解除中の場合、［はい］を押すとおやすみモードが開始されます。
2. を押します。

- おやすみモード中に、 ［メニュー］>［おやすみモード］を順に押しておやすみモードを解除すると、次のおやすみタイマー開始時までおやすみモードは解除されます。
- おやすみモード解除中に、 ［メニュー］>［おやすみモード］を順に押しておやすみモードを開始させると、次のおやすみタイマー解除時までおやすみモードになります。

関連情報

- 基本設定

スリープモードに入る時間を設定する

スリープモード（または省電力モード）に設定すると、消費電力を節約することができます。製品がスリープモードに入ると、電源がオフになったように見えます。印刷ジョブまたはファクスを受信すると、起動し印刷を開始します。以下の手順で、製品がスリープモードに入るまでの時間を設定します。

- 製品でファクスまたは印刷ジョブを受信するなど、何らかの操作が行われると、タイマーが再度始動します。
- お買い上げ時の設定は 5 分です。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [スリープモード]を押します。
2. タッチパネルで設定する時間（1～60 分）を選択し、[OK]を押します。
3. を押します。

製品がスリープモードに入ると、画面のバックライトが消灯します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 自動電源オフ機能を設定する

自動電源オフ機能を設定する

関連モデル: DCP-J4140N

自動電源オフ機能を使用すると、消費電力を減らすことができます。製品がスリープモードから自動電源オフになるまでの時間を設定します。[オフ]に設定されている場合、製品の電源は手動でオフにする必要があります。

自動電源オフ機能により電源がオフになった製品の電源を入れるには、を押します。

以下の場合は、自動電源オフは使用できません。

- 本製品が有線 LAN に接続している場合。
- 本製品が無線 LAN に接続している場合。
- [有線/無線切替え]設定で[無線 LAN(Wi-Fi)]が選択されている場合。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [自動電源オフ]を押します。
2. ▲または▼を押して[オフ]、[1 時間]、[2 時間]、[4 時間]、または[8 時間]を表示させ、使用したい設定を選択します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 通信管理レポートの間隔を設定する
- スリープモードに入る時間を設定する

日時を設定する

（MFC モデル）

画面に日付と時刻が表示されます。現在の日時とずれている場合は、再設定してください。発信元登録がしてあれば、ファクスを送信したときに日時が印刷されます。

（DCP モデル）

製品の電源が切られていた場合は、現在の日時とずれている可能性があります。再設定してください。

1. [メニュー]を押します。
2. [時計セット]を押します。
3. [日付]を押します。
4. 画面で西暦の最後の 2 桁を入力し、[OK]を押します。
5. 画面で月を 2 桁で入力し、[OK]を押します。
6. 画面で日を 2 桁で入力し、[OK]を押します。
7. [時刻]を押します。
8. 画面で時刻を 24 時間制で押します。
   [OK]を押します。
   （例：午後 7:45 の場合は、19:45 と入力します。）
9. を押します。

[メニュー]を押し、[時計セット] > [タイム ゾーン]を押して、タイムゾーンを変更することもできます。必要に応じて設定してください。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 発信元を登録する

子機の日時を設定する

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 機能 確定 を押します。
2. ◀▲▶▼ で［時計設定］を選び、機能 確定 を押します。
3. 日付を入力し、機能 確定 または ◀▲▶▼ を押します。

   2021 年 1 月 21 日の場合は、2 1 0 1 2 1 と押します。
4. 時刻を 24 時間制で入力し、機能 確定 を押します。

   午後 0 時 45 分の場合は、1 2 4 5 と押します。
5. 切 を押します。

   待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。

- 数字を入れ間違えたときは、◀▲▶▼ で間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。
- 設定を途中で中止するときは、切 を押してください。

関連情報

- 基本設定

タイムゾーンを設定する

製品を使用する地域のタイムゾーンを設定します。

1. [メニュー]を押します。
2. [時計セット] > [タイム ゾーン]を押します。
3. 時間帯を入力します。
4. [OK]を押します。
5. を押します。

関連情報

- 基本設定

画面のバックライトの明るさを調整する

画面が見にくい場合は、明るさの設定を変えると見やすくなります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面の明るさ] > [画面の明るさ]を押します。
2. [明るく]、[標準]、または[暗く]オプションを押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

画面のバックライトの点灯時間を変更する

画面のバックライトが点灯する長さを設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面の明るさ] > [照明ダウンタイマー]を押します。
2. ▲または▼を押して[10 秒]、[30 秒]、[1 分]、[2 分]、[3 分]、または[5 分]を表示させ、使用したい設定を選択します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

子機の画面のコントラストを変更する

関連モデル: MFC-J4940DN

1. 機能 確定を押します。
2. ▲▼で［画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ］を選び、機能 確定を押します。
3. 画面を見ながら、◀▶で好みのコントラストを選び、機能 確定を押します。
4. 切を押します。

関連情報

- 基本設定

電話/ファクス回線種別を設定する

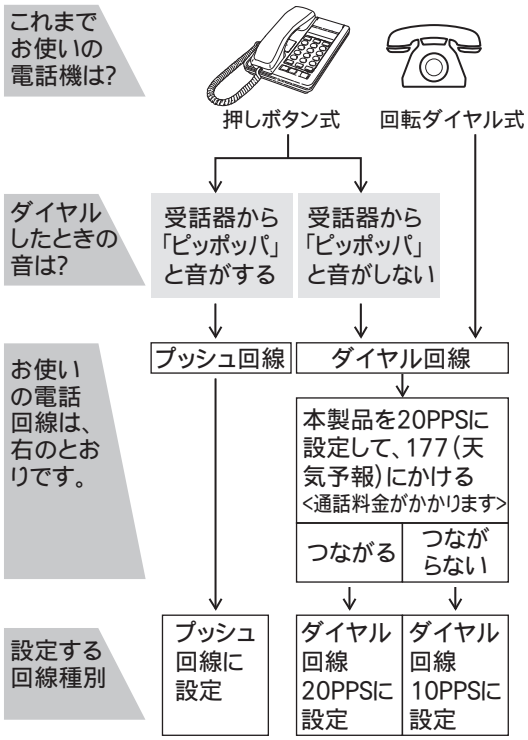
関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

>> MFC-J4440N/MFC-J4540N
>> MFC-J4940DN

MFC-J4440N/MFC-J4540N

1. [ファクス] > [ｵﾝﾌｯｸ]を押し、「ツー」という音が聞こえることを確認します。
   - 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
   - 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。
2. [ｵﾝﾌｯｸ]を押して回線を切り、 を押します。
3. 回線種別を確認します。



4. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [回線種別設定]を押します。
5. 設定する回線種別を押します。

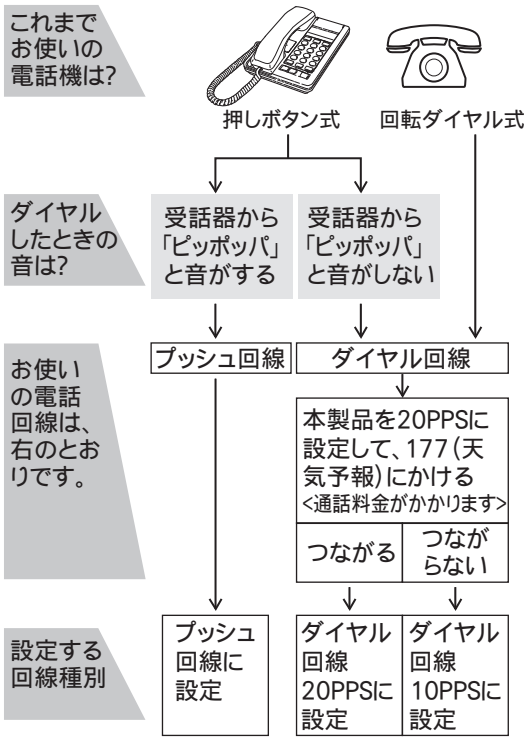
   - 回線種別がわからないときは、種別を順に設定してみてください。
   - ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、[プッシュ回線]に設定してください。

6. を押します。

   回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報)などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります。)

MFC-J4940DN

1. [ファクス] > [ｵﾝﾌｯｸ]を押し、「ツー」という音が聞こえることを確認します。
   - 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
   - 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。
2. [ｵﾝﾌｯｸ]を押して回線を切り、を押します。
3. 子機の外線を押して、「ツー」という音が聞こえることを確認します。
4. 切を押します。
5. 回線種別を確認します。



6. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [回線種別設定]を押します。
7. 設定する回線種別を押します。

- 回線種別がわからないときは、種別を順に設定してみてください。
- ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、[プッシュ回線]に設定してください。

8. を押します。

回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報)などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります。)

関連情報

- 基本設定

かんたんファクス設定をする

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定できます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [かんたんファクス設定] を押します。
2. 画面の指示に従って、設定を進めます。

関連情報

- 基本設定

発信元を登録する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

ファクスを送信するたびに、相手側の用紙に日付と時刻を印刷するには、製品の発信元登録をします。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [発信元登録]を押します。
2. [ファクス]を押します。
3. 画面でファクス番号（最大 20 桁）を入力し、[OK]を押します。
4. [名前]を押します。
5. 画面に表示されているキーボードで名前（16 文字まで）を入力し、[OK]を押します。

- あアA1@を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。（地域によって使用できる文字は異なります。）
- 入力した文字を変更したい場合は◀または▶を押してカーソルを動かします。を押し、正しい文字を入力します。
- スペースを入力するには、[スペース]を押します。

6. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 別のファクス機にファクスを転送する
- 別のファクス機に通信管理レポートを転送する
- 本製品にテキストを入力する
- 日時を設定する

プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [回線種別設定]を押します。
2. [プッシュ回線]、[ダイヤル 10PPS]、[ダイヤル 20PPS]、または[自動設定]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

間違った番号への発信を防ぐ（ダイヤル制限機能）

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

この機能を使用すると、ファクスの誤送信や電話のかけ間違いを防ぐことができます。ダイヤルパッド、アドレス帳、およびショートカットを使用している場合に、ダイヤルを制限するように本製品を設定できます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] または [ファクス/電話] > [ダイヤル制限機能] を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。
   - [直接入力]
   - [電話帳]

   ダイヤル中に電話帳の番号を結合した場合は、番号はダイヤルボタンの入力として認識され、制限されません。
   - [ｼｮｰﾄｶｯﾄ]
3. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[2 度入力]	再度番号を入力するよう促すメッセージが表示されます。同じ番号を正しく再入力すると、本製品はダイヤルを開始します。再入力の番号に誤りがあると、画面にエラーメッセージが表示されます。
[オン]	設定されたダイヤル操作のすべてのファクス送信と外線発信を禁止します。
[オフ]	ダイヤル方式を制限しません。

   - 番号を入力する前に、外付け電話を使用した場合、または [ｵﾝﾌｯｸ] を押した場合、[2 度入力] 設定は使用できません。再度番号を入力するよう促すメッセージは表示されません。
   - [オン] または [2 度入力] を選択した場合、同報送信機能は使用できません。
4. を押します。

関連情報

- 基本設定

着信を拒否する

関連モデル: MFC-J4940DN

着信音を鳴らさずに電話を受け、メッセージを 3 回再生したあとで自動的に電話を切ります。[ナンバーディスプレイ]の設定が[なし]のときは設定できません。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [着信拒否]を押します。
2. [非通知着信拒否]、[公衆電話拒否]、[表示圏外拒否]または[着信拒否モニター]のいずれかを押します。
   - [非通知着信拒否]

     番号非通知から着信があった場合、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを流します。
   - [公衆電話拒否]

     公衆電話から着信があった場合、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを流します。
   - [表示圏外拒否]

     表示圏外から着信があった場合、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを流します。
   - [着信拒否モニター]

     非通知着信拒否、公衆電話拒否または表示圏外拒否した相手から電話がかかってきたとき、着信拒否メッセージを本製品のスピーカーから聞くことができます。
3. [する]を押します。

   他の項目も設定する場合は、この手順を繰り返してください。
4. を押します。

- 着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。
- 拒否設定した相手から送られたファクスも受信しません。

関連情報

- 基本設定

印刷音を軽減する

静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードが有効なときは、印刷速度が遅くなります。

お買い上げ時の設定は［オフ］です。

- 静音モードが有効になっている場合、ホーム画面に が表示されます。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［静音モード］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- タッチパネル画面の概要
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

画面に表示される言語を変更する

必要な場合は画面の言語を変更します。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［初期設定］>［表示言語設定］を押します。
2. 言語を選択します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

キーボード設定を変更する

画面のキーボードの種類を選択することができます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [キーボード設定(英字入力)]を押します。
2. [QWERTY 入力]または[かなめくり入力]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

お好みの設定をショートカットとして登録する

- ショートカットを登録する
- ショートカットを変更、または削除する
- IC カードにショートカットを割り当てる

ショートカットを登録する

ファクス、コピー、スキャン、クラウド接続、お役立ちツールのメニューでよく使う設定条件をショートカットとして登録することができます。手動で毎回入力しなくても、ショートカットを呼び出して使うことができます。

モデルにより、ショートカット登録できるメニューは異なります。

ここではコピーのショートカットを登録する方法を説明しています。ファクスやスキャン、クラウド接続、お役立ちツールのショートカットの登録も類似しています。

1. ホーム画面 1、2、3 のいずれかが表示されたら、＋ [ｼｮｰﾄｶｯﾄ] を押します。
2. [1] から [3] のいずれかのタブを押します。
3. 未登録の ＋ を押します。

（MFC-J4940DN）ワンタッチボタンにショートカットを登録したい場合は、操作パネル上のワンタッチボタンを押してください。

4. ▲または▼を押して [コピー] を表示します。
5. [コピー] を押します。
6. [設定変更] を押します。
7. ▲または▼を押して利用可能な設定を表示し、変更したい設定を押します。
8. ▲または▼を押して利用可能なオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。

   上記の手順を繰り返し、ショートカットの設定を全て選択します。完了したら、[OK] を押します。
9. [OK] を押します。
10. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK] を押します。
11. 画面でショートカットの名前を入力し、[OK] を押します。

ファクスやスキャンをショートカットに追加するときは、直接スタート機能に設定するかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

関連情報

- お好みの設定をショートカットとして登録する

ショートカットを変更、または削除する

ショートカットの設定を編集できます。

クラウド接続やお役立ちツールのショートカットは変更できません。変更する場合は、一度削除し、新たにショートカットを登録してください。

1. ホーム画面 1、2、3 のいずれかが表示されたら、 [ショートカット] を押します。
2. [1]から[3]のいずれかのタブを押して、編集したいショートカットを表示させます。
3. 編集したいショートカットを長押しします。

（MFC-J4940DN）ワンタッチボタンに登録したショートカートを変更、または削除する場合は、 [メニュー] > [全てのメニュー] > [ショートカット設定] を押してから、操作パネル上のワンタッチボタンを押します。

4. [編集] を押します。

ショートカットを削除するには、[消去] を押します。ショートカットの名前を編集するには、[名前の変更] を押して、画面の指示に従います。

5. [設定変更] を押します。
6. ▲または▼を押して利用可能な設定を表示し、変更したい設定を押します。
7. 選択したショートカットの設定を編集します。[OK] を押します。
8. 設定の編集が完了したら、[OK] を押します。
9. [OK] を押して確認します。

ファクスやスキャンのショートカットを変更するときは、直接スタート機能に設定するかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

関連情報

- お好みの設定をショートカットとして登録する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力する

IC カードにショートカットを割り当てる

- IC カードリーダーを使用して IC カードにショートカットを割り当てる

IC カードリーダーを使用して IC カードにショートカットを割り当てる

IC カードにショートカットを 1 つ割り当てることができます。本製品に接続された IC カードリーダーに IC カードをタッチすると、画面に個人用ショートカットが自動的に表示されます。

- 複数の異なるショートカットに同じ IC カードを使用することはできません。
- IC カードを別のショートカットに使用するには、まずカードの登録を解除してから、新しいショートカットに登録します。

IC カードにショートカットを割り当てる前に、外付け IC カードリーダーを登録します。Web Based Management を使用してカードリーダーを登録します。本製品は、HID クラスのドライバーに対応している外付け IC カードリーダーをサポートしています。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

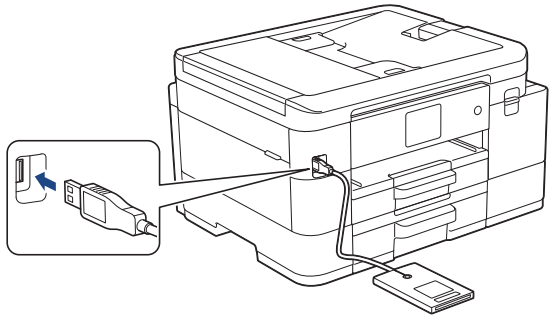
   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **外付けカードリーダー**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. 必要な情報を入力し、**OK** をクリックします。
6. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
7. カードリーダーを本製品に接続します。



8. ホーム画面 1、2、3 のいずれかが表示されたら、画面の ＋ [ショートカット] を押します。
9. [1]～[3]のタブを押して、IC カードに割り当てるショートカットが含まれたショートカット画面を選択します。
10. オプションが表示されるまで、ショートカットを長押しします。
11. [NFC カードの登録] を押します。
12. 本製品に接続された IC カードリーダーに IC カードをタッチします。
13. [登録] を押します。

    ショートカットが IC カードに割り当てられます。

関連情報

- IC カードにショートカットを割り当てる

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

レポートを印刷する

- レポート種類
- レポートを印刷する
- 送受信テストとファクスレポート
- 電話とファクスの問題

レポート種類

以下のレポートを印刷できます：

送信結果レポート（MFC モデル）

送信結果レポートでは、本製品から最後に送ったファクスの詳細が印刷されます。

電話帳リスト （MFC モデル）

電話帳リストでは、電話帳メモリーに登録されている名前と番号の一覧が印刷されます。

通信管理レポート （MFC モデル）

通信管理レポートでは、最近送受信した、200 件分の通信結果が印刷されます。（TX は送信、RX は受信を指します。）

設定内容リスト

本製品の現在の設定内容を印刷します。

ネットワーク設定リスト（ネットワークモデル）

ネットワークの設定状況を印刷します。

無線 LAN レポート（無線モデル）

無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。

着信履歴リスト （MFC モデル）

着信履歴リストでは、最新 30 件の受信ファクスおよび電話の着信履歴の一覧が印刷されます。

関連情報

- レポートを印刷する

レポートを印刷する

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［レポート印刷］を押します。
2. ▲または▼を押してレポート印刷項目を表示させ、ご希望の設定項目を押します。
3. ［はい］を押します。
4. を押します。

関連情報

- レポートを印刷する

設定と機能一覧

- 設定一覧（2.7 型（67.5mm）タッチパネルモデル）
- 機能一覧（2.7 型（67.5mm）タッチパネルモデル）
- 機能一覧（子機）

設定一覧（2.7 型（67.5mm）タッチパネルモデル）

本製品で設定できる内容や機能は次の表のとおりです。

>> [メニュー]
>> [基本設定]
>> [ショートカット設定]
>> [ファクス]（MFC モデル）
>>
>> [ネットワーク]
>> [レポート印刷]
>> [製品情報]
>> [初期設定]

[メニュー]

[メニュー]

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明
([時計セット])	-	-	(MFC モデル) 日付と時刻設定メニューにアクセスします。 (DCP モデル) 製品の日付と時刻を設定します。
[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]	-	-	メンテナンス設定メニューにアクセスします。
[ネットワーク]	[有線 LAN]	-	有線 LAN 設定メニューにアクセスします。
	[無線 LAN(Wi-Fi)]	-	無線 LAN 設定メニューにアクセスします。
	[Wi-Fi Direct]	-	Wi-Fi Direct 設定メニューにアクセスします。
	[有線/無線切替え]	-	ネットワーク接続の種類を選択します。
[留守録再生] (MFC-J4940DN)	-	-	録音された音声メッセージを確認することができます。
[おやすみモード] (MFC-J4940DN)	-	-	おやすみモードを設定／解除します。
[用紙トレイ設定]	-	-	トレイ設定メニューにアクセスします。
[みるだけ受信] (MFC-J4440N/MFC-J4540N)	-	-	受信したファクスを画面に表示します。
[Wi-Fi Direct] (DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4540N)	-	-	Wi-Fi Direct 設定メニューにアクセスします。
[静音モード] (DCP-J4140N)	-	-	印刷音を軽減します。
[全てのメニュー]	-	-	詳細設定を行います。

[基本設定]

[全てのメニュー] > [基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[メンテナンス]	[印刷品質のチェックと改善]	[印刷品質のチェックと改善]	画面の指示に従って、印刷品質、罫線ずれ、給紙を確認し調整をします。
		[罫線ずれの補正]	
		[用紙送り量の補正]	
	[ヘッドクリーニング]	[ブラックのみ]	画面の指示に従って、プリントヘッドのクリーニングをします。
		[カラーのみ]	
		[全色]	
	[給紙ローラーのクリーニング]	-	給紙ローラーのクリーニングを行います。
	[インク残量]	-	使用可能なインクの残量を確認します。
	[インクカートリッジ型番]	-	インクカートリッジ型番を確認します。
	[印刷設定オプション]	[用紙汚れの低減]	印刷中にできるにじみや紙詰まりを減らします。
		[片方向印刷]	印刷品質を高め、印刷ずれを減らします。
	[インクカートリッジ純正情報]	-	インクカートリッジの情報を表示します。
[用紙トレイ設定] (MFC-J4540N)	[用紙トレイ 1]	[用紙タイプ]	用紙トレイの用紙タイプを設定します。
		[用紙サイズ] (MFC-J4540N)	用紙トレイの用紙サイズを設定します。
	[用紙トレイ 2] (MFC-J4540N)	[用紙サイズ]	用紙トレイの用紙サイズを設定します。
	[トレイ選択：コピー] (MFC-J4540N)	-	コピーに使う用紙トレイを設定します。
	[トレイ選択：ファクス] (MFC-J4540N)	-	ファクスに使う用紙トレイを設定します。
	[トレイ確認] (MFC-J4540N)	-	本製品からトレイを抜き出したときに、用紙タイプと用紙サイズを確認するかどうかを設定します。
[用紙タイプ] (DCP-J4140N/ MFC-J4440N/ MFC-J4940DN)	-	-	用紙トレイの用紙タイプを設定します。
[用紙サイズ] (DCP-J4140N/ MFC-J4440N/ MFC-J4940DN)	-	-	用紙トレイの用紙サイズを設定します。
[トレイ確認] (DCP-J4140N/ MFC-J4440N/ MFC-J4940DN)	-	-	本製品からトレイを抜き出したときに、用紙タイプと用紙サイズを確認するかどうかを設定します。
[静音モード]	-	-	印刷音を軽減します。
[ボタン確認音量] (DCP モデル)	-	-	ボタン確認音量を調整します。
[音量]	[着信音量]	-	着信時のベルの音量を調整します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
(MFC モデル)	[ボタン確認音量]	-	ボタン確認音量を調整します。
	[スピーカー音量]	-	スピーカーの音量を調整します。
[画面の明るさ]	[画面の明るさ]	-	画面のバックライトの明るさを調整します。
	[照明ダウンタイマー]	-	最後に画面を押してから、画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。
[画面設定]	[待機画面]	-	を押したときに表示される画面を設定します。
	[スキャン画面]	-	スキャン画面の初期値を設定します。
[通知画面設定]	[スキャン結果 (白紙除去)]	-	スキャン完了後に、白紙除去したページ数が表示されます。
[キーボード設定 (英字入力)]	-	-	画面のキーボードの種類を選択します。
[おやすみタイマー設定] (MFC-J4940DN)	[おやすみタイマー]	-	設定した時刻に留守モードに切り替わり、親機も子機も着信音を鳴らさない設定をします。「オン」に設定した場合は、おやすみタイマーの開始時刻と終了時刻を併せて設定します。
	[開始時刻] (MFC-J4940DN)	-	
	[終了時刻] (MFC-J4940DN)	-	
[スリープモード]	-	-	スリープ状態にするまでの時間を設定します。
[自動電源オフ] (DCP-J4140N)	-	-	本製品がスリープモードに入ってから、自動で電源をオフにするまでの時間を選択します。 オフに設定した場合、本製品は自動で電源をオフにしません。

[ショートカット設定]

[全てのメニュー] > [ショートカット設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
(ショートカットボタンを選択します。)	[名前の変更]	ショートカット名を変更します。
	[編集]	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	ショートカットを削除します。
	[NFC カードの登録]	IC カードにショートカットを割り当てます。
	[NFC カード削除]	IC カードからショートカットを削除します。

[ファクス] (MFC モデル)

[全てのメニュー] > [ファクス] (MFC-J4440N/MFC-J4540N)

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[かんたんファクス設定]	-	-	ガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定します。
[受信設定]	[呼出ベル回数]	-	「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」のとき、自動受信するまでの呼出ベル回数を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[受信設定]	[受信モード]	-	最適な受信モードを選択します。
	[再呼出ベル回数]	-	「自動切換えモード」のとき、着信音の後に鳴る呼出音の回数を設定します。
	[みるだけ受信]	-	受信したファクスを画面に表示します。
	[親切受信]	-	着信応答時にファクス受信音を聞くと、自動的にファクスを受信します。
	[リモート受信]	-	内線電話または外付け電話で着信に応答し、暗証番号を使ってリモートコードをオンまたはオフにします。好きな暗証番号を設定することができます。
	[自動縮小]	-	受信ファクスのサイズを縮小します。
	[PC ファクス受信]	-	パソコンにファクスを送信するように設定します。 本製品で印刷する／しないを設定できます。
	[メモリ受信]	-	ファクスメッセージを転送したり、（製品から離れている間も取り出すことができるように）受信ファクスをメモリーまたはクラウドサービスに保存するように設定します。 ファクス転送、またはファクスクラウド転送を選択している場合は、本製品で印刷する／しないを設定できます。
	[受信スタンプ]	-	受信ファクスの上部に受信日時を印刷します。
[電話回線診断]	-	-	現在の回線の状態を診断し、結果を印刷します。
[レポート設定]	[送信結果レポート]	-	送信結果レポートの初期設定を選択します。
	[通信管理レポート]	-	通信管理レポートの自動印刷の間隔を設定します。 レポート出力しない、または 50 件ごと、以外を選択すると、時間を設定できます。 7 日ごとを選択した場合は曜日を指定できます。
[ファクス出力]	-	-	製品のメモリー内に保存された受信ファクスを印刷します。
[暗証番号]	-	-	リモコン機能の暗証番号を設定します。
[ダイヤル制限機能]	[直接入力]	-	ダイヤルボタンからのダイヤルを制限します。
	[電話帳]	-	アドレス帳からのダイヤルを制限します。
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄ]	-	ショートカット機能からのダイヤルを制限します。
[通信待ち一覧]	-	-	製品のメモリー内の送信待ちジョブを確認したり、送信をやめたりできます。
[ナンバーディスプレイ]	-	-	ナンバーディスプレイサービスを使用する/ しないを設定します。
[データコネクト設定]	[IP ファクス]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。
	[送信速度]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。

[全てのメニュー] > [ファクス/電話]（MFC-J4940DN）

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[かんたんファクス設定]	-	-	ガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定します。
[呼出ベル回数]	[在宅モード]	-	在宅モード、留守モードのそれぞれの状況において、電話がかかってきてから本製品が自動で着信するまでの呼出回数を設定します。
	[留守モード]	-	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[受信設定]	[ファクス無鳴動受信]	-	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。
	[再呼出ベル設定]	[再呼出ベル設定]	在宅モード時に電話がかかってきた場合の、本製品の応対動作を設定します。「オン（電話呼び出し）」に設定した場合は、再呼び出しされる際の方法とその時間を併せて設定します。
		[再呼出方法]	
		[再呼出時間]	
	[みるだけ受信]	-	受信したファクスを画面に表示します。
	[親切受信]	-	着信応答時にファクス受信音を聞くと、自動的にファクスを受信します。
	[自動縮小]	-	受信ファクスのサイズを縮小します。
	[PC ファクス受信]	-	パソコンにファクスを送信するように設定します。 本製品で印刷する／しないを設定できます。
	[メモリ受信]	-	ファクスメッセージを転送したり、（製品から離れている間も取り出すことができるように）受信ファクスをメモリーまたはクラウドサービスに保存するように設定します。 ファクス転送、またはファクスクラウド転送を選択している場合は、本製品で印刷する／しないを設定できます。
	[受信スタンプ]	-	受信ファクスの上部に受信日時を印刷します。
[電話回線診断]	-	-	現在の回線の状態を診断し、結果を印刷します。
[レポート設定]	[送信結果レポート]	-	送信結果レポートの初期設定を選択します。
	[通信管理レポート]	-	通信管理レポートの自動印刷の間隔を設定します。 レポート出力しない、または 50 件ごと、以外を選択すると、時間を設定できます。 7 日ごとを選択した場合は曜日を指定できます。
[ファクス出力]	-	-	製品のメモリー内に保存された受信ファクスを印刷します。
[暗証番号]	-	-	リモコン機能の暗証番号を設定します。
[ダイヤル制限機能]	[直接入力]	-	ダイヤルボタンからのダイヤルを制限します。
	[電話帳]	-	アドレス帳からのダイヤルを制限します。
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄ]	-	ショートカット機能からのダイヤルを制限します。
[通信待ち一覧]	-	-	製品のメモリー内の送信待ちジョブを確認したり、送信をやめたりできます。
[メロディ設定]	[着信音]	-	着信音を選びます。
	[保留メロディ]	-	電話の保留音を選びます。
[留守番電話設定]	[録音時間]	-	1 件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。
	[留守録モニター]	-	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる/ 聞こえないの設定をします。
	[留守録転送]	-	留守モードのときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ナンバーディスプレイ]	-	-	ナンバーディスプレイサービスを使用する/ しないを設定します。
[着信鳴り分け]	-	-	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。
[着信拒否]	[迷惑番号指定]	-	着信を拒否したい相手の電話番号を本製品に登録して、電話が鳴らないように設定します。
	[非通知着信拒否]	-	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。
	[公衆電話拒否]	-	公衆電話からの着信を拒否します。
	[表示圏外拒否]	-	サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。
	[着信拒否モニター]	-	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる/ 聞こえないを設定します。
[キャッチディスプレイ]	-	-	キャッチホン・ディスプレイ機能の契約状況を設定します。
[子機増設モード]	-	-	増設子機（別売り）の ID 登録をします。登録後、増設子機が使用できます。
[データコネクト設定]	[IP ファクス]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。
	[送信速度]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。

[ネットワーク]

[全てのメニュー] > [ネットワーク]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	-	プライマリーまたはセカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	-	プライマリーまたはセカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。
	[有線 LAN 状態]	-	-	現在の有線 LAN の状態を確認します。
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[無線 LAN(Wi-Fi)]	[ネットワーク選択(SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	-	プライマリーまたはセカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	-	プライマリーまたはセカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[WPS(プッシュボタン)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS(PIN コード)]	-	-	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。
	[無線状態]	[接続状態]	-	現在の無線ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の無線ネットワークの信号強度を確認します。
		[SSID]	-	現在の SSID を確認します。
		[通信モード]	-	現在の通信モードを確認します。
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
[Wi-Fi Direct]	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。
	[グループ オーナー]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。
	[プッシュボタン接続]	-	-	ワンプッシュ方式を使用して、Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	[PIN コード接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。
	[デバイス情報]	[デバイス名]	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	グループオーナーの SSID を確認します。 製品が接続されていないときは、画面に「未接続」と表示されます。
		[IP アドレス]	-	製品の現在の IP アドレスを確認します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を確認します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、画面には常に強い信号が表示されます。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Wi-Fi Direct]	[インターフェース有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続をオンまたはオフにします。
[NFC] (DCP-J4140N/ MFC-J4440N/ MFC-J4540N)	-	-	-	NFC 機能をオン、またはオフに切り替えます。
[ブラザーからのお知らせ]	[ブラザーからのお知らせ]	-	-	ブラザーからのメッセージやお知らせを表示します。
	[ステータス]	-	-	
[Web 接続設定]	[プロキシ設定]	[プロキシ経由接続]	-	Web 接続設定を変更します。
		[アドレス]	-	
		[ポート]	-	
		[ユーザー名]	-	
		[パスワード]	-	
[有線/無線切替え]	-	-	-	ネットワーク接続の種類を選択します。
[IPsec]	-	-	-	IPsec は、IP プロトコルの任意のセキュリティ機能であり、認証と暗号化のサービスを提供します。ネットワーク管理者に問い合わせてからこの設定を変更することを推奨します。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[レポート印刷]

[全てのメニュー] > [レポート印刷]

設定項目 3	説明
[送信結果レポート] (MFC モデル)	最後に送信したファクスの送信結果レポートを印刷します。
[電話帳リスト] (MFC モデル)	電話帳に登録されている名前と番号の一覧を印刷します。
[通信管理レポート] (MFC モデル)	最新 200 件の受信および送信ファクス情報の一覧を印刷します。 (TX は送信を意味します。RX は受信を意味します。)
[設定内容リスト]	設定の一覧を印刷します。
[ネットワーク設定リスト]	ネットワーク設定の一覧を印刷します。
[無線 LAN レポート]	無線ネットワーク接続結果を印刷します。
[着信履歴リスト] (MFC モデル)	ファクス・電話の最新 30 件の着信履歴の一覧を印刷します。

[製品情報]

[全てのメニュー] > [製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[シリアル No.]	-	製品のシリアルナンバーを確認します。

設定項目 3	設定項目 4	説明
[ファームウェアバージョン]	[Main バージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
[ファームウェア更新]	-	製品を最新のファームウェアに更新します。
[ファームウェア更新通知]	-	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
[印刷枚数表示]	-	製品が印刷した合計ページ数を確認します。

[初期設定]

[全てのメニュー] > [初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[時計セット]	[日付]	(MFC モデル) 画面および送信ファクスの見出しに日付と時刻を追加します。 (DCP モデル) 製品の日付と時刻を設定します。
	[時刻]	
	[タイム ゾーン]	タイムゾーンを設定します。
[発信元登録] (MFC モデル)	[ファクス]	送信ファクスに表示する名前とファクス番号を入力します。
	[名前]	
[回線種別設定] (MFC モデル)	-	回線種別を選択します。
[ファクス自動再ダイヤル] (MFC モデル)	-	回線が混雑してファクス通信ができなかった場合は、送信したファクス番号をかけ直すように製品を設定します。
[ダイヤルトーン設定] (MFC モデル)	-	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。
[特別回線対応] (MFC モデル)	-	電話回線の種類を選択します。
[安心通信モード] (MFC モデル)	-	通信エラーを調整します。 VoIP サービスプロバイダーは様々な規格を使ってファクスのサポートを提供します。ファクス通信エラーがたびたび起こる場合は、安心(VoIP)を選択します。
[設定リセット]	[機能設定リセット]	日付と時刻等、変更したすべての設定を元に戻します。
	[ネットワーク設定リセット]	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[電話帳&ファクスリセット] (MFC モデル)	登録されているすべての電話番号とファクス設定を消去します。
	[全設定リセット]	製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[表示言語設定]	-	画面の言語を変更します。

関連情報

- 設定と機能一覧

機能一覧（2.7 型（67.5mm）タッチパネルモデル）

>> ［ファクス］（MFC モデル）
>> ［コピー］
>> ［スキャン］
>> ［クラウド］
>> ［お役立ちツール］
>> ［メディア］
>> ［年賀状アプリ］
>> ［ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ］
>> ［ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ］
>> ［ｼｮｰﾄｶｯﾄ］
>> ［インク］
>> Wi-Fi 設定
>> USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込んだとき

［ファクス］（MFC モデル）

（［みるだけ受信］が［オフ（受信したら印刷）］の場合）

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
［ポーズ］	-	-	操作パネルでファクスまたは電話番号を入力中は、液晶ディスプレーにポーズが表示されます。例えば暗証番号やクレジットカード番号の入力などで、ダイヤル中に待ち時間が必要なときはポーズを押します。電話帳に登録するときにもポーズを入れることができます。
［ｵﾝﾌｯｸ］	-	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、ファクススタートを押します。
［電話帳］	 （**［検索：］**）	-	電話帳を検索します。
	［登録/編集］	-	電話番号の登録、同報送信のグループダイヤルの設定、電話帳の番号の変更および削除をします。 （MFC-J4940DN）登録した電話帳を子機に転送できます。
	（電話帳を選択）	**［送信先に設定］**	電話帳を使ってファクス送信を開始します。
［履歴］	**［再ダイヤル］**	-	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
	［発信履歴］	**［送信先に設定］**	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		［設定］	
	［着信履歴］	**［送信先に設定］**	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		［設定］	
 （**［設定変更］**）	**［ファクス画質］**	-	送信ファクスの解像度を設定します。
	［原稿濃度］	-	コントラストを調整します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
 （[設定変更]）	[同報送信]	[番号追加]	複数のファクス番号に同じファクスメッセージを送信します。
	[みてから送信]	-	送信前にファクス内容を確認します。
	[カラー設定]	-	ファクスをモノクロまたはカラーで送信するかどうかを設定します。
	[タイマー送信]	[タイマー送信]	タイマー送信でファクスを送信する時刻を指定します。
		[指定時刻]	
	[とりまとめ送信]	-	ファクス番号と予約時刻が同じファクスを、1 回のタイマー送信にまとめます。
	[リアルタイム送信]	-	メモリーを使わずにファクスを送信します。
	[海外送信モード]	-	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
	[履歴]	[再ダイヤル]	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
		[発信履歴]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[着信履歴]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
	[電話帳]	 （[検索：]）	電話帳を検索します。
		[登録/編集]	電話番号の登録、同報送信のグループダイヤルの設定、電話帳の番号の変更および削除をします。 （MFC-J4940DN）登録した電話帳を子機に転送できます。
	[設定を保持する]	-	設定を初期値として保存します。
	[設定をリセットする]	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。

（[みるだけ受信]が[オン（画面で確認）]の場合）

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[ファクス送信]	[ポーズ]	-	-	操作パネルでファクスまたは電話番号を入力中は、液晶ディスプレーにポーズが表示されます。例えば暗証番号やクレジットカード番号の入力などで、ダイヤル中に待ち時間が必要なときはポーズを押します。電話帳に登録するときにもポーズを入れることができます。
	[ｵﾝﾌｯｸ]	-	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、ファクススタートを押します。
	[電話帳]	 （[検索：]）	-	電話帳を検索します。
		[登録/編集]	-	電話番号の登録、同報送信のグループダイヤルの設定、電話帳の番号の変更および削除をします。 （MFC-J4940DN）登録した電話帳を子機に転送できます。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[ファクス送信]	[電話帳]	(電話帳を選択)	[送信先に設定]	電話帳を使ってファクス送信を開始します。
	[履歴]	[再ダイヤル]	-	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
		[発信履歴]	[送信先に設定]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
			[設定]	
		[着信履歴]	[送信先に設定]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
			[設定]	
	([設定変更])	[ファクス画質]	-	送信ファクスの解像度を設定します。
		[原稿濃度]	-	コントラストを調整します。
		[同報送信]	[番号追加]	複数のファクス番号に同じファクスメッセージを送信します。
		[みてから送信]	-	送信前にファクス内容を確認します。
		[カラー設定]	-	ファクスをモノクロまたはカラーで送信するかどうかを設定します。
		[タイマー送信]	[タイマー送信]	タイマー送信でファクスを送信する時刻を指定します。
			[指定時刻]	
		[とりまとめ送信]	-	ファクス番号と予約時刻が同じファクスを、1 回のタイマー送信にまとめます。
		[リアルタイム送信]	-	メモリーを使わずにファクスを送信します。
		[海外送信モード]	-	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
		[履歴]	[再ダイヤル]	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
			[発信履歴]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
			[着信履歴]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[電話帳]	([検索:])	電話帳を検索します。
			[登録/編集]	電話番号の登録、同報送信のグループダイヤルの設定、電話帳の番号の変更および削除をします。 (MFC-J4940DN) 登録した電話帳を子機に転送できます。
		[設定を保持する]	-	設定を初期値として保存します。
		[設定をリセットする]	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[受信ファクス]	[印刷/消去]	[全て印刷(新着ファクス)]	-	新着ファクスを印刷します。
		[全て印刷(既読ファクス)]	-	既読ファクスを印刷します。
		[全て消去(新着ファクス)]	-	新着ファクスを消去します。
		[全て消去(既読ファクス)]	-	既読ファクスを消去します。
[電話帳]	([検索:])	-	-	電話帳を検索します。
	[登録/編集]	-	-	電話番号の登録、同報送信のグループダイヤルの設定、電話帳の番号の変更および削除をします。 (MFC-J4940DN) 登録した電話帳を子機に転送できます。
	(電話帳を選択)	[送信先に設定]	-	電話帳を使ってファクス送信を開始します。
[履歴]	[再ダイヤル]	-	-	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
	[発信履歴]	[送信先に設定]	-	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[設定]	-	
	[着信履歴]	[送信先に設定]	-	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[設定]	-	

[コピー]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。
([設定変更])	[コピー画質]	-	原稿の種類に合ったコピー解像度を選択します。
	[用紙トレイ選択] (MFC-J4540N)	-	コピーモードで使用するトレイを選択します。
	[用紙タイプ]	-	トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
	[用紙サイズ]	-	トレイ内の用紙に合わせて用紙サイズを選択します。
	[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
		[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
		[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
		[用紙に合わせる]	セットした用紙サイズに合うようにコピーサイズを調整します。
		[カスタム (25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
	[コピー濃度]	-	濃度を調整します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
 （[設定変更]）	[地色除去コピー]	[モノクロコピー設定]	除去する地色の濃度を変更します。
		[カラーコピー設定]	
	[両面コピー]	-	両面コピーのオフ／オンを設定したり、長辺とじまたは短辺とじを選択します。
	[スタック/ソート]	-	スタックまたはソートコピーを選択します。
	[レイアウト コピー]	-	N in 1、2 in 1 ID、またはポスターコピーをします。
	[傾き補正]	-	コピーの傾きを補正します。
	[便利なコピー設定]	-	便利なコピー設定を選択します。
	[設定を保持する]	-	設定を初期値として保存します。
	[設定をリセットする]	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[スキャン]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[メディア] （USB フラッシュメモリーが差し込まれているとき）	[スキャン機能切り替え]	-	-	パソコンを使わずに、原稿をスキャンしてUSB フラッシュメモリーに直接保存します。
	 （[設定変更]）	-	-	
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	
[自分のﾌｫﾙﾀﾞ]	-	-	-	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーにあるフォルダに、スキャンしたデータを送信します。
[PC]	[ファイル]	[スキャン機能切り替え]	-	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		（USB またはパソコンを選択します）	 （[設定変更]）	
			[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	
	[OCR]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		（USB またはパソコンを選択します）	 （[設定変更]）	
			[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	
	[イメージ]	[スキャン機能切り替え]	-	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		（USB またはパソコンを選択します）		

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[PC]	[イメージ]	(USB またはパソコンを選択します)	([設定変更])	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
			[ショートカットとして登録]	
	[E メール添付]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンしたデータを E メールの添付ファイルとして送信します。
		(USB またはパソコンを選択します)	([設定変更])	
			[ショートカットとして登録]	
[(S) FTP サーバー]	[スキャン機能切り替え]	-	-	原稿をスキャンして FTP/SFTP サーバーに直接送信します。
	(プロファイル名を選択します)	([設定変更])	-	
		[ショートカットとして登録]	-	
[ネットワーク]	[スキャン機能切り替え]	-	-	ローカルネットワークの CIFS サーバーに原稿を直接スキャンします。
	(プロファイル名を選択します)	([設定変更])	-	
		[ショートカットとして登録]	-	
[SharePoint]	[スキャン機能切り替え]	-	-	原稿をスキャンして SharePoint サーバーに直接送信します。
	(プロファイル名を選択します)	([設定変更])	-	
		[ショートカットとして登録]	-	
[クラウド]	-	-	-	スキャンしたデータをインターネットサービスにアップロードします。
[Web サービス] (パソコンのネットワークエクスプローラーに表示される、Web サービススキャナーをインストールした場合に表示されます。)	[スキャン機能切り替え]	-	-	Web サービスプロトコルを使ってデータをスキャンします。
	[スキャン]	-	-	
	[電子メール用にスキャン]	-	-	
	[FAX 用にスキャン]	-	-	
	[印刷用にスキャン]	-	-	

[クラウド]

設定項目 1	説明
[クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。

[お役立ちツール]

設定項目 1	説明
[お役立ちツール]	本製品をお役立ちツールに接続します。

[メディア]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[JPEG プリント]	[画像選択]	[OK]	([印刷設定])	オプションを使って、写真を調整します。
		[全選択]	-	USB フラッシュメモリー内の全ての写真を印刷します。
	[インデックス]	[インデックスシート]	([印刷設定])	サムネイルのページを印刷します。
		[番号指定プリント]	([印刷設定])	インデックスシートの番号を選んで、写真を印刷します。
[スキャン: メディア]	-	-	-	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
[クラウド]	-	-	-	本製品をインターネットサービスに接続します。

[年賀状アプリ]

設定項目 1	説明
[年賀状アプリ]	パソコンを使わずに年賀状を作成するための情報を表示します。

[ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ]

設定項目 1	説明
[ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ]	モバイル機器とパソコンを対象としたソフトウェアの、ダウンロードとインストールについての情報を表示します。

[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]

設定項目 1	説明
[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]	画面の指示に従って、プリントヘッドのクリーニングをします。

[ショートカット]

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	説明
(ショートカット登録)	[コピー]	-	コピーオプションで設定を変更します。
	[ファクス] (MFC モデル)	-	ファクスオプションで設定を変更します。
	[スキャン]	[メディア]	パソコンを使わずに、原稿をスキャンして USB フラッシュメモリーに直接保存します。
		[PC (ファイル)]	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		[PC (OCR)]	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		[PC (イメージ)]	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		[PC (E メール添付)]	スキャンしたデータを E メールの添付ファイルとして送信します。
		[FTP/SFTP サーバー]	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。
		[ネットワーク]	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。
		[SharePoint]	スキャンしたデータを SharePoint サーバーに送信します。
	[クラウド]	-	本製品をインターネットサービスに接続します。
	[お役立ちツール]	-	本製品をお役立ちツールに接続します。
この一覧は、ショートカットアイコンを 2 秒間押し続けると表示されます。	[名前の変更]	-	ショートカット名を変更します。
	[編集]	-	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	-	ショートカットを削除します。
	[NFC カードの登録]	-	IC カードにショートカットを割り当てます。
	[NFC カード削除]	-	IC カードからショートカットを削除します。
(編集/消去)	(ショートカットボタンを選択します。)	[名前の変更]	ショートカット名を変更します。
		[編集]	ショートカット設定を編集します。
		[消去]	ショートカットを削除します。
		[NFC カードの登録]	IC カードにショートカットを割り当てます。
		[NFC カード削除]	IC カードからショートカットを削除します。

[インク]

設定項目 2	設定項目 3	説明
[インク残量]	-	使用可能なインクの残量を確認します。
[インクカートリッジ型番]	-	インクカートリッジ型番を確認します。
[印刷品質のチェックと改善]	[印刷品質のチェックと改善]	画面の指示に従って、印刷品質、罫線ずれ、給紙を確認し調整をします。

設定項目 2	設定項目 3	説明
[印刷品質のチェックと改善]	[罫線ずれの補正]	画面の指示に従って、印刷品質、罫線ずれ、給紙を確認し調整をします。
	[用紙送り量の補正]	
[ヘッドクリーニング]	[ブラックのみ]	画面の指示に従って、プリントヘッドのクリーニングをします。
	[カラーのみ]	
	[全色]	
[給紙ローラーのクリーニング]	-	給紙ローラーのクリーニングを行います。
[印刷設定オプション]	[用紙汚れの低減]	印刷中にできるにじみや紙詰まりを減らします。
	[片方向印刷]	印刷品質を高め、印刷ずれを減らします。
[インクカートリッジ純正情報]	-	インクカートリッジの情報を表示します。

Wi-Fi 設定

設定項目 2	説明
[ネットワーク選択 (SSID)]	無線ネットワークを手動で設定します。
[WPS (プッシュボタン)]	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。

USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込んだとき

設定項目 1	説明
[JPEG プリント]	写真のメニューを選択します。
[スキャン： メディア]	原稿をスキャンしてメディアに保存します。
[クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。

関連情報

- 設定と機能一覧

機能一覧（子機）

関連モデル: MFC-J4940DN

>> （子機電話帳ボタン）
>> 機能 確定 （子機機能ボタン）

（子機電話帳ボタン）

設定項目 1	設定項目 2	説明
[電話帳登録]	-	子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。（全 100 件）
（登録済みであれば登録名を表示）	**[変更]**	電話帳に登録した内容を変更・削除します。
	[消去]	
	[転送]	電話帳に登録されている相手先を本体に転送します。

機能 確定 （子機機能ボタン）

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明
[再生/消去]	-	-	メモリーに保存されているメッセージを再生または消去します。
	[留守]／[会話]	-	留守録メッセージまたは通話中に録音した会話のどちらかを選択します。
		[1 件ずつ]	操作する対象 1 件を選択します。
		[全件]	全件を対象にします。
[留守番設定]	**[応答切替]**	-	留守モード中に流れる応答メッセージを切り替えます。
	[留守応答 1]	-	新たな応答メッセージを 2 種類登録（再生、消去）することができます。
	[留守応答 2]	-	
	[在宅応答]	-	留守番機能がセットされていない状態で、設定された時間内に電話を取らなかったときに流れる応答メッセージを登録できます。
	[録音時間]	-	電話の相手が残せる音声メッセージの、1 通話における録音時間を設定します。
	[留守録転送]	-	留守モード中に音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。
	[留守録ﾓﾆﾀｰ] [1]	-	留守録中の相手の声を、スピーカーから聞く（モニターする）かどうかを設定します。
[鳴動音設定]	**[1.着信音]**	-	着信音を選択します。
	[2.着信鳴分け]	-	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。
	[3.ボタン確認音]	-	ボタンを押したときの音を設定します。
[通話音質]	-	-	通話中の音質を回線状況に応じて調整します。
[発信履歴]	-	-	直近 10 件の発信履歴を表示します。
	（履歴一覧画面表示後 機能 確定 押下）	**[1 件消去]**	発信履歴から 1 件削除します。
		[全件消去]	発信履歴の内容をすべて削除します。

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明
[発信履歴]	(履歴一覧画面表示後「機能」「確定」押下)	**[電話帳登録]**	発信履歴から電話帳に登録します。
[着信履歴] [2]	-	-	直近 30 件の着信履歴を表示します。
	(履歴一覧画面表示後「機能」「確定」押下)	**[1 件消去]**	着信履歴から 1 件削除します。
		[全件消去]	着信履歴の内容をすべて削除します。
		[電話帳登録]	着信履歴から電話帳に登録します。
[画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ]	-	-	子機の画面のコントラストを設定します。
[時計設定]	-	-	現在の日付と時刻を登録します。
[子機増設]	-	-	増設子機の ID 登録を行います。子機増設を本体から行うことを示すメッセージが表示されたら、2 分以内に本体で操作を開始してください。
[回線種別]	-	-	電話の回線種別が設定できます。(通常は親機から設定してください。)

1 留守録モニターができるのは、「子機 1」として登録されている子機のみです。また、「子機 1」以外の子機では、留守録モニターの設定もできません。(子機 1 台付きモデルの場合は、別売りの子機を増設してご利用ください。)

2 ナンバーディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)

関連情報

- 設定と機能一覧

Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはセキュアソケットレイヤー（SSL）上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザーを使用したユーティリティです。

- Web Based Management とは
- Web Based Management にアクセスする
- Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する
- Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する

Web Based Management とは

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはセキュアソケットレイヤー（SSL）上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザーを使用するユーティリティです。

- Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 10/11、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。いずれのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。
- ネットワーク上で TCP/IP プロトコルを使用し、プリントサーバーとパソコンに有効な IP アドレスがプログラムされている必要があります。

- 実際に表示される画面は、上の画面とは異なる場合があります。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management にアクセスする

- Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 10/11、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。いずれのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。
- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。本製品への不正アクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。お買い上げ時のパスワードは、ネットワーク設定リストでも確認できます。
- パスワードを数回間違えて入力すると、一定時間ログインできなくなります。ロックアウト設定は、Web Based Management で変更できます。
- 最大 8 台のパソコンまたは携帯端末を同時に Web Based Management にログインできます。9 番目の機器でログインすると、最初の機器がログアウトされます。
- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティープロトコルを使用することをおすすめします。Web Based Management を使用して設定を変更するときに HTTP を使用している場合は、画面の指示に従って、安全な HTTPS 接続に切り替えてください。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザーに警告ダイアログボックスが表示されます。警告ダイアログボックスが表示されないようにするには、自己署名証明書をインストールして SSL/TLS 通信を使用します。詳細については、「関連情報」をご覧ください。

>> ウェブブラウザーから開始する
>> Brother iPrint&Scan から開始する（Windows/Mac）
>> Brother Utilities から開始する（Windows）
>> Brother Mobile Connect から開始する

ウェブブラウザーから開始する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、☰をクリックしてから📌をクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

Brother iPrint&Scan から開始する（Windows/Mac）

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。

- Mac

  Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

2. お使いの製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧からお使いのモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. （**本体設定**）をクリックします。
4. **すべての設定** をクリックします。

   Web Based Management が表示されます。
5. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
6. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、≡をクリックしてから をクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

Brother Utilities から開始する（Windows）

1. （**Brother Utilities**）を起動させ、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**本体設定**をクリックします。

   Web Based Management が表示されます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、≡をクリックしてから をクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

Brother Mobile Connect から開始する

お使いの携帯端末に Brother Mobile Connect をインストールして設定する必要があります。

1. 携帯端末で Brother Mobile Connect を起動します。
2. 画面上部に表示されているモデル名をタップします。
3. **すべての本体設定**をタップします。

   Web Based Management が表示されます。
4. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をタップします。
5. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、≡をタップしてから をタップします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- ネットワーク設定リストを印刷する
- 自己署名証明書を作成する
- 管理者権限を持つ Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。本製品への不正アクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 以下のいずれかを行ってください：
   - 事前にパスワードを設定してある場合は、そのパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
   - 事前にパスワードを設定していない場合は、初期ログインパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **ログインパスワード**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. 画面の**ログインパスワード**ガイドラインに従って、**新しいパスワードの入力**欄にパスワードを入力します。
6. **新しいパスワードの確認**欄に、パスワードをもう一度入力します。
7. **OK** をクリックします。

ログインパスワードメニューでロックアウト設定を変更することもできます。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する

関連モデル: MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN

- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザーに警告ダイアログボックスが表示されます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**アドレス帳** > **アドレス XX-XX** をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. 必要に応じて、電話帳の情報を追加または更新します。

   - 本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。
   - 電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。
6. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

付録

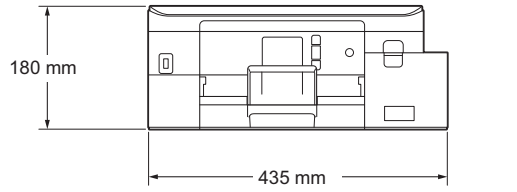
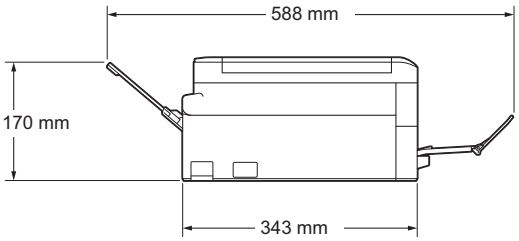
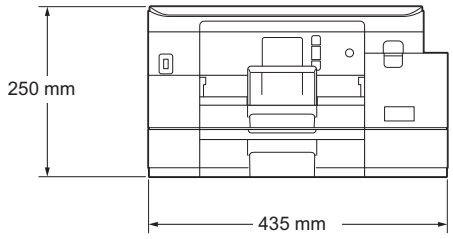
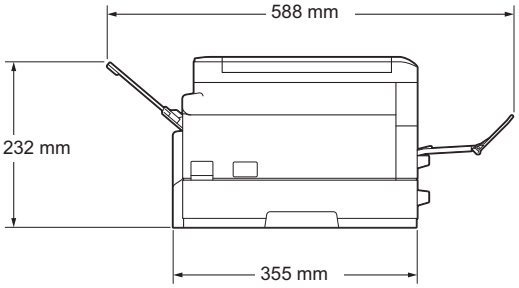
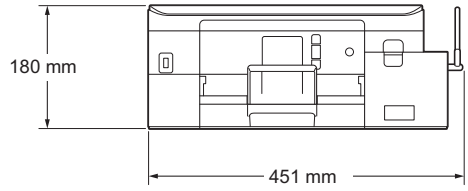
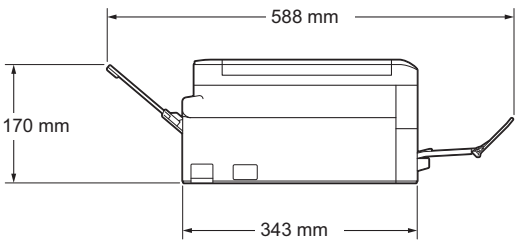
- 仕様
- アフターサービスのご案内

仕様

>> 基本仕様
>> 原稿サイズ
>> 印刷用紙
>> ファクス
>> コピー
>> USB フラッシュメモリー
>> スキャナー
>> プリンター
>> インターフェイス
>> ネットワーク
>> コードレス子機（BCL-D120K-WH）
>> 充電器
>> パソコン使用環境

基本仕様

記録方式		インクジェット
プリントヘッド	**ブラック**	圧電アクチュエータ 210 ノズル×1
	カラー	圧電アクチュエータ 210 ノズル×3
メモリー容量		128MB
液晶ディスプレー		• DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN [1] 2.7 型（67.5mm）TFT カラー LCD
電源		AC100V 50/60Hz
消費電力 [2]		• DCP-J4140N **コピー時** [3]：約 21W **稼動準備時** [4]：約 4W **スリープモード時** [4]：約 1.4W **電源オフ時** [4 5]：約 0.2W • MFC-J4440N **コピー時** [3]：約 21W **稼動準備時** [4]：約 4W **スリープモード時** [4]：約 1.4W **電源オフ時** [4 5]：約 0.2W • MFC-J4540N **コピー時** [3]：約 21W **稼動準備時** [4]：約 4W **スリープモード時** [4]：約 1.4W **電源オフ時** [4 5]：約 0.2W • MFC-J4940DN **コピー時** [3]：約 21W **稼動準備時** [4]：約 4W **スリープモード時** [4]：約 2.1W **電源オフ時** [4 5]：約 0.2W

外形寸法			• DCP-J4140N/MFC-J4440N   • MFC-J4540N   • MFC-J4940DN  
製品重量			• DCP-J4140N/MFC-J4440N/MFC-J4940DN 8.8kg • MFC-J4540N 10.4kg
稼動音	**音圧レベル**	**印刷時**	約 57.0dB (A) [6]
	音響レベル	**印刷時**	• LWAd = 6.76 B(A) （モノクロ） • LWAd = 6.70 B(A) （カラー）

温度	**動作保証温度**	10～35°C
	最高印刷品質保証温度	20～33°C
湿度	**動作保証湿度**	20～80%（結露なきこと）
	最高印刷品質保証湿度	20～80%（結露なきこと）
ADF（自動原稿送り装置）		最大 20 枚 用紙：80g/m²

1 四つ角を対角線上に測定。
2 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。
3 ADF(自動原稿送り装置)使用、片面印字、画質：標準、原稿：ISO/IEC 24712 印刷パターン時。
4 IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。
5 ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度、解除前の状態となります。
6 印刷環境によって、稼動音の数値は変わります。

原稿サイズ

原稿サイズ	**ADF（自動原稿送り装置）使用時（幅）**	148～215.9mm
	ADF（自動原稿送り装置）使用時（長さ） [1]	148～355.6mm
	原稿台ガラス使用時（幅）	最大 215.9mm
	原稿台ガラス使用時（長さ）	最大 297mm

1 297 mm より長い原稿は、1 枚ずつ送る必要があります。

印刷用紙

給紙	**用紙トレイ#1**	**用紙タイプ** [1]	普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙、再生紙
		用紙サイズ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、B6（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、Com-10、DL 封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒
		最大用紙容量	最大 150 枚（80g/m² 普通紙）、はがき 50 枚、光沢紙 20 枚
	用紙トレイ#2 (MFC-J4540N)	**用紙タイプ**	普通紙、再生紙
		用紙サイズ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5
		最大用紙容量	最大 250 枚（80g/m² 普通紙）
	手差しトレイ	**用紙タイプ** [1]	普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙、再生紙
		用紙サイズ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、B6（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、Com-10、DL 封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒
		最大用紙容量	最大 1 枚
排紙 [1 2]			最大 100 枚（80g/m² 普通紙）（印刷面を上にして排紙トレイに排出されます。）

1 光沢紙を使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。
2 実際の排紙トレイの容量は、環境条件によって異なる場合があります。

ファクス

この機能は MFC モデルで利用できます。

形式	MFC-J4440N/MFC-J4540N：ITU-T Super Group 3 MFC-J4940DN：ITU-T Group 3
通信速度	MFC-J4440N/MFC-J4540N：33,600bps（自動フォールバック）

	MFC-J4940DN：14,400bps（自動フォールバック）
最大有効読取幅 （片面原稿）	ADF：208mm (A4) 原稿台ガラス：204mm (A4)
最大印刷幅	204mm (A4)
グレースケール	モノクロ：8 ビット（256 階調） カラー：24 ビット（一色につき 8 ビット／256 階調）
解像度 **（主走査）**	203dpi
解像度 **（副走査）**	標準： 98dpi（モノクロ） 196dpi（カラー）
	ファイン： 196dpi（モノクロ） 196dpi（カラー）
	スーパーファイン： 392dpi（モノクロ）
	写真： 196dpi（モノクロ）
電話帳	100 件×2 番号
グループ	最大 6 件
同報送信	250 件（200 件　電話帳／50 件　直接入力）
自動再ダイヤル	3 回／5 分
メモリー送信	MFC-J4440N/MFC-J4540N：最大 180 枚 [1] MFC-J4940DN：最大 320 枚 [1]
メモリー代行受信	MFC-J4440N/MFC-J4540N：最大 180 枚 [1] MFC-J4940DN：最大 320 枚 [1]

1　ITU-T テストチャート#1（一般的なビジネスレター程度の原稿、標準的画質、MMR 圧縮）の数値です。

コピー

カラー／モノクロ	対応／対応
コピー読み取り幅	204mm [1]
連続複写枚数	スタック／ソート　最大 99 枚
拡大縮小	25～400%（1%刻み）
解像度	最大 1200 × 2400dpi

1　A4 サイズコピー時。

USB フラッシュメモリー

互換性のあるメディア [1]		USB フラッシュメモリー [2]
JPEG プリント	**解像度**	最大 1200 x 4800dpi
	用紙タイプ	普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙
	用紙サイズ	A4、L 判、2L 判、はがき
	ファイル形式	JPEG（プログレッシブ JPEG 形式には対応していません）

スキャン to メディア	**ファイル形式**	JPEG、PDF（カラー、グレー） TIFF、PDF（モノクロ）

1 USB フラッシュメモリーは本製品に付属していません。

2 USB2.0 規格（ハイスピード）。USB マスストレージ規格。サポート形式：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

スキャナー

カラー／モノクロ	対応／対応
TWAIN 対応	対応 （Windows 7 SP1 / Windows 8.1 / Windows 10）
WIA 対応	対応 （Windows 7 SP1 / Windows 8.1 / Windows 10）
カラー階調	30 ビットカラー処理（入力） 24 ビットカラー処理（出力）
グレースケール	10 ビットカラー処理（入力） 8 ビットカラー処理（出力）
解像度	最大 19200 × 19200dpi（補間） [1] [2] （原稿台ガラスより） 最大 1200 × 2400dpi（光学） （ADF(自動原稿送り装置)より） [3] 最大 1200 × 600dpi（光学）
最大読取領域 （片面原稿）	（原稿台ガラス） 幅：最大 213.9mm 長さ：最大 295mm （ADF(自動原稿送り装置)） [3] 幅：最大 213.9mm 長さ：最大 353.6mm

1 Windows 7 SP1、Windows 8.1、および Windows 10 で WIA ドライバーをご使用の場合は、最大 1200×1200 dpi までの読み取りとなります（Scanner Utility を使用すれば、19200×19200 dpi まで利用できます）。

2 スキャン解像度が高くなると、スキャン範囲が狭くなる場合があります。

3 ADF（自動原稿送り装置）対応モデルのみ

プリンター

解像度		最大 1200 x 4800dpi
印刷幅 [1]		204mm ふちなし印刷 [2]：210mm
ふちなし印刷		A4、レター、A6、ポストカード、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき
自動両面	**用紙タイプ**	普通紙、再生紙
	用紙サイズ	A4、レター、B5（JIS）、A5、B6（JIS）、はがき
印刷速度		Brother ウェブサイトで、お使いのモデルのページをご覧ください。

1 A4 サイズに印刷時。

2 ふちなし印刷機能がオンの場合。

インターフェイス

USB [1] [2]	2 m 以下の USB2.0 インターフェイスケーブルをご使用ください。

LAN	カテゴリー 5 以上のイーサネット非シールドツイストペアケーブル（UTP）をご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャ） IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct）
NFC (DCP-J4140N/ MFC-J4440N/ MFC-J4540N)	対応

1 USB2.0 ハイスピードインターフェイスが使用できます。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続可能です。

2 サードパーティ製の USB ポートには対応していません。

ネットワーク

- (DCP-J4140N)
  本製品をネットワークに接続することで、ネットワーク印刷とネットワークスキャンが可能になります。
- (MFC-J4440N/MFC-J4540N/MFC-J4940DN)
  本製品をネットワークに接続することで、ネットワーク印刷やネットワークスキャン、PC-FAX 送信、PC-FAX 受信（Windows のみ）が可能になります。

ネットワークセキュリティー（有線）		SMTP-AUTH, SSL/TLS (IPPS, HTTPS, SMTP), SNMP v3, 802.1x (EAP-MD5, EAP-FAST, PEAP, EAP-TLS, EAP-TTLS), Kerberos, IPsec
ネットワークセキュリティー（無線）		SMTP-AUTH, SSL/TLS (IPPS, HTTPS, SMTP), SNMP v3, 802.1x (EAP-FAST, PEAP, EAP-TLS, EAP-TTLS), Kerberos, Ipsec
無線セキュリティー		SSID（最大 32 桁まで）、WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（TKIP/AES）
無線セットアップサポートユーティリティー	**WPS**	対応

コードレス子機（BCL-D120K-WH）

使用周波数 [1]	1895.616MHz～1902.528MHz
変調方式	時分割多元接続方式
使用可能距離	見通し距離約 100m
充電完了時間	約 12 時間
使用可能時間（充電完了後） [2]	待機状態：約 200 時間 連続通話：約 8 時間
使用環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
電源	DC3.6V（子機用バッテリー BCL-BT30 使用）
外形寸法	44（横幅）×29（奥行き）×163（高さ）mm
製品重量	約 150g（子機用バッテリー含む）

1 1.9GHz 帯の周波数を使用するコードレス機器と 2.4GHz 帯の周波数を使用するコードレス機器とでは、無線接続の互換性はありません。

2 お使いの環境によっては短くなることがあります。

充電器

使用環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約 1.4W（充電中）／約 0.5W（待機中）
外形寸法	75（横幅）×75（奥行き）×32（高さ）mm
製品重量	約 125g

パソコン使用環境

対応している OS とソフトウェア機能

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">OS</th><th colspan="3">インターフェイス</th><th rowspan="2">プロセッサー</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th></tr>
<tr><th>USB [1]</th><th>10/100 Base-TX（イーサネット）</th><th>無線 802.11b/g/n</th><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア（ドライバーを含む）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">Windows</td><td>Windows 7 SP1 [2] [3]
Windows 8.1 [2] [3]</td><td colspan="3" rowspan="2">印刷
PC-FAX [4]
スキャン</td><td rowspan="3">32 ビット（x86）、もしくは 64 ビット（x64）プロセッサー</td><td>650 MB</td><td>1.3 GB</td></tr>
<tr><td>Windows 10 Home [2] [3]
Windows 10 Pro [2] [3]
Windows 10 Education [2] [3]
Windows 10 Enterprise [2] [3]</td><td rowspan="2">50 MB</td><td rowspan="2">-</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2008</td><td>-</td><td colspan="2">印刷</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2008 R2
Windows Server 2012
Windows Server 2012 R2
Windows Server 2016
Windows Server 2019</td><td colspan="3"></td><td>64 ビット（x64）プロセッサー</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>Mac</td><td>macOS v10.14.6
macOS v10.15.x
macOS v11</td><td colspan="3">印刷
PC-FAX（送信） [4]
スキャン</td><td>64 ビット（x64）プロセッサー</td><td>-</td><td>550 MB</td></tr>
</table>

1 サードパーティ製の USB ポートには対応していません。

2 WIA ドライバーは解像度 1200 x 1200 dpi まで対応しています。Brother Scanner Utility は解像度 19200 x 19200 dpi まで対応しています。

[3] Nuance™ PaperPort™ 14SE は、Windows 7 SP1、Windows 8.1、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Education、および Windows 10 Enterprise に対応しています。

[4] PC-FAX では、モノクロのみサポートしています。（MFC モデル）

最新のドライバーアップデートについては、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページを参照してください。

記載の商標及び、ブランド名、製品名の所有権は各社にあります。

関連情報

- 付録

アフターサービスのご案内

>> 製品登録
>> 各種サポート情報
>> ブラザーコールセンター
>> 安心と信頼の修理サービス

製品登録

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ https://online.brother.co.jp

各種サポート情報

サポートサイト

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

support.brother.co.jp

Brother SupportCenter は、ブラザー製品の最新サポート情報を提供するモバイルアプリです。ダウンロードするには App Store または Google Play™ にアクセスしてください。

ブラザーコールセンター

0570-061016

ファクスや電話等の通信に関するトラブルの場合は、本製品を電話回線に接続して動作テストを行います。お問い合わせの際は、携帯電話などをご利用くださいますようお願いいたします。

受付時間：月～土　9:00～18:00　日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

※本書に乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

※受付時間、電話番号については事前予告なく変更になる場合がございます。最新の情報はサポートサイトでご確認ください。

安心と信頼の修理サービス

- **製品ご購入後 1 年間無償保証いたします。**
  ※この場合、修理料金を無償とし、運送料を含むその他費用はお客様の負担となります。
- **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48 時間以内に故障機の回収。**※一部地域を除く
  事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
- **故障機の回収後、5 日以内に修理完了品をお届け。**
  ※修理内容やお住まいの地域によっては、お届けに 5 日以上かかる可能性があります。

関連情報

- 付録

brother

Brother Earth

www.brotherearth.com

JPN
Version A